

# 巨龍

きょごう



令和2年 同窓会誌

香川県立観音寺第一高等学校同窓会京阪神支部



観音寺第一高等学校 正 門



新体育館の内部



新体育館の正面入り口



新校舎の正面入り口



# 巨 教 龍

き よ ご う

揮毫 故三野重和 京阪神支部会長

第二十四号

(通巻第三十六号)



観一高同窓会京阪神支部

---

## 「巨鼈」について

同窓会誌「巨鼈」の誌名は、三豊中学校第四代校長・堀沢周安先生が作詞された三中校歌から頂いたものです。周知の通り、観音寺の南に聳え、山頂に第六十六番札所「雲辺寺」を擁する、「巨鼈山」の名称に因みます。

## 表紙絵について

表紙の絵には、矢野浩様（観一・十二回）が描かれた郷里・有明浜の松の絵を、今年も使わせて頂きました。矢野浩様には、昨年に引き続き作品をご提供頂きましたことを、厚く感謝申し上げます。

---

制作：石川特殊特急製本株式会社

〒540-0014 大阪市中央区龍造寺町7番38号  
TEL.06-6762-5851(代) FAX.06-6764-4181

---

# 観一同窓会京阪神支部 総会・懇親会 風景

令和元年 11月9日(土) 於 都ホテル尼崎 (旧ニューアルカイク)



幹事長挨拶  
高橋憲一 (14回)



会長挨拶  
片桐 陽 (10回)



開会の辞  
石部勝 副会長 (9回)



閉会の辞  
鎌倉史郎 副会長 (20回)



開宴の辞  
矢野顧問 (8回)



乾杯の挨拶  
秋山茂之幹事 (22回)



総会司会  
高橋俊二 (23回)



懇親会司会  
香川幹夫幹事 (18回)







同窓会本部事務局長  
徳善久人 (23 回)



同窓会本部事務局次長  
田中英明 (21 回)



東京支部副会長  
茨木教晶 (18 回)



岡山支部事務局長  
滝本清文 (16 回)



高松支部会長  
合田耕三 (22 回)



決算報告・予算報告  
藤田修一幹事 (16 回)



監査報告  
岩本憲二幹事 (25 回)



(株) 七宝 会長  
岩田豊志 (22 回)



(株) 金子食品・専務取締役  
浪越文正









受付風景①



受付風景②



受付風景③



会場風景





来賓テーブル①



来賓テーブル②



三女













観一 14回・16回



観一 15回



観一 17回・21回





観一 18回・19回



観一 20回・22回



観一 23回





観一24回



観一25回～54回



来賓ご挨拶





香川県立観音寺第一高等学校  
同窓会京阪神支部総会

令和元年度



大野原龍王太鼓













総会風景



黙 祷





乾杯の音頭



懇親会の風景







乾杯音頭 秋山茂之 (22 回)

















校歌斉唱 三女



校歌斉唱 三中・1回～4回



全員で観一校歌斉唱







株式会社 **七宝**

# タマネギのたね



育成販売元

株式会社 **七宝**

会 長 岩田 豊志 観一・22回 (昭和46年)

〒769-1507 香川県三豊市豊中町岡本2412-2

TEL(0875)-62-2278 FAX(0875)-62-5604

# 安藤・梅田 法律事務所



兵庫県弁護士会所属 弁護士 安藤 秀昌・弁護士 梅田 綾子

安藤・梅田法律事務所

阪急夙川駅南改札口より

西へ徒歩 約**3分**

【キッズスペースあり】



〒662-0051 兵庫県西宮市羽衣町10-22

TEL.0798-32-0915



巡る時代  
語り継ぐ技



株式会社 管組



給排水衛生・空調・電気・太陽光発電・家電品  
リフォーム・住設機器・フロン回収破壊・LPガス・石油



代表取締役社長 三宅 慎二 観一・33回(昭和57年)

本社・展示場 〒768-0067 観音寺市坂本町七丁目2-10 ☎(0875)25-4747(代)  
プロパン工場 観音寺市出作町 ☎(0875)25-6295  
オートガスタン্ড  
高松支店 高松市西春日町 ☎(087)869-0930  
(系列会社) 三宅石油株式会社 ☎(0875)25-0474  
〃 株式会社東洋 ☎(0875)67-2179

**GODAは、地球環境【貢献】企業へ。**



**株式会社 合田工務店** <http://www.goda.co.jp>

本社／高松市天神前9-5 TEL.087-861-9155(代) FAX.087-837-2604  
大阪営業所／大阪市北区東天満2丁目9-4 千代田ビル東館8階  
TEL.06-6242-8705 FAX.06-6242-8706  
東京本店／千葉営業所／丸亀営業所／観音寺営業所

テレワーク社員も  
活躍中!

今日も“想いで”  
世界を彩る



株式会社北四国グラフィア印刷

Web <http://www.kitashikoku-g.co.jp/>

本社工場: 香川県観音寺市栗井町755 Tel: 0875-27-9280 Fax: 0875-27-9380

東京営業所: 東京都中央区東日本橋3-4-1 THE GATE NIHONBASHI EAST 2F Tel: 03-5623-3268 Fax: 03-5623-3269



〒  
768-  
0001

香川県観音寺市室本町一〇一  
TEL 〇八七五(二五)一九三二  
FAX 〇八七五(二四)三七二四

業務執行役員 社長

入江 克典

甘酒・こうじ各種・味噌各種・その他こうじ加工品  
合同会社 入江こうじ製造所

URL <http://www.irie.syouten.jp>

六代目蔵元  
代表取締役社長

川 人 裕 一 郎

☎  
768-  
0022

香川県観音寺市本大町八三六番地  
TEL 〇八七五(二五)二四八七  
FAX 〇八七五(二五)二四八七

川鶴酒造株式会社

e-mail: [kura@kawatsuru.com](mailto:kura@kawatsuru.com)  
[yu-kawahito@kawatsuru.com](mailto:yu-kawahito@kawatsuru.com)



## (有) 本場かなくま餅 福田



香川県観音寺市流岡町1436-2

TEL 0875 (25) 3421

FAX 0875 (25) 3703

生うどん、全国配送承ります。

電話、FAXにてご連絡下さい。

代表 福田 伸夫 親一・18回(昭和42年)

石川特殊特急製本株式会社

代表取締役

石川 敬一

☎ 540-0014

電話 〇六(六七六二)五八五一(代表)  
大阪市中央区龍造寺町七一三八

URL <https://www.issmain.co.jp>

株式会社櫻製作所

会長 井上 理文

〒532-0022 本社

〒101-0044 東京営業所

大阪市淀川区野中南二丁目七番十二号  
TEL大阪 〇六三〇二一五三二番代委  
東京都千代田区神田東松下町三七一三  
星野ビル二階  
TEL東京 〇三三五六一七二四六番  
FAX大阪 〇六六三〇二一五三二〇  
東京 〇三三二五六一七二四七

真鍋 良子

〒556-0002

大阪市浪速区恵美須東三丁目六番十三号  
TEL 〇六(六六四一)七八九三

医療法人 真志会  
大岡内科医院  
院長 大岡 暉子

〒663-8141 西宮市高須町二丁目一十一番  
電話 〇七九八(四二)五二二一  
〒663-8124 西宮市小松南町一十三番二四  
電話 〇七九八(四二)〇八九六

(観一・8回)

(観一・7回)

(観一・1回)

石部 勝

〒581-0833

八尾市旭ヶ丘二丁目五九一―二  
電話 〇七二(九九八)八二四九

オーツケミカル株式会社

代表取締役 合田 房雄

〒592-0013

大阪府高石市取石五丁目九番一号  
TEL 〇七二二(七五)一一七〇  
FAX 〇七二二(七五)一一七六

竹広 内科

竹広 猛

〒573-1106

枚方市町楠葉一丁目六一―〇  
(くずは駅前マクドナルド駐車場筋向)  
TEL 〇七二(八五六)五一五一(代)  
FAX 〇七二(八五六)五一五九

(観一・9回)

(観一・9回)

(観一・9回)



大阪商工信用金庫

会  
長  
片  
桐

陽きよし

(観一・10回)



合 田 皐 月

☎ 561-0858

大阪府豊中市服部西町2-2-21

TEL 06(6862)9090

E-Mail info@zenigataudon.com

URL http://www.zenigataudon.com

(観一・10回)

毎友会 会員

小  
野  
喬  
啓

☎ 573-0106

枚方市長尾台一丁目十五番十三号

TEL 〇七二(八五八)二二一一

E-mail:ono@eto.conet.ne.jp

(観一・11回)

ワタキューセイモア株式会社本部

顧  
問  
中  
島  
征  
夫

☎ 600-8416

京都市下京区烏丸通高辻下る

薬師前町七〇七烏丸シティ・コアビル七F

TEL 〇七五(三六一)四一三一

FAX 〇七五(三六一)七五二一

(観一・12回)

齊藤クリニックス

(東洋医学・内科心療内科)

院  
長  
齊  
藤  
良  
夫

☎ 534-0027

大阪市都島区中野町四丁目十番六

TEL&FAX 〇六―六三五六―一六一〇

E-mail:dr.yoshio@nifty.com

(観一・13回)

山本特許法律事務所

高  
橋  
憲  
一

☎ 590-0144

大阪府堺市南区赤坂台五丁目五番五号

TEL 〇七二(二九九)四一五四

E-mail:taka-ken1991@sakaizaq.ne.jp

(観一・14回)

藤田修一 税理士事務所

税理士 藤田修一



530-0041

大阪市北区天神橋二丁目北一番二  
号  
八千代ビル東館六階丁号室  
TEL 〇六(六三三三)三五七七  
FAX 〇六(六三三三)三五七六

(観一・16回)

大同日貨株式会社

代表取締役  
社長

細川直哉



596-0074

大阪府岸和田市本町十二番一  
号  
TEL 〇七二(四三二)三二三(代)  
FAX 〇七二(四三二)九五三六  
E-mail:hosokawa@dai-do-nikka.co.jp

(観一・22回)

石川公認会計士事務所

公認会計士  
税理士

石川恒



532-0004

大阪市淀川区西宮原二丁目六番二  
号  
TEL 〇六(六三九九)五六一〇  
FAX 〇六(六一五二)九六六〇

(観一・24回)

岩本税理士事務所

税理士 岩本憲二



543-0056

大阪市天王寺区堀越町八丁目北二〇番  
三  
サンクレールナンガ六〇三  
号  
TEL 〇六(六七七七)一六三一  
FAX 〇六(六七七七)一六三二  
携帯 〇九〇(四二七三)七七八八

(観一・25回)

矢野歯科医院

歯科医師

矢野善之



569-1144

大阪府高槻市大畑町一  
一〇  
TEL 〇七二(六九四)〇二〇二  
<http://www.yanoshikain.com>

(観一・36回)



# 協賛金ご寄付に賛同いただいた方々(令和二年七月現在)

観音寺本部観一・17回 大久保健二 観一・8回 脇 剛司 観一・13回 岩津 真人

京阪神支部

三女・42回 大場 都 〃・8回 北村 春代 〃・15回 中野 祥蔵

〃・44回 岸部 正枝 〃・8回 三好テルミ 〃・15回 野口 泰孝

観一・3回 田岡 稔 〃・9回 大西 勝 〃・15回 平口 勲

〃・3回 大西 玲子 〃・9回 西庄 俊三 〃・15回 福田 有治

〃・4回 井下 勝男 〃・9回 岡下 信子 〃・16回 大西 和明

〃・5回 高橋 啓 〃・10回 三宅 潔 〃・18回 香川 幹夫

〃・6回 加嶋 廣繁 〃・10回 片桐シズ子 〃・19回 田中 道雄

〃・6回 佐藤 益子 〃・11回 合田 洋一 〃・19回 中西 良一

〃・7回 小山 禎朋 〃・11回 高橋 芳子 〃・20回 鎌倉 史郎

〃・7回 吉本 哲明 〃・11回 村上美恵子 〃・23回 山下恵利子

〃・7回 東 美千子 〃・12回 井川 満 〃・25回 長野 寛之

〃・7回 真鍋 良子 〃・12回 森川 和則 〃・34回 上田 憲

〃・8回 木下 雅道 〃・13回 岩倉 煌一

〃・8回 畠中 康行 〃・13回 高畑 紘志

この協賛金は、同窓会の運営費や巨額発行費用などに、使わせていただいております。今後とも、より多くの皆様方のご協力をお願い致します。

令和元年度 観一高同窓会京阪神支部 総会・懇親会に景品をご提供頂いた方々

① 香川県知事賞	香川県知事	観一・22回	浜田 恵造 様
② 香川県議会議員	〃	・22回	高城 宗幸 様
③ 観音寺市長賞	観音寺市長	〃・15回	白川 晴司 様
④ 三豊市長賞	三豊市長		山下 昭史 様
⑤ 株式会社 味のちぬや	代表取締役会長	〃・18回	今津 秀 様
⑥ 有限会社 本場 かなくま餅 福田	代表	〃・18回	福田 伸夫 様
⑦ 有限会社 花梅	代表	〃・18回	浜田 友造 様
⑧ 島産業株式会社	代表取締役	〃・22回	島 憲吾 様
⑨ 株式会社 合田工務店	代表取締役専務	〃・22回	合田 耕三 様
⑩ 株式会社 キョーワ	代表取締役	〃・33回	加地 正人 様
⑪ 有限会社 満久屋 豊浦商店	六代目取締役職人	〃・37回	豊浦 孝幸 様
⑫ 川鶴酒造株式会社	六代目蔵元代表取締役	〃・38回	川人裕一郎 様
⑬ 株式会社 紀州屋	専務取締役	〃・52回	中上 茜 様
⑭ 合同会社 入江こうじ製造所	業務執行役員社長		入江 克典 様
⑮ 福弥蒲鋒株式会社	代表		福島加寿子 様
⑯ 株式会社 志満秀	代表取締役社長		島 光男 様



⑰ 田野屋中橋造酢株式会社

代表取締役

中橋 康一様

⑱ 福井生麵所

代表

福井 清様

⑲ 株式会社金子食品

代表取締役

金子 幸史様

⑳ 伊吹観光ガイド

観一・22回

三好 兼光様

（ご提供ありがとうございました。）





## 目次

同窓会総会風景				
香川県立三豊中学校校歌	4			
香川県立三豊高等学校校歌	5			
香川県立観音寺第一高等学校校歌	6			
コロナ禍と日本人				
観一高同窓会京阪神支部会長				
昭 34	片桐	陽	7	
ご挨拶				
観音寺一高同窓会会長				
昭 41	大久保健二		11	
観音寺一高の現況報告				
観音寺第一高校 校長				
昭 55	土井	理裕	14	
知事・市長からのメッセージ				
新・せとうち田園都市創造計画の仕上げに向けて				
香川県知事	昭 46	浜田	恵造	22
観音寺市の未来に向けた投資				
観音寺市長	昭 39	白川	晴司	26
幹事長ご挨拶				
幹事長を去るにあたり	昭 38	高橋	憲一	38
新幹事長の就任あいさつ	昭 40	藤田	修一	54
観一高クラブ活動報告				
ESS部		ESS部顧問	須藤	理帆
卓球部		卓球部顧問	増田	佐知子
ESS部顧問			56	
卓球部顧問			57	
母校の思い出シリーズ				
伝統 陸上部での部活体験記	昭 35	渡辺	絃一	60
エッセイ				
天国の夫に感謝の日々	昭 18	鈴木	知都子	68
上海・蘇州の再訪見聞記	昭 25	井上	理文	70
一夜庵全国青少年俳句大会について				
昭 30	大西	馨	82	
コロナを迎え撃つ 「戦いの原則」と指揮幕僚体制				
昭 31	齋藤	文一	86	
三豊市長 山下 昭史				32

じいちゃんのたわごと	昭 34	岸井 清純	90
私とヨーガ	昭 35	高橋 勝久	93
新型コロナと私	昭 36	森川 善弘	96
自転車を楽しむ	昭 36	井川 満	98
曹操について	昭 37	高畑 紘志	104
和歌山城散策	昭 37	岩倉 煌一	109
人と自然環境にやさしく	昭 39	野口 泰孝	113
古代大阪の地形の変遷	昭 40	中西 豊	126
社会生活の変化と田園都市構想	昭 45	田井 浩一	130
昭和45年（1970年）アポロ前後のこと	昭 46	石川 公一	135
文武両道（観一対大宮）夢甲子園	昭 46	石川 公一	140
能登石動山	昭 46	宮崎 浩二	176
シラン（紫蘭）の育種	昭 46	清水 康司	178
60年前の我村ときわ	昭 46	安藤 久志	184
高校生活とクラブ活動	昭 46	平山 文夫	186
且坐喫茶	昭 46	高谷 祥子	189
ポストコロナ禍の日本の未来にむけて	昭 49	長野 寛之	191

観音寺の今昔	昭 49	真鍋 泰明	196
出前授業11年	昭 58	筒井 和光	200
東久邇宮記念賞受賞！世界初・東カリブ海クルーズ船でエレクトーン演奏実現！そして新たな挑戦！！	平 10	高橋 亜紀	204
「わかりあえない」の裏側に	平 22	小西 慶信	209
ちよつと一服	昭 40	藤田 修一	214
第69回 観一祭 デカンショ節	昭 40	藤田 修一	214
ふるさとからの便り	昭 40	藤田 修一	214
観音寺市の地方創生について	昭 40	藤田 修一	214
観音寺市政策部ふるさと活力創生課	昭 40	藤田 修一	214
ふるさとで頑張っています	昭 40	藤田 修一	214
建築と生物多様性	昭 54	菅 徹夫	224
令和元年度卒業式祝辞	昭 63	河田圭一郎	228

文芸コーナー（漢詩・俳句・短歌・川柳・狂歌）

（漢詩）漢詩四題	昭 33	高嶋	睦風（睦徳）	234
（俳句）一八（いちはつ）	昭 28	富士田浩子		238
（俳句）春暁	昭 30	佐藤 益子		238
（短歌）五月の自然	昭 35	大西 弘子		239
（短歌）あるいてゆく	昭 43	鈴木マチコ		239
（川柳）無題	昭 37	高井 洋蔵		240
（川柳）無題	昭 37	高畑 紘志		240
（川柳）故郷のなまり懐かし 方言	昭 39	野口 泰孝		241

同窓会報告

同窓会とは何ぞや 関西観八会の記録	昭 32	矢野 一之	244
-------------------	------	-------	-----

京阪神支部総会・懇親会に参加して

京阪神支部同窓会に参加して&近況報告

平 15	安藤 秀昌	252
------	-------	-----

令和元年度総会・懇親会のご報告

令和元年度当番幹事

昭 47	山下恵利子	256
------	-------	-----

あとがき



# 香川県立三豊中学校校歌

堀 沢 周 安 作詞  
若 狭 萬次郎 作曲

## 一、長瀬寄する燧灘

彩雲なびく巨巖山

海山遠く見渡して

聳え立ちたり我が校舎

三豊の平野草も木も

直なる中に顕れて

己が力を伸ばし行く

若き益荒雄茲にあり

## 二、財田川のさらさらと

流るる水を顧みて

吾等も断えず体を鍛へ

いよよ磨かん智を徳を

松風清き琴弾の

神の御前に額づけば

木の間の月は進むべき

道を照して光あり



三 中 本 館

# 香川県立三豊高等学校校歌

器にはしたがひながら巖をも

とほすは水のちからなりけり

この秋は嵐か雨かしらねども

けふのつとめに田草とるなり

敷島の大和錦に織りてこそ

からくれなるの色もはえあれ



三女正門

# 香川県立観音寺第一高等学校校歌

脇 太一 作詞  
服部 正 作曲

## 一、青雲句ひ

さぬき山脈<sup>やまなみ</sup>  
叡智<sup>えいち</sup>のひとみ  
憧<sup>あこが</sup>れ強く  
集<sup>いっしょ</sup>へり生命  
我<sup>われ</sup>らに燃<sup>も</sup>ゆる  
陽<sup>ひ</sup>に映<sup>うつ</sup>ゆる  
仰<sup>あや</sup>ぎつつ  
さわやかに  
羽<sup>は</sup>ばたきて  
若<sup>わか</sup>きもの  
希望<sup>のぞみ</sup>あり

## 二、大瀬戸清き

新潮<sup>しんしほ</sup>に  
若<sup>わか</sup>き日の幸<sup>さち</sup>  
智<sup>ち</sup>徳<sup>とく</sup>をみかき  
誠<sup>まこと</sup>は篤<sup>あつ</sup>き  
伝<sup>でん</sup>統<sup>とう</sup>花<sup>はな</sup>と  
我<sup>われ</sup>らに高<sup>たか</sup>き  
歌<sup>うた</sup>ひつつ  
身<sup>み</sup>をきたへ  
友<sup>とも</sup>愛<sup>あい</sup>に  
咲<sup>さ</sup>きかほる  
矜<sup>けい</sup>持<sup>ぢ</sup>あり

## 三、財田の流れ

澄<sup>すみ</sup>むほとり  
文化<sup>ぶんか</sup>豊<sup>ゆたか</sup>かに  
眞<sup>まこと</sup>理<sup>り</sup>をもとめ  
理想<sup>こころ</sup>に挙<sup>あ</sup>る  
高<sup>たか</sup>邁<sup>まい</sup>自主<sup>しゅしゅ</sup>の  
我<sup>われ</sup>らに重<sup>おも</sup>き  
啓<sup>あきら</sup>きつつ  
澆<sup>しやう</sup>刺<sup>し</sup>と  
眉<sup>まゆ</sup>あげて  
道<sup>みち</sup>を往<sup>むか</sup>く  
使<sup>つか</sup>命<sup>めい</sup>あり



正 門



# コロナ禍と日本人

観一 高同窓会京阪神支部 会長 観一・10 回 片桐 陽

(昭和34年卒)



コロナ禍に見舞われる中、皆様におかれましてはお変わりなくご壮健で過ごして  
ようか、お伺い申し上げます。

コロナウイルスの蔓延という一年前には想像すらなかった事態に遭遇し日本はじめ  
世界各国はその脅威に慄いています。今回の災禍は世界を変え人類の歴史をも変えるこ  
とになるのではないかと危惧しています。人類の英知は科学技術を進歩発展させ、遂に  
は生命の誕生から宇宙の開発をも可能とするという幻想すら抱かせてきました。神の領  
域への挑戦のようにすら思われますが、目にも見えない微細ウイルスの前にこれほど人間は無力であったことを知ら  
され、改めてその傲慢さ弱さ愚かさを知らされる感を禁じえません。

コロナ禍の世界的蔓延の結果、オリンピック・パラリンピックの開催が一年間延期され、選抜高校野球・全国高校  
野球大会が中止されました。プロ野球も開幕が延期されるほか、スポーツの各分野で開催の延期・中止が決定され、  
学校教育の面でも授業日数の減少対策から遂には9月新学期説までもが議論されるようになりました。

ウイルスの蔓延拡大を防ぐため全国的に緊急事態宣言が発せられました。人と人との接触を大幅に制限したことの

経済的社会的影響は甚大で各方面で深刻な事態が生じてきました。経済活動の低下は企業倒産を続出させ、その結果働き場を失った失業者が多発しています。またアルバイト収入の途絶えた学生は就学費負担に耐えられず中退する者が数多く発生するだろうといわれています。この深刻な事態に対応するため政府は国の将来を懸けて、企業支援、雇用対策等前代未聞の財政支援を決定したところです。

今回のコロナウイルスの世界的流行から何を学ぶべきか、何が示されているのかと考えています。それは多分現代社会の在り方、人間の在り方生き方の根本が問われているのではないかと思うのです。人間の歴史は戦争の歴史であるといわれますが、世界規模の大戦は半世紀以上発生しておらず、我々は歴史的にも稀にみる平和な時代を送っているといえるべきでしょう。特に我が国はあの大戦から70有余年、平和で豊かな環境に恵まれてきました。今回の深刻な事態に遭遇し、平和の時代を生きる我々はあの時代を命を懸けて生きてこられた先輩たちに思いを致すべきだと諭されているように思われてなりません。あの戦争には不本意にも参戦を強いられ犠牲となった人も多かったことでしよう。しかし、心ならずも与えられたその場では人のために役立ちたい、人に喜ばれたいとの思いで多くの人は懸命に生きたのではないかと思うのです。今回の災禍は余りにも自由で豊かな時代を野放図に生きる我々に対して、理不尽と思われる状況下で如何に生きるかという厳しい問い掛けがされているのではないかと思えてなりません。

コロナ禍の渦中であって、人の命と健康を守るため自身の生活を犠牲にしても日夜懸命に尽力しておられる医師はじめ医療従事者の奮闘ぶりが報道されるたびに、その人たちに敬意を表するとともに感謝を覚えざるを得ません。その人達の活躍ぶりを拝見するにつけ、人に役立ち、人のために生きることと美学とする我が国のDNAは健在なりと何か誇らしく感じているところです。コロナ患者の死亡率が海外諸国に比し我が国は圧倒的に低いことが伝えられま

すが、このような人の真摯な努力のお陰ではないかと感謝を禁じえません。

我が国には古くから人に対する思いやりをもつ心情が大切にされる風土が培われてきました。しかし、戦争のない平和な時代となり人々は心よりも豊かさを求めるようになりました。資本主義経済は市場主義経済へと変貌し、人々の意識と行動も微妙に変化が生じてきました。「カネさえあれば何でもできる」と豪語する若手経営者が理想の経営者と称賛され、若者からはアイドルのように仰がれる存在となる時代が到来しました。「武士は食わねど高楊枝」という古来の美学はもとより「カネは大切だがその作り方こそが大切である」とする日本の経営理念は久しく声を潜めてきました。しかし、今回のコロナ禍は「日本人の魂健在なり」ということを奇しくも海外に喧伝する好機となったのではないかと思うのです。

敗戦後、わが国が国際舞台に復帰できたのは吉田茂総理の存在が大きかったといわれていますが、吉田総理が吉田総理たり得たのは影の参謀白洲次郎氏あつてのことだと伝えられています。白洲氏はカネにも名誉にも恬淡としており、自身のことを顧みず常に正義を貫き通しました。野蠻国のレッテルが貼られた弱小国が戦勝国と対峙する至難の業を見事果たした彼が事に処するにあつての判断基準にしたことは「プリンシプル（道義、原理）」であつたといわれています。相手が誰であらうと何が正義か、人間はいかにあるべきかを基準に判断していたとのことでした。

アフガニスタン難民救済のため医療チームを結成しハンセン病治療を中心とした貧困層の診療に当たってきた中村哲氏の著書「天、共に在り」に接しました。九州で精神神経科医師として医療活動をしていた時、ある患者から「生きるこのの意味が分からないのです。先生はなぜ生きているのですか」と質問され、医師としてのそれまでの生活に疑問を感じ「一人で成り立つ自分はない。自分を見つめるだけの人間は滅ぶ。他者との関係において自分が成り立つ



ている」との思いに至り、昆虫採集に野山を駆け巡った少年時代のこと、登山好きの友と登山を楽しんだこと等を思い起こし、彼はヒマラヤに近いアフガニスタンに渡り劣悪な医療環境での地域医療に取り組むことにしたと語っています。医療活動以前に住民の健康管理が必要、そのためには健康な水の確保が必要、そのためには水源確保が必要と考え、砂漠の中に全長25キロの灌漑水路完成までの苦労話も語られています。アフガニスタンに移り25年、砂漠地が緑地になり豊かな国となる途上、彼は凶弾に倒れ還らぬ人となりました。アフガニスタンの人は勿論、彼の成した偉大な事業を通し日本人の素晴らしさを讃える人が世界で増えているといわれています。

日本には「着飾るから美しいのではなく、人のために生きることが美しい」とする美学があります。私たちが生まれ育った観音寺にはそれがありません。そのような環境に育ったことに誇りと感謝を覚え、その文化をいつまでも大切に育んでいきたいものです。そして、次の世代を担う学生たちにも、自信をもってその文化を継承してほしいと願うばかりです。

## ご挨拶

観音寺一高同窓会 会長 観一・17回 大久保健二

(昭和41年卒)



京阪神支部のみなさん、お元氣にてお過ごしでしょうか？

昨年一年間は皆様のご協力により同窓会の運営が順調にすすみましたこと、厚くお礼申し上げます。また盛大な支部総会にお招きいただき、重ねてお礼申し上げます。限られた時間ではありましたが、皆様とお話することができ、かけがえのない時を過ごすことができました。

ご承知のように、今年度は我らが観一の創立120周年という記念すべき年でありました。ところが思いもかけぬ新型コロナウイルスの感染拡大により、大半の行事は中止せざるを得なくなってしまうしました。理事会・幹事会は書面決議とさせていただきますし、5月の同窓会総会も現在の形になってから初めて中止とさせていただきます。当番年次のみなさんには一年前から入念に準備して頂いてましたが、スライドして来年度総会のお世話いただくようお願いすることとなりました。更には11月1日に予定していました創立120周年記念式典についても中止せざるを得なくなってしまう、誠に残念でなりません。貴支部をはじめ、各支部総会も大半が中止となり、同窓生のみなさまが親しく懇談する機会がなくなったことは寂しくもあり残念至極なことであります。コロ

ナ対策で仕方のないこととはいえ、同窓会活動のみならず、人と人とが親しく交わる機会が奪われる現状を深く憂慮するところです。オンラインでは決してできないものがその中にはあるように思われ、一日も早い収束が望まれるところ です。

この数か月よく使われる言葉の代表格が「不要不急」ではないでしょうか。公演ができなくなった文化芸術に携わる人たちの多くが、自分たちがやってきたことは世の中に必要なことなのか、真剣に悩んだと聞きます。毎日食べることが必要ですし、水もしっかりです。でも音楽や舞台がなくても暫くは辛抱できます。同じ飲食でも、お店へ行つての飲食も暫くは辛抱できます。家で食べ飲めばいいのですから。そんなことを考えていると、「不要不急」の意味するところが私の中で少し変わってきました。「不要」は必要がないですし『不急』は取り合えず急ぎではないということなのかと。私たちの生活や行動で「不要」なものは極端に少なく「不急」なものは沢山あると気づかされました。半日の「不急」、2〜3日の「不急」、1か月の「不急」と人により事柄により変わってきます。私たちの生活の大半が「不急」なもので成り立っているといっても過言ではないとすら思われます。生きるための栄養であれば一人で食べても友人と食べても変わりはないはずです。でも私たちは会話を楽しみながら食事をするのを好みます。CDで音楽を聴くと無性に生演奏を聴きたくなります。まったく「臨場感」が違いますから。日々の仕事においてすら私たちは「自己実現」「充実感」「達成感」を求めています。人間は感情の動物と言われますが、最低限必要なものがあれば、大半は心を満足させるべく活動してきたのだなと、今回の新型コロナウイルスが教えてくれた気がします。（もちろん先進国、民主主義国家と言われるところにおいての話ですが）

コロナウイルスも大変怖いですが、人と人との関わりがさらに薄くなり、メンタルディスタンスが次第に広がって



行くことはこの上なく怖いことのように思えます。一日も早くコロナが収束し、節度を保ちながら自由に活動できる日が来ることを熱望するものです。

個人的には、趣味のマラソンがすべて中止になってしまい、いつ再開されるかもわからない状況です。古希を過ぎ、相変わらず80歳でフルマラソンを走ることを目標にしていますが、体力の衰えとの戦いが続く日々であります。そんな中でも、瀬戸内海に沈む夕日を眺めながら有明浜を走ると、その美しさ・神々しさに思わず手を合わせてしまいます。本当に癒されます！ 幸せな気持ちにさせてくれます！

冒頭に書きましたように、ほとんどの同窓会行事がなくなっていましたでしたが、決して「不要」な活動とは思いません。母校や後輩たちにとって欠かせないものですし、同窓生同士にとっても欠かせないものだと思います。当面は新型コロナウイルス対策を心掛けながらの運営に努めてまいります。京阪神支部の皆様にも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝ご多幸をお祈りし挨拶いたします。

# 観音寺一高の現況報告

観音寺第一高校 校長 観一・31回 土井 理裕

(昭和55年卒)



観音寺一高同窓会京阪神支部の皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

私は、第三十一回（昭和五十五年三月）卒業の土井理裕です。母校観一には、平成八年度から十四年度まで教諭として勤務しておりました。平成三十年度から教頭として再び勤務することになり、この度の異動で、校長として学校運営にあたることになりました。思えば、深い旧校舎のあった敷地には、新しい校舎・体育館が建ち並んでおり、全く新しい高校になったかのように感じますが、実際に勤務してみると、樟樹が迎えてくれる昔と変わらぬ環境の中で、「質実剛健」な校風が脈々と受け継がれていることを観一生が教えてくれます。嬉しい限りです。これからは、卒業生として母校の運営に関われることに誇りと使命をもって観一の更なる発展のために尽力したいと存じます。

さて、観音寺一高の現況ですが、今年は新型コロナウイルスの影響で三月二日より学校は休業となりました。四月一日からは部活動が再会でき、四月六日の始業式で二・三年生が学校に戻り、翌日の入学式で一年生を迎え、七百五十九名（全日制課程七百十五名、定時制課程四十四名）の観一生により令和二年度を始めることができました。ところが、緊急事態宣言の発令により、四月十三日からは再び学校の休業という事態になりました。休業期間中には、感

染拡大防止の徹底を行った上で登校日を設けるだけでなく、ICT機器を活用して、個人面談や学習指導を行うなど、生徒の休業中の生活や学習への支援に取り組んできました。

六月一日から、新しい生活様式の中での学校の再開となりました。できないことが多い状況ではありますが、観一生は学校生活を送れることに喜びを感じ、日々の学習や部活動に励んでいます。実質二十六日分の学習の遅れを取り戻すために、夏休みを八月八日～八月二十四日に短縮して、授業の補填を行いました。ただし、八月十八日～二十四日には夏期課外を行いますので、実質的な夏休みは十日間です。また、新型コロナウイルス感染症防止のため、観一祭を始め、芸術鑑賞会、加藤杯、海外科学体験研修（二年理数科）など生徒が楽しみにしている多くの学校行事等を中止・縮小せざるを得なくなりました。観一祭の中止については、ウェブ上に、学芸部等の成果発表の場として「ウェブ観一祭」を観一生への限定公開として設けることにしました。吹奏楽部を始め多くの学芸部等が活動の様子を公開する予定です。また、「デカンショ踊り・民謡踊り」については、伝統行事を何とかして今年の三年生にも体験させたいとの思いで、生徒へのアンケート結果・要望を踏まえて、九月八日に体育の授業で非公開・接触を避ける隊形・衣装着用にて実施することとしました。約九割の三年生が参加します。

今年、十年後の観一を見据え、育てたい観一生像や身につけさせたい力などを検討し、スクールポリシーを策定しました。スクールポリシーでは、昔から変わらない「文武両道の学校生活」とSSH事業を中心に据えた「探究心を涵養する学校生活」の中で、卒業までに、幅広い知識と教養、課題発見・問題解決力、コミュニケーション能力、レジリエンスを身に付け、“探究心をもって「学び続ける人」”を育てることと定めました。不易と流行、伝統を守りつつ新しい観一の歴史を刻んでいきたいと考えています。ここからは学業と部活動について報告いたします。



今年三月における進学実績は、過年度生を含め、国公立大学に百七名、私立大学にのべ四百三十八名が合格しました。国公立大学、私立大学いずれも昨年とほぼ同様の結果となりました。東京大学文科二類への現役合格を始め、難関校にも多数の合格者が出ており、健闘できたと思っています。

平成二十三年より指定を受けているSSH事業は、「高い志の育成」、「科学的探究力」、「国際性の育成」の三つを柱として、未来の科学技術系人材の育成を目的に今年度二期目の四年目に入りました。三年目の中間評価では、六段階の評価の上から二段階目の「これまでの努力を継続することによって、研究開発のねらいの達成が可能と判断される」との評価を得ました。理数科のみならず、普通科（文系・理系）も含めて学校全体で行う課題研究も定着してきており、二月の課題研究発表会では、地域課題に着目した課題設定も多く発展性があると評価をいただきました。今年度のSSH生徒研究発表会（全国大会）はウェブ審査となりました。「生物（植物・農学系）分野」の発表が百二十二本の発表の中から上位六校に選ばれ、昨年度の「数学・情報分野」での発表



「MAiZMへのSSH課題研究報告会」（オンライン）

に引き続き審査委員長賞を獲得しました。二年連続の受賞は全国で三校目の快挙です。また、日本統計学会スポーツデータ解析コンペティション中等教育部門では、五年連続の最優秀賞は逃しましたが優秀賞を受賞するなど、多くの大会やコンクール、コンテストで入賞し、成果もあがっております。また、昨年度より文部科学省の指定を受けて始まった、「科学技術人材重点枠（広域連携）」（四国初、全国で十八校）事業においては、「統計・データ活用やデータ分析に基いて、新たな価値を創造する次世代イノベーション人材の育成」を目的として、滋賀大学や「一般社団法人みとよA I社会推進機構」（M a i z M）と連携を築き、様々な取り組みを行っています。昨年度は、「第一回 F E S T A T（全国統計探究発表会…七月実施）」に加え、「東京データイノベーション研修（T D I）」を十二月二十四日～二十六日に実施しました。生徒二十四名（一年生十八名、二年生六名）が参加し、i:schoolのアイデア創出のワークショップ、A N A企業訪問など忙しくも楽しい日間を過ごしました。今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、多くのS S H事業が従来通りには実施できなくなりました。他のS S H校が事業を中止していく中、大学との連携等で培ってきたI C T機器の活用により、オンラインやオンデマンドで事業の実施に取り組みました。七月には、理科三年生対象の「S S H課題研究発表会」や「M a i z MへのS S H課題研究報告会」、さらに「第二回 F E S T A Tキックオフイベント」を実施しました。九月には「第二回 F E S T A T」を、十二月には「東京データイノベーション研修（T D I）」を計画しています。また、中止となった「海外科学体験研修」（理数科二年生対象）については、オンラインでの「デュアルテ高校との英語での課題成果研究会」の実施に向けて、C O Hの山口先生と調整中です。コロナ禍のために越えられなかった太平洋を、I C Tの力で越えて、アメリカの高校生との交流を実現させます。生徒は英語での課題研究発表を楽しむに於いて準備を進めています。

部活動では、学校休業期間中に、県高校総体、インターハイ、そして夏の甲子園大会も中止となりました。また、学芸部の全国大会やコンクール等も多くが中止となりました。運動部では、多くの競技で代替大会が開催され、サッカー部、陸上部、バスケットボール部、バレーボール部、卓球部、ソフトテニス部、柔道部、剣道部、山岳部、アーチェリー部、野球部、バドミントン部などが参加しました。ただし、代替大会は七月十五日以降の開催であり、六月中旬からは放課後に三年生対象の課外が始まったこともあり、多くの三年生が代替大会を待たずに部活動からの引退を決めました。代替大会では、サッカー部が強豪校のひしめくブロックを勝ち上がり見事ベスト八への進出を果たしました。また、野球部は三回戦進出を果たしました。学芸部については、全国高等学校総合文化祭がウェブでの開催となり、美術部、写真部、邦楽部が動画等で参加しました。吹奏楽部は第五十九回サマーコンサートを九月五日に観音寺市民会館（ハイスタツフホール）にて、参加者限定にて開催しました。

ところで、現中学3年生を対象とした高校入試より、全国からの生徒募集を始めます。今回は、自己推薦選抜で六名、一般選抜で六名を合格者の上限として、普通科と理数科を一括でくり募集します。県内中学生の定員とは別枠での募集です。転住型と自宅通学型の二つのパターンを想定しており、隣接する四国中央市や三好市からの受検を期待しています。京阪神支部の会員の皆様の中に「お子様を觀一に通わせたい」という方がおいでしたら、是非お伝えいただきたいと存じます。

また、今年度は本校創立百二十周年記念の年に当たります。学校としても協力してまいりたいと考えており、十一月の記念誌の発刊に向けて、「SSH十年の歩み」「旧校舎から新校舎へ」などの特集に加え、この十年間の軌跡、諸先輩方の寄稿などの編集作業を進めています。



最後になりましたが、京阪神支部の皆様には、本校の教育活動に対して日頃から多大なるご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。「ウイズコロナ」という言葉がよく聞かれる中、今後も生徒の安全と健康を配慮しつつ、授業や学校行事などを工夫して、安全・安心に運営してまいりたいと考えています。今後とも引き続きご支援のほどよろしくお願いいたしますとともに、京阪神支部のますますのご発展を祈念してご挨拶いたします。

## 令和元年3月合格実績

(主な大学)

### 【国公立大学】

北海道大学	1
筑波大学	3
東京大学	1
大阪大学	5
神戸大学	1
岡山大学	10
広島大学	3
徳島大学	7
香川大学	21
愛媛大学	8
高知大学	3
九州大学	1
九州工業大学	6
大阪市立大学	1
大阪府立大学	1
香川保健医療大学	3
北九州市立大学	4

### 【私立大学】

青山学院大学	1
慶應義塾大学	1
東京理科大学	5
同志社大学	17
立命館大学	28
関西大学	10
関西学院大学	20

(過年度生含む)



# 知事・市長からのメッセージ

# 新・せとうち田園都市創造計画の 仕上げに向けて

香川県知事 観一・22回 浜田 恵造

(昭和46年卒)



京阪神地区でご活躍の  
同窓生の皆様には、いつ  
も母校を温かく見守って  
くださるとともに、ふる  
さと香川の発展に格別の  
ご理解とご協力をいたしており、厚くお礼を申し上げます。

このたびの新型コロナウイルス感染症においては、亡  
くなられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、  
治療中の皆様の一日も早い快復を祈念いたします。

香川県の感染状況はいったん収束を見せましたが、今

後の第二波、第三波の感染拡大に備え、引き続き、気を  
緩めることなく、県民の皆様の生命と健康、経済・雇用  
を守るため、国や各道府県、県内各市町や関係団体と  
力を合わせ、新型コロナウイルス感染症との闘いに全力  
で取り組んでまいりたいと考えています。

さて、ご挨拶の機会をいただきましたので、紙面をお  
借りして、香川の近況をご報告したいと思います。

新たな「令和」の時代を迎えた今、香川県は、山積す  
る諸課題に直面しています。

一昨年の七月豪雨をはじめ、昨年十月の台風第十九号  
による風水害など、甚大な被害をもたらす災害が全国各  
地で発生しているほか、南海トラフ地震の今後の発生確  
率が高まっており、大規模災害はいつ発生してもおかし  
くない状況にあります。

また、人口減少問題は、人材不足などにより地域の活  
力を奪うばかりでなく、地方における社会・経済活動に



深刻な影響を与え、地方の成り立ちそのものを危うくする「今、そこにある危機」です。

このような状況を踏まえ、香川県では、最終年度を迎える「新・せとうち田園都市創造計画」の仕上げに向け、大きな課題である「災害に強い香川づくり」と「人口減少問題の克服、地域活力の向上」に力点を置き、「信頼・安心のかがわ」、「成長するかがわ」、「笑顔で暮らせるかがわ」の三つの柱のもと、これまで以上の「一層の対策」を講じつつ、取り組んでいるところでです。

具体的には、アプリ開発やAI、IoTの導入などに関する実践的な講座を実施することにより、情報通信関連分野の人材育成を推進するとともに、多様な人材が集い、ソフトウェア等の開発や情報通信関連技術の新たな活用策が誘発されるよう、活動・交流の場を設けるほか、生み出されたアイデアを起業や第二創業、既存企業の競争力強化につなげられるよう、専門家による個別の指導・相談を行う体制を整備したいと考えています。

少子化対策や子ども・子育て支援の推進では、地域の実情、ニーズに応じた施策を実施する必要があることから、これまでの事業効果などを踏まえ、各市町が、計画的に創意工夫をこらした事業を実施できるよう、新たに「新・かがわ健やか子ども基金事業」を実施します。

このほか、保育所等の待機児童の解消に向けては、新たな対策として、幼稚園教諭免許状を有する者に対して保育士資格取得のための特例講座を開設する保育士養成施設を支援し、保育士資格取得者の確保に努めるなど、次代を担う子どもたちを安心して生み、健やかに育てることが出来る「子育て県かがわ」の実現を目指します。

平成元年に開港した高松空港は、昨年十二月に三十周年を迎えました。路線誘致や利用促進に努め、現在では、羽田、成田、沖縄、ソウル、上海、台北、香港の七路線が就航するとともに、国内線搭乗待合室の拡張や、空港前駐車場の一部立体化が完成するなど、積極的な投資も

行われています。今後も、「高松空港株式会社」等と連携・協力のもと、四国・瀬戸内の拠点空港として発展していくよう航空ネットワークの充実等に努めます。

また、四国新幹線の実現に向けては、「四国新幹線整備促進期成会」において、リニア中央新幹線が新大阪まで延伸される二〇三七年を一つのターゲットとして開業を目指すことが決議されました。これを踏まえ、四国各県や経済界、事業者等と連携し、四国一丸となって国や関係機関への要望や機運醸成に取り組み、四国における拠点性の確立を図っていきます。

昨年の県内の交通事故は、発生件数、負傷者数とも前年から減少したものの、死者数は四十七人と三年ぶりに増加に転じ、今年に入っても、昨年を大きく上回るペースで交通死亡事故が発生しており、人口十万人当たりの死者数が全国ワースト上位にあるなど、まさに危機的な事態となっています。

香川県では、啓発動画の作成や街頭キャンペーン等を実施してシートベルトの着用徹底を図るとともに、全国初の試みである路面シート「おもてなシート」を整備し、歩行者に押しボタン式信号機の利用を促すための取り組みを実施するほか、高齢者世帯訪問活動を通じてきめ細かな交通安全指導や反射材用品の利用促進活動など、安全で快適な交通環境の整備を一層推進いたします。

県産品のブランド化の強化や販路拡大では、国内外からの観光客に対して、香川県の食や県産品の販売を促進する「かがわの食」Happyプロジェクト」を新たにスタートさせるほか、量販店等と連携した販売促進活動、アンテナショップの機能充実などを引き続き実施し、県産品の認知度向上などに努めます。

また、大消費地の百貨店やレストラン等でのフェアや食材のプロモーションの開催に加え、トップセールスなどにより、国内での販路を拡大するとともに、近隣アジ

ア諸国を中心に海外での販路開拓にも戦略的に取り組み、販路の拡大を目指します。

ニューヨークタイムズなどの大手メディアにおいて、「瀬戸内の島々」が数多く取り上げられ、昨年開催した、現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭二〇一九」には、国内外から約百十七万人もの方々にお越しいただきました。さらに、世界最大規模の旅行予約サイトでは、旅行先として「栗林公園」などの観光地が高く評価されるなど、世界から注目を集めています。

こうした中、新型コロナウイルス感染症の影響により、落ち込んだ観光需要を早期に回復させるために、これまで各市町や観光関連事業者等と連携し、滞在交流型観光を推進してきた「香川せとうちアート観光圏」事業を軸に、長期の滞在や新たな旅のスタイルを提案するような旅行商品の造成に取り組むなど、将来にわたり、持続可能な香川県観光のより一層の発展のために、力を尽くし

ていきます。

観音寺第一高等学校同窓会京阪神支部の皆様方には、京阪神と香川を結ぶ懸け橋として、郷土香川の飛躍発展に、引き続き、ご支援をいただきますようお願い申し上げますとともに、本年度創立百二十年を迎える観音寺第一高等学校並びに同窓会京阪神支部のますますのご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸を心よりお祈りいたします。



# 観音寺市の未来に向けた投資

観音寺市長 観一・15回 白川 晴司

(昭和39年卒)



〈はじめに〉

観音寺第一高等学校同窓会京阪神支部の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃からふるさと観音寺市の発展に多大なご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

今年、観音寺第一高等学校は、創立から120年の節目を迎えます。私が卒業してから56年が経ちますが、多くの後輩たちが活躍する姿を見聞きするにつけ、喜ばし

くまた心強く感じております。今後母校から様々な分野において活躍する人材が輩出され、市はもとより社会全体の発展に貢献するものと楽しみにしています。

さて、年明け以降、世界中で新型コロナウイルスによる感染症の患者が増加し、国内でも多くの方が亡くなりました。この感染症により亡くなられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された皆様並びにそのご家族の皆様に関心からお見舞いを申し上げます。また、このような状況のなか、治療にあたられている医療従事者の皆様に深く感謝申し上げます。

4月から5月にかけては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため全国に緊急事態宣言が発出され、不要不急の外出自粛や商業施設等への休業要請など、市民生活や地域の経済活動は大きな影響を受けました。そのため、本市におきましては、新型コロナウイルス対策室を設置し相談窓口の一本化を図り、市民の皆様からの問い合わせに対応しております。



また、市民の皆様の生活を支えるため、児童手当や児童扶養手当の金額上乘せ、資金繰り支援制度を利用する市内事業者への給付金の支給、県の休業要請を受けて休業した市内事業者への協力金の支給、市内飲食店が販売する料理をタクシー事業者が配達するサービスへの補助など、市独自の取り組みを進めています。さらに、県外で頑張る本市出身の学生を対象として、市内での食事や土産の購入等に利用できる「観音寺市元氣復活商品券」を交付する事業を行っております。学生の皆様には、帰省の際にこの事業を活用し、ふるさと観音寺が元氣に盛り上がるように応援していただければ幸いです。

市民はもとより全国民が力を合わせ、新型コロナウイルス感染症に立ち向かうことにより、この難局を乗り越えることができるものと考えております。

#### 〈新たな雇用の場の創出〉

かつて観音寺競輪のレースが開催され大いににぎわった、競輪場施設の解体工事を今年度から開始します。工

事完了後には跡地を活用し、まちのにぎわいづくりに寄与する優良企業の誘致に取り組んでまいります。

また、今年1月、香川県により観音寺港南西側で進められていた公有水面の埋め立てが一部竣工し、約6・3ヘクタールの土地が新たに生じました。この埋立地を工業用地として売却するため、香川県と市がインフラ整備を進めており、企業誘致により新たな雇用が創出されることと大いに期待しております。

埋立地を本市の一部とするにあたり、既存の町名ではなく「風瀬町（なぎせちょう）」という新たな名称を付けました。これは、この埋立地が雇用の創出等、今後の市のにぎわいづくりに関して重要であることから、市の将来を担う子どもたちに名付け親になってもraitたいと考え、通学区域内に埋立地を含む観音寺小学校の6年生から募集、決定したものです。「風瀬町」には、『波が穏やかな瀬戸内海のように、まちに穏やかで落ち着いた時間が流れるように』という、子どもたちの想いが込められ

ています。

さらに、埋立地に整備される工業団地の緑地帯を活用し、市民の憩いの場や健康づくりの場となる生涯スポーツ施設の整備を県と連携して検討いたします。



① 観音寺港南西側の埋立地 「凧瀬町」

県により観音寺港南西側で進められていた公有水面の埋め立てが一部完成、観音寺小学校の6年生に名称を募集し「凧瀬町（なぎせちょう）」と命名。

加えて、埋立地への企業立地により、そこに接続する道路の交通量増加が見込まれますので、柞田川右岸の市

道の拡幅やJＲ横断部の高架化などを進めてまいります。これまで取り組んできたスマートインターチェンジの整備については、地域経済活性化と交流促進の中心となるものと考えており、事業計画書を国へ提出するべく関係機関と協議を進めているところです。

#### 〈教育、子育て環境の充実〉

市の未来を担う子どもたちに確かな学びを提供するため、教育環境の充実は欠くことのできない要素であります。施設が老朽化している豊浜小学校について、児童が快適に安心して授業を受けることができるよう、令和4年度の開校に向けて校舎改築工事を進めてまいります。

また、小学校と同様に施設が老朽化している豊浜保育所と豊浜幼稚園については、現在の小学校と幼稚園が建つ敷地内に2施設を統合し、新たに「認定こども園」として建設するための基本設計を行います。

さらに、市内の公立保育所と公立幼稚園の認定こども園への移行に向け体制強化を図るため、子育て支援課内

の「こども未来室」を「こども未来課」に新しい課として組織再編しました。認定こども園へ移行することにより、子どもの成長や保護者の生活状況によって変化する保育や教育のニーズに対して、双方のサービスを一体的に提供できる環境を整えてまいります。

#### 〈地域の活性化に向けて〉

平成27年度から全国で進められている地方創生の取り組みについて、本市は、今年3月に「第2期観音寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。第2期計画では、第1期計画の取り組み結果を踏まえ、人口減少抑制戦略として「活力と魅力あるしごとづくり」、「誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり」また人口減少社会適応戦略として「新たな交流を生むまちづくり」、「持続可能なまちづくり」の4つの基本目標を設定しております。新たな総合戦略に基づき、人口減少の克服と地域活力の向上に向け、地域の特徴を活かした「地方創生」の取り組みをより一層推進してまいります。



② 四国のまんなか！まるごと！かんおんじフェア  
(開催場所：東京都 秋葉原)

アニメを使った地域活性化の取り組みにより培った縁を活かし、秋葉原にてシティプロモーション「四国のまんなか！まるごと！かんおんじフェア」を開催。

また、これまで本市が舞台のモデルとなったアニメ、「結城友奈は勇者である」を活用した地域活性化の取り組みにより培われた縁を活かし、今年2月に「四国のまんなか！まるごと！かんおんじフェア」を東京秋葉原にて開催しました。当日は、多くの方が来場し大盛況であ

りましたので、今後も情報発信の効果的な手法を検討し、本市の魅力を広く知ってもらえるように努めてまいります。

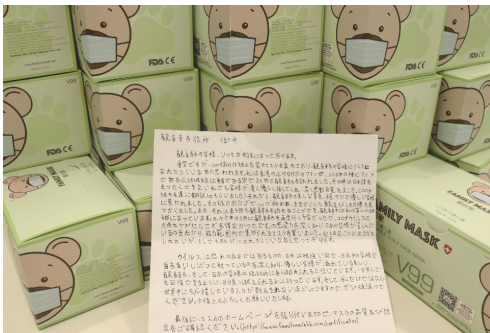
さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりマスクが不足するなか、「結城友奈は勇者である」をきっかけとして、本市を訪れたことのある香港のファンからマスクが寄贈されました。国を越えた温かい心遣いに感謝するとともに、人びとの交流と助け合いの大切さを改めて実感いたしました。

〈おわりに〉

昨年開催されたラグビーワールドカップで日本チームは、「ONE TEAM」を合言葉に決勝トーナメントへ進出する大躍進を見せました。これは選手たちの弛まぬ努力と互いの長所を生かして力を合わせた結果であり、体格に勝る相手をも打ち破る大きな力となる証明でありました。まちづくりにおいても同様で、まちの活性化は、市民と議会、行政が互いの力を合わせる協働なくして成

し遂げることはできません。

本市は、今年で合併から15年を迎え、合併後に採用された職員は全職員の半数以上です。ベテラン職員の豊富な経験と知識、若手職員のアイデアと行動力を融合するとともに、議会や市民の皆様と力を合わせ、それぞれの長所を活かすことにより、本市が発展を続けられるよう市政運営に励んでいます。



### ③ 香港のファンからマスク寄贈

アニメをきっかけに本市を訪問してくれた香港のファンから、新型コロナウイルス感染症対策に役立ててほしいとマスクが寄贈された。



最後になりましたが、観音寺第一高等学校同窓会京阪  
神支部のますますのご発展と、会員皆様方のご健勝、ご  
多幸を祈念いたします。

ミットで、やっぴミット。

く可能性を切り拓くまちづくりく

三豊市長 山下 昭史



三豊市 市章



観音寺第一高等学校同窓会京阪神支部の皆様には、日

頃より、三豊市のまちづくりに対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本年もご挨拶の機会をいただきましたので、誌面をお借りいたしました。

三豊市の近況等についてご報告させていただきます。

世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症との戦いは長期化の様相を呈しており、長期化すればするほど社会経済活動への影響は大きくなります。この国難と

も言える有事が、社会の構造や私たちの生活に大きな変化をもたらす可能性が出てきております。

その大きな変化の一つが、情報通信技術やデータ技術を活用したデジタル化の進展です。感染症の拡大に伴い、全国で緊急事態宣言が発出され、長期にわたり在宅勤務や休校措置が実施されました。今後も感染症の再拡大が懸念されることから、自宅で仕事や学習、コミュニケーションをとることができるテレワークやオンライン授業への需要が急速に高まっております。

三豊市では、感染症の拡大により市内の小中学校で臨時休校が続いていたなか、香川県内の自治体としては初めてオンライン授業を導入しました。インターネット環境の整備ができていないことを理由に反対意見もありましたが、子どもたちの学習とコミュニケーションの機会を優先して確保するために、家庭への通信環境の調査や実証実験を早期に進めたことで、実現することができました。通信の不具合等、様々な課題がありますが、今後、

感染症の再拡大や災害時への対応、国が進めるGIGA（ギガ）スクール構想と相まって、教育分野におけるデジタル化がより急速に進み、また、暮らしの中においてもデジタル化が加速化することが考えられます。このように、私たちの生活が一変することが予想される時にこそ、自治体が市民の皆様より先に対応しておかなければならないと考えています。今、社会で不可欠となっているデジタル化に率先して取り組んでいくために、三豊市では令和2年3月に「デジタルファースト宣言」を行い、今年度から市の施策等への本格的なデジタルの活用をスタートしました。AIやICT等の先端技術や5Gの次世代移动通信システム



市内中学校でのオンライン授業の様子

等、急速に進化・拡大するデジタル領域の力を最大限に活かすために、関係人口施策や市民サービス、自治体運営の各分野におけるデジタル化を優先し、業務に取り組んでいます。関係人口施策の分野では、デジタルマーケティングを活用し、関係人口の創出、移住・定住の促進、観光コンテンツの情報発信、産業振興を進めています。また、市民サービスの分野では、AI・ICT等の先端技術を活用し、市民サービスをより最適な形で提供することで、市民の利便性の向上を目指しています。さらに、自治体運営では、電子化によるペーパーレス化の推進や、RPA等の導入による業務の効率化や高度化を図り、生産性の向上を目指



タブレットを活用した窓口業務省力化実証実験

しています。

また、今後、デジタルの力を積極的に活用するため、昨年4月に東京大学大学院・松尾豊教授のサテライト研究室として開設した「MAiZM」みとよA I社会推進機構と連携し、様々な事業に取り組んでおります。昨年7月には、観音寺第一高校と「MAiZM」との間で、情報処理技術による人材育成・地域活性化に向けた連携協力の合意書を締結しました。昨年のスーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会において審査委員長賞を受賞する等多くの功績を残している貴校とともに、お互いが有する人的・物的・知的資源を有効に活用することにより、A I分野における人材育成が



観音寺第一高校とMAiZMとの合意書締結

より一層進むことを期待しております。そして、昨年12月には「MAiZM」の起業支援を受け、香川高専詫間キャンパスの学生によるA Iベンチャー企業が誕生しております。このような若い起業家たちへの支援とともに、引き続きA I人材の育成と企業や地域の課題を解決できるシステム開発への取り組みを推進してまいります。このデジタル化へのチャレンジが、新型コロナウイルス感染症が変える未来への対応や、三豊市が直面する様々な課題への解決に繋がっていくものと考えています。

私たちは何事にもチャレンジする姿勢を崩さず、また、チャレンジする人を全力で応援しなければならぬと思っています。三豊市では、市民の皆様が豊かさと誇りを感じることが出来るまちづくりの設計書として「三豊市第二次総合計画」を策定し、様々な施策を展開しています。この計画では、目指す将来像を「One MITOYO心つながる豊かさ実感都市」としています。この目指す将来の世界観をより分かりやすく発信するコンセプトメ



ツセージとして、この度、「ハトヨで、やっつハト。」というスローガンを新たに作成しました。これは、自らの可能性を自分で否定せず、自分を信じ、夢や希望に向かいチャレンジすることができる場所がここ三豊市であるということ、そして、それを私たちは全力で応援しますという意味を込めています。市民の皆様が豊かさを感じ、未来に向かって夢や希望を持ち、叶えることができるまちづくりに邁進してまいります。

私たちを取り巻く社会情勢は今、凄まじい速さで変化しています。私たちは、まちづくりを進めていくなかで、周辺で起こっているあらゆるものに対し、備え、順応しなければなりません。そのためには、

今までのような行政の取り組み方ではその変化に対応できないと考えており、攻めの姿勢を崩さずに全力で取り組まなければなりません。その取り組みの一つとして、様々な交通弱者を支援するための次世代運行サービス

三トヨで、  
やっつ三ヨ。

「Mas」の導入に向け、さまざまな企業と連携した取り組みをスタートしております。また、農業分野においては、令和2年6月に「みとよ薬用作物栽培研究会」を発足し、栽培技術の向上や生産性の効率化等を図り、三豊市を薬用作物の産地とすることを目指した取り組みを始めております。そのほかにも、農作物の栽培データ管理や農作業のICT化や、6次産業化を推進する「みとよのみ」プロジェクトをスタートさせるなど地域の農業を変えていく試みも始めています。

このような攻めの姿勢でチャレンジした結果は、未来の子どもたちが暮らす社会そのものに繋がっていきます。縮みの思考のまま、諦めの思考のままの未来を子どもたちに引き継ぐのか、希望や夢が叶うワクワクする未来を引き継ぐのか、その答えは明らかです。すべての事柄に総力戦で対応し、市民の皆様一人ひとりが夢や希望を叶えられることを目指し、職員とともに一丸となって励んでまいります。

最後になりましたが、観音寺第一高等学校同窓会京阪  
神支部のますますのご発展と、会員皆さま方のご健勝、  
ご多幸を祈念申し上げますとともに、今後とも、ふるさと三豊の発展に向けて、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

幹事長ご挨拶

## 幹事長を去るにあたり

観一・14回 高橋 憲一

(昭和38年卒)

### はじめに

私が同窓会の幹事になったのは、現在名誉会長 守谷公男様が会長で12年前に成りますが、今は亡き先々代幹事長の合田英之さん(三中40回)から熱心なお誘いがあったて幹事を引き受けていただきました。

その後は、前幹事長の脇剛司さん(観一8回)を中心とした幹事さん達と共に、故合田幹事長が長年に渡って築き上げられた同窓会誌「巨鼈」の継続と総会・事務局の内容を改革してきました。

私は、偉大な先輩の後を引き継いで幹事長という重責を担うことになりましたが、私のような浅学非才な者に幹事長が務まるのかと周囲からの不安を感じるとともに、

見えぬ希望を抱きながらこれまで先輩たちが築き上げてくださった「巨鼈」と「総会」を更に守り、新たな会員さんを取り込んで会費の健全化に向けて頑張っていこうと決意しました。

特に、私が幹事長に拝命されたとき、前任者の脇幹事長が5年で退いたように幹事長職は長く務めるのではなく、その短い間にできることを一生懸命やって、5年たてば次の若い方に幹事長職を譲ろうという気持ちで引き受けました。





## 初めての当番幹事になって

当番幹事を引き受けた平成22年当時は、同窓会総会を6年次違う二学年でコンビを組んでその年度の総会運営を行っていました。私の観一14回は観一20回の同窓生と一年間行いました。

初めての年次当番となって、何をすれば良いのか全く分からないまま20回の多田健司さんたちと一緒にあって当時の合田幹事長のご指導のもと、当番幹事たちで相談しながら総会を成功させようと頑張った記憶があります。

当時、先輩の副幹事長から総会の懇親会はお祭りのように楽しい企画をしたいとのコンセプトで、沢山の同窓生が一堂に会することを目指しました。この年から新たなイベントに「じゃんけん大会」を初めて取り入れ、また参加者全員へ「お土産」のお持ち帰りを企画したところ、180名という過去になく、例年より約40名も多くの会員が参加され大盛況に終えることができました。

特に観一20回の皆さんとコンビで幹事をする事で互いに苦労と楽しみを分かち合い、私たち14回のメンバーも当番幹事をする事の楽しみを感じました。

翌年からは、当番幹事を6年次空けないで2年次が続いて総会の当番を行う方が効率良いと提案して変更し、今に引き継がれています。

## 総会会場探しについて

一・総会会場は古くから肥後橋近くの中華料理店「徐園」で開催されていましたが、平成22年の私たちの総会から会場を変えようと提案し、当時の総会担当の副幹事長と大阪市内のあちらこちらのホテルなど会場を捜し歩き、こちらの条件に見合った御堂筋線中津駅に直結している「ホテルコムズ大阪」で開催することにしました。

このホテルは、旧三井アーバンホテル大阪から改名された老舗ホテルで少し古い建物でしたが、ホテル側からワンフロア使って下さいとのことでしたので大人数でもなんとか対応でき、また交通の便利な会場で開催でき

てよかったと思いました。

二、このように平成22年の「ホテルコムズ大阪」での総会では、イベントに初めて「じゃんけん大会」を企画し、この景品に「めりけんや」様のご協力で「讃岐うどん」を協賛していただいたことがとつても有難かったです。また初めて企画したお土産には郷里の豊浜から「イズツ味噌」をご提供していただき、参加者全員に「ふるさとの味覚」をご家庭へのお土産としました。

しかしながら、参加者が多すぎてこの会場では手狭になると考え、再度大阪市内の有名ホテルを先輩と一緒に捜し歩き、値段交渉を重ねた結果、阪神尼崎駅近くの「都ホテルニューアルカイツク（現在は都ホテル尼崎に改名）」で快く、綺麗な高層ホテルのワンフロア貸し切り状態で利用させていただき、更にここは新大阪駅や各私鉄のターミナル大阪駅からも近く交通の便が良いと判断して決定し、翌年より今日まで開催を続けております。

#### 故郷企業との出会いⅡくじ引き大会の企画

一、総会へ参加される会員さんが増えることが直接の支部の会費収入につながると思い、参加者を増やす対策を当時の幹事会で皆さんと相談して、これまでのように参加して飲食しながら話し合うだけでは面白みに欠け、次第に参加者が減少すると思い、初めて参加した方でも来てよかった、また次回も参加したいと喜んで頂ける企画が必要だと考えました。

参加された方が故郷を思い出し懐かしんでいただけるような郷里の商品をイベントで「くじ引き大会」（前年度総会のじゃんけん大会から変更）の景品にしようと考え、観音寺市や三豊市で頑張っている元気な企業さんに協力していただくことを企画しました。

最初はどこに声を掛けたら良いのかわからないままスタートしましたが、会誌担当の幹事さんが「巨麓」への原稿依頼に郷里へ帰られる折に足を何回か運ばれ、私も便乗し、観音寺市内から三豊市内まで一日中走り回って

企業さんに景品の提供を一緒にお願ひしてきました。

当初は「めりけんや」と「川鶴酒造」と「入江こうじ製造所」の3社様でしたが、少しでも提供商品を増やそうと駆けずりまわり苦勞もしましたが、お陰様で昨年度まで足掛け9年間お願ひした結果、昨年度は20社の個人・企業さんから協賛並びに提供していただき本当にありがたく感謝しています。

なお景品は、皆さんから格安で提供していただけるようお願いしてスタートしましたが、次第に数社の企業様から無償で協賛しても良いと言っていただけになるようになりました。

また早い段階では、香川県、観音寺市、そして三豊市また数社の企業様から景品への協賛をしていただけるようになり、このことを聞きつけて協賛したいと願ひ出て頂ける個人様・企業様もできました。

二・最初の頃は、くじ引き大会へ提供していただける景品数が少なくて参加者の2／3割にも当たりませんでし

たが、次第に5／6割の皆さんに当たるようになりました。

特に、「味のちぬや」の今津 秀社長（現会長）さん（観一18回）からは、自社自慢の「コロッケ詰め合わせ」を参加者全員に提供しても良いと言われた時は驚くとも到大変ありがたく思いましたが、当方からのお願いで冷凍コロッケ40箱を頂くことができ感謝の気持ちでいっぱいになりました。更に、同窓会誌の裏表紙の広告掲載を喜んで協力させて頂くと言われてどちらも現在に至っています。

また、島産業の島 憲吾社長さん（観一22回）からは「家庭用生ごみ処理機バリバリキューブ」（全国の家電量販店等で販売）という高額商品を2台も惜しげなく協賛していただくとともに、同窓会誌に広告までしていただき大変感謝しています。

ほかに数え上げればきりが無いほど沢山の郷里の企業さんたちにお世話になり、皆さんからご自慢の商品を

いろいろ協賛していただき、参加者全員に景品が当たるようになり心から同窓の絆を強く感じると同時にその好意に感謝してもしきれません。

三. この10年間のくじ引き大会で困ったこともありましたが、それは総会当日になって景品が来ていない企業さんが何度もあり、止むを得ずその都度くじ引き用景品の企業様紹介垂れ幕を外したり、くじ引きの抽選券から急遽探してあたり券を除いたりと幹事さん達は大慌てしたことがありました。また総会が終えてから、それらの企業様の中から申し訳ないことをしたと、くじ引き当選者の自宅にまで直接送っていただけるともあり大変うれしかったです。

そのようなこともあってから以降は、私がホテルへ総会直前に出向いて商品の到着状況を確認するようにして事なきを得ています。しかしながら冷凍商品などの商品は当日にならないと到着の確認できないので、前日にそれら企業様へ電話して確認することもありました。

四. もう一つの総会の楽しみである「お土産」については、当初「イズツ味噌」を数年間お願いしていました、以前から景品に「甘酒」をご協賛していただいていた室本の「入江こうじ製造所」に、味噌は昔ながらの製法と良質の素材、米麴を使用した正月用の白みそがあることを聞きつけてお願いすることにしました。入江こうじ製造所様では、お正月用の白みそは8月から仕込みにかからないと間に合わないとのこと、快く聞き入れていただき、その年から会員さんにも





好評でしたので、“紅白みそ”を現在もお土産の品物として続けています。

### 総会について

一・総会の準備は、毎年春ごろから“総会準備委員会”を数回開催して、幹事と当番幹事が一堂に集まり、11月の第2土曜日の総会に合わせて企画を行います。特に懇親会での花形の「鳴り物」と「イベント」を何にするかを決めるのが大変で、次はくじ引き大会の「景品」と「お土産」を何にするかを決めてから総会に向けて一年間のスタートを切ります。

二・総会当日、幹事さんは尼崎の都ホテル会場へ2時間早く集合して、当日の作業分担表に従って作業をスタートし、受付ではプログラム・名札・配布資料などの準備を、またお土産の白みそと赤みそを袋に詰め合わせし、会場内ではテーブルの座席配置図に基づいて、来賓・一般参加者の席順に配慮しながら受け入れ準備をし、また協賛・提供された沢山の景品を会場ステージ横の陳列テ

ーブルにくじ引き抽選券の順番に載せ、そのテーブルの前には景品協賛していただいた企業様の紹介垂れ幕を吊るすなどして準備に大忙しです。

幹事の皆さんは、総会が始まる頃に来賓・一般会員さん達が続々参加されて受付が急に忙しくなり、また懇親会が始まると各自の作業分担に追われて、ほとんど飲食する間もないくらい忙しくて、アツという間にエンディングが近づき、お互いにゆっくり会食する暇もないほどで本当に申し訳なく感謝しています。

特にくじ引き大会の“景品”とお土産用の“紅白みそ”を郷里の多くの企業様から協賛していただけたのは、なんといいっても先輩幹事の方がレンタカーを借りて、私と共に郷里を駆けずりまわって頂いたいただいた結果であり、先輩には心から感謝に堪えません。

最後に忘れてはならないのが、当初から長く景品を協賛していただきました「三宅産業」会長の三宅昭二様（観一4回）と「入江こうじ製造所」代表の入江京子様（観

一7回)及び「ダイブ」社長の太谷義彦様(観一29回)が近年、相次いでご逝去されたことが大変残念ですが、ここに報告してお悔やみ申し上げます。(合掌)

### 鳴り物について

総会の盛り上がりにかかせない「鳴り物」を誰にお願いし、何をすれば良いのかと幹事は毎年頭を悩ませています。以前は鳴り物にプロの方を招いて宴会中に「楽器演奏」や「落語」や「手品」などをお願いしていました。が、何とか同窓生による「手作りの鳴り物」ができないだろうかと考えて、平成23年に先輩と一緒に芦屋在住の先輩・細川さん宅を訪ね歩いて「大正琴」の演奏をお願いしたのを皮切りに、翌年からは「独楽」の植木陽史さんに太鼓演奏を、その後観音寺から声楽家の石村元子さん、メイヤーズのバンド演奏の白川晴司さん、ピアノ演奏家の萩原瑤子さん、芦原すなおさん率いるロッキングホースメン、そして昨年には大野原龍王太鼓の皆さんなど、これまで観一高同窓生による「手作り鳴り物」を開

催してまいりました。

「鳴り物」で特に気をつけたことは、宴会の乾杯が始まる前に静かに会場で出演者の演技を皆さんに見て・聞いて・楽しんでいただくとうと企画してきました。おかげで出演者からは気持ち良く演じることができたと喜んでいただけました。

また、2年前から阪神尼崎駅前の中央広場で【四国のまんなか!まるごと!かんおんじフェア in 関西】がこちらの同窓会総会に併せて開催されるようになり、総会には観音寺のマスコットキャラクター「銭形くん」が応援参加して懇親会を盛り上げていただきました。参加者たちは総会の帰路、尼崎駅前に立ち寄って懐かしい郷里のお土産を買って帰られました。

このように同窓生との縁を辿って、これまで何とか「手作りの鳴り物」ができるように頑張っておりますので、どうか皆さんからの自薦・他薦どちらでも結構ですので出演者のご紹介をお願いいたします。

## 同窓会誌「巨麓」について

京阪神支部の会誌発行は、昭和60年に東京支部の勧誘協力により故合田英之幹事長が「燧1号」としてスタートさせ、平成8年の「燧12号」まで続きましたが、平成9年には「巨麓1号」に名称を変更して継続しています。

平成22年の「巨麓14号」からは、当時の幹事さん達が「巨麓」のこれまでの堅苦しい内容から少し読み易く親しみ易いようにとの、コンセプト【同窓生の相互の絆を確かめ・更なる親睦を図ろう】で会誌の内容・構成を見直して、カラー写真も取り入れて大幅に改良し、新たに、観音寺・三豊・両市長様からのメッセージ又母校の先生やクラブ活動の紹介、郷里や京阪神地区で活躍している先輩・後輩を紹介し、また郷土の歴史などを取り込んで郷愁を感じさせ、会員相互が助け合い・絆を保ちながら頑張っている様子を知っていただくことができました。

このように「巨麓」は同窓会誌としては全国的にも秀

でたものとして広く皆さんに知られてきましたが、担当幹事たちは母校の先生や、香川県・観音寺市・三豊市の広報担当者様にも原稿をお願いするなど苦勞もしております。

また、平成28年には「巨麓」のサイズを従来の「A5判」から「A4判」に変更して文字を大きく読み易く、また内容を刷新して投稿のほか対談方式を取り込んだり、更に写真を広く会員から投稿して頂くなど現代版を目指して幹事の皆さんと検討しましたが、従来の「A5判」サイズが親しみ易く保管に向いているなどの理由でかありませんでした。ちなみに東京支部の同窓会誌「燧」が期せずしてこの年から「A4判」サイズに変更されました。

今日では、「巨麓」への原稿投稿者が一巡或いは二巡して、新しい会員さんへの投稿依頼がスムーズに決まらず、幹事たちは会員を頼って原稿依頼をおこなっていますが、お願いしても断られたりして対応が次第にむづかしくな

っております。従来は同期の仲間たちでの同窓会報告が紹介されて記事になりましたが、今では同期会の報告がめっきり少なくなり寂しい状態で、幹事たちは母校を始め郷里や京阪神地方で頑張っている同窓生の紹介をお願いするなど苦労しております。これからは投稿者を増やすための施策として、別の切り口を見つけて新たに投稿者を増やしていけるよう手を付けることが必要となります。

どうか会員の皆さんからの投稿を広く受け付けていますので、同窓会にふさわしい内容の投稿を是非よろしく願います。

### 会員の掘り起こしについて

総会の参加者は、私が幹事を始めた12年前には三中並びに三女の先輩方が50余名が参加していました。そのあと先輩方が次第にこれらなくなり、近頃では7〜8名になってしまい寂しい限りです。

その当時の幹事の間では、このままでは遅かれ早かれ

参加者が減って会費の収入が減少して、同窓会が立ち行かなくなると危惧する声がありました。

私が幹事長になってこの5年間は厳しい環境下にありましたが、なんとかして若い会員を増やそうと努力し、田舎に在住する同窓生にも声掛けして来ていただき、京阪神支部の総会行って楽しかったといわれるように頑張りました。そんな努力の甲斐もあって、総会への参加者もこの間170〜180名ほどを維持しなんとか総会の収支は足りておりますが、まだまだ頑張つて若い会員に来ていただけるよう努力し頑張らないと、このままでは今後の京阪神支部の会員減少は止みそうもありません。また、最近では企業の定年延長が65歳で定着化しつつあるため、現在65歳に該当する観一24回以降の会員さんが会社務めの都合で参加しづらい状況にあります。さらに幹事になられた方でも勤務の都合で毎月の幹事会に常時参加できない様子です。

以前は60歳になれば退職し、自分の時間が自由に持て

るので、幹事の仕事や趣味などに身を寄せられたのですが、今はそれすらむつかしくなっています。

### 悲しい別れ

私が幹事長をしている5年間に、二人のかけがえのない友人が亡くなりました。

前の副幹事長の斎藤令博さんが令和元年5月7日に、そして同じく前の副幹事長の佐藤憲司さんが令和元年5月12日にと一週間足らずの間に相次いでお亡くなりになりました。

ここにお二人の想い出を辿りながらお悔やみを申し上げます  
きたいと思います

一・佐藤憲司（前副幹事長）…観一 20回

佐藤さんとは、総会担当時代からともに協力しあって総会の計画を立案し、苦労を分かち合った仲でした。あの持ち前の明るさで幹事さん達をグイグイとリードして引っ張っていたところが思い出されます。

彼は数年前から身体の具合が悪く、途中で入院などの

ため幹事をお休みされたことがありました。以前から幹事のお仕事が続けられなくかも知れないとお聞きしていたのですが、こんなに早くお別れが来るとは思っていませんでした。

令和元年4月の初めに、佐藤憲司さんから突然お電話があり、これから病院へ行つて検査を行うけど、もうこれっきり会えないかも知れないといわれたのが彼の最後の言葉でした。何を言うんだと励ましの言葉をかけましたが、あれから僅か一か月で亡くなるなんて夢にも思われなかっただけに、今に思うと無理にでもお会いしておけば良かったと悔やまれます。

その後、同期の女性からお電話があり、佐藤さんのお見舞いに行かれた時、佐藤さんが「なぜ自分がこんなことになるのか」と共に涙して嘆かれたことを聞いた時には、悲しくてたまらなく言葉がありませんでした。

佐藤さんは、福弥蒲鉾社長の福島加寿子さんと小学校からの同級生で、私が福弥蒲鉾へ景品のお願ひに行くと



びに、社長から「佐藤の憲ちゃんはお元気ですか、どうしてる？」とお聞きしていただけに寂しい限りです。

さぞかし、もつと長生きして幹事さん達と一緒に楽しく仕事をしたかったことでしょう。

特に、佐藤さんには京阪神支部の将来を託そうと思っていただけに悔やまれます（合掌）



## 二、斎藤令博（前副幹事長）…観一 22回

斎藤さんは、事務局並びに同窓会誌「巨麓」の編集担当をされておりましたが、その仕事ぶりは素晴らしく、

常に間違い箇所があると正しく主導されるという強い意志をお持ちの方でした。

平成30年9月末の「秋の案内」の發送幹事会でしたが、「巨麓」の發送が終了した時、斎藤さんがいきなり本日で幹事を下ろしてほしいと言い出し、持参した袋から巨麓関係の申し送り資料を取り出したので幹事全員が突然のことで驚きました。後で思えばこの時にはすでに体調が悪く、幹事を続けることでほかの幹事に迷惑がかかると思い、その日を待つて彼は退くことを強く心に決めておられたようでした。

令和元年5月に斎藤さんとお付き合いがあり仲の良かった同期の男性から、私の方へ斎藤さんの突然の訃報の電話があり、その時にはすでに彼は逝去され、近親者で葬儀が終えた後でした。この時は突然の訃報連絡に驚き、咄然として言葉を失いましたが、まだまだ若かっただけにもつともつと長生きしてご家族や友人たちと過ごしていただきたかったと悔やまれます。

私にとって斎藤さんとの忘れられない思い出に、平成29年5月29日に郷里の企業さんへ巨鼈の原稿依頼とくじ引き大会の景品の依頼のため、早朝より彼の車に便乗して一日中郷里の企業さんに巨鼈の原稿とくじ引き大会の景品をいただきに訪問したことです。特に彼と同期の島産業社長の島 憲吾さんを訪問した時、久しぶりの再会だったのか二人して昔に戻ったかのように楽しくお話されていた笑顔が忘れられません。

その帰りがけに、福弥蒲鉾で大阪へのお土産を買って、武庫之荘まで一緒に楽しく話し合いながら帰る途中、斎藤さんからこれからは幹事を辞めて自由にやりたいことをしたいと言われた言葉がなぜか記憶に残っています。彼の運転技術は抜群に上手でした。

生前、彼には近い将来の幹事長を託し、これからに期待していただけない方に惜しい方を失うこととなり残念です。（合掌）



#### 片桐会長へ感謝の想い

平成25年に片桐 陽さんが京阪神支部の会長となられてこのかた、特に私が幹事長となった平成27年以降は親しくお付き合いさせていただいたと思っています。

時々、森川副幹事長或いは藤田副幹事長と連れ立って片桐会長の会社へ同窓会の相談並びに報告にご訪問させていただくことがありましたが、片桐さんは大阪商工信用金庫の会長職という要職にあつて、常に忙しくしてお

られる中で、いつも気さくにお会いしていただき、会えば常に観一高京阪神支部のことに気配りいただいております。

また、片桐会長は香川県産業活性化アドバイザーという別の肩書をお持ちで、浜田香川県知事を始め香川県の関係者とも地元香川をいかに全国区で注目を浴びるよう元気づけるかというお話をされていることも伺っていましたが、私の知る限り故郷香川への思いや母校並びに京阪神支部同窓会への想いをこれだけ気にかけておられる方はおりません。

片桐会長はお元氣にお勤めなされていますが、ここ近年、京阪神支部同窓会の会長職を退きたいとのご意向が強く、後任者の選択を頼まれました。そこで藤田副幹事長と一緒に後任の会長候補を探し、お願いをしてきましたが、なかなか見つからない中、私が先に幹事長を退いて本当に申し訳ない気持ちです。

片桐会長にはこれまで京阪神支部を代表して本部や他

支部への総会などにご出席していただき感謝の気持ちでいっぱいです。

わたしも、これからは副会長の立場で、尊敬してやまない片桐会長をできる限り支えていきたいと思っています。

#### 同窓生へ感謝の想い

##### 一、先輩への感謝

◆まず、長い間副会長職を務めていただいた岸部正枝さん（三女44回）への感謝の想いです、総会の度に三女の皆さんへの声掛けで皆さんを元気づけ、多くの友人をお誘いしていただき、いつまでも「三女」の灯を残そうと頑張っておられます。

これまで副会長として京阪神支部を牽引していただき本当にありがとうございます。これからも三女の皆さんと共に元氣で総会へ参加していただきますようお願いします。本当にありがとうございます。

◆続いて、長い間副会長職を務めていただいた石部 勝

さん（観一9回）への感謝の想いです。石部さんには常に片桐会長を補佐され大変助かりました。総会には常に参加して頂き、来賓者のおもてなしやご挨拶など総会運営において助かっております。

この度、後輩に託して副会長を退かれましたが、いつまでも叱咤激励のお言葉をかけていただき、また総会等でお会いした折には気さくにお声をおかけいただきありがとうございます。本当にありがとうございます。

◆これまでたくさんの先輩・後輩に助けていただきながら幹事長職を無事まっとうすることができましたが、特に、小野喬啓さん（観一11回）にはお忙しい中、ホームページの若手担当への応援指導をお願いしてまいりましたが、実質的には小野さんにまかせっきりで本当に申し訳なく、いつも感謝しています。

## 二・同期の仲間たちへの感謝

私たち観一14回（昭和38年卒）の京阪神地区在住の皆さんとは、40年前からオリੰピックのある年ごとに

“ミニミニ同窓会”を開催してまいりました。平成22年の総会では年次当番となり、中津のホテルコムズ大阪へ同期の女性幹事と男性幹事が中心になって京阪神地区に在住する同期の仲間たちに呼びかけをしていただき20名余りの仲間が集まり、皆さんで早朝9時に会場へ集合して受付準備や景品・お土産ものの仕分けを手伝っていただき大変ありがたかった思い出があります。

また私が幹事長になった平成27年の総会でも、就任祝いにと同様に声掛けして同期生の仲間を多数誘っていただき、郷里からは観音寺在住の幹事が呼びかけて田舎の仲間と連れ立って応援参加してもらったことがあります。だが、同期生との絆は生涯の宝物だと思い感謝しています。

令和元年5月の本部の総会に出席した時のことですが、郷里の高松並びに観音寺在住の仲間たちが10数名の仲間を呼び出して総会に参加してくださり、そのあとカラオケに行って楽しんだ一時の時間が忘れられなく、遠く

故郷を離れて暮らす同期生との再会には懐かしさが溢れ出ていつまでも感謝の想いです。

### おわりに

幹事長を去るにあたりこれまでの想いをつらつら述べてまいりましたが、どうしても忘れることがないだろうと思うことは、これまで一緒に総会や幹事会などでお世話になった幹事の仲間のことです。私と一緒にあって、毎月一度の幹事会でワイワイ仲良くお話できた幹事さん達のことがいっまでも懐かしくなりそうです。

今年は新型コロナウイルスの感染防止のため、いわゆる「三密」を避けるために春の役員会が中止となり、3月からは幹事会も開かれなまま、幹事さん達にこれまでのお礼の言葉も交わすことなくお別れするのが忍びなく辛かったです。

また今秋の総会についても、7月に京阪神支部ホームページで会員の皆さんにアンケートで総会開催の是非に

つきお問い合わせしました結果、コロナウイルス感染の第2波の恐れがあるため、総会の開催に反対する多くの声があり、今年は中止して来年へ延期せざるを得なくなりました。

なお、コロナウイルスの感染拡大の恐れから、今秋予定されていた母校創立120周年記念式典は中止となり、さらに郷里の秋祭りや各イベントも自粛のため中止となり、大阪ではあの勇壮な「岸和田だんじり祭」が中止となるなど寂しい秋となりました。

これからは新しく幹事長になられた藤田修一さんを中心に、幹事さん一同が彼と一緒に





なつて今年度の「巨釐」の完成に向けて頑張つていただき、また来年度は今年延期になつた総会に向けて年次幹事さんたちも引き続き頑張つていただきますよう心から応援しております。

どうか、観一高同窓生の皆様方におかれましては、新型コロナウイルスに感染しないようくれぐれも気をつけられますよう、皆様方のご健康を祈念申し上げます。

## 新幹事長の就任あいさつ

観一・16回 藤田 修一

(昭和40年卒)



今春の役員会（書面決議方式）において、幹事長に選任されました藤田でございます。

十余り前、故合田幹事長から強いお誘いを受けて以降、幹事会の一員として、同窓会事務に携わってまいりました。

この間、諸先輩方は、急激な少子高齢化の影響により会員数が減少する中、組織維持・発展のため、より多くの会員の皆様が参加、楽しんでいただける総会・懇親会の開催、同窓生相互の絆をコンセプトとする会報誌「巨龍」の発刊、ホームページの開設など、立派な実績を積み上げてきておられます。

若輩者の私ではありますが、諸先輩方が営々と築いて来られた、観一・高同窓会の組織・活動の維持・発展に微力ながら努力してまいりたいと考えております。

現在、新型コロナウイルス感染拡大の収束が見込めず、経済活動から日常生活に至るまで多大な制約を受けております。今秋に予定していた総会・懇親会も中止せざるを得なくなっております。

このような状況下ではありますが、会員の皆様には、くれぐれも健康にご留意いただきますとともに、今後の同窓会活動にご理解、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

# 観一高クラブ活動報告

# ESS部

ESS部顧問 須藤 理帆

ESS部は現在、二年生九名、一年生十五名の計二十四名で活動している。英語を使うだけではなく、行事や食文化など、さまざまなことを体験することも大事にしている。ハロウィンにかぼちゃをくりぬいてジャック・オ・ランタンを作ったり、みんなで手作りのピザを作ったりした。

ESS部のいいところは二つある。一つは、学年の垣根なく、みんな笑顔が絶えないところだ。英語には丁寧な言葉づかいがあっても敬語はない。普段、敬語を使う間柄でも英語で話すことで親しさがぐっと増すことがある。もう一つは、生徒がやりたいことができることだ。実際に使われている英語を知りたいということで、最近のニュースについてALTとディスカッションをした。

またドラマや洋楽からも学ぶこともある。今後は、もっと英語を上達したいという思いから、発音練習やプレゼンテーション、スピーチにも挑戦する予定だ。

さらにアメリカや中国からの留学生との交流も楽しく行われてきた。そのおかげで部員たちの英語力が向上してきている。今後も、楽しみながらお互いが成長し合えるような活動を続けていきたい。

〈編集者 注〉

ALT・・・外国語指導助手

小中高校などの英語の授業で日本人教師を補助する。  
Assistant Language Teacherの略。日本人教師を補佐し、生きた英語を子どもたちに伝える英語を母語とする外国人を指す。

## 卓球部

卓球部顧問 増田 佐知子

平成二十一年一月に旧第二体育館が取り壊され、同二十九年九月に新体育館が完成するまでの九年間、卓球部は観音寺総合運動公園の市立体育館で練習した。そこも予約が取れない日は、豊中中学校に隣接する農村改善センターの二階で練習した。この間は活動日も市立体育館の開館日に合わせて土日とも練習日で月曜が休みであった。藤田千代子先生や高嶋奈央子先生（旧姓地濱）、乃口哲朗先生らの熱心な指導のもと、観音寺総合運動公園内をランニングしたり、豊中中学校の裏の池の周りを走っていた。集中力のある練習と部員の仲の良さが本校卓球部の伝統である。雨の日も風の日も、片道二十分以上かかる観総に通うことで結果的に体も心も鍛えられ、平成二十四年には県新人大会男子団体3位、同二十六年には

男子が四国高校総体（徳島）に団体とダブルスで出場した。他にも県総体個人でベスト16に入った部員は数多くいる。

部員は公式戦では校章を白く染め抜いた紫のユニフォームを着る。藤田千代子先生がどこから見てもよく目立つし強そうだということで決めた色だが、今ではすっかり観一卓球部のシンボルカラーになった。県総体のときには白字で「悠然」と書かれた臙脂色の部旗と大きな千羽鶴が吊るされ、会場でプレーする紫のユニフォームを着た部員を静かに見守ってくれている。





# 母校の思い出シリーズ

## 伝統 陸上部での部活体験記

観一・11回 渡辺 紘一

(昭和35年卒)

昭和35年(第11回)に卒業してから半世紀余り、年月の経過は超特急のようである。

振り返ると、世相はまだ質素な時代であつたように思うこの時期に「文武両道」を行く名門観一で学び、青春の3年間を有意義に過ごせたことは本当に幸せであつた。

“世界を襲うコロナ危機” 感染しない、感染させない。自宅待機の折、巨鼈への寄稿依頼を受けた。最初のご辞退申し上げた。しかしみなで作る会誌であり、編集委員のご苦勞に協力すべしと思い直した。

### 【目指す文武両道】

学生の自分は勉強であろう。観一に進んだのもその為であつた。一方「健全な身体に健全な精神が宿る」という。観一が目指す「文武両道」は、「文事」に勤しみ、「武芸」を磨く、両道をゆく学生の育成にあるのだろう。

「文事」の寄稿は他の方にお願ひし、本稿は、「武芸に絡め、健全な身体づくりを目指した 伝統 陸上部での部活体験記」を寄稿することにした。

### 【陸上部への勧誘】

60数年前、入学してまだ間もない頃のこと、授業を終え教室を出たとき、顔も名前も始めての先輩4人が私を待つていた。初対面での紹介を受けたのが一年先輩で陸上部の請川順三さん、岡崎貞夫さん、石井規矩夫さん、それに斎藤さん(マネージャー)であつた。初めて陸上部への部活勧誘を受けた時を懐い出す。

憧れの観一に入学し、校風に慣れるのに精いっぱい、気持ちにもまだ余裕がなかった時期である。部活の意識はなく、正直、誘いに戸惑い、しばらく決心がつかなかった。

#### 【陸上部へのご縁】

先輩が、面識もない私をどうして勧誘に来たかは後で分かった。高室中学校3年のある日の放課後、棒高跳びをしていたとき体育の先生から、全日本中学校放送陸上競技大会があるので出てみないか、と声を掛けて頂いた。

それまで対外競技と云えば、有明グラウンドでの三豊地区中学校の合同運動会に出場したくらいで、全国大会に絡む競技に出るのは初めての体験であった。先生に連れだって地方大会に棒高飛びで参加した。場所は「和光中学校」だったと記憶している。結果は記録集計で全国8位に入賞し、その情報が観一陸上部に伝わっていたようであった。

棒高跳びは、助走スピードをポール(棒)で受け止め、ポールの反発力を利用し、より高くバーを跳び超える競技でポールの長さ、太さ、材質に制限はない。今では、撓み、その復元反発力に優れるグラスファイバー製やカーボンファイバー製のポールが主流であるが、当時は未だそのようなポールは開発されていなかった。竹のポールをひっさげ大会に臨んだ。この大会への参加が結果として、入学後、陸上部入りのご縁となった。

思い出すのが、この大会に他校から参加してきた秋山勝行君である。彼の名前を知る人は多くないかも知れない。棒高跳びで一緒に競技し、翌年、彼も観一に入学し再会した。その時、彼には「武芸」への関心はなかったようである。観一卒業後、彼は大学で学生運動に情熱を抱き、三派系全学連の委員長に就任するや、激化する学生運動の先頭に立ち、激しさを極めた闘争を束ね率いて国家権力に激しく立ち向い、知る人ぞ知る伝説の人とな

った。人生をかけた彼の革命活動、同窓として静観するだけである。

#### 【根負けし陸上部へ】

度重なる勧誘に根負けし、入部したのは入学して半年が経った頃だったろうか。陸上部の門をくぐったときは、既に同学年の大西敏夫君、猪熊悦朗君、山地修身君、女子では近藤良子さんと大矢根佳子さん（中日ドラゴンズで活躍された大矢根投手の妹）が入部していて陸上部では先輩であった。同学年で6番目の入部となり、その後、久保博之君、山崎幸治君が入部してきた。部活を通して「武」と向き会えたことは観一の素晴らしい学風と先輩の熱心な誘いがあったからである。

当時、陸上部の部員数は総勢20名ほどだった。お姉さん部員には、女子槍投げで国体にも出場され観一陸上部の歴史に名を残された三宅登代子さん、投げるフォーム

は美しく今も目に焼き付いている。1つ上の横内光世さん、ひとときわ美人で輝いていた。そして同期の純情可憐な近藤さんと大矢根さん、私の脳裏は当時の時間が止まったままである。

入学当時、陸上部と野球部の担任は、チョボひげの三好啓資先生、観一の健全な「武」の育成に尽力され、体育教員として名を馳せた方である。昭和34年に他校へ転任され、代りに石合数夫先生が赴任されてきた。両先生には部活でよくサポートして頂いた。殊に石合先生は屋島の競技場で行われる大会には、いつも（当時は蒸気機関のSL車で）同行して下さり、激励を受けた。温厚で部員に親身に接して頂いたことは強く印象に残っている。

#### 【主将への選出】

確か、2年生の後半頃、3年生から主将の交代、引き継ぎが行なわれることになった。主将推挙はなく、部員



全員による投票となり、開票の結果、後から入部の私が本意にそぐぬまさかの選出となった。

観一陸上部は、県総体でも輝かしい成績を挙げ続けており、代々、観一を代表する伝統部である。過去には突出した技能、記録を出された方も多い。その伝統を引き継ぐにはあまりにも荷が重く、務まるかの不安がよぎり落ち着かなかった。

とは云え、選出されたからには、辞退も出来ない。観一陸上部の輝かしい伝統を絶やさないうち自分が出来ることを精一杯頑張ればいいのか、そうすることにより有意義な観一生活が送れるかも知れない。不安の中にも前向きな気持ちへと変わり、みんなの協力を約束に主将を引き受けることにした。

後日、三好先生、筒井先生、磯野先生、津山先生に主将引き継ぎを伝え、背中を押して頂いた。それからの通学は授業と部活でより緊張感が増した日々であった。今

に思えば先生、先輩、部員との交流、部を率いての対外試合の体験、身体・心の鍛錬等々、人生の基礎づくりとなった充実の“観一時代”であったと言える。

前主将だった請川順三さんから、汗に接したランニングシャツを主将引き継ぎの記念にとプレゼントされた。先輩から頂いた感激の記念品、大切に着用させて頂いたが、後輩へ引き継ぐ記念品とはならなかった。陸上部へ勧誘して頂き、明るく親切に接し、リードして頂いた先輩請川順三さんが早くに浄土へ旅立たれたことは、私にとって誠に寂しい限りである。

### 【今ならパワハラ！】

伝統は重く崇高なものである。主将に就くまでは、部活は単なる健全な身体づくりの場と気軽に考えていた。しかし主将を引き受けてからは、伝統の重みを背負いながらの緊張した学生生活に変わっていった。観一で学ん

だ貴重な学習・体験であった。

結果で答える。を目標に部員には積極的な練習参加を呼びかけハードな練習も組み入れた。夏休みの炎天下、厳しい練習に取り組めたのも若さ、気力それに緊張感が支えであつた。

しかし練習嫌いもいて全員が揃つての練習はなかなか難しかった。部活ゆえ強要もできない。一年後輩のM君もその一人、彼は、第3回全日本中学校放送陸上競技大会で棒高飛び日本一に輝き、竹のポールで中学新を記録した逸材である。観一に入学し、陸上部に入部してきたときは正にWelcome、誰もが部の強化にと大きな期待を抱いた。

ある日、彼を部室に呼び練習を促すためコンクリート上での10分間の正座を課したことがあつた。今ならパウハラと非難されるかも！日本一となつた素質、磨けば光るきっかけにとのショック療法だったが思いは通じず、練習嫌いは変わらなかった。

【近年、観一陸上部が全国にその名を馳る代表種目は棒高跳びの様である。観一陸上部と棒高跳びとの縁はこの頃から始まったと云えるかも知れない。そして以降、優れた指導者のもと棒高飛びで男女に優秀な選手が育ち、2000年のシドニー・オリンピックには横山学君（H5卒）、2016年のリオ・オリンピックには荻田大樹君（H18卒）が棒高跳び代表選手として出場している】

#### 【OBのご指導】

放課後は、野球部とグラウンドを共用しながら練習に励んだ。その頃に鍛えた身体づくりのお陰か、この年まで病氣知らずであり有り難いことである。

OBの方々には、何度も激励とご指導を頂いた。槍投げで国体にも出場の国土幸久さん（第7回卒、高校教諭、観音寺市会議員も歴任）、森英雄さん（第7回卒、森鷗卵場社長）、短距離スプリンターの島一さん（第8回卒、株志満秀顧問）、三段跳びで国体、インターハイにも

出場の筒井 博さん(第9回卒、高校教諭、京都体協役員も歴任)、筒井政道さん、槍投げで国体にも出場の請川順三さん(第10回卒、高校教諭)、観一の陸上部の伝統を築かれた方々である。母校を思い、後輩を気使って頂き本当にお世話になった。60数年を経た今でもつい最近の事のような思いである。

#### 【まきや食堂のご親切】

観一正門前にある「まきや食堂」、代々観一の学生が利用し、お世話になっている名物食堂である。私も大変お世話になった。夏休みの合宿時のことである。奥さんから「自炊するなら奥のカマドを使ってもええから」と言っ  
て頂き、部員が持ち寄ったコメを炊かせて頂いた。釜めし、薪で炊いたのだから美味しかった筈であるが、その時の味はもう覚えていない。コメ持参の自炊合宿、まきや食堂から受けた親切の味は、何時までも忘れないだろう。

#### 【伝統 陸上部の1ページを刻む】

県総体は総合成績と個人成績を競う大会である。国体、インターハイへの切符にもつながる。野球の名門高松商業は陸上競技も強かった。私は準優勝以上を目標に汗をかけた。しかし優勝旗をもって帰ることはなかった。国体、インターハイに出る傑出した者もいなかったが、なんと総合2位は達成できた。部員一人ひとりが観一の名を背負い頑張った成果であり、伝統 陸上部の歴史に1ページを刻むことはできた。部活によって得た過ぎし時の感動、忘れられない一コマである。

#### 【観一 陸上部の近況】

陸上部は、県総体で総合優勝14連覇、県新人戦も16連覇を達成中とのこと、陸上の強豪・観一 陸上部の伝統をしっかりと継承し、輝きを添えてくれている。OBにとって嬉しい限りである。これからも「文武両道」観一の実力がさらに飛躍することを外野席から応援致します。

この間、棒高跳びでは、全国レベルの選手が次々と育ち、後でオリンピック代表選手となった前掲二人を輩出し、女子では平成28年には当時2年生であった山地里奈さんがインターハイ、国体、U18日本選手権で優勝し高校三冠を達成、平成29年インターハイ、秋の国体でも山地里奈さん、石川祐介君の男女のアベック優勝、平成30年インターハイでは山地里奈さん、平成31年インターハイでは田中伶奈さんが共に優勝するなど、観一の棒高跳びは、全国にその名が知られている。（田中伶奈さんが平成31年に記録した4 m 12 cmは高校女子日本記録）

山地里奈さん、田中伶奈さんは東京オリンピックに向けて日本棒高跳び界を牽引するアスリートである。この春共に香川大学に進み、引き続き文武両道を歩んでおり、五輪を目標に更なる高目を目指している。

#### 【体験記フィナーレ】

卒業から半世紀以上が経ち記憶も断片的となっていた。

観一で学び、部活体験を回想し寄稿できたのも巨鼈の編集者からお声掛け頂いたからであり感謝致します。

“青春の回想は老けを遅らす特効薬かも”！

エ  
ツ  
セ  
イ

## 天国の夫に感謝の日々

三女・36回 鈴木 知都子

(昭和18年卒)

昭和二年三月六日生れの私は、父の従妹の鈴木家に時々遊びに行っている間に、両親に相談なしで小学校入学まゝに入籍してしまい、後で揉めたようです。夫は中学五年の時、担任の先生に勧められ支那(中国)の天津

中日学園に入学し、北京大学

二年の時、戦争(大東亜)のため中退帰省しました。その後高松経専(香川大学)を卒業し、大阪の武田薬品に勤務しました。私に出会い、苗字が変わっても名前は変わらない

からと、熱心にプロポーズさ



れ、原田から鈴木に入籍しました。私は親が決めた婚約者が居ましたが結婚しました。彼に申し訳ないと思いましたが、四十代で難病で亡くなったと聞き、若し結婚してたら私の人生は大変だったろうと思い、今も亡き天国の夫に感謝して、三人の子供(二男一女)と五人の孫、そして七人の曾孫に囲まれ、幸せな老後を送らせて頂いております。

そして今は、自称不良ババと言い乍ら、月曜は麻雀、火・金曜はフィットネス体操、木曜だけ真面目に母の後



を継ぎ表千家のお茶をしており、脳トレに頑張っております。後何年元気で居られるかと思いつながら、天国で待つてくれている夫？の元へ行きたいと思っております。そして残された少しの人生を、後悔の無いよう楽しく過ごしたいと願っております。

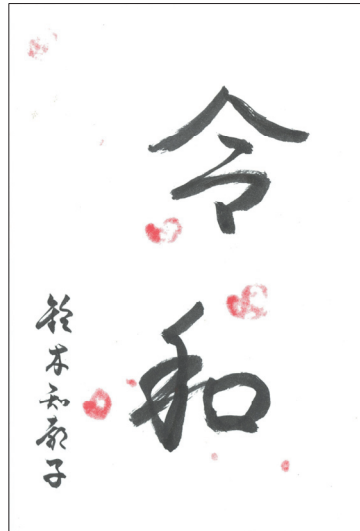
幸せ一杯の人生に万歳

皆様のご健康とご多幸をお祈りして

卒業生の皆様へ

鈴木知都子

令和二年六月三日



# 上海・蘇州の再訪問記

観一・1回 井上 理文

(昭和25年卒)

上海と私の縁は、約40年前の北京訪問の際、上海を経由したことに始まる。その後十数年の間に、無錫、蘇州、長沙、顎州などいくつかの地方都市を訪れたが、いずれの訪問時にも上海を経由することとなった。しかし、それ以降は上海を訪問する機会はなかった。

ここ20数年での中国のめざましい発展や、アメリカに次ぐ経済大国への成長の様子を映像等を通して見聞きするに付け、現在の上海の姿がどのように変貌しているのかを、直接見てみたいと常日頃思っていた。

このたび、米寿を迎えたことを機に、娘夫婦の案内で妻と共に、昨年(2019年・令和元年)12月に上海・蘇州を訪問観光することができた。昔の思い出をたどり

ながら、現在の姿を体感して、長年の思いを叶え、12月30日に帰国した。(12月には新型コロナウイルスがすでに武漢で蔓延し始めていたが、上海や蘇州はまだ平常であった。)

## 1. 40年前に和平飯店に泊まる

1980(昭和55)年に北京食品工業研究所で「マーガリンの製造装置」の商談があり、上海経由で北京を訪問した。1984(昭和59)年には、無錫輕工業学院(現、江南大学)からの講演の要請があり、上海を経由し、無錫を訪れ、帰路に蘇州を観光した。この時の代理店は本社で、上海の中国事務所は「和平飯店」に置かれ、ホテルの数部屋を事務所兼宿舍としていた。ここを拠点として中国各地を訪問し、商談を行った。当時は、日本の商社等の中国事務所は中国政府が指定した場所に置かれていた。

## 2. 再び和平飯店に泊まる

今回の旅行の宿泊ホテルも和平飯店 (Peace Hotel) であつた。和平飯店は、上海の外灘 (ワイタン) にフランスが1929年に建立し、東洋のパリと言われた旧租界 (バンド) の中心的ホテルであつた。現在は2010年に和平飯店からフェアモント・ピースホテル (和平飯店) となつている。

このホテルのロビー奥の豪華なドーム天井は観光名所でもあり、格式を誇っている。現ホテルの1Fバーで演奏される「オールドジャズバンド」も有名である。演奏チームを構成するメンバーが最年長94歳、平均年齢83歳の老人たちで、人気の観光スポットとなつている。私と同世代のジャズマンたちの演奏は、なんとなくノンビリとした雰囲気で、盃を傾けながら聴く夕べには風情があつた。

ホテルの2Fには、以前はなかつた記念館が設けられていた。かつてここに宿泊したチャプリン、クリントン、

毛沢東など世界的な著名人の記念写真などの展示がされ、ガイドの説明もある。ホテルの宿泊客は欧米人が多く、ラウンジ等は落ち着いた雰囲気であつたりと

過ごせた。和平飯店があるワイタンのビル街は、旧建築様式のままの銀行や商業施設が並び、対岸の浦東の高層ビル群とは全く異なる、落ち着いてクラシッくな風情を保っている。40年前は、有名ホテル等の建物が外国人用の



② オールド上海ジャズバンド  
(左柱横のカウンター席が筆者)



① 和平飯店 (右側三角屋根)  
をバックに

事務所にも使用されていたことを思うと、正に昔日の感である。

### 3. 上海蟹の思い出

上海蟹は美味しく名物である。40年前の訪問時は秋の蟹の旬の時期に、市内のレストランで上海蟹を食べた。テーブルに手足を紐で縛った蟹と、小さな木槌が置かれていて、紐を解き、蟹の固い所を木槌で叩き割りながら食べるのである。値段は高くて1万円位したと記憶をしている。1980年頃は為替レートが1元＝150～100円であり、その上にホテルなどでは外国人向けの高い特別価格が設定されていた。現在は、上海蟹の価格は大きさによるが、レストランで200～300円（3400～5100円）である。（現在の為替レート1元＝17円）

当時、上海蟹を沢山食べたいもののレストランの蟹は高かったので、市場で蟹を買い、それを自分たちで料理

して食べようということになった。和平飯店内のO社の事務所内には自炊設備があった。駐在員が近くの市場で、バケツ1杯の蟹（10数匹）を買ってきた。値段は20元（1匹2元＝200円）位とのこと、中国人向け市場での蟹の安さに驚かされた。

さて、男性3人で蟹を料理したのだが、まず、動き回る蟹を浴槽に入れて水洗いをした。逃げ回る蟹を1匹ずつ水洗いしてタワシでゴシゴシと擦り汚れをとった。次に、炊飯器に蟹を押し込み茹でた。初めは釜の中で蟹がゴソゴソと音を立てていたが、静かになった頃合いをみて煮上がりであると判断した。美味しく1人で3～4匹は食べた。上海蟹を沢山食べて満足と贅沢感一杯であった。ところが、問題が発生！夜中から下痢が始まった。蟹の煮沸が不十分で殺菌不足だったのだ。幸い、丸1日で治るが、浴槽と炊飯器が蟹の匂いで臭くて、数日間使用不能となり、洗浄が大変だった。

#### 4. 外灘から見る浦東は、ひと昔前は田圃と野原

40年前は、和平飯店の前の黄浦江沿いに小さい遊園地があり、市民の憩いの場所であつた。夕方に遊園地を散歩して、住民の太極拳を見たり、黄浦江を行く小舟や時には帆を掛けたジャンクの行き来も見え、対岸の野原を眺めながらのんびりとした時を過ごしていた。休日に、漁船を少し大きくしたような船で黄浦江を下り、揚子江（現在の長江）の河口まで航海し見物をした。そのときの川下りの右岸には、田圃と民家が点在しており、左岸は野原で所々に造船所か軍船の船溜まりのような所が見えていた。勿論、当時は撮影禁止である。

揚子江の河口に至ると、広過ぎて対岸は見え、海のようにであった。川とは思えないような大きさに圧倒された、往復約5時間の航路であつた。

#### 5. 今の外灘と浦東

外灘では和平飯店及び周辺のビルはリニューアルされ

ているものの、主なビルの外観は昔の面影を残したままに商業施設に生まれ変わっていた。しかし、一步裏通りに入ると、昔のままの古いビルや狭い街路で、40年前に見た街角の大きな漢方薬店や屋上にお寺のあるビルが残っていた。道端には昔の日本にもあつた丸型ポストが立っていた。

外灘に昔あつた遊園地は、今は黄浦江沿いに幅広い長い遊歩道になり、そこには売店もあり大勢の観光客が往來し、対岸の浦東の林立した高層ビル群を眺めていた。対岸の浦東には、一番高い上海タワー632m、変わった形の上海ワールドファイナンシャルビル492mをはじめ、十数棟の巨大ビル群と多くの高層ビルが建ち並んでいた。40年前とは違った予想もしなかった光景で、ただ圧倒されるばかりである。夜になると、これらのビルが夫々に色とりどりに変化するイルミネーションで輝き華麗かつ壮観である。一方、外灘側のビル群は黄金色の重厚なネオンが多く、その対比がまた絶妙である。さら

に、兩岸の間を流れる黄  
埔江を、さまざまの観光  
船がネオンを輝かせなが  
ら行き来する様子は、正  
に隔世の感であり、浮世  
をしばし忘れさせるもの  
がある。

## 6. 上海タワーに上る

一番高い上海タワーに  
上るには外国人はパスポ  
ートが必要で、何故かコ  
ピーを取られて長時間待  
たされた。上海タワー1  
18階（546m）の展  
望台入場料180元（約  
3000円）を支払い、



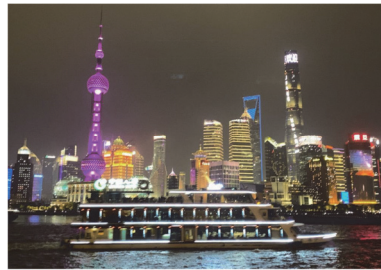
⑤ 屋上に寺のある昔のビル



④ 緑色のポスト



③ 昔からの漢方薬店



⑥ 高層ビル群の夜景と観光船



⑦ 上海タワーから見たマンション群

高速エレベーターで昇る。展望台はガラス張りで360  
度見渡せるが、空気汚染により全体が灰色に澱んでいて  
遠くの市街域は見えない。それでも今日は良く見える方  
だとガイドが説明してくれる。目の前に高層ビルを眺め、  
眼下に中層ビル街、更にその下に黄浦江を挟んで外灘の  
ビル群を見下ろすことができる。

一方、目を転じて反対側を見下ろすと、40〜50階建  
のマンションが林立し、その下に中層のマンション群が



遠くまで続いている。マンション街が浦東の高層の商業ビル街を取り囲んでいるような形である。表の高層商業街と裏の住宅マンション街の対比が目立った。

## 7. マンション持ちは大金持ちに

夫婦とも高齢のため歩く距離を少なくするよう計画して、家族4人で日本語ガイド付きの乗用車を貸し切り観光する。

以下は、中国人の日本語ガイドの話からであるが、「この車の運転手は億万長者です」と話し出す。「以前に3000万円で購入したマンションが、今は10億円になっている」と言う。上海の平均給料は月10万円程度であるので非常に驚いた。正に、住宅バブルである。建設中のマンションや住宅団地が市内、郊外のあちらこちらで見られる。上海市内ではマンションが㎡当たり6〜800万円、郊外で300万円程度とのこと。3DKの100㎡の部屋6〜10億円にもなるが、住む人はいったいどのよ

うな金持ちなのだろうか？居住のためではなく投機目的が多い印象であり、思わず日本のバブル崩壊が思い出された。そこで、ガイドに「今のうちに売るのが良い」と伝えたが、「まだまだ高くなる」と聞く耳を持たない風情である。

中国の最高額の紙幣は1000元（2019年12月現在で約1700円相当）である。1000元以上の紙幣がないのは不便だと思うが、紙幣が偽造されないように高額紙幣は発行しないとのことである。ちなみに、10億円＝6000万円の億ションを買い取るとすると、紙幣が60万枚必要である。積み重ねるとざっと60mの1000元の紙幣を運ばねばならない。なるほど、中国がキャッシュレス社会に移行するのがわかる。

## 8. 豫園は変わらず、でも……

豫園は大勢の中国人観光客であふれていて、混雑の様子は昔と変わらない。また、豫園商域の老舗の料理屋、

土産物屋も外観は変わりがなく昔のままに見えるが、内部は昔の茶房がコーヒー店に変わるなどしていた。商域の出口付近の住宅、商店に板囲いがされ、取り壊し中であつた。まもなくマンシヨンの建設が始まるとのこと。豫園にもマンシヨンバブルが押し寄せている。1年後には豫園はマンシヨンに囲まれてしまうのではないかと心配である。



⑨ 豫園の商域の飲食店等



⑧ 豫園水上楼閣

## 9. 高級車の流れ

40年前は自転車の時代で、自転車が道一杯に広がって走り、その間をバスやたまに自動車が続うようにクラクションを鳴らし続けて走っていた。凄まじいやかましきであつた。当時は、中国産の大型の乗用車（「上海」）が殆どであり、走行中にエンストを起こし路肩に停車してボンネットを開いている場面をよく見かけた。また、事故を起こしても、自動車は主に特権階級の使用であつたため、内々での処理が多く、人身事故だったとしても引かれ損のような状況が起こっていたそうである。

それが今では自動車ばかりである。特に外車が目立ち、ベンツやVW、BMW、そしてホンダやトヨタの高級ラック車等々、立派な車ばかりである。それも綺麗に洗車されておりピカピカで走っている。小型車はほとんど見かけなかった。ガイドの話によると、縁起の良いナンバー（8とか4の続き）を取得するためには、順番待ちがあり、別途160万円の支払いが必要であるそうである。さ

らに、獲得のために賄賂も行われているとのこと。車が溢れているが、クラクションはあまり耳にしない。比較的静かな運転である。しかし、スピードの出し過ぎとハンドルの操作の荒さにはハラハラする。交差点の徒歩横断は、信号だけに頼らない目視による注意が必要である。平均給与10万円程で外車の乗用が多いのは、ガイドの話によると「中国人は見栄張りだから」だそうである。近年の経済の成長と住宅バブルの影響も大きいと思われる。

## 10・寒山寺の鐘の音

1984年、無錫輕工業学院（現江南大学）での講演を終え、上海への帰路の途中、漢詩で有名な寒山寺を是非とも見物したく、輕工業学院の教授にお願いしたところ、教授の案内で蘇州の寒山寺を見物することができた。

当時は、人民服の人々が寺を三三五五と見物をしている位で閑散としていた。寺の鐘をつくことも出来なかつたが、特別に寺に頼み許可を得た。いざつく時には、鐘つき堂の周りを人々が取り囲み珍しそうに覗いている中で鐘をついた。「夜半の鐘声」を響かせて、昔の寒山捨得をも偲んだ。現在は5元（850円）で誰でも鐘つきができる。今回は鐘を3回ついてみたが、大勢の観光客で混雑していて、鐘の音の響きも悪い感じで、昔に訪れた古刹の風情はなかつた。

寒山寺の門前に細長い回廊があり、壁面に寒山寺を訪れた歴代の名士・詩人の有名な漢詩が彫り込まれている。その漢詩の幾つかが、見易く読み易い大きな字で通路を挟んだ向かいの黄色い壁に掲示されている。にもかかわらず、立ち止まって見たり読んだりする人はいない。私とその漢詩を読んでいると（三中で細川先生の漢文の授業があつた）、ガイドが「いまの中国は新しい漢字なので古い漢字の漢詩を読める人が少ない」と話してくれた。漢字発生の国が、1つ1つの字がそれぞれに表意・表形され語源と意味のある漢字を変えて、現在の簡略化され

た形の漢字を使用するようにな  
ってしまった。中国文明が崩れ  
て行くようで残念に思った。日  
本では当用漢字が出来たが、ま  
だ本来の漢字が多く残されてい  
る点は良いことだと思う。さら  
に、漢字とひらがな字とが組み  
合わせられる日本語は絶妙であ  
り世界に誇れるものと思う。し  
かし、日本でも当今では言葉の  
使い方の乱れや外来語や造語が  
溢れている、日本語（漢字）の  
良さが伝承されてほしいと切に  
思うところである。

昔に訪れた際には、それぞれ  
の碑から写した唐詩「楓橋夜泊」  
「寒山拾得」の篆書などを購入



⑩ 歴代名士による漢詩の掲示



⑪ 寒山寺参道

した。その碑は健在で妻と娘夫婦と記念写真に納まり、  
長年の再訪の夢が叶った一時であつた。

## 11・蘇州の運河・山塘河遊覧船にのる

これまで時間が無くて訪れることができなかった蘇州  
の観光地を今回訪ねることができた。

元代の禪寺「獅子林」を訪問した。巨大な穴の開いた  
太湖石が林立し、中でも獅子に似ている岩は目を引く。  
呉の時代の陵墓「虎丘」の斜塔・雲岩寺塔や、運河に沿  
った唐・明時代の商店街・「山塘街」を見物する。小さな  
古い店を挟んで、狭い露地は中国の観光客で溢れている。



⑫ 虎丘の雲岩寺塔

山塘街の埠頭から遊覧船に乗り、往復40分の行程で、蘇州の昔ながらの河畔を見物する。河の水はうす暗い緑色で不透明であり、清流とは程遠い。清掃船が作業をしており、ゴミなどの浮遊物を回収しているので汚れない。河畔には柳が多く植樹されており、ひなびた住宅が並び、崩れかけた塀や石でできた太鼓橋など、昔の風情が感じられる場所がいくつもある。その中に、住民の生活がそのまま感じられる風景も目に付いた。川岸に置かれているバケツや桶、洗濯物、窓辺に置いている洗剤等々。時代が交錯する感じがすると共に、日本の観光地ではあまり見られない部分もそのまま観光ルートになっていることに、中国の大陸的気質を垣間見る感じがした。

虎丘の観光は、道が険しいため妻は山門で休息してい



⑬ 獅子林の太鼓岩

た。そこで、妻と近所の老女との間に、言葉は通じないがしばしの交流が生まれる。ガイドに通訳してもらって判ったのだが、老女は杖を突きながら毎日散歩を兼ねて山門に来て、参拝者などと話すのを楽しみにしているそうである。



⑭ 蘇州の運河(山塘河遊覧船からの風景1)



⑮ 蘇州の運河(山塘河遊覧船からの風景2)

## 12・蘇州の刺繍

蘇州の両面刺繍は伝統工芸として有名である。40年前、無錫の帰りに蘇州刺繍の工房を訪れた。若い女性が数十人並んでわき目も振らずに刺繍をしていた。そこでの完成品が展示されている部屋に案内され、精緻を極めた技術に圧倒された。その中で、直径30センチ程の丸形枠内に4〜5匹の艶やかな金魚が泳ぐ両面刺繍の製品が、特に気に入って記念に購入した。当時で10万円位を支払ったと思う。この金魚の両面刺繍を自宅の床の間に飾っていたが、平成7年（1995）の阪神大震災で、博多人形や壺その他多くと共に破損してしまい、破棄せざるを得なかったことは残念であった。

今回も蘇州刺繍研究所を訪問する。前回訪問の刺繍工房より規模が大きくなっているものの、広い工房の中では年配の女性が一人ポツンと作業をしているだけである。工房の案内人が、「最近は刺繍をする者が少なくなり、特に若い子が刺繍をしなくなった」と嘆いていた。一方、

隣接する刺繍等の土産売り場は非常に広く、大小で値段の様々な成品が陳列されている。女店員が執拗に買い物を勧めるが、両面刺繍で小さいもので数10万円であり、前回に購入した30cmの大きさと金魚の両面刺繍になると100万円を超える値段である。今更ながら震災での破損が惜しまれる。完成に1年掛かりの最高級品は数万円以上である。数万円の片面刺繍の布もあるが、芸術的価値はなく、結局に何も買わずにそこを後にした。

## 13・終わりに

長年の宿願であった上海、蘇州を訪れることが出来て満ち足りた気持である。現在の中国の一端を直接訪問し肌で感じたことは、40年前の発展途上の素朴な中国は姿を消して、巨大で煩雑な感じになった印象である。とにかく、人の多さは予想以上であり、バブル的成長に浸っているように感じられた。その後の予測や危機感が低いように感じられ、政治・経済のみでなくあらゆる面のリ



スクも考えることが求められると思った。

ところで、旅行では移動にさまざまな乗り物を使うが、最終の見物は徒歩になる。今回、米寿での旅行となり、足腰がかなり衰えてしまっているため、思うようにあちこち見物することが出来なかったのは残念である。足腰がしつかりしたうちに旅行すべし、である。

## 【後記】

2019年12月30日の夜遅くに上海より帰国した。あとになってわかったことだが、当時、中国湖北省武漢では、すでに12月中旬頃から新型コロナウイルスによる肺炎患者が発生していた。1月の初旬頃から中国で流行し始め、2月中旬で死者2000人以上、患者10万を超えることになる。中国武漢市の閉鎖、上海の外出禁止、航空便の運航中止等々の処置がとられ、武漢からの日本人の引き上げもされた。日本国内でも患者が出て、横浜のクルーズ船では乗客・乗員から感染者が大量発生し、

死者が出る緊急事態になった。

もし今回の上海への渡航がもう少し後であったならば、新型コロナウイルス肺炎の騒動に巻き込まれていたのではないかと思い、震撼と安堵の気持ちたちが交錯している。

2020年（令和2年）2月記

以上

# 一夜庵全国青少年俳句大会について

観一・6回 大西 馨

(昭和30年卒)

観音寺市には、俳諧の祖山崎宗鑑が生涯を終えた一夜庵があります。宗鑑没後既に四百六十年を過ぎておりますが、今も俳句を目指す若い人が訪れております。

一夜庵保存会は、この俳蹟を保存するとともに俳句の振興に努めております。毎年発行しております市内の小・中・高校生と姉妹都市草津市青少年による「宗鑑祭にちなむ俳句作品集」は、開始から三十三年になります。又、市民文化祭の行事としての宗鑑忌俳句会の実施、更には香川県内と近県各地の俳句愛好者による「一夜庵俳句大会」の開催もそれぞれ三十年の歴史を歩んでまいりました。

このような実績の上に、インターネットを経由するホ

ームページで、全国何処からでも投句ができる一夜庵全国青少年俳句大会を企画しました。

昨年五月一日には、皇位継承による改元が行われ「令和」となりました。一夜庵保存会は、これを会員あげて慶祝するとともに、この全国青少年俳句大会が、将来につながる記念の第一歩の事業となるよう計画した次第であります。

しかし、インターネットによるホームページからの投句は初めてのことであり、どのような反響があり、何人からの投句があるかなど、予測が難しい事業であると考えております。このため、今後二回三回と粘り強く継続



一 夜 庵

する必要があると考えております。IT技術が更に発展し、情報通信技術が向上する時代においても、俳蹟一夜庵を全国の青少年に発信する努力を続けてまいりたいと存じます。

第2回 一夜庵  
全国青少年俳句大会

新元号記念  
俳祖山崎宗鑑翁顕彰  
インターネットでの投句による 作品募集!

香川県観音寺市には、俳諧の祖山崎宗鑑が生涯を終えた「一夜庵」があります。平穏な「令和」の時代を願う俳句大会であります。全国青少年の各地からの投句をお待ちしております。

応募期間  
令和2年  
2020年  
5月1日～12月31日

■主催/一夜庵保存会  
■後援/香川県・香川県教育委員会  
観音寺市・観音寺市教育委員会  
RNC西日本放送・KSB瀬戸内海放送  
MCB三豊ケーブルテレビ放送  
四国新聞社

令和元年の始まりを記念する第二回目のこの俳句大会が、地域文化の向上に少しでも貢献できるように念願する次第であります。

どうか皆様方の格別のご理解とご支援を衷心からお願い申し上げます。

#### ■応募方法

インターネットを経由するホームページからの投句となります。

題詠はなく、全て自由題とします。  
お一人さま五句まで応募できます。  
投句料は不要です。

#### ■応募資格

俳句を志す青少年男女（大学生・高校生・中学生・小学生）を中心に、俳句に関心のある初心者や外国からの若者の応募を期待しております。

#### ■応募期間

令和二年（二〇二〇年）五月一日から十二月三十一日までとしております。なお、三年度以降も同じ応募期間での実施を予定しております。

■選考委員

藤原久一 亀山祐美子

横山シゲミ 片山祐子

■賞状・賞品等

香川県知事賞 香川県教育長賞

観音寺市長賞 観音寺市議会議長賞

観音寺市教育長賞 一夜庵保存会会長賞

■優秀作品の発表等

選考結果の発表は、応募者全員の作品を収録した冊子を作成し、次年度の一夜庵保存会総会（毎年四月）において行う。又、同時に応募者や関係者の皆様にはホームページで、その結果を発表致します。

■投句者の個人情報保護

この投句システムは、商品の発送等に対応するために、住所等個人情報を取扱うため、情報の保護に適切に対応いたします。皆様からの投句をお待ちしております。一夜庵保存会は、この俳句大会を通じて、子供たちの

インターネットによる「オンラインゲーム依存症」の防止に少しでも役立つように、進歩する情報通信技術の向上と文化の発展に貢献するよう全国の青少年の皆様方に、次のような呼び掛けの発信をしております。

●俳句は五七五の十七音の短い詩歌ですが、国民に広く知られた世界に誇れる日本の文化であります。

●日本の四季折々の美しい自然を見つめ、俳句にしてみましよう。

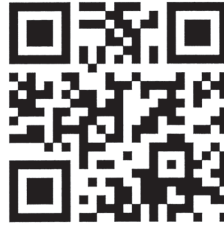
●日本の歴史と薫り高い伝統文化をみつめ、俳句にしてみましよう。

●「令和」の時代がスタートしました。清らかで美しい日本を俳句に残しましょう。

●進歩するパソコンやスマートフォンなどの情報通信技術の向上を文化の発展に役立てましょう。

最後に、ホームページアドレスとQRコードをお知らせします。

ホームページアドレス  
<http://www.ichiyaan.com/>



詳細は HP でご確認ください。

この大会に関する問い合わせなどは、次のとおりであります。

〒七六八―〇〇六一

香川県観音寺市八幡町二―七―二

興昌寺内 一夜庵保存会

TEL 〇八七五―二五―二六七二

(一夜庵保存会長)

## コロナを迎え撃つ

### 「戦いの原則」と指揮幕僚体制

観一・7回 齋藤 文一

(昭和31年卒)

#### I、状況

新型コロナウイルスは瞬く間に伝播し世界を恐怖に陥れている。国は感染防止のために自粛を求め、医療現場では過酷で危険な勤務を強いられる場面があった。

政府の対応はややもすると後手後手に回り、国民はやさもきさされ、気が抜けない状況が続いている。

医師が患者を検査機関に取り次ぐようにも保健所の受付などの制約があつて、患者にPCR検査を受けさせたり、適切な医療機関に送り込むことが難しい場面もあった。

感染者の急増が予見されるなか、政府は当初独自の判断というよりも、新型コロナウイルス感染症対策専門家

会議への諮問結果に頼って対策を行ってきた感があつた。一部組織替えを行い更に努力しているが、七月末の現在、二次感染拡大の脅威に直面している。東京大阪などでは、一部のホストクラブ・キャバクラや夜の街における感染があり、此処から全国に波及する恐れが強いにもかかわらず、明確に有効な対策が打ち出されていない。今次の状況に対しては、もっと本格的対応も考えられるのではないかと思料する。

#### II、新型コロナウイルスに対する防衛戦争

初めから、これを『新型コロナウイルスに対する防衛戦争』と見なして行動すれば、よりスムーズな対応ができたのではなからうか。人類の壮絶な体験によって、戦時対応のやり方がおのずから決まっているからだ。

《取り組み概要》の一案を述べる。

指揮官の任命、『戦いの原則』の適用、作戦本部の幕僚（指揮官の参謀的補佐役）の有機的な活動。国民・政府・自治体や個々の構成員がそれぞれの役目を果たし、高い



志気を維持しながら長期作戦を遂行する。

一、指揮官は総理大臣、担当大臣、地方自治体の長がある。

二、「闘いの原則」には、目的の原則、主導の原則、柔軟性の原則、集中の原則、警戒の原則、簡明の原則、統一の原則、経済の原則などがあるが、概ねそれらに悖ら<sup>もと</sup>ない取り組みが重要である。

【目的の原則】我が国ではインバウンド需要、東京オリンピック、習近平中国共産党総書記国賓招待などへの配慮のためか、「新型コロナウイルスに対して国民を守る」という「目的の原則」を貫く強い意識が一時的にやや希薄になっていった感がある。

【主導の原則】台湾、ベトナム、ニュージーランドなどの首脳は感染防止目的を重視し、自国第一主義で、水際対策など「主導的な行動」に徹した結果、極めて優れた成果をあげ、防疫目的と経済的損失軽減を見事に達成している。

【警戒の原則】新型コロナウイルス発生に際して、厚生労働省の情報感度は十分であったのだろうか。

時悪しく中国は春節。多数の訪日客があったにもかかわらず本格的入国規制を行ったのは彼の国が全人代を開催できず延期を決めた後であった。

【集中の原則】緊急対応策第一弾百五十三億円に加え第二弾としては四千三百八億円の財政措置を講じた時、「感染拡大防止策と医療提供体制の整備」には四百八十六億円(十一・三パーセント)が割り当てられたのみで、本ウイルス對抗予算としては如何にも少なく「戦略的集中の認識」が欠如していた。しかも、この傾向は今も続いている。

【柔軟性の原則】適切で速やかな対応を採ろうとしても法制や組織上の問題等で実行が容易でなかった。

【簡明の原則】政府は対策方針を簡明で力強く発するべきである。ただ、「手洗い、マスク、三密を避ける、接触の七く八割削減、人と人との距離の確保」などは簡明で

分かり易い指導であつた。

【統一の原則】政府の指示と地方自治体の対処方法は必ずしも整合的でなかった。

【経済の原則】政府自治体とも前例を見ない予算措置を講じているが、長期戦に耐えるための知恵が必要となる。

### Ⅲ、作戦の遂行態勢

#### 一、担当幕僚の配置

対策本部には①人事②情報③作戦・教育④兵站その他の担当幕僚と幕僚長を置き次の事項を担当させる。

① 人事。関係機関と調整のうえ、目的達成のため組織の整備編成、広報の実施、国民並びに医療従事者の志気の昂揚維持、一部の厚生対策

② 情報。新型コロナウイルスの疫学的病理的特性。

国内並びに世界の感染状況や各国の対応策からの教訓。病理学疫学医療専門家や社会経済専門家の意見。

マスコミや民意の動向。

作戦のキーとなる要素。等々の収集。

③ 作戦・訓練。任務と知見と情報に基づき、対新型コロナウイルスオペレーションの各段階を想定した作戦見積、作戦計画の作成。

関係幕僚と調整し、指揮官の適時適切な状況判断と決心、命令指示勧告の実施を補佐。実行状況の把握、改善策の推進。要員の教育訓練、局面に応ずる投入。

④ 兵站。作戦見積・作戦計画またはその変更修正に基づき、戦いの継続に必要なすべての施設や物的対応手段の準備。自治体や国内各組織との連絡意志疎通。

特に、法務担当を置き法制上の隘路を状況に適合させる処置を準備(局面打開に必要)。必要予算の確保。

⑤ 通信幕僚。指揮伝達系統の通信整備、各組織間の通信機能の改善維持。

⑥ 研究開発。PCR検査機器、抗原検査キット抗体検査キットの改良と緊急普及。治療方法の研究普及。治療薬の開発。ワクチンの開発。

各幕僚は相互調整しながら、担当事項について責任を

持つて自主的に準備を図るとともに状況を幕僚長、副指揮官、指揮官に報告して、その指示のもと、実行案を作成し、決断裁可を得て実行に移す。

#### IV、作戦の実行

【前方作戦指揮所】主として指揮官、幕僚長、情報幕僚、作戦幕僚がいて、情報に基づき、一瞬一瞬を無駄にしないビビッドな作戦指揮を行う。

【後方作戦指揮所】副指揮官、兵站幕僚、通信幕僚、研究開発推進担当幕僚が位置し、作戦遂行に必要なあらゆる後方支援活動を行う。

【作戦の実施】作戦は総理大臣が大綱方針と各組織の任務を示し、地方自治体の首長が実行するが、状況は常に変化するので、緊急対策案を事前に準備しておき、大綱を示達した後も、必要な追加指示や関係情報を流し、物的・財政的バックアップを継続的に行って戦闘継続をやりやすくする。

国民の協力、政策の実行、実行状況の確認、さらに改

良策の施行を継続して、新しい治療法や治療薬・ワクチンの出現を待つ。

国のすべての構成員がワン・チームとなって無理無駄や取りこぼしのない対ウィルス作戦を遂行し、この深刻な局面を乗り切って行きたいものである。

## じいちゃんのたわごと

観一・10回 岸井 清純

(昭和34年卒)

令和2年2月4日付夕刊の文化欄に、「叙情漂うホラー漫画作家」として有名な、日野日出志さん（73）の記事が紹介されました。新聞記事を要約すると、半世紀も続けてきたホラー漫画が下火になったところへ、人がすすめるツイッターを始めると色々な人から反応を頂いた。さらにSNSを始めたところ注目が集まり、新旧共々新境地が開けた。

彼の作品を全く知らなかった私は、若い人たちに聞いてみると良く知られた作家だった。成程、「自分には俳句もある。短編集は30作品もある。校歌やエッセイ、企画書やかつて投稿した創作民話、伊吹物語もある」「ひとつ日野先生にあやかってツイッターにでも挑戦してみる

か」と言う訳で、自宅待機を余儀なくされている新社会人に協力を求めた。

「俺今暇だから、ツイッターでもSNSでもすぐできるよ、協力OKだよ、協力させてよ」「では先ずスマホを手に入れることだね、教室もやっていることだし、根気よく教えてもらうことにするよ、自立しなければね」ということで昼頃、近くにあるスマホショップに入った。目的を告げるとテーブル席に案内された。30分ほど待たされやつと若い女性から説明を受けた。彼は時々言葉の解釈をしてくれた。結構長い時間が経過した。そして別のカウンター席に案内された。ベテランとおぼしき女性が当然という顔をして「今から契約の作業に入りますが、3時間ほどかかります、よろしいですね」顔を見合わせ「オーノー」と同時に言った。「お腹が空いて死にそうだ」「同感」。契約日に彼は来なかった。4時間もかかり、疲れ切ってスマホをぶら下げ、分厚い読みもしない説明書や契約書、帰りぎわに聞いた「スマホ教室の予約・・・」

「今はコロナウイルスの影響で、しばらくの間閉じられてます」「アチャーほんまかいな嘘かいな、参ったまいった、あほらし屋の鐘が鳴る」と思わず品のない言葉が発せられた。誠にお恥ずかしい。

家へ戻ると彼が待っていた

「遅れてすみません、どうでしたか」

あらましを説明して「いいんだよコロナが蔓延を始めたというのに凄く混んできたよ、新社会人を感染させては大変だからね、むしろ良かったんだよ」。するとすかさず彼が言った「僕のスマホに寄生しませんか、興味あるし」「そんなことできるの、きついのを書くかもしれないよ、勤務先に叱られてもいいのだな」「いいですよ、僕のほうで校正しますから」というわけで彼のスマホへ居候を決めた。タイトルは「じいちゃんのたわごと」である。

その頃からコロナの蔓延はただ事ではなくなった。世界中に広がった。

○

デジタルの代表ともいえるスマホ、アナログの代表ともいえる手紙、奇妙な状態でスタートを切った。彼に原稿を送る、彼は校正して発表する。コロナが爆発して志村けんさんが亡くなった。誰もがショックを受けた。

それでは「じいちゃんのたわごと」、ツイッター投稿の始まりです。一部を紹介します。

一、「コロナ禍や 何が平和か思い知る」

人間が傲慢になると疫病に襲われる。歴史の教えるところだ。傲慢とは何か、温暖化だろうか、地球や他の生命に対して傲慢になり、自身がリスクのど真中にいることに気付く。大丈夫か、間に合うだろうか。

二、「スランプを嘆くな只今充電中」

誰にでもスランプは襲います。谷深ければ山高しと言います。耐えられない時は「神様が私に試練を与え給うのだ」と思うことにして突破できました。

三、「春風や雀の噂友に聞く」スズメの話

源氏物語にも雀が登場する。起源はナイル川の上流と

言われている。人が住まない所には雀も住まない。三宅島が噴火して住民不在になった時は雀も周辺の島へ移動している。恋の季節は五月六月。秋、電線などへ集まる雀はその年生まれた宿無し雀で、生き残る数はずかだと言う。冬には雪の少ない西日本へ移動する。

○

彼には20作品を送り、これまで7作品を発表している。

○

通天閣に緑色のあかりが灯り、嬉しさのあまり、高校以来の短歌を作ってみた。

風薫る 浪速の町は日が落ちて

通天閣に緑微笑む

「字数が多くて短歌はやはり苦手だなあ」とため息をつく。そして思い出した。確か前号（23号）に面白い短歌

があったことを。そして調べた。鈴木さんの「暗峠」（くらがりとうげ）だ。新鮮で大らかな感性は大成の予感がします。是非とも継続してください。

「観音寺のお寺のご案内」山西さん作品には感銘を受け、改めて読み返しました。読者の立場に立ち、淡々と清らかな文章に引き込まれました。これからの時代、アニミズム、八百万の神、仏教は大切と思います。

「利他主義」「情けは人の為ならず」「天上天下唯我独尊」等発信を期待します。光明寺には切ない思い出があります。



# 私とヨーガ

観一・11回 高橋 勝久

(昭和35年卒)

私がヨーガをやり始めてからもう三十数年になります。この間に、ヨーガを通じて観一高に関わりを持つ多くの方々と一緒にヨーガを実践してきました。

私がヨーガに初めて出会ったのは、昭和52年に観一高に赴任してしばらく経ってからです。ある同僚の先生が、何かの会でヨーガについての講演を聴いて帰り、ヨーガは体にも心にも良いものだから、校内でも関心のある方で一緒にやりましようと思掛けしてくれました。勤務時間後に体育館の奥の畳の間に、関心を持った職員が集まり簡単なヨーガのポーズ（体位法）をいくつかやってみたのが初めての体験です。これは、何となく体に良さそうだったので、その後週に一回放課後に何人か

続けてやりました。その集まりの中で最も熱心だったのが、理科の高橋剛先生でした。高橋剛先生の勧めで、香川ヨーガ道友会にも入会し、高松で行われたヨーガの講演会や研修会にも参加するようになりました。

昭和50年代の後半に観一高でも「全校クラブ」という時間が週一回設けられました。生徒たちは文化的なクラブか体育的なクラブを希望で選んで全校一斉に活動しました。この時、高橋剛先生の提案でヨーガクラブが設けられました。このクラブに第一希望で入ってくる生徒はほとんどいませんでしたが、第二、第三希望、または所属するクラブが無くて入ってくる生徒など数名から十名ぐらいで活動をされていました。平成元年に、高橋先生が転勤で他校に移られた時に、「ヨーガのクラブは必ず続けてください。観一からヨーガの火を消さないでください。」と言われて、その年から「ヨーガクラブ」を担当しました。第一、第二希望に入れなかったからという生徒もいましたが、数名から十名程度が入ってきて、週一

回ヨーガの基本的なことを実習しました。生徒達に、ヨーガの素晴らしさを実感してもらるように努めました。勤務時間中に、ヨーガをやるのは本当に幸せなことだと思い、楽しみにしていた時間です。

その後、私自身は、一般の方とも一緒に同好会を作り、市の公民館の和室を借りて週一回の活動をしていました。私たち観一第11回卒学年の同窓会はこれまで4回開催しましたが、その第一回目の会（平成4年）に、恩師の請川昇先生も出席されました。この時、先生とヨーガの話が勢いで、先生がヨーガに強い興味を示され「私もやってみたい」と言われました。その後、毎週木曜日には、室本のご自宅からバイクで通って来られました。先生は、熱心にヨーガに取り組まれ、すぐに基本を体得されました。私たち同好会（三豊ヨーガの会）の会長に就いていただきました。会の終了前の二、三分間、先生はほんとうに心に残るようなお話をしてくださいました。

私たち第11回卒の同窓会の第三回は平成22年に琴弾

荘で、第四回は平成29年に観音寺グランドホテルで開催しました。この両方ともで、同期の一人にお願いして記念講演（30分程度のミニ講演）をしてもらいました。その後で硬くなった体をほぐすというので、私が担当して「ミニヨーガ」を20分ほど行いました。同窓の皆は、椅子から立って、熱心に、がんばって体を動かして参加してくれました。このミニヨーガの後で、観音寺在住の方から「自分もヨーガをやってみたいのだが・・・」と申し出られて、私の教室に来るようになり、現在も続けておられます。

私は、現在2教室でそれぞれ週一回、地区外の2教室でそれぞれ月一回、講師として行ってヨーガを続けています。これらの教室には、私と同期の方が5名、それに同窓の方も多数参加されています。

観一高の恩師の先生方、元同僚、教え子、私と同期の方など、いろいろな場で一緒にヨーガを楽しく実践してきました。

「階段の昇降で手摺を持たなくてもよくなりました」  
等々健康感を体感された声を聞かされると、ヨーガを続けてよかったと実感しています。

一生健康で、死ぬまで生き生きと、そして死ぬときは  
「よい一生でした。さようなら。」と周りに感謝して、悠々と逝くような生き方をしたいものと思っています。



## 新型コロナウイルスと私

観一・12回 森川 善弘

(昭和36年卒)

観音寺第一高校卒業以来42年間過ごした東京での仕事を終え、帰観して18年になる私は、市内の図書館の一室で月一回開かれている読書サークル「蕾愛書会」に楽しく参加しています。20数年の歴史を誇る女性中心の読書会で、観一高の同窓が何人もいて、第12回卒業生「36会」の中山梅太郎君の奥様、関西支部滝本禎君の妹さんもその一員である。

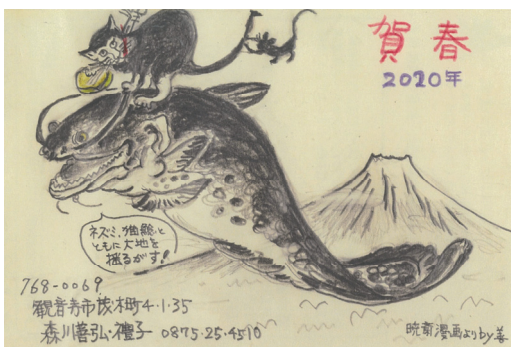
私は、先日例会の終わった直後に若手メンバーのAさんから貴誌へ寄稿を依頼されたのだ。今では黒一点で歓迎されている（と思っている）私としては簡単に断るわけにはいかなかったのです。

さて… テーマは…？。と悩みましたが、

今日この頃、「コロナ」を外すわけにはいきませんよね。

今年の年賀状は、干支は鼠だけれど、鼠は苦手、天敵の猫で行こうと早くから決めていた私は大阪で観た展覧会・川鍋暁斎の猫の絵を借用して、鯨の背に乗った猫の尻尾に鼠をしがみ付かせて、「猫、鯨とともに大地を揺るがす！」の吹き出しをつけた図柄にしたのです。「戦争する国づくり」（9条改憲）をあきらめない安倍政権に一矢を報いたいとの思いがあつたのです。

ところが、年明け早々から「コロナ」が一斉に襲いかかってきたのです。「例年とは



ちよつと違う風邪」「対岸の火事」と軽く見ていたのが、  
「人類の歴史は感染症との戦いであつた」などと言われ、  
人の命を一番軽く扱つてきた輩から「命を大切に」「学校  
休校」「自粛・自粛」「三蜜の徹底」などと声高に叫ばれ、  
「やつてられるか」と頭にきてしまった。

楽しみにしていた東京への展覧会（美術鑑賞）も取り  
やめ。

腰痛の不調の再発で家に閉じこもる日時が多くなるに  
したがつて、昼間はコロナ関連のテレビ報道を見る時間  
が長くなり、夜は寝不足。自粛に応じない、マスク非着  
用者は『国賊』と言わんばかりの報道。

勉強不足・的確な情報不足もあり、「出口が見えないこ  
と」が苛立ちを増大させ、寝不足に。昼夜（時間）の感  
覚も狂わされ、大事な会議すら予定を遅える始末。

いま私の最大の課題はコロナに出口を見出すことであ  
る。そもそも「新型コロナ（COVID-19）つてなんだ。  
では旧型は？」

### 「感染症の世界史」

に関する書物、カミユ  
の小説「ベスト」等：  
感染症に関する図書を  
読み漁っている。

七宝山の雲も晴れて  
来たようです。

コロナに負けてはお  
れません！

観一高の正門を出て、  
財田川の土手の道に上  
がると七宝山が一望できます。河川敷ではよくブラスバ  
ンドの生徒たちが練習しています。でも今年は文化祭が  
中止です。デカンショの練習の太鼓の音も聞こえてきま  
せん。寂しい限りです。

琴弾八幡の秋の例大祭も太鼓台は出ません。



# 自転車の楽しみ

観一・12回 井川 満

(昭和36年卒)

一 まもちちゃんの親切

私は五年前に、その時までの一〇年余に亘り悩まされてきた脊柱管狭窄症の手術を受けた。ベッド数が一〇程の小さな医院においてであった。入院中に看護師さんから「入院患者の中に、京大の先生が居られますよ」と告げられた。私は京大で教えていたことはこの医院では言ったことがないのに、どうして知れているのか訝しくは思いながらも、それとおぼしき方と顔を合わせば挨拶くらいはしなければならぬだろうと思った。

その方は直ぐ分かった。私と同年輩である。「京大に勤めておられた方でしょうか」と声を掛けると、「そうだ」という。「私は理学部に勤めていたのですが、何処に居ら

れましたか」と訊きくと「化学研究所にいました」と言われる。同年輩でもあるので「暫く前に所長をしていた玉尾皓平をご存知と思いますが、彼と私は高校で同級だったのです」というと、「玉尾君とは学部以来の友達ですよ、化研に移ったのも同時です。ただ彼は教授に昇進しての異動でしたが、私は助教教授から同じ助教教授でした」との話であった。玉尾君のこともあり、すぐさま打ち溶け合って楽しい入院生活となった。三六会（昭和三六年に観一を卒業したものの達の同窓会）において玉尾君の講演があつたことを話すと、どんなことを話したのか知りたいというので、巨づくに載せてもらった拙文を見せたりもした。

彼からメールが出されたようで、玉尾君から見舞いのメールが家に届いた。そこには「まもちちゃん」こと槇護君も同じ病で入院中との事であった。退院して暫く後にまもちちゃんから荷物が届いた。そこにはハンドグリップ（握力を鍛える器具）が入っており、「それを毎日使って



握力をつけるように」との親切な指示が記されていた。

その次の年の秋であったか、三六会東京支部の方八名が京都観光にこられ、晚餐の席に京都在住の何人かを招待して下さり、その中に我々夫婦も加えてくださった。久しぶりの再開の喜びと、プレゼントへの感謝の思いをこめて「まもちゃん」の手をしっかりと握った。するとまもちゃんは「十分握力ありますね」と言ってくれた。握力を示すためにしっかりと握ったわけではないのだが。

私は普段何のトレーニングもしてない。腕力を要する仕事をしていたわけではなく、むしろ一番腕力を要しない職業に就いていた。それ故にまもちゃんが心配してくれてハンドグリップを贈ってくれたのである。私にも意外であったが、握力がある程度あった理由を探れば、日頃移動手段に二〇年近く乗り続けてきていたオンボロのロードバイクを使っていることが思い当たるのである。

## 二 自転車 の 効 用

私がスポーツ自転車、特にロードバイクに出会ったのは四〇歳の頃であった。乗ってみると、力をこめずにペダルを踏んでもスーと進むのに驚いた。それまでのシテイスイクルとは全く違う乗り心地である。その自転車で京都の北、雲ヶ畑の辺り、片道約一五キロメートル、約二〇〇メートルの登りのコースを走るようになった。坂道が好きというわけではなく、自動車に煩わされないコースとなれば、京都の北に住んでいれば山の中の道になる。坂を上るのは厳しいが、走り終わると体がスツキリする感であった。自転車で山道を走るにつれて、酷かった肩こりが少しずつ軽くなっていった。

それまでの私は酷い肩こりに悩まされ続けてきた。頭を回すと首筋から頭の中に電気が走ることが屢々であったし、授業での板書では肩が痛くて腕が拳がらず、黒板の下半分くらいしか使えず困っていたのである。自転車の故かどうかは分からないが、とにかく酷かった肩こり

から解放され、もう私には自転車は手放せなくなつた。

ロードバイクの利点は、長距離をあまり疲れずに走れることである。私の住んでいる京都での移動では、多くの場合自転車の方が速い。もちろん同じ道を走れば自動車の方が速いが、自動車を駐車場に止めて指定の場所までの移動時間をも合わせれば、自転車の方がかなり早いのが殆どである。四〇歳以降、私の京都市内の移動は基本的に自転車となった。そして土曜日は特別のことがなければ、琵琶湖方面のサイクリングを楽しむようになった。

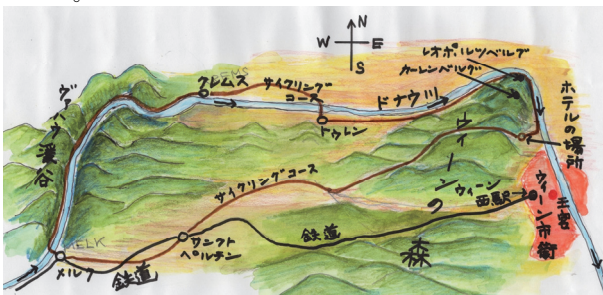
ロードバイクでは、体重を尻、足、腕の三点で支えるので、自ずと腕が鍛えられる。さらに私の使っていたオシボロ自転車はブレーキを掛けるのに力が要る。これが、握力を鍛えたのであろう。

### 三 ウィーンでのサイクリング

自転車の楽しみを覚えてからは、少し長い外国滞在で

は自転車をレンタルするか、中古の安いのを買い、移動手段にするとともに、週末はサイクリングを楽しむようになった。ウィーンでのサイクリングの思い出を少しばかり記す。

ウィーンの町 私には、ウィーンは落ち着いた文化都市との印象が強い。町のサイズも大きすぎない。中心部にある王宮と、郊外のシェーンブルン宮殿の間も自転車で容易く移動できる距離である。パリのルーブル宮殿とベルサイユ宮殿のように離れていない。道路の自動車も歩行者や自転車の優しく対応してくれる。日本とはずいぶん違う。



ウィーンは荒く言えば、東側をドナウ川で、西側をウィーンの森と呼ばれる山並みで挟まれている。ウィーンの森というのは日本でいう森ではなく、北はドナウ河畔より西南に向かって連なっている山並みを指し、高さはドナウから三〇〇メートル程である。このウィーンの森の北の端近くにカーレンベルグおよびレオポルトベルグという展望所があり、ウィーンの町とドナウ川が一望できる。

私が宿泊していたホテルからは、七キロメートル強の道のりで三〇〇メートル弱の登りとなる。私は滞在中の週日は殆ど、研究所から帰ると夕食前にこのいずれかの場所まで自転車走らせた。時によって帰り道を少し変えて、ベートーベンが散歩中に交響曲第六番田園の構想を得たといわれているベートーベン散歩道を経由してホテルに帰ったりもした。夏は一〇時を過ぎても明るいから、自転車走らす時間は十分にある。

自転車十列車 ヨーロッパで私が羨ましいなと思っ

きたことの一つは、自転車そのままを列車に乗せられることである。すべての列車でもないし、車両の中では場所を指定されるにしても、私から見れば自転車を持っただけの列車による移動は、ヨーロッパでは本当に恵まれている。現在日本でも自転車を持った列車に乗ることとは出来るが、自転車を畳んで袋に入れることが義務付けられている。私のような老人には、例えば京都駅で列車を降りて自転車の入った袋を持って階段を上り下りしながら地下鉄乗り場まで移動するのは苦痛である。自転車は転がせば移動は簡単だが、袋に入れて担ぐの移動はとても力を要する。京都駅の混み具合を考えれば、



カーレンベルグよりドナウ川とウィーン市街を望む  
(右端辺りに王宮がある)

自転車転がしての移動は土台無理ではあるのが。

ウィーンから西に約八〇キロメートル離れたドナウ河畔にメルクという町がある。ロココ風の巨大な修道院のある町である。マリーアントワネットがルイー六世に嫁ぐためウィーンからパリへの道中、この修道院が宿泊所となったという。内部は修道院というよりも王宮のごとき壮麗さである。この有名な修道院を訪れたいと思った

が、ウィーンから行くにはウィーンの森を横切って西に走るか、ドナウ川に沿って走るか二つの選択がある。ウィーンの森を横切れば距離は短いが上り下りが大変である。ドナウ川沿いを走れば、平坦ではあるが距離は相当



メルク修道院

長くなる。何れのコースを採っても行き帰りを自転車でというのは無理がありすぎる。午後四時過ぎにメルク駅発ウィーン西駅行き急行列車に自転車マークがついているのを知った。帰りはこの急行列車を使えば無理なくメルクを訪れることが出来る。

それからは週末のサイクリングは殆どメルクへ行った。朝出発直後の元気があるときにウィーンの森を横切りながらの上り下りは気持ちが良い。また、ドナウ川沿いの道は平坦で朝九時くらいに出発すれば、ゆっくり走っても三時頃にはメルクに着く。私はどちらかといえば、ドナウ川沿いのコースの方が好きだった。このコースの終わり約三〇キロメートルはヴァッハウ渓谷と呼ばれているところを走る。ここではドナウは切り立った山々に挟まれていて。それらの山々には古城の姿が見え隠れする。川幅は狭く、流れは速い。遡ってゆく大型船は喘ぎあえぎ進む。古代から交通の要衝であったことが実感される。古い村々や、山の上の古城、船の行き来を眺めながら

自転車走らせるのは本当に楽しく、しみじみとヨーロッパを感じる。メルクで一時間あまり休憩する。メルク駅でウィーンまでの自分用と自転車用の切符を買う。列車が来るとまず自転車用の貨車に自転車を預け、プラットフォームを客車まで行き座席につく。もう何もしないで一時間余り坐っていればウィーンに着く。自転車を嫌々漕いでいる訳ではないが、充分足も疲れてきたとき、もう自転車を漕がなくても帰れると感じる開放感も独特のものである。



パッハウ溪谷を流れるドナウと古城

## 曹操について

観一・13回 高畑 紘志

(昭和37年卒)

「三国志」は紀元後三世紀、後漢の末期から、魏（曹魏）の曹操、蜀漢の劉備、呉（孫呉）の孫権が相争った、わずか六十年余のことを著したものである。

「三国志」には二種類あって、一つは西晋の史官陳寿が三世紀後半に著し、のちに正史に位置付けられた「三国志」である。倭の女王卑弥呼が使者を送ったことが記されている「魏志倭人伝」（正確には「魏書東夷伝倭国条」）はこれに含まれる。

もう一つは元末明初の小説家羅貫中（らかんちゅう）が十四世紀後半にまとめた「三国志演義」という小説である。

日本人は「三国志」好きで、小説、コミック、ゲーム、

映画に、ファンが多い。十年ほど前に封切られた中国映画「レッドクリフ（赤壁）」は、パートⅠ・Ⅱ合わせて八〇〇万人以上の観客を集めたといわれる。

漢の再興を目指す劉備とそれを助ける関羽・張飛と諸葛孔明。江戸時代以来「三国志演義」が日本に広く受入れられ、曹魏を正統とする正史の「三国志」ではなく、蜀漢に対する判官びいきをしながら、曹操は足利尊氏と並び国を奪った極悪人、諸葛孔明は楠正成と共に忠義の人とされていた。

で曹操は一体どのような人か。その歴史的位置はどうか、私なりに述べてみたい。

後漢末期、天子権力は衰え、内部的には外戚（天子の母親の一族）と宦官（かんがん。去勢された内廷に仕える下級官吏）が勢力を持って相争い、外部的には困窮した農民暴動（黄巾の乱など）が頻発し、各地に軍閥化した豪族が乱立した。曹操は宦官の養子の子である。当時宦官は蓄財し、高位を買っていた。だから彼は出自は卑

しくない。若い頃は放蕩を尽して家に落着かず、男伊達を気取った。当時ある学者は、彼のことを「治世の能臣、乱世の姦雄」と評した。

無頼といっても一面は大変な勉強家で読書家だった。

後漢の乱れた社会を統治するには、儒教道德では不可能であり、厳格な法律によって取締らねばならないとし、「管子」「韓非子」など法家の著述を愛読した。また兵法に通じ「孫子」に自分で注釈を書いた。また諸家の兵法を集大成して本をつくり、戦術の教科書として軍に頒布した。あらゆる作戦計画を自ら立案実施した。彼の戦術は正攻法ではなく、公式主義を脱した奇兵が得意であった。兵法においても、政治においても、「策士策に溺れる」面があった。

後漢末専権を振るった董卓（とうたく）の死後、曹操は二〇〇年、官渡の戦いで袁紹（えんしょう）を破り、華北の覇権を握った。なお中国の風土は、淮水を境に寒冷で乾燥した大平原のオープンランドである華北と、高

温多湿の照葉樹林地域のフォレストランドである江南に大きく分かれる。

後漢最後の献帝を擁し、天下統一を目指す曹操は、二〇八年八〇万の大軍で南下し、劉備と孫権の連合軍と長江（揚子江）の南岸、赤壁で衝突した。（ここは例の武漢より上流に、蘇東坡（そとうば）の「赤壁賦」の赤壁は武漢より下流にある。）周知のように火攻めによって曹操軍の舟艇焼き討ちにされ、遠征の疲れもあって大敗した。この結果、天下は長江の南北に二分され、南では荊州（けいしゅう）めぐって孫権と劉備が争い、敗れた劉備は益州（えきしゅう、四川省）に逃れて自立し、諸葛孔明の「天下三分の計」が現実のものとなった。

二一六年曹操は献帝から魏王に封じられ、事実上の新王朝を立てた。しかし二二〇年には病死して六十六歳の生涯を閉じた。長子の曹丕（そうひ）があとを継ぎ、魏の都の西方に葬った。これが高陵で、二〇〇八く九年にかけて発掘された西高穴二号墓と呼ばれる。（河南省安



陽県案豊郷西高穴村に所在)墓の総面積は七四〇平方米、全長六十米である。日本の前方後円墳よりかなり小さい。出土品は曹操の遺言により質素であるが、何度も盗掘されている。人骨三体(曹操本人と推定されるものを含む)鉄器、灰陶が多い。

二二〇年曹丕は献帝から位を奪い(禪讓)天子となった。文帝である。そこで西方の劉備も翌年即位し、国号を漢(蜀漢)とした。昭烈帝である。しかし劉備と諸葛孔明の死後は国力が衰え、二六三年魏に併合された。呉は二二二年孫権(大帝)が即位した。その後魏から位を奪った晋によって二八〇年滅ぼされた。

魏・呉・蜀三国のうち、国土面積も生産力人口も最大を誇っていたのは魏である。人口数は魏四四〇万、呉二三〇万、蜀九四万である。魏が強大化し、後世に影響を及ぼしたのは、大体次のような曹操の政策がある。

#### ① 屯田策

没落した農民を集めて荒廢地を耕作させ、軍糧の調達、

兵力の補給、政府の財政基盤とした。これは北朝から隋・唐に至る均田制に受け継がれた。日本の班田収授の法のものである。

#### ② 九品中正法(九品官人法)

官職を最高の一品から最下級の九品まで九つの官品に分ける。この法の呼び名のように地方に「中正官」を設置し、各郷里での人物評に基づいて九等の品に分けて中央に推挙する。徳のある人物を集めようとしたのである。しかし「中正官」の判定には次第に不正と恣意つきまとい、名門名家の者が上位に就くようになり、晋の頃には家柄の固定化・門閥貴族へと成長した。貴族社会は南朝から隋唐へと続いていく。

#### ③ 建安の文学

曹操は「孝」や「廉」(れん)など儒教の徳目を基準とする漢の官吏登用制度に疑問を抱いた。唯才主義とよばれる、儒教にとられない能力本位の人事を遂行し、有能な人材を次々と登用した。儒教は漢の国教であった。

漢に代って魏を建国する基礎を定めるためにも、曹操は文学など他の文化を尊重して、儒教の地位を相対化した。曹操一家を中心に、当時の元号建安（一九六～二一〇）の文学といわれる。

#### ⑦ 曹操

約千年後、宋の蘇東坡は「前赤壁賦」で「月明らかに星まれに、烏鵲（うじゃく）南にむかつて飛ぶ」という曹操の「短歌行」の一節を引き、同舟の友が曹操が陣営中にも風流を忘れなかったことを讃えている。

彼には他に「苦寒行」の一篇がある。北辺の遊牧民征討時の苦勞をうたったものである。

#### ⑧ 曹丕（文帝）

詩も文もうまく、学問もあつて「典論」という文芸評論がある。その一部は三百年後の梁の昭明太子の「文選」に引かれて残っている。「文章は経国の大業、不朽の盛事」の語は、人口に膾炙（かいしや）している。

他に「芙蓉池の作」人生は短いかから悠々自適すべきだ

とうたっている。

「燕歌行」遠征の夫を思う夫人の歌

#### ⑨ 曹植

曹操の第三男。魏晋南北朝を通じて一級の文豪であり、唐以前では最高の詩人とされる。曹操の彼に対する寵愛は並々ならぬものだった。

「洛神の賦」洛水の神女を幻に見て、その美なること、夢の中でこれと遊んだことを歌っている。他に「丁翼に贈る」側近の者に贈った歌。「情詩」出征軍人の苦勞を思った歌

#### ⑩ 曹沖

さらに弟。幼児から賢く、曹操に孫権から象が送られて来た時、象の目方を測るのに、先ず大船に象を乗せて水に浮かべ沈んだところにしるしをつける。象を降ろして、あらかじめ重さを測った小さな物を積み続け、船のしるしをつけたところまで沈め、あとから積んだ物の総重量を計算すれば、それが象の目方ですと言ったので、

曹操が感心したという。

この話は唐末の李瀚(りかん)の「蒙求(もうぎゅう)」に載っている。「蒙求」は日本で平安時代〜江戸、明治時代に必ず教わった少年用教科書である。

最後に「三国志演義」の曹操は「奸絶(奸の極み)」とされ、曹操の話をすれば曹操が来る(説者曹操、曹操就到)、噂をすれば影との意味の諺になって抜け目のない悪漢とされる。しかし実は歴史の転換期に次の時代を準備した、中国史上の快男子であると思う。

了

〈参考文献〉

網 祐次 「文選」 (明德出版社)

石田幹之助 他 「大世界史4 大唐の春」 (文芸春秋社)

伊藤 正文 「中国詩人選集3 曹植」 (岩波書店)

愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター編

「曹操高陵の発見とその意義」 (汲古書院)

尾形勇 他 「世界の歴史(新版) 2 中華文明の誕生」

(中央公論社)

狩野 直禎 「三国志の世界」 (清水書院)

川勝 義雄 「中国の歴史3 魏晉南北朝」 (講談社)

近藤光男 「中国詩人選5 蘇東坡」 (集英社)

塚本義孝 「世界の歴史(旧版) 4 唐とインド」 (中央公論社)

堀田啓一 「河内考古学散歩」 (学生社)

堀 敏一 他 「岩波講座世界歴史(旧版) 5」 (岩波書店)

渡邊義浩 「三国志の魅力」 (汲古書院)

古代5 東アジア世界の形成Ⅱ

# 和歌山城散策

観一・13回 岩倉 煌一

(昭和37年卒)

仕事の関係で和歌山市に来て三十数年経ちました。

紀州和歌山は、近畿の中心からは少し離れていますが、風光に恵まれ、歴史的に面白いものもたくさんある地域です。

奈良時代には、聖武天皇をはじめ数代の天皇が行幸し、紀ノ川筋や加太の海、和歌の浦などで詠まれた多くの秀歌が万葉集などに残っています。

又、各地から熊野古道を通って、熊野三山に参詣した「熊野詣」は、平安時代後期から盛んになり、九十九王子跡等が残り、二〇〇四年に、世界遺産に登録されました。

和歌山の各地に、有力者の城址が残っており、嘗て大

勢力を誇った寺院もあります。

鎌倉時代に守護が置かれ、室町時代には守護畠山氏内  
部で争乱が発生し、地縁的  
自治組織雑賀衆が台頭、寺  
院と力を合わせ、強力にな  
りました。そこを、天下統  
一を目指す織田信長が、攻  
め込み、一五八五年に豊臣  
秀吉が根来寺を焼き、太田  
城を水攻めし、紀州を制圧しました。

秀吉は豊富な財力と行動力で、現在の場所虎伏山に城を築き、弟の秀長を城主にしました。しかし、秀長は郡山城から動かず、一五八六年に桑山重晴を城代として入城させました。一六〇〇年の関ヶ原の合戦の後、浅野幸長が領主となり、天守閣や優雅な庭園「鶴の溪」などを



堀端から天守閣

造りました。そして一六一九年、徳川二代将軍秀忠の時に国替えが行われ、徳川頼宜が和歌山城主となります。五十五万五千石の紀州徳川家の始まりです。城の増改築が行われ、城下町の整備も行われました。八代将軍吉宗は紀州徳川家の出で、一七一六年の就任後、子孫から五人の将軍を出しています。一八四六年に、天守閣が落雷で炎上し、幕府の許可を得て再建しています。

明治維新後、城内の建造物は国等の管理の下、一部外部へ移築されたり、取り壊されたりしました。本丸跡に、給水場が作られたりもしています。

天守閣は、一九四五年に米軍の空襲で焼失し、一九五八年に再建されました。



紫陽花園

城内各所は整備が進み、今では地元の人たちだけでなく、海外を含めた観光の人たちも訪れています。

私の住居は和歌山城に近く、マンションの窓から天守閣が良く見えます。退職後は時間に余裕が出来、在宅時は散歩コースとして、よく出掛けています。今回の新型コロナウイルスで外出自粛になってからは、天気の良い日には早朝と午後の二回行くこともあります。時々妻も一緒に歩いています。

私が今、城の散歩で興味を持っているのは次の様なものです。

・石垣 「野面積」 「切込み接ぎ（ハギ）」 「打込み接ぎ」などの石積み方法があり、建築時期を推測させます。城の近くに紀州青石とも呼ばれる緑泥片岩の石切場の跡があります。

・西の丸庭園（紅葉溪庭園） 虎伏山の急峻な斜面を

利用した池泉回遊式の城郭庭園で、国の名勝に指定されており、四季折々の光景を楽しんでいます。茶室もあります。

・花 春には、約六百本の桜で賑わいます。近くには、藤の棚があり、城垣の上には、山吹が咲きこぼれます。

鶴の溪では、今、紫陽花が花盛りです。山茶花は気象台の標本木になっており、冬に長く咲き続けます。

広い庭の中には、ウマゴヤシ（シロツメ草）、月見草なども咲きます。時々スマホのソフトを使って、花の名前を調べながら、写真を撮ったりしています。先日、つつじ園の中で、真っ白い



青 鷺

ユツカを見つけ、城の石垣の裾で、虞美人草（ひなげし）を見つけました。

・動物園 大正時代に、南の丸に作られ、哺乳類中心の童話園と水鳥を中心にした水禽園となっています。孔雀は九羽おり時々羽根を上げます。鸚鵡やインコも時々大きな声を出します。

・林 城の場所は、元々小さな山だったので、今も木が繁っています。天守閣の南方にも大木の繁みがあり、早朝散歩の時に、沢山の青鷺が、巣のまわりに並んで首を出し、時々飛び回るのを見ます。

・小動物 先日、城内のマサキの木の枝に蝸牛を見つけ、以前には、蛇が石垣の下に潜り込むのを見ました。この様な情景を眺め、写真に撮ったり、俳句を考えたりしています。

和歌山城は、市の中心部にあり、色々な行事が行われます。正月には、天守閣の窓から初日の出を眺め、夏には、「紀州踊りぶんだら節」などのイベントが行われ賑わいます。

これからも、城の内外を散策し、風景を楽しみたいと思っています。



二の丸跡から天守閣



# 人と自然環境にやさしく

観一・15回 野口 泰孝

(昭和39年卒)

新型コロナウイルス感染が驚異的に拡大し、最初は八都府県、さらに、全国に非常事態宣言が出され、東京オリンピックを一年延期せざるをえなくなった。小池都知事や吉村府知事らが先頭に立ち「不要不急の外出自粛要請を出すのに、国が大企業だけでなく、中小零細企業、収入の途絶えた方々に支援金がないのはおかしい」と訴えてくれた。小池都知事も吉村府知事も身を粉にしているいろいろな施策を講じた。吉村知事が休業要請に応じないパチンコ店に府の職員を派遣し、丁寧に根気強く説得させていた。「私も生活がかかっている。休業したら路頭に迷う」と応じない業者もいた。また、パチンコに来ている客が「楽しみで来ている。店が開いているから来た」

という客もいた。休業要請に応じないパチンコ屋の外に客が列をなし、他府県ナンバーもあった。

五月のゴールデンウィークの頃、非常事態宣言下、国民の不要不急の外出自粛や医療従事者等の懸命の努力で、東京や大阪で感染者はやや減少傾向がみられるようになった。

医療従事者等の懸命の努力にもかかわらず、クラスターが医療従事者にも表れ予断が許されない状況であったが、五月一七日には、八都府県以外は解除になった。少しずつ人々が戻って五月二五日には全国で非常事態宣言が解除になった。PCR検査を受けられず、亡くなられた方のご遺族様は悔いが残ろう。二次感染・三次感染の危険性はあるが、徐々に経済活動や外出ができるようになった。

各世帯二枚ずつの布マスク「安倍のマスク」が、六月一五日やっと届いた。マスクの約一割で異物混入や黄ばみなどの不良品があったそうだ。その検品作業に更に八

億円ほど要した。本来、納入業者がこのお金を払うべきなのに国が支払う。四六六億円もかけて配布する。すでに安い値段で市中に出回っている。これとは別に、五〇〇億円超で妊婦・医療従事者・介護・社会福祉事業者らに配られたマスクは役に立った。

私たちが住んでいる地球環境を大切にし、人間が人として大事にされる社会、対立から友好へ、平和な世界となることを願ってやまない。

#### 地球環境を大切に

マドリードで開かれたCOP二五で、最初に環境NGOで作る「気候行動ネットワーク」(CAN)は、昨年二月三日、COP二五で最初の「化石賞」に日本など三か国を選んだ。化石賞は地球温暖化対策に後ろ向きとされた国に贈られる不名誉な賞。他の二国はオーストラリアとブラジル。

日本は石炭火力発電に関して、「石炭開発、化石燃料の

発電所は選択肢として残しておきたい」と経産大臣が発言したからだ。日本が公的支援を続けるインドネシアのインドラマユ石炭火力発電では、すでに一号機が稼働しているが、隣接して二号機のチレボン石炭火力発電所を建設中である。インドラマユでの拡張計画地はコメや豆、野菜や果物が栽培される広大な農地だ。農家の人々は「ここで農業ができなくなったら、どこへ行って何をすればいいかわからない」また、「私たちの水田をとらないで」と訴えているそうだ。石炭火力発電は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を多く排出する。日本は、主にアジアの国々に石炭火力を輸出しているが、再生可能エネルギーのコストが下がり、輸出国の電力計画も再エネの比率が増加している。政府は、インドネシアだけでなく、すでに、石炭火力発電所を建設中や計画が進んでいる中止の判断をし、石炭火力への公的支援はやめて、再生可能エネルギーの導入を支援すべきではないか。

アマゾンで熱帯雨林の火災が記録的な広がりを見せて

いる。ボルソナーロ大統領が自然保護より開発を重視し、森林火災や焼き畑が進んだとの見方がなされている。

オーストラリアの森林火災が、過去最大の規模に拡大した。延焼面積は日本の国土の約半分に達し、生態系への影響も懸念されている。気候変動が深刻化の背景にあるとみられ、大量に発生する煙が地球の温暖化を加速するとの分析も出ている。豪州の森林火災は、人間活動による温暖化と気候変動が原因となっている。

温室効果削減に日本だけが前向きでも効果は上がらない。中国やインド、ロシアなど上位排出国の動きは鈍く、二位米国はパリ協定からの離脱を決めている。大国の行動なくして気候危機は乗り切れない。

天井や壁を彩る杉やカラマツが「和」のぬくもりを醸し出す。東京五輪・パラリンピックに向けて新設された国立競技場や有明アリーナには、国産の木材がふんだんに使われている。「環境に配慮した五輪」の象徴だ。その裏で、基礎工事に必要な型枠合板に使い捨ての木材が消

費されたことはあまり知られていない。その数は九つの会議場で三一万枚を超える。このうち三分の二以上の約二一万枚がインドネシアとマレーシアの熱帯材だ。住民は「森を奪われた」「森が死にかけている」と言う。ここには、「マングローブが群生して、絶え間なく鳥のさえずりが響いていた」。また、木材の伐採により、森が少しずつ減り、キジや鹿も見かけなくなった。また、以前住んでいたオランウータンがいなくなった。世界の天然林は、毎年東北地方に相当する広さが消えている。

福島原発の原子炉では、事故で溶け落ちた核燃料を冷やす注水や地下水の流入で、今も汚染水が一日一五〇トンのペースで生じている。放射性トリチウム（三重水素）を浄化装置で取り除くことができないため、敷地内にタンクを増設しながら保管しているようだ。

福島県などが求めている県内すべての原発の廃炉が昨年七月末に決まった矢先、原発敷地内の汚染水タンクが三年後に満杯になる見通しが東電から示された。経済産

業省は福島第一原発の敷地内にたまる処理済み汚染水の処分を検討してきた小委員会に、取りまとめ案を示した。処分の方法を海洋放出と大気放出の二つに絞り込み、始める時期や期間は政府の責任で決めるべきだとする内容。二つの案を社会的観念から比べるのは、難しいと指摘。そのうえで、国内外の原子力施設で前例があることを重視し、薄めて海に海洋放出、水蒸気にして大気放出。この二案を議論するよう提案した。敷地内のタンクでの長期保管は、廃炉作業に必要な施設を作れなくなるなどの理由で難しいとし、敷地外への搬出も周辺自治体の理解を得るのが難しいとし、社会的影響については、蒸発させて大気放出の方が影響を受ける産業が幅広くなるなどと指摘した。それで、海洋放出が、設備の運用や放出後の監視がしやすいことを挙げ、「確実に実施できる利点がある」と一歩踏み込んだ。この方法だと漁業者に「風評被害」と片付けることはできない。

廃炉には三〇年から四〇年超の期間と膨大な費用が見

込まれるが、政府のエネルギー政策は、原発をベースロード電源と位置づけたまま。一方、ドイツやイタリア、スイスでは、福島第一事故を教訓に、原発からの撤退を表明している。原発は即刻廃炉にして、再生可能なエネルギーに舵を切る。もはや原発の安全神話と経済的有利性は破綻したといえる。

使用済みMOX燃料は、取り出した後の再処理のプロセスが決まっていない。行き場のない究極の廃棄物が、どんどんたまる。電力各社は原発の敷地内で当面保管するというが、行き先がない以上永久に置いておくことになりかねない。東電福島第一原発の廃炉作業で、がれきを取り除き燃料を取り出し、建屋を取り壊してできる最後の廃棄物の捨て場所は、九年経っても決まっていない。政府の成長戦略に掲げた原発の輸出はイギリス、トルコなど海外への進出は昨今では難しい状況である。

人にやさしく

太平洋戦争末期、米軍が沖縄に上陸して、激しい地上戦が繰り広げられた。戦死者は日本側で約二〇万人余いのぼり、一般県民九万四千人、軍人・軍属は、県外出身者六万六千人、沖縄県出身者二万八千人（県民の四分の一に当たる）、が死亡したと推定されている。このうち沖縄県民は一二万人以上にのぼった。更に、日本軍に「集団自決」を強いられ、戦闘の邪魔になるとか、スパイ容疑をかけられ虐殺された人々も多く、沖縄戦は悲惨を極めた。

戦後、米軍統治下で、本土復帰後も米軍基地が残り、一九六〇年の日米安保協定締結以来、沖縄は、日米地位協定下、様々な苦難を強いられてきた。日米地位協定は一度も改定されていない。事故が起きて課題が浮き彫りになるたびに、補足協定の締結で、運用改善に対応する立場をとってきた。米軍の運用に日本政府が口出しできない実態がある。地位協定を変えない限り、沖縄の厳し

い状況は変わらない。

国政選挙や知事選でも負け、昨年の県民投票で辺野古への米軍基地の移設を七二%もの圧倒的多数でNOとされた。政府は、頑なに米軍普天間飛行場の危険性除去のために、辺野古移設の埋め立てが、「唯一の解決策」と主張している。大浦湾側のマヨネーズ状の軟弱地盤の難解な改良工事を一時中断したが、開票の五日後、一二日に工事を再開した。工事再開が沖縄県民や国民のためなのだろうか。

福島の現状は、未だに仮設住宅に四万五千人が住んでおり、復興の用途は立っていない。東京オリンピック招致で、「福島の湾内までアンダーコントロール」と言っていたが、新型コロナウイルスが発生し始めた頃、震災から九年経過したので、被災地の復興支援を十年で打ち切ると政府は言っていた。また、帰宅困難区域への立ち入りは「居住しない」という条件で許可するようだ。「復興五輪」と銘打つなら、震災地復興を第一に考えるべきだ

と思う。

カジノ法案統合型リゾート（ＩＲ）推進法案は観光客を呼び込み財政難を改善させよう！ この施設にはカジノの施設が含まれるから適切に管理・運営しよう！

ＩＲ開業に乗り出した大きな目的は外国人を集客し、日本経済を活性化させることを目的とする法案が通過した。良い面だけではない。特に、カジノはギャンブル依存症の増加、治安の悪化、マネーロンダリング（資金洗浄）の場となる危険性をはらんでいる。ギャンブル依存症対策として、入場制限（週三日・月十回まで）、本人確認システムとしてマイナンバーの提示や顔認証の導入が予定されている。入場料は、日本人及び在日外国人は六〇〇〇円で、メインターゲットの外国人観光客は無料となる。

日本のギャンブル依存症がこれほど広まっている原因はパチンコやパチスロの存在が大きい。また、依存症が疑われる人の割合は、パチンコ・パチスロが多くを占めている。パチンコの本場韓国では、二〇〇六年に韓国政

府がパチンコを禁止した。日本からの利益を吸い上げ、在日コリアンが殆ど経営している。韓国でパチンコ全廃ができて日本でなぜ全廃できないのか。

三・一一以降、計画停電で、節電の機運が高まると、客が冷暖房完備のパチンコ屋に殺到したそうだ。一日当たり五〇万世帯の電力が消費されるそうだ。パチンコは、朝十時から夜十時まで営業している。

また、自動販売機が全国の至る所に設置され便利だが、店で買うと事足りる。自動販売機も必要ない。

昨年末までの国の財政赤字は、一一〇〇兆円超となった。これを日本の総人口で割ると一人当たり、八七一万円となるそうだ。本年度の当初予算は、過去最大の一〇二兆円。コロナ対策の補正予算で一八兆円を組んだ。更に第二次補正予算を組み、合わせて二三四兆円まで膨らんだ。新規国債を発行すれば済むほど簡単ではない。財政健全化の道のりは厳しさを増している。

中東派遣の第二次部隊として海上自衛隊「きりさめ」

乗組員二百名が五月十日、日本を出発した。新型コロナウイルス対策のため、二週間は近海にとどまって隊員を洋上隔離した後、異常がなければ中東へ向かう。中東派遣は、日本関係船舶の安全確保のための情報収集を目的としている。ただ、不測の事態には、海上警備行動が発令され、武器による船の防護にまで踏み込む可能性もある。六月前半には中東海域に到着し、一次隊の護衛艦「たかなみ」から任務を引き継ぐ予定。一次隊の二月末から四月末までの情報収集活動では、航行する船舶約四九〇〇隻を確認したが、異常は見つかっていないという。

#### 敵対対立から友好へ

アメリカは、イランとの核合意から一方的に離脱し、昨年五月にイラン産原油の全面禁輸を日本はじめ、ヨーロッパ各国に発動。イランの取引相手は激減し、一日当たりの原油輸出量は十分一程度に落ち込んだ。結果、イランの政治経済に大打撃を与えた。

昨年末、イランの最高指導者ハメネイ師に次ぐソレイマニー氏の殺害で、司令官を追悼する儀式が営まれ、反米感情が渦巻いた。アメリカとイランとの間で一触即発の危機となった。イランが隣国イラクにある米軍駐留基地二箇所をミサイル攻撃した。米軍の空爆で精鋭部隊ソレイマニー司令官の殺害に対する報復だとしている。イランは武力では負けると考え、アメリカも戦争で互いに得るものがないと分かったのか大事には至っていない。しかしアメリカによる厳しい経済制裁が続いている。

アメリカは自国の産出量で十分足り、イランの制裁のためイラン産原油の禁輸に踏み切った。英仏などヨーロッパ諸国や日本はイランから買えず、サウジアラビアから輸入している。イランは、政治・経済・国民生活に大打撃を受けた。古来、日本は、イランと友好関係にあった。昨年、日本のタンカーが、イランと思しき軍隊から攻撃をうけた。各国の原油生産量（図表三）がある。アメリカが一番で、サウジアラビア、ロシア、イラン・中



国（八位）と続く。すっかり変わっている。

今年初めに、ソマリア沖に一年間、自衛隊員二〇〇名ずつの派遣になった。河野防衛大臣は、我が国の「エネルギー源を確保するための重責を担ってほしい」と訓示していた。派

遣しないで済む工夫はなかったのか。一年間派遣に、どれだけの費用がかかるのか。

トランプ大統領と中国との貿易交渉で高関税の応酬となった。新型コロナウイルスが最初に中国で爆発的に発生した時、アメリカは、「武漢発コロナウイルス」と揶揄

1日あたりの原油の生産量の多い国

順位	国名	生産量（バレル/日量）
1	アメリカ合衆国（米国）	1,531万1,000
2	サウジアラビア	1,228万7,000
3	ロシア	1,143万8,000
4	カナダ	520万8,000
5	イラン	471万5,000
6	イラク	461万4,000
7	アラブ首長国連邦（UAE）	394万2,000
8	中華人民共和国（中国）	379万8,000
9	クウェート	304万9,000
10	ブラジル	268万3,000

【図表3】

した。中国は新型コロナウイルスが爆発的に感染すると、サウズなどの感染症の教訓からか、いち早く突貫工事で幾つもの病院を建設し、爆発的に発生するのを防いだ。三月末、アメリカの感染者が中国よりも多くなった。中国の次に感染者が多かった韓国もほぼ終息している。

アメリカの新型コロナウイルスが飛躍的に増えたのは、「中国による情報の隠蔽」の所為にして、中国寄りのWHOには経済支援を取りやめると通告した。今アメリカで、感染者が世界の三分の一を占めるほど増えている。

トランプ大統領は、香港の民主化運動に対して、中国に制裁を加えた。「香港国家安全維持法案」は、香港の自由を支える「一国二制度」の根幹を揺るがす中国の乱暴な行いである。香港を統治下に置くことに反対する主要七カ国首脳会議（G7）で安倍首相が、「共同声明を主導する」と語ったことで、中国報道官が「中国の内政にどんな国も干渉する権利はないと猛反発した。中国は、強権を発動して抑え込むようだ。

一方、ミネアポリスの黒人男性を警察官が首を絞めて殺した事件で、トランプ大統領は、破壊行為に及ぶデモをテロとして、軍隊を投入して鎮圧したが、治まらず国内でデモが拡大している。殺害された警察官の死を悼む集会やデモが世界各国で開催されている。トランプ大統領の黒人差別や弾圧に対する声は、日本の政治家から聞こえてこない。アメリカのアトランタで、また、警官に黒人男性が銃で撃たれ死亡した（一二日）。トランプ大統領への逆風となる可能性がある。

巨大国（米中）が互いに非難・制裁をして、世界平和は望めない。米中露やG7の国々が互いに力を合わせ共存共栄の道を歩むべきではないか。

日本は、「アメリカファースト」を掲げるトランプ大統領の言いなりになり、国民の負担が増大している。トランプ大統領は、米国のかさむ防衛費の負担増を通告している。四六機のオスプレイが国内を飛び交い、百機の軍用機を購入予定。防衛費が膨らむ筈である。

政府は、ミサイル防衛強化でイージスアショア導入を決め、国内に二か所、秋田と山口にイージスアショアの配備を決めていた。陸上イージスアショアの費用は二基で五千億円を超すとみられていた。自衛隊はすでに、イージス艦の抑撃ミサイルと地対空誘導弾「PAC3」の二段構えの体制をとっている。山口の陸自演習場のイージスアショアは、北朝鮮だけでなく、中国本土にも達する。六月一五日 河野防衛大臣がイージスアショアの秋田・山口の陸上配備型迎撃ミサイルシステムの停止を表明した。迎撃ミサイルを打ち上げた際に切り離す推進装置「ブースタ」の安全な落下を担保するためのシステム改修に、「恐らく二〇〇〇億円、一〇年というコストと時間」がかかるとの見通しを示した。河野防衛大臣はこのことを今年の初めに知っていた。国会の会期末に唐突に発表した。河野防衛相は、イージスアショアの配備計画は撤回した（二五日）。今後、敵基地攻撃能力を高める防衛大綱を策定していく。

次に、安倍政権の直近の政治姿勢だけに限っていくつか申し述べたい。

検察官の定年延長法案は、国民の多数の反対で今国会での提出を見送り廃案になった。しかし、秋の臨時国会に提出するようである。安倍首相は、任命責任は認めても、「東京高検松川検事長の訓告処分は法相が決め、検事総長が決めて報告を受けた」と官邸の関与を否定し、責任を法相に擦り付けた。

松尾邦弘・元検事総長ら検察ＯＢ一四人が政府の判断で検察幹部の定年延長を可能にする意見書を法務省に提出した。「検察人事への政治権力の介入を正当化し、政権の意に沿わない動きを封じて、検察の力をそこうと意図している」と批判。意見書を取りまとめた清水勇男・元最高検検事もこの日、会見に臨み、「検察人事に歴代政府は口を出さなかった。その慣例が破られようとしている。それが我々を動かした」と語った。定年延長を認める規

定の撤回を求めた。意見書は、田中角栄元首相らを逮捕・起訴したロッキード事件の捜査経験者ら十四人の連名。松尾氏は一九六八年に検事任官。ロッキード事件では贈賄側を取り調べた。法務事務次官を経て二〇〇四年から二年間、検事総長を務めた。

一方、田中角栄元首相は、日中国交回復を果たし、「日本列島改造論」で高度経済成長をもたらした。人間味のある人柄で広く国民に「角さん」と親しまれた。

教員が、「いい教育をするためには教員の給与を上げよ」という「人材確保法」という法案を作ってくれた。

その角栄元首相でも、ロッキード事件で逮捕起訴され、巣鴨の拘留所で刑に服した。

安倍首相側近の河井克行前法相と安里議員が選挙違反容疑で逮捕された。検察が押収したGPS機能や克行議員が削除したパソコンのデータの復元で解明され、お金を渡したことを認めても、「当選祝いであり、選挙の買収ではない」と容疑を否認している（六月二二日）。首相

は、「法相の任命責任を認め、陳謝する」と言った。

特別定額給付金が六月九日やっと届いた。

第一次補正予算二五兆七千億円。第二次補正予算は過去最高の三一兆九一一四億円は六月一七日参議院を通過した。持続化給付金の事務委託の契約をめぐる不透明さや「GOTOキャンペーン事業」三〇九五億円にのぼる高額な委託費は、問題になり見直されてもこの額である。観光だけで二二〇〇億円を占める。更に、使い道の決まっていない一〇兆円予備費が含まれている。今までに例のない予備費である。原資が国民の税金を湯水の如く使う。今年度だけで三〇〇兆超の赤字となり合わせて一四〇〇兆円の赤字となる。現役世代や若者にツケを回すことになる。

## 平和な国家

昨年九月 安倍首相は、ロシアのウラジオストクでプーチン大統領と首脳会談をした。この会談で、「安倍首相

が、米軍基地を北方領土に日本に置かないといっても信用できない。現実に沖縄の米軍基地を例に挙げ、県民や知事が基地拡大に反対しているのに、基地は拡大強化されている。一方、ロシアは北方四島を実効支配し、インフラ整備も進み、経済開発して軍事基地もすでに作っている。さらに、北朝鮮の弾道ミサイルの脅威に対する防衛のためとして、日本が米国から購入する「イージスアシオアシテム」にも言及。「我が国の極東の領土の大部分がその射程に入る」と指摘し、平和条約交渉対象に含まれるとの考えを示した。また、ラブロフ外相は平和交渉で、日本側が第二次世界大戦の結果を認めることが第一歩であると強調した。

オバマ前大統領は二〇一六年五月二七日 広島平和記念公園で、「私たちは戦争の激しい苦しみを知っています。今こそ、共に勇気を出し、平和を広め、核兵器なき世界を追求しましょう」と、七〇年以上に渡って苦しんできた被爆者に歩み寄り言葉を交わし、体を抱き寄せた。

# ■新型コロナ 世界の感染者数・死者数

	感染者	死者
米国	318万4722	13万4097
ブラジル	180万0827	7万0398
インド	82万0916	2万2123
ロシア	71万2863	1万1000
ペルー	31万9646	1万1500
チリ	30万9274	6781
英国	28万9678	4万4735
メキシコ	28万9174	3万4191
スペイン	25万3908	2万8403
イラン	25万2720	1万2447
その他	426万6825	18万4596
世界計	1250万0553 (+22万8455)	56万0271 (+5282)

11日午後5時現在。米ジョンズ・ホプキンス大の集計から。カッコ内は前日比

【別表1】

大統領の姿は、演説と相まって静かな感動を呼んだ。高校三年の時、英語のリーダーで「ゲティスバーグアドレス」というリンカーンの演説を習った。「人民の人民による人民のための政治」 堪能な英語のY先生に「全員暗誦しなさい」と言われ、四九人が暗誦し終えた。

一九四七年五月三日、日本国憲法が施行された。国民主権、平和主義、基本的人権の尊重が柱である。中でも、戦争を永久に放棄すると宣言した九条を読んだ時の感動は七三年経った今も鮮明だ。正義の戦争などはない。核戦争に勝者はなく、それは人類滅亡への道である。

## ◆新型コロナウイルスの感染者

都道府県別の発表数				2万1047人(+371)	982
北海道	1290(+1)	101	滋賀	104	1
青森	30(+1)	1	京都	439(+9)	18
岩手		0	大阪	1995(+28)	86
宮城	104(+4)	1	兵庫	731(+5)	45
秋田		16	奈良	109(+7)	2
山形	71	1	和歌山	75(+2)	3
福島		83	鳥取		4
茨城	196	10	島根		24
栃木		93	岡山		28
群馬	155	19	広島	178(+3)	3
埼玉	1431(+35)	67	山口		37
千葉	1092(+14)	46	徳島		10
東京	7721(+206)	325	香川		29
神奈川	1721(+34)	98	愛媛		82
新潟	86(+1)		高知		74
富山	230	22	福岡	917(+9)	33
石川	300	27	佐賀		47
福井	122	8	長崎	22(+2)	1
山梨	76	1	熊本		49
長野	77		大分		60
岐阜	162	7	宮崎		18
静岡	92	1	鹿児島	137(+5)	
愛知	534(+2)	34	沖縄	148(+2)	7
三重	48(+1)	1			

【別表2】

来年のオリンピック&パラリンピックが無事成功裏に終わって欲しいと思うのは国民の願いだと思う。アスリートの皆さんのご活躍を祈念している。

アメリカは、六月二五日、新規感染者数が最多の四万人を超え、一日当たりの過去最多を更新した。感染者が爆発的に増え、感染の拡大が止まっていない。七月一日現在、世界の感染者は(別表二)、国内の感染者は(別表二)となっている。イタリア初めヨーロッパ諸国の感染者数はまだかなりの数である。

P S 国内の感染者数は減り、終息しているようだが、世界の感染者数はアメリカが一位で、二位のブラジルも激増している。大丈夫なのかと危惧している。

# 古代大阪の地形の変遷

観一・16回 中西 豊

(昭和40年卒)

昨年、大阪高齢者大学の「大阪の史跡探訪科」というコースを受講して、今の大阪平野は3千年前には海であったというようなことを初めて知って少し驚きましたので、古代の大阪の地形の変遷を調べてみました。

まず、約2万年前の地球は気温が低く氷河時代で、大陸には氷河が発達しており、そのため海面は現在より130メートルほど低くて、瀬戸内海や大阪湾も陸地だったようで、日本列島もまだ大陸と陸続きだったようでした。

2万年前の地球というと、随分と遠い昔の事のようにも感じますが、地球にとってはごく最近の事になるのです。例えば、現在46億歳の地球を現在46歳の人と

比べれば、2億年前に地球に起きた事はその人の2年前に起きた事と同じになるのですが、2万年前に地球に起きた事はその人にはつい先ほど、ほんの2時間ほど前に起きた事と同じなので、地球にとってはつい最近に起きた出来事になるのです。

そのころの瀬戸内海はすべて陸地で、備讃瀬戸（岡山県と香川県の間にある海域）を境に、大きな川が東（東瀬戸内川）と西（西瀬戸内川）に流れ、紀伊水道と豊後水道を抜けて太平洋に注いでいたといわれています。

約1万3千年前から氷河期の気温がだんだんと暖かくなり始め、溶けた氷河で海面が上昇し、当時はまだ陸地で大きな川や湖があった瀬戸内海にも豊後水道と紀伊水道の両方から海水が入ってきたといわれています。

氷河期の終わりごろの約1万年前には、ほぼ今の瀬戸内海が形成されたのですが、まだ海面は今よりは25メートルほど低かったので、大阪の平地は今の大阪湾にま



で拡がっていました。

ところが、その後も少しずつ気温が上昇し、さらに氷河が溶けて海面も高くなり、6千年前ごろになると、海面が現在よりも数メートル高くなり、海水が生駒山系の西麓まで侵入してきて、大阪平野に海ができました。

今の東大阪市や八尾市にまで海が広がっていたのです。これを「河内湾」と呼んでいます。今の大阪市の中心部にある上町台地が、大阪湾と河内湾の間に半島のように北へのびていました。

ちょうど河内湾の中心にあたる大阪市鶴見区でナガスクジラの化石が発見されており、付近がかつてはクジラも泳いでいた大海原であったことを証明しています。

河内湾の北東岸には淀川が、南岸には大和川が流入していました。この河内湾に流れ込んでいた淀川や大和川の流す土砂によって河内湾は次第に狭められ少し小さくなってきました。

やがて2千年前ごろになると、再び気温が下がって海

面が低くなり、河内湾には海水が入らなくなり、上町台地北部（今の大阪城あたりです）の砂堆（さたい）が海潮流のために発達し、北摂地方に接したため、河内湾の海峡が閉塞され、河内湾が淡水化しました。こうして河内湾は河内湖となり、淡水の湖となります。

仁徳天皇が上町台地の上に難波高津宮を置いた4世紀末ごろには、河内湖はさらに小さくなり、草香江（くさかえ）と呼ばれていました。草香江には淀川・大和川の二つの大和川が流入してくる反面、排水口はかつて湾口だった上町台地から伸びる砂州の北端の一角のみであり、しばしば洪水を起こしていたため、仁徳天皇が草香江の洪水を解消するため、排水路として切削したのが難波の堀江で、今の太川の天満橋あたりから西の部分だったのです。

その河内湖も次第に狭まり、上町台地の北部に大阪城を建てた秀吉の時代には、河内湖は消えて、沼地が点々と存在する河内平野に変わり、大阪湾の海岸線もかなり

西に後退し、大阪の地形は現在の姿に近くなっていたようです。

現在の和和川は柏原から西へと流れていますが、30年前の付け替え前には北や北西に流れていました。この流域は東の生駒山地と、西の上町台地という高い土地に挟まれ、南にはいくつかの丘陵となどらかな傾斜地があります。その複雑な地形に沿って、久宝寺川（今の長瀬川）、玉櫛川（今の玉串川）、平野川などに分かれながら、大坂城の北で旧淀川（今の太川）に流れこんでいました。

しかし、和和川は洪水を繰り返し河内の洪水被害が大規模化したため、江戸時代の1704年に付け替え工事が行われ、和和川とは切り離されて、現在のよう  
に堺市のすぐ北側の大阪湾に直流するようになったのです。

一方、淀川は明治時代まで、太川（旧淀川）、中津川、神崎川の三川に分かれ、川幅が狭く蛇行していたため、

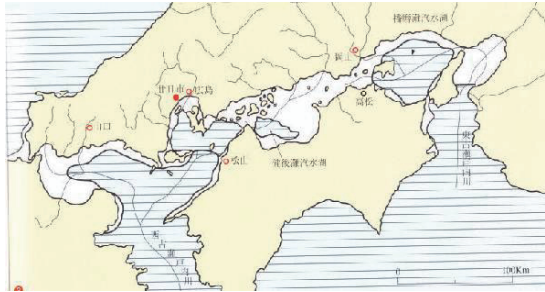
洪水を繰り返していましたが、1885年（明治18年）の洪水による大きな被害で、淀川の改修への要望が高まり、淀川下流部を改修して、大量に、早く、安全に水を流すため、川幅500mを超える、ほぼまっすぐ大阪湾へ流れる放水路（現在の淀川）が1910年に作られました。

現在は、また地球の温暖化で海水面が高くなってきているようですので、地震による津波や台風による高潮などが大規模に発生した場合には、昔は河内湾だった地域や、昔は大阪湾だった上町台地よりも西の地域などは、また水害による大規模な被害を受けるかも分かりませんね。

## 古代の地図（大阪府と広島県の広報より）



約 2 万年前の日本列島



約 1 万年前の瀬戸内海



約 6 千年前の大阪平野



約 2 千年前の大阪平野



約 300 年前の淀川と大和川

# 社会生活の変化と田園都市構想

観一・21回 田井 浩一

(昭和45年卒)

新型コロナウイルスによるパンデミックの発生により、世界中で多数の人が亡くなり、社会・経済活動に大きな変化が起きております。幸いなことに日本では比較的早期に緊急事態宣言が解除されましたが、ウイルスの感染拡大を防ぎながら経済活動を持続させるためには、これまでのような密集した状態で社会生活を営むことはできなくなるでしょう。

新型コロナウイルス収束後の生活形態の変化に関して、マスコミを通じて色々な議論がなされ、興味深く拝聴しております。最近の用語では「オンライン」、「テレワーク」などが多用されるようになり、「オンライン」とはインターネットを介するやりとり、「テレワーク」とは離れ

た場所で仕事をする、という意味だと思っています。しかし、「オンライン帰省」とは、平たく言えば、帰省せずに田舎にいる家族と通信機器によるテレビ電話で済ませること、「オンライン会議」とは離れた場所でのテレビ会議のことを指すのですが、このような用語は直感的に分かりにくく馴染み難い感じがします。

私事で恐縮ですが、私は1970年に観一を卒業後、上京して大学及び大学院を出て、「三菱原子力工業」に入社し、「三菱重工」と合併した後、阪神大震災の1年後に神戸に転勤となり、それ以降ずっと神戸に住んでおります。仕事は原子力発電施設の耐震解析業務に従事し、3年前に退職した後も、元の職場の後輩達の相談や依頼を受ける技術コンサルタント業務を続けております。

さて、上述の新型コロナウイルス収束後の社会生活に話を戻しますが、コロナウイルス対応によって余儀なく在宅勤務に切り替えた多くの会社や官公庁の一部は、コロナウイルス終息後も、半分程度の社員は、原則として勤務

形態を変えないで在宅勤務を継続する模様です。一方で、「テレワーク」とは、自宅で勤務する形態と自宅近くの郊外にあるサテライトオフィスでの勤務形態に分類されます。サテライトオフィスとは、都心にある高層のオフィスビルとは別に、郊外、もしくは地方都市に設けた分散型のオフィスのことであり、多くの場合、レンタルの執務空間を提供するような貸オフィス業者がオフィスを構え複数の企業がそのオフィスを共用するシェアオフィスの形態で利用することが多いようです。これらは、現時点では、未だ東京地区に多くみられるものの、これらの生活形態として東京一極集中の弊害を回避する形での「地方に分散する時代」、すなわち、太平総理が提唱された「田園都市構想」が復活するような形態に進化するのではないか？と思われます。もっと古くは、渋沢栄一が提唱し部分的に実現させた「田園調布」のような街造りが日本全土に広がる契機になるのではないか？などと、楽観的な想像を膨らませております。凡人である私も、

「情報」と「人工知能（AI）」の技術進歩によって、パソコンさえあれば必ずしも会社の自席で仕事をする必要はなく、されとて、ずっと自宅の狭い書斎で在宅勤務することも抵抗があるので、会社が自宅近くにオフィスを準備してくれて、そこに通勤することが可能であれば、そのオフィスが東京とか神戸にある必要性はなくなるのでは？などと身の回りの変化からある程度、想像できます。しかし、インターネットが無い時代にこのような構想を思い描き、実現に向けた努力をされた先見性には敬服する次第です。職種にも依るとは思いますが、今では地方都市に居住して仕事をする環境は、既に整っているのではないのでしょうか？例えば、私のようなホワイトカラーを例にとれば、普段は観音寺に住み、近く観音寺、丸亀、高松などにある分散型のシェアオフィスに通って仕事をし、月に1回程度、神戸の会社に顔を出し、会議に臨むといったような働き方は、多くの企業で今すぐに実現できる状況になっているということです。シェアオ

フィスは国内の中核市に時間を要せず波及すると思われる、既に、ある貸事務所業者などでは全国二百ヶ所以上にシェアオフィスを用意し、利用したい企業を募集中であると聞き及んでおります。また、在宅勤務派の若い世代の人達は、居住環境が悪く家賃が高い東京を離れ、気に入った田舎の広い家に住み、活力に満ちた創造的な業務をしたいと希望する人が増えております。日本全体を見渡せば、緑が多く四季の変化に富み、しかも、近年は、日本全体で7軒に1軒が空き家であるという状況を踏まえれば、改築して住むことを好む人が増えてくるのは自然のなりゆきであり、今後、加速的に地方分散型の社会に移行するであろうことが予測されます。

さて、話は変わりますが、私の本業に係るエネルギー問題に移りたいと思います。東京電力の福島発電所の事故以来、九年が経過しましたが、国内では、未だ、原子力発電所の再稼働は予想以上に遅延し、ほとんど大部分（八割程度）、火力発電に依存した状態が続いております。

しかし、地球温暖化の進み具合が想定以上に速く、近年では、特に西日本では雪が積もったり、道端の水溜まりに氷が張っているのを見かけることはほとんどなくなり、昨年あたりは、東北においても屋根の雪下ろし作業が減少し、各地で台風被害が厳しくなっているのも事実であり、炭酸ガス排出の低減策を講ずることは急務です。当面の目標として、原子力と再生可能エネルギー（水力、風力、太陽光、地熱などの自前のエネルギーによる発電を半分以上とし、他方、火力発電では、天然ガスに水素を混ぜて燃焼させる等によって炭酸ガス排出削減を図ったり、発生した炭酸ガスを地中に戻すことなどの研究を推進させ、早期に実用化を図ることが考えられております。また、自動車に関しては、一部の車種で自動運転技術が実用化され、排気ガスを出さない電気自動車への移行が進みつつあり、おそらく、数年後には、リチウムイオン電池に代わる大容量の全個体型電池が実用化され、池袋で起きたような悲惨な事故を起こさない自動ブレーキ機

能付きで、高速道路では路線変更が自動で行える電気自動車  
が急速に普及することが期待されます。今後のエネルギー  
について考えると、地球温暖化を緩和させるには、化石燃料  
（石油、石炭、天然ガス）を燃やすことを出来るだけ控え、  
原子力と再生可能エネルギーの割合を増やすことに尽きる  
と思われます。また、もう一つ重要な技術は、電気エネル  
ギーの保存、すなわち、石油タンクの備蓄に代わる大型蓄  
電システムの実用化を図り、大規模な発電所レベル、ある  
いは太陽光発電の電気を蓄える各家庭レベルでの蓄電池の  
利用が急がれることになろうかと思われます。

さて、また話題を変えますが、近年、中国の近代化が著  
しく進み、米国と中国の経済、及び軍事を含めた政治上の  
覇権争いが今後も激しさを増していく状況が続くでしょう。  
あまり目立った報道はされておりませんが、日本としては、  
基幹となる工業製品や金属材料などの自国内での調達比  
率をある程度の割合で確保しておくことが

重要であろうと思われ、政府も産業界に対して一部の重  
要基幹産業施設（工場）などは国内に維持するよう要請し  
ております。コロナショックで一部の部品が中国製であ  
ったためにサプライチェーンが止まり、生産活動に支障  
が生じました。米国アップル社のスマホやパソコンが未  
だに中国の工場からの出荷待ちで販売できません。工業  
製品や希少金属を含めた戦略物資などの輸出入が政治的  
な駆け引きに利用されるようになれば、太平洋戦争の火  
種となった禁輸処置と似通った状況に陥る恐れがありま  
す。そのためには、食糧、エネルギー、基幹産業製品な  
どの自給率をある程度維持し、国家の独立性を確保した  
上で、米国、中国、その他の諸外国と付き合っていくこ  
とが必要とされるでしょう。

新型コロナウイルスの感染がある程度終息に向かうの  
か？ 今後、しばらく推移を見守る必要がありますが、落  
ち着くまでに、半年〜1年程度かかるかと思われま  
す。東京オリンピック、パラリンピックが無事、開催できる



かどうか心配です。しかし、新型コロナウイルスの収束後の働き方や社会生活の在り方は、都市部に人口が密集した現在に比べ、地方分散によって緑が多い住環境を享受できるように、より一層望ましい方向に向かうことを願いたいと思います。

大平総理は、わが国の内外にわたる長期政策を研究すべく、1979年1月以降順次9つの研究会を設置した。「田園都市国家の構想」は、このうちの「田園都市構想研究グループ」(議長：梅棹忠夫・国立民俗学博物館長(当時))の研究報告書として、大平総理死後の1980年7月にまとめられたものである。研究グループは議長以下全22名(民間学識経験者10名、関係省庁課長・課長補佐クラス12名)で構成され、報告書の起草は、研究グループのメンバーである香山健一学習院大学教授及び山崎正和大阪大学教授(ともに当時)が行った。



### ●田園都市構想の考え方

田園都市構想には、大平総理の故郷・香川県の穏やかな風土が色濃く反映していると言われる。提唱者である大平総理自身は、これをどのように考えていたのか。総理就任後初の国会施政方針演説(1979年1月)で次のように言う。

「私は、都市の持つ高い生産性、良質な情報と、民族の苗代ともいふべき田園の持つ豊かな自然、潤いのある人間関係を結合させ、健康でゆとりのある田園都市づくりの構想を進めてまいりたいと考えております。緑と自然に包まれ、安らぎに満ち、郷土愛とみずみずしい人間関係が脈打つ地域生活圏が全国的に展開され、大都市、地方都市、農山漁村のそれぞれの地域の自主性と個性を生かしつつ、均衡のとれた多彩な国土を形成しなければなりません。私は、そうした究極的理念に照らして、公共事業計画、住宅政策、福祉対策、文教政策、交通政策、農山漁村対策、大都市対策、防災対策等、もろもろの政策を吟味し、その配列を考え、その推進に努めてまいります。」

田園都市構想とは、地域の自主性と個性を生かしつつ、均衡のとれた多彩な国土を形成するための究極的理念であった。

## 昭和45年（1970年）アポロ前後のこと

観一・22回 石川 公一

（昭和46年卒）

最初に、この度の新型コロナウイルスに感染された方、また、豪雨により被災された多くの方々に哀悼の意を表します。

時は1969年「コリンズ、オルドリン、アームストロングを乗せたアポロ11号が月面に着陸しました」「アームストロング船長がアポロ11号のタラップを一段一段ゆっくりと降ります」「月面に着地しました」「アームストロング船長は言った「私にとっては、小さな1歩でも、人類にとっては大きな1歩です」と西山千さんによって同時通訳されたそれは、衛星TV中継から流れて来た。ソ連のユーリー・ガガーリンが、初めて人工衛星による宇宙飛行をしてから8年後のことであった。宇宙に対

する人類の技術は、もう、頂点に達したか？と言う頃のことだった。

多分そうでなかったかと思うのは、我が母校観一高での記憶が重なるからである。

その頃、観一高の陸上部、新体操部、ブラスバンド部等は県内で常に優秀な成績を修めていた。

中でも新体操部は全国優勝をするなど華々しい活躍をしていた。

それを教える先生は、「青春デンデケデケデケ」で直木賞を受賞された芦原すなお氏のお母さん葛原先生と我らがマドンナ松木先生だった。大会に出場できる部員は確か6名だったと思うが記憶は定かではない。同級生にM浦さん、T内さん、M江さん・・・等がいた。彼女たちは、薄暗い体育館の中で、先生の太鼓の音に合わせ、ボールを高く投げ上げて自分自身は2回転ターンしながら、落ちてくるボールをキャッチし、フープに思い切ってバックスピンを掛けて床に投げ出し、自分の手元に戻らせ、

軽く受取り、縄跳びのようにフープを操り、黙々と練習をしていた。

一方、陸上部は授業を終えた部員たちが三々五々に木造体育教官室横の部室に集まり、今日あった授業のこと、昨日のTVのこと、「ボボブラジルと大木金太郎のヘッドバットとどっちが強いかのお?」「ほんだけんど、ドリーファンクジュニアのスピニングトールド、あんな技、本当に痛いんかのお?」また、片一方では「アントニオ猪木の卍固め、あんな技本当に掛かるんかのお?」と各々が人の話も聞かず、「本気プロレス」に対する自分の思いだけを言い合っていた。学生服を脱ぎ、汗臭いジャージに着替えながら、ひとしきり話が終わるとグラウンドに出た。ある者はスターティング・ブロックを抱え、ある者は棒高のポールや砲丸を抱えていた。そんな中、小生は皆より一足早くグラウンドに出て、長いホースを引っ張り、100m走路のスタート付近に水打ちをしていた。水を打たなければ、地面があまりにも硬すぎて、

足首を痛めてしまう恐れがあるからだ。常に部員に対し気を遣う、それが小生の役目だった。マネージャーと言うほど計画的なマネジメントは何一つできたことはなかった。部員たちが100mのフロイーニング5〜6本済ませると2人1組になって柔軟体操をした。一人は座り両足を開いて、ペアの一人が背中を押す、体の硬い者は地面から30cmくらいのところで頭が止まってしまい、それ以上押すと、股が割けるか背中がボキッと音がするのではないかと思うくらい硬かった。それでも、走るのは早く、誰よりも高く飛ぶことができた。柔軟体操を済ませると休む間もなく30mダッシュを始める。スターティング・ブロックに足を合わせ、ピストルの合図と共に全力で30mを駆け抜ける。ある時、先輩OBがフラットとやって来て、「ハム一ちゃんちよっと一緒に走って見るか」と言われ、その言葉に恥ずかしげもなく、堂々と挑戦してみたが、全く歯がたたなかった。先輩はスタートするやいなや「すーっと」前に進む、不思議な走法

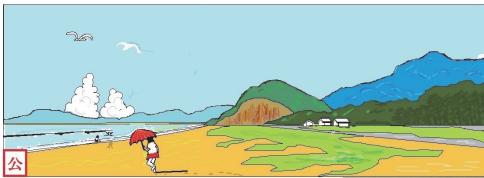
で進む。その当時、スタートは小刻みに左右に大きく振り分け、横の振幅を徐々に縦の振幅に変えていけば推進力がつき、良い走りとなっていたが、先輩の走りは全く違っており、誰にも真似ができなかった。先輩はどのようなトレーニングでその走りができるようになったか教えてくれた。とにかく筋力トレーニングが必要で、先輩は「自転車のチューブを木の幹に括りつけ、その端を自分の足に巻きつけ、仰臥し、自転車のペダルを踏むのは反対の引っ張るような感じで、腹筋と大腿筋を鍛えた」と教えてくれた。話が自分ごとにそれてしまったが、そのダッシュが済むと、部員たちは自分の専門種目の練習に入る。棒高跳びはグラウンドの南側で、投擲人はグラウンド南西隅にあるサークルで、トラック種目の者は当然200mトラックを周回する。小生はストップウォッチを手に、H山くんが1周するごとにラップを読み上げる。26秒、53秒、1分27秒……と言うように読み上げる。H山くんは練習の時から長い鉢巻を締め、いつも

全力で走る、最後は両手をやや下げ気味に広げ、もがきながらゴールに倒れ込んで来る。陸上部員がそんな練習をしている中、グラウンドの北東、つまり食堂の前辺りで、一人あるいは二人だったかも知れないが、一人は束ね髪を後ろで括り、一人はショートカットの色白の子が前傾姿勢でランニングをしていた。小生は、いつも気にして見ていた。野球部の球が飛んできて危ないのに、何であんなところで練習をしているのだろうと。彼女たち（二人）は当時、観一高では存在しなかった部【ソフトボール部】を創ろうとしていた。たまたま、生物の先生で清重先生と言うソフトボールの好きな先生がいた。彼女たちは、その清重先生を頼りに、自分の愛して止まないソフトボール部を創ろうとしていた。その後、部員が増え、部として成立したかどうか定かではないが、小生は、その何もないところから何かを創り出そうとする力にはいつも尊敬の念を抱いていた。今でも、その二人は、その頃の気持ちがいかに残っているに違いない。ソフ

トボールでなくても何かで想像力を発揮されていること  
と思われる。

今、香川を元気にしようとしている浜田恵造氏もそう  
だった。当時、観一高にはサッカー部は無かった。その  
ために、マイナーだったサッカー部を造ろうと先輩の福  
家伸夫氏を誘ってチームを造り、中部中学校サッカー部  
と親善試合をした。しかし、時代がまだついていけてな  
かった。小生が知っている限りでは、この1試合だけで  
なかったか？と。

昭和45年ころのこと、いろいろ思い出すままに書いて  
みましたが、今にして思えば、とにかく何に対しても長  
閑な時代だった。今の現役競技者は、自分自身の明確な  
目標を立て、それに対しての科学的な練習メニューによ  
って、日々の鍛錬を行っていると思われるが、その当時  
でも、全国大会を目指す者と、そうでない者との競技に  
対する目標達成意欲とそれに注ぐ情熱に落差があり過ぎ  
た。

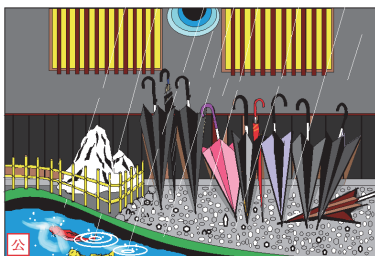


有明浜と江甬草山印象  
石川公一 メール: [tiriayame@gmail.com](mailto:tiriayame@gmail.com)

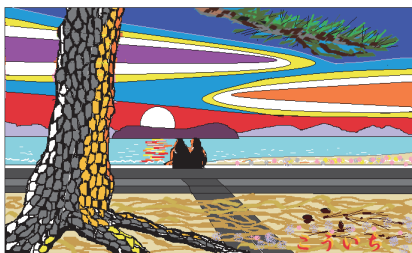


花稻の港から見える伊吹島 印象

自分自身、その達成できなかった分、今は、若さを維  
持するということに目標を切り替え「ウォーキングや腹  
筋・腕立て伏せなど」の筋トレによって、取り返そうと  
している毎日です。



雨宿り



有明浜から見る伊吹島印象



津島神社（つしまはん）夕焼け 印象



粟井の山 印象

## 文武両道（観一对大宮）夢甲子園

観一・22回 石川 公一

（昭和46年卒）

- ① 月光仮面は誰でしょう、才籐くと貫一・お宮
- ② 山上くとフェルマーの最終定理
- ③ 石山くと百人一首
- ④ 秋野くと雪舟
- ⑤ 秋野くと三海くん
- ⑥ 長田校長と雑技エリート野球
- ⑦ 雑技野球軍団の練習
- ⑧ 吹田都さんの甲子園
- ⑨ プレーボール、応援団長は誰？
- ⑩ 月光仮面は誰でしょう、才籐くと貫一・お宮

「あたみのおー かいがくん さんぼする かんい

ち、おみやのふたりづれくつとくら」と、つい、この間の香川県大会優勝の祝賀会で、古いOBが歌っていた歌を口ずさみながら、その男、中林監督は大広間の戸を「そーつと」あけた。「ウワーっ」と、静かだった部屋が一瞬パニックになってしまった。観一野球部選手団は、甲子園球場近くの『進取館』と言う300年以上続く老舗旅館に泊まっていた。中林先生（監督）は生徒の緊張感を解してやろうと考えた末の策『月光仮面』の格好をして登場することにした。「わしじゃ、わしじゃ、おまえらがそなんびっくりするとは思わなんだがい」と中林先生はまんざらでもなさそうに、生徒を制した。「いや、中林先生ゆんは、廊下を歩つきよるときから声で分かかったけど、あのお経みたいなの、かんいち・・なんちやらく言うんは、何な？ほんで、また、なんで、そななかつこしとんな？」と、大広間の真ん中で倒立をしていた赤井が、逆さ富士を見るようにして、中林先生に訊ねた。すると中林先生は「あれは、お経ではない、れっき



とした歌じゃ、皆、うちの学校の名前は、なに？言うんぞ、言うてみ」

「観音寺第一高等学校です」と3、4人がバラバラに答えた。

「略して言うത്？」と中林先生は問うた。すると全員が一斉に「かんいち」と大きな声で答えた。そこで、先生は、また聞いた「明日、対戦する相手は」と聞くと、「埼玉大宮高校」と生徒はすかさず答えた。「略して何と言う？赤井、言うてみ」。赤井はしばらく考えて「だいきゅう」と答えた。「ちがう、才籐、お前言うてみ」と中林先生は、才籐を指名した。才籐は先生が廊下で唸っていたことばをひとつひとつ思い出し手繰り寄せ、先生が何を言っているのか真剣に考えた、そしてさりげなく『お

おみや』、いや、『おみや』です」と答えた。「そう、もう既に才籐だけは、わかっと思うけど、あれは、『尾崎紅葉』の『金色夜叉』と言う小説の主人公の歌で、『かんいち』と言う男と『おみや』と言う女が、熱海の海岸で

歩きながら別れ話をしよる時のことを歌ったものじゃ」と中林先生は説明し、話を続けた「これはのおー、今から40年以上も前の話になるけんどのおー、観一に『多井』言うて、現国の先生がおつての、文学史で明治、大正の文学紹介のとき尾崎紅葉の金色夜叉がでたら、あらすじを簡単に説明して、みんなに、ちよつとでも覚えて貰おうと、主人公…貫一とお宮の喧嘩別れの話を高校野球になぞつて、先生の夢だけ一度でええから、観一野球部が甲子園大会に出場して、大宮高校と対戦してくれたらと、思いよんじゃけんど、みなは、どんな思うな？」と生徒に問うたことがあるらしいんじや。

「ほんで、テレビのアナウンサーは両校紹介のとき、どんな言うんじやろと、想像したらワクワクする、『観一高と大宮高、これ、もう、カンイチとオミヤでいいですね』と途中から省略して言ったりせんかいなと、な！」

「わしも、この話、うちの親父からよう聴かされての、みんなのなかにも、お父さんやお母さん、あるいは親戚の

おじさんおばさんから聴いとる人が居るかも知れん、どうじやろ？聴いたことがあるもんおるか？」と尋ねると、才籐と藤岡が「親戚のひとから聴いたことがある」と答えた。「先生、やっと夢が叶ったな、ほんで、その金色夜叉の話じゃけん、あれはな、実際、尾崎紅葉の恋愛を基にして書かれたもので、これまでに書かれたどの小説にもない画期的作風と言われているけど、実はな、最近になって、あれには下敷き、つまりモデル小説があることが分かったんじゃ」「それは、アメリカの作家バーサ・Mクレイと言う人のWEAKER Than a Woman（女より弱きもの）と言う題名の小説を自分自身の境遇に置き換えて書いたもんです」「これは、もう10年以上も前になるけど北里大学講師、堀啓子さんがミネソタ大学の図書館でこの本を見つけて、分かったことらしいんです」と才籐は説明した。「才籐、そなん、えー話、先にわしにおっせてくれとかんかい、みんな、そういうことじゃ、ちよつとは勉強になったか？みなも、あんまり人の話を鵜

呑みにすなよ、誰かに話する時は、ようーに調べてから話せーよ」「ちよつと、なんぼなんでも、この格好は暑いのおー、ちよつと歌の話が長くなったけど、このかっこうはこの、うちのオヤジが高校生だった頃に流行ったヒーローでの、『月光仮面』と言うんじゃ」「先生、顔に巻いとんは何な？」と、また、赤井が訊いた。「これか？これはの、うちの奥がの、お産のときに使こつた腹帯、つまり、晒しのふんどしのようなものじゃ」「ほんで、そのプラスチックのサングラスはどうしたんな？」「おー、これか？これは、観音寺の駅の裏？いや、表？ま、どっちでもええけん、TUTAYAの横にあるダイソーで買ってきたんじゃ、あそこ行ったら、なんでもあるのお、お前らもあそこへ、よう行つきよんじやろが」「ほんなら、そのピチツとしたジャージみたいなん、履いとんは何な？」「これはの、おやじ愛用のパッチ、つまり、ももひき言うもんじゃ」「まあ、上はわしの長袖のアンダーシャツが、ちようど、ダンスの中にあつたきん、買いに行か

んでよかったけんどのお」そこで、今度は、また赤井が片手で腕立て伏せをしながら、中林先生に聞いた「月光仮面言うたら、今で言う吉本興業の中に出てくるヒーローな」「赤井、またお前、なんかわからんこと言うやつじやのお、どうしてそなんこと聞くんぞ」「月光仮面言うたら正義の味方で、子供から大人まで人気があった大ヒーローじゃがい、と言うて内の親父が言う言う」とつた「やつぱり、腹は出とつたんな？」「そなな細かいことは気にせんでええがい」「ほんで、うちの親父は丸高の文化祭でこの格好をしたと、言うとつた」「まあ、月光仮面のことはこのくらいにして、明日は決勝じゃきん、早よ寝ーよ」「おつ、その前に肝心なこと言うん、忘れとつた、明日の先発メンバーを今から、読み上げるきん、よう聴いとけよ」「先発は別表のとおりじゃ」「ほんで、明日は全員野球をやるんで、皆、そのつもりでおるように」「以上」「はい、分かりました」と元気な声が返ってきた。

## ② 山上くんとフェルマーの最終定理

「ほんだけんど、せつかく眠とうなつたのに、また、目が覚めてしもたのー」と誰かが言いだした。「決勝戦じやきん言うたって、僕っきやは、初戦も決勝戦も同じ、試合は試合、死力を尽くして頑張るだけじゃ」とキャプテンの小川が言った。そして、選手はそれぞれの部屋に分かれていった。そして、1時間くらいが経過し、もう、既に9時半を過ぎていた。中林先生は、なんとなく気になりだした。選手は、もう、寝とんかいの？と、階段を静かに上がって、様子を見に行つた。悪い予感が当たつてしまった。案の定、選手が寝ているはずの部屋には、まだ、灯りが点いていた。言いとはないけれど、注意せないかんと、意を決した。「コラッ！お前ら、いつまで起きとんど、明日は決勝ぞ、早よ寝とかな、試合の途中で倒れてしまうぞ」と中林先生は選手をしかりつけた。「ほんで、お前ら、なんちゃしゃべらんと何しよんぞ？それ、ちよつと見せてみ、なんじゃ、このごちゃごちゃようけ

並んどの数字は？」と中林先生は山上のIパッドを覗きこんで聞いた。「ウーン、どう説明したらええかなあ、僕もまだ始めたばかりで、うまく説明でんけど、『フェルマーの最終定理』言うてな、数式で書くと $X^n + Y^n = Z^n$ と、こうなるんです、先生、ピタゴラスの定理言うたら知っとるはなあ」と山上が言うとお前のお、なんぼ僕が、英語の先生じゃきん言うてもの、ピタちゃんぐらいは知っとるぞ」と如何にも知つとげに略して答えた。

「そう、ピタゴラスの定理は $X^2 + Y^2 = Z^2$ となる、X、Y、Z、に入る自然数、つまり3、4、5や5、12、13みたいな数字は存在するけど、フェルマーの最終定理は、上にも書いたようにnが自然数3以上になったとき $X^n + Y^n = Z^n$ の式にある、自然数X、Y、Zは存在しないと言うことを証明してみようと、このIパッドで、ある一つの場合（n=3のとき）だけでも証明できないかなと思いついて、いろいろ数字2、3、5、7、13、17、19・・・と並べていっきゃたんです」

「なんで、そななとびとびの数字ぞ？」

「この数字は『素数』言うてな、自然数で1とその数自身でしか割れない数字で、例えば4の場合は1、2、4で割れ、6は1、2、3、6とその数以外の数字で割れます、それで、なんとなく素数のときだけを証明したら、フェルマーの最終定理も自然数全体が証明できるんじゃないかなと思とんです」

「そう言うたら、お前、皆に『そすう』『そすう』言うて呼ばれよん、それでか？」「いや、それは、たまたまで、名まえは『もとかず』言うんです、そうです『素数』と書いて『もとかず』と言うんです」

「ほうか、お前の両親は深い意味を込めて、名前をつけたんじゃの、ほんなら、あんまり無理すなよ、さつき発表したように、明日はお前が先発じゃきんの」と、中林先生はその場をうまく切り抜けた。

### ③ 石山くんと百人一首

「こら、うかうか、だれぱり注意できんの」と独り言を言いながら次の部屋をのぞき込むと、またまた、iPadを広げて、今度は文字を縦向きにした画面を眺め、なにやらぶつぶつ言っては、入力しているのがある。「ほんまに、こいつらの心臓はどうなっとんじやろ？明日は決勝戦じゃいうのに」と思いながら「こら、石山、お前はぶつぶつ言うて、何しよんぞ？」

「何、言うても、学校では、あんまり教つてくれん百人一首をな、ちよつと読んでみて、なんか、似たような（風、月、桜、花、紅葉、思う、涙、嘆く、濡れる、雲、逢う、衣）と言う言葉がな、なんべんも出てくるんでな、なんでかなと、思いよるとこなんです」

「ほんで、同じ言葉の入った歌ばかりを集めて、グループ分けにしたら、何かが分かるんでないかなと思とんです」「ひよつとしたら、それぞれの歌に、何かクロスワードパズル的な関連があるのではないかと思ったりし

とんです」

「なんじゃ、お前、百人一首言うたら正月のカルタ遊びじゃろが」

「先生、なに言いよんな、これは六歌仙と言われた、あの藤原紀香いや、定家が多くて和歌集の中から探し出した選りすぐりの百首ですよ」「なんで、お前、そなことが解るんぞ？」「いや、それはものの本（まんが）に書かれとったきん、ただ、そうかなと信じとるだけです」

「ほんだら、石山お前に聞くけど、百人が一首づつ作ったら百首あるはずじゃのに、なんで百人一首いうんぞ？」

「中林先生、よう訊いてくれました」「それじゃがな、僕も全く国語音痴じゃけど、どう考えても、百人が一首づつ読んで、全部集まったら百首になるんで、『百人百首』言うた方が正しいんでないかなと単純に疑問を持ったんです」「ほんだら、わしもまんざら外れたことは言うたらんのじゃのお」「いや、この百人百首と名付けた

らしいはずのところ、百人一首と名づけた疑問がどうなるか分からのじゃけんど、先生、ほんでから、百人一首は詠んだことあるんな」「いや、わしは英語が専門じゃきん、全然知らんのお」「先生やって、短歌のひとつやふたつ何か知つとるじゃろがな」「わしか？手前、生国と発しますところ聞東、関東は柴又・・くらいならのお」「先生それは、啖呵じゃがな」「おつ、お前、これ分かるんか？」「それぐらい、『Uチューブ』で昔の映画観よつたらよう分かるがな、菅原文太や高倉健さんの任侠伝、柴又、言うたら渥美清のフーテンの寅の世界じゃがな」「お前、ほんまに勉強しよんか？」「まあ、先生それはええがな、ほんで、何かひとつぐらい思い出さんな？」「柿食えば 鐘が鳴るなり 法隆寺」か「静けさや 岩にしみ入る 蟬の声」ぐらいじゃの」「先生、それは俳句じゃがな」「百人一首言うたら短歌で！五七五七七の31文字できとんで」「ちよつと言うて見ただけじゃがい、そなんむきになるな」「ほんだら、話がちよつとそれてしま

うついでじゃけんど、その、柿食えば言うたら誰の句な？」「そなん、言わんでも、分かつとろがい」

「ほんだきん、念のために聞つきよんじゃがな」「石山、お前もいちいちひつこいのお、正岡子規じゃがい」「先生、子規言うたらなんのことか知つとんな？」「子規言うたら、子規じゃがい、わしは英語の先生ぞ、それ以上のことは多井Jr先生に聞いてくれ」「先生、これも聞きかじりじゃけんどな、子規言うたらな、鳥のほととぎすのことだな、その不如帰言うたら、口を開けたら喉の奥が真赤でな、当時、結核を患つとつた子規こと正岡昇は、自分はその不如帰が口をあけたときと同じように口の中が真赤で、もう死期も近いのではないかという切実な現状から子規という名をつけたというこころしいです」「ほんで、どうせ死ぬのなら、この俳句で精いっぱい生きてやろうと決心したらしんです」「お前、子規に逢つて見てきたみたいに言うでないか、なんでそなことまで知つとんぞ」「なんぼ、多井Jr先生や佐塔先生でも、現国で

そなな詳しいこと教つてくれんじやろが」「んーん、ちよつとな、うちの親父が俳句が好きでな、ほんで、野球言う言葉は、子規が名づけたんで、それまでは、英語読みのそのままベースボール言うて言よつたんじやけど、子規は、この遊びに夢中になって、なんとか、日本語で名前がつけれんかな、もっとみんなに知ってもらえなかな？と思つたらしいんです」「そこで、子規は、野原でボールを使つて遊ぶ、自分の名前は昇（のぼる）、の・ボール⇓野ボール⇓野球と語呂合わせて名づけたと言ふことです」「おやじが、そななこと言よつたような気がするだけで、ほんまのところは、なんちゃしらんきん」「また、余談じゃけど、『鐘つけば 銀杏ちるなり 建長寺』言う句があつて、これはな、夏目漱石が作つた句で、この句の方が先に出来とつたんです」と石山が言うと、中林先生は「ほんだら、子規の法隆寺は漱石の建長寺をパクッタんか？」と聞き返した。「そう言われたら、そうかも知れんけどな、漱石に俳句を教えたのは、子規

で、この句ができたとき、子規は自分のことのように喜んでらしいんです」「それから後、自分も、故郷にこだわつて、松山にくすぶつてはいかん、旅をして、俳句を究めようと思ひ、故郷を遠く離れた旅の宿で、大好きな柿が座卓に出されているのを、めちやくちや、よろこんで食べていた時、たまたま、法隆寺の鐘の音が聞こえてきて、友、漱石を思い出し、できたのが『柿食えば』の句らしいんです。多分、子規は漱石に、俺も頑張りよるきん、お前も頑張れよと念を込めて作つたんでないのかと言われとんです」と石山は言つて「ほんで、先生、百人一首のひとつ、なんか思ひ出せんか？」と改めて聞くと、「ちよつと待て、うーん、『春過ぎて 夏来にけらしろたへの 衣ほすてふ 天の香具山』これはそうかのお？」と、中林先生は冷や汗たらたら、奇跡的にも思ひ出した。

「先生、お見事、それはな、持統天皇の歌です」「それでな、『田子の浦に 打ち出でてみれば しろたへの



富士の高嶺に 雪はふりつつ』と言う山辺赤人の歌があるんじゃないかと、先生が思い出してくれた持統天皇の歌にも、同じ言葉、『しろたへ』があるじゃろがな」「おー、そう言われてみたら、確かにそーじゃの」「そこで、僕は、ほかにも同じような言葉がある歌をグループ分けして、何か見つけれないかと、思いよんです」「ほーか、そう言う考え方もあるんか？わしは、百人一首言うたら、もう、カルタ取りだけのことしか思わなかったけどの」

「世間一般では、それが当り前に知られとるけんども、いや、TVで見えるような、あなな技（最初の一字二文字で札をはじけるような技）は、僕にはできません、多分、ここら辺では負けんと思うけんども、あれは、もう、神技みたいなもんです」

「僕は、あそこまでは行けんきん、せめて、藤原定家がどう言う思いで、この百人一首を創くったか？考えてみよんです」

「まあ、百人一首自体、藤原定家が編集したかどうか

疑問だった時代もあるけんども、今は、小倉百人一首は定家で間違いないとされています」「ほんで、ある人が、この百人一首に詠まれている情景を絵に描いてみたら、定家が住んでいた近辺の風景になると言ったりしたこともあるんで、一時は、すごい発見じゃと世間では騒がれたこともあるんです」「しかし、それは、ちよつと待てよ、お月さんが5つも6つも出とったらおかしいんではないか？などと言う人もおってな、それで、ちよつとひっこいけんども、僕なりになんか、発見できんかいな？と思とんです」「ほーか、また、何か分かったら、国語のせんせより先におつてくれ、ちよつと、また、話のネタ仕入れとかな、飲み会でも、間がもてんきんのお」「英語の間でも、わしがその話をしたらちよつと受けんかのお、頼んだぞ、まっさきにわしにおつてくれよ」と中林先生は石山に言った。石山は黒光りに輝く長髪を右手でかき分け、熱い視線を中林先生に投げかけ、無言の約束をした。

#### ④ 秋野くんと雪舟

中林先生は、また、次の部屋に行った。そこも、同じように、まだ灯りが点いていた、4人がいっしょになって、写真を眺めていた。

「オッ！ やつと高校生らしいところを見つけた。お前ら、また、エロ写真でも観よんだろが、ちょっと見せてみ、これ、モノ黒写真でないか、これでない、もつとええもんがあるうーが、そっちの隠しとん見せてみ」と中林先生にちよつと怖い眼で睨まれて、秋野は恐る恐る、持っていた絵を全部差し出す。「これ？ なんじゃ？ 野球の写真ばっかりでないか」と中林先生は言う。秋野は「先生、何が見たかったんな、もうちよつと、ように見てつか、何か分からんな、それ、写真と違うで」「お前、嘘言うてもいかんぞ、これはモノ黒写真じゃろがい」「いや、違います、それは僕が鉛筆で描いたもんです」「なんで、えんぴつで、こなんけっこかけるんぞ、描ける訳がなかるうが」「いや、それが描けるようになったんです、僕は物

心ついた時から、兄の見よう見まねで、鉛筆を握って、そこらへんにある紙に、見えるものを何でも描つきよたさん、ものの形や色がそのまま描けるようになったんです」「不思議じゃのおーえんぴつでのお、ここまで描けるかの、折角、描くんだったら、こなな野球のフォームばかり描かんと、周りのもんがもつと喜びそうなもんを描いたらどうーや？」「そら、描いてもええけんど、みんながほんまに眠れんようになったらいかんきん今日は止めときます、今日はな、みんなに、この、打ったり、投げたり、牽制したり、受けたり、走ったり、滑り込んだり、タッチしたり、理想のフォームをもう一ぺん見てもらって、最高のプレーができるようにイメージトレーニングをしてもらいよんです」「本当は、フォームの輪郭だけで十分解るんじゃけんど、陰影をつけて立体感を出した方が迫力があつて、動きが、よりリアルに感じ取れるんで、まっ、写真みたいに仕上げてみたんです」「先生は、観音寺のゴリラには行ったことあるんな、あそこの入口

を入って左側の壁に映画俳優の顔が飾ところがな」「そう言えば有ったような気がするの、あれ、チャールズ・ブロンソンかの？あれは、写真だろがい」「あれ、写真ではないんで、鉛筆で描いたもんで、多分、先生は、なにげなしにしか見てないきん、写真にしか見えんのだと思います」

「ほーか、初めて知ったわ、今度行つたとき、ように観とくワ」

「僕は、ほんまに、あんなん見よつたら、つくづく人間ちやすごいなと思います」「昔、室町時代に、雪舟と言う水墨画家いたんですけど、先生、雪舟ゆうて知つとるな？」「この話は、僕が小学校5年生のとき、絵の好きな先生がおつてな、雪舟の幼少期の話をしてくれたことがあるんです」「その日の図工の時間は、絵は一切描かず、雪舟の話だけでした、雪舟は幼い時にお寺に預けられ、庭掃除や廊下や仏間の拭き掃除をさせられ、それが終わったら、うもない精進料理を食べさせられ、意味も分か

らんお経を唱えられ、睡とうて睡とうてたまらんで、みんながお経をあげよる最中に、寝言言いながら笑つてしまい、和尚さんにめちやくちやおんかれて、とうとう、廊下の柱に括りつけられたんです」「ほんで、長い間ほつとかれ、夕方になって、和尚さんは、雪舟を柱に括りつけていたのを思い出し、雪舟のところへ行くと、雪舟の足もとに大きな鼠がいて、幼い雪舟の足を、今にも齧りそうなのに、びっくりして、あわてて、雪舟の縄を解いてやった話、聞いたことあるな？」「それは、うちの親父が道德の時間に教つせてもらいよつたような話でないか？」「そうじゃろな、今、こななお伽嘶みたなん、授業で教つてくれんきんな、その僕が教つてくれた図工の先生は、たまたま家がお寺だったきん、雪舟の話をしてくれたんじやろと思います」「ほんで、中林先生、ほんまに涙で絵がかけると思いますか？」

「僕は、あれはなんぼ昔話でも、うまくでき過ぎとんではないかと思うんです、ほんとうのところ、雪舟は小

便をちびったんではないかと思うんです、ほんで、それをごまかすために、足の親指で小便をなぞっとる間に、『絵を描いてやれ』と思いついたんではないかと思うんです、それが、普段、お寺の中で見慣れている大きなネズミだったんです」その雪舟が括られていた廊下の床も、たまたま、雪舟が何日も拭いてなかったから、埃も薄くかぶっていたんで、小便と埃がうまく混ぜ合わさって、ネズミが描けたんではないかと思うんです、先生、この想像、まちがつとるじゃるか？」「それは、よう分からんけど、涙よりは、現実味があるのお、まあ、雪舟の話は、そのくらいにして、今日は、お前の描いた写真、いや、絵をみんなにしっかり見せてやって、明日に備えておけ、ほんで、分かっとるのお、えー絵がかけたら、先生に先に見せるんで、野球はテレビでも観れるきんのお、後は、秋野おまえの判断にまかすきん」

## ⑤ 秋野くんと三海くん

「もうそろそろ、ふとん敷いて寝るか？」と秋野君が言うのと三海渡くんも「おう、寝るか」と言って、宮前迅くんと郷田耕史郎くんも、いっしょに押入れから布団を取り出して敷いた。

秋野くんと三海くんが並んで寝た。真つ暗やみの中で、スースーと4人の吐息がし出した。三海くんは目が覚めて眠れなかった。

「オイ、秋野もう眠たんか？」と囁いた。「どうしたん？ 渡、お前も眠れんのか？」と秋野くんは返事をした。すると三海くんは秋野くんに「お前小学校のとき、なっしよたん？」と聞くと「うちんきは牛を飼うとったきん牛の世話ばつかししよったわ」「ほんで、うちのじいさんは剣道5段で、親父は野球馬鹿で、『こんまいときは田んぼや空き地で、暗くなるまで野球（竹バットでテニスボールを打つ）をしよった』言うて、よう話してくれたわ」「ほんで、早よ遊びに行きたいのに、とにかく牛に餌を

やったり、乳を絞ったり、学校から帰ったら、そなたとばかりしよった」「僕が、中学校2年の春、親父が田圃でトラクターを使いよって、トラクターの回転爪が急に止まってしもて、チェンジレバーをニュートラルにして、爪に絡まった草を除けよったら急に爪が回りかけて、右手の甲をちよつとひっかけてしもて、かすり傷をおって、ちよつと血が出たさん、家に帰ってオキシドールで消毒して、擦り傷に効く軟膏を塗って、また、田んぼに戻って、その日はずーっとトラクターを使こたらしいんじゃ」「それから、1週間くらいして、急に肩こりがひどなって、首も回らんようになってしもて、近所の内科へ行つたんじゃけど、『これはちよつと過労からきとると思われるけど、ひよつとしたら、あの症状にも似てるような気もするので、総合病院へ行つた方がええ』と言うて、その内科医の先生は紹介状を直ぐ書いてくれて、三豊総合病院へ行つたんじゃ」「病院の外科で診察してもらたら、『最近、どこか怪我をしませんでしたか?』と

問われ、親父は『怪我言うてもトラクターの爪にちよつと引つ掛けただけです』と答え、ちよつとないすると、親父は急にガタガタ震え掛けて、体全体が硬直しかけたんじゃ」すると先生は「これは破傷風ですね、私も学術書で読んだだけで、今ではもうないものと思つたのに、まだ、破傷風菌がおるんですね」と言つて、看護士さんに『血清を直ぐ用意するように』と指示を出して、用意させ、直ぐ注射をしてくれたんじゃ」「それから、病室に移り、部屋のカーテンは黒いカーテンに取り替えられ、部屋を暗くして、また、親父はアイマスクをしてベッドに横たわり、1ヶ月くらい安静にしとつたんじゃ」その時、僕は何で部屋を暗くしたり、アイマスクをせないかんのか?不思議で看護師さんに聞いたんじゃ、すると看護師さんは『破傷風は光にすごく敏感で、少しの光が眼に入つて来ると刺激になって、全身に痛みが走るんです』と教つてくれたんじゃ」「そんな風にして、血清と看護師さんの献身的な看護で、親父は奇跡的に助かつたんじ

や」

「ほんだきん、田んぼや、畦で鎌を使いよるときに手を切ったりしたら、よう気をつけないかんのぞ」と秋野くんが言うと、三海くんは「それ、ほんまの話か？おやじさん助かってよかったのー」と言った。「ほんでの、親父が退院して暫くたって、家族そろって晩御飯食べよったとき、親父が急に酪農雑誌を持って来て『ちよっと内の家も楽せないかんのー、思い切ってこの自動搾乳システムを取り入れるか』と話だしたんじや」「僕はびっくりして、そななん、ほんまに使いもんになるんな？牛が勝手にその搾乳システムのゲージにひとりでは入るんな？人間が引っ張っていかな入らんのと違うんな？」と親父に問うと、親父は「いや、最初は人間が教えてやらないかんけど、何回か教えてやると、牛自身が乳が張り出したら勝手にそのゲージの前に並び、順番に1頭づつは入る言うて、実際に使用しとるスウェーデンの酪農家の体験談が出とる」「えっ！お父さん、それ、外国の機械

なん？そなん、ほんまに買えるん？いたい、なんぼするん？」とおふくろは、真っ先にお金のことを心配しよった「それまで、黙って聞つきよた兄貴は「お金のことはよう分からんけど、みんなが、牛と掛かりきりで、誰かが病気になったら、また、親父が入院しとった時みたいに、えらいめせないかんきん、うちも、その自動搾乳システム設置せんな」と言い、それで、香川県で一番に、その自動搾乳システムを設置したんじや」

すると三海くんは「そのゲージの中に、牛、うまいこと、入りよんか？」が聞くと「それがじや、僕が一番疑ごつたんじやけんど牛は賢こうて、一度教えてやったら覚えてしまつて、次からは自分でゲージの前に並び、前の牛が出ると、次の牛が入り、そのシステムは赤外線て牛の乳を探し出し、ちようどいいところに、搾乳のチューブを持っていき、スポツと吸い付き、乳を全部吸い取ると、その搾乳機が外れ、すると、牛はそのゲージから出ていくんじや」

「ほんだけんど、やっぱり牛の中でも機械が好かんアナログ派のおつて、その牛だけは絶対にその搾乳システムのゲージに入らんのじゃ」「その牛は、僕がずーっと世話しよんじゃ」「餌は、稲藁に糠を混ぜるんじゃけんども、稲藁は、僕が手で刈ったやつをハデ竿に干し、脱穀した後、納屋の2階に入れておき、それを、海馬切りで切りよんじゃ」「毎日、海馬切りで腕を上げたり下げたりして藁を切りよるうちに、知らん間に、僕は、上腕筋が付いて、乳搾りで握力が付いたんじゃ」「ほうか、秋野お前それで握力も腕相撲も強いんか」と三海くんは感心すると「俺は、家の手伝いはいっちょもせんかったわ、近くのおにぎりみたいな山に、毎日登って遊びつよたわ、友達と、山の頂上までどっちが先に登れるか競争したり、どんぐりを誰が一番ようけ拾えるか競争したりで、とにかく走り廻りよった。それに飽きたら、港に行くんじゃ、ほんなら、家の伝馬舟があつてそれに乗って遊ぶんじゃ」「友達もいっしょに載せてやつたら、『お前、この舟、出

せるんか?』と聞かれ、出せるん分かつところが言うて見栄を切ったんじゃけんども、その時までは、親父が釣りに行く時載せてくれただけで、ほんまは、伝馬舟の櫓は漕いだことなかったんじゃ」

「出せると言つた手前、本当は恐ろしくてたまらんのに、ロープを外し、錨を上げて出たんじゃ、櫓は、親父がしよったんを思い出して、舟の後ろについとるポツチリ金具に櫓の凹み部分を入れ、漕ぎだしたんじゃ、それが、直ぐ外れるし、櫓の平な部分が水を切るようになって、直ぐ外れるんじゃ」と友達は不安な顔をして「お前、ほんまに、舟、独りで乗ったことあるん?」と聞いてくるんで「さつき、山でどんぐり採りよる時、檜の木をゆすりすぎたきんちよつと手が疲れとるだけじゃ言うて、ごまかしたんじゃ」「それから、必死で親父のことを思い出して、親父が漕ぎよる時のイメージをしたんじゃ、親父は伝馬舟の進行方向に対して横向きになり、波の揺れに任せるように、力を抜いて漕いどつたそれを思い出し、



俺も試してみたんじや、ほんだら、今まで、水の中で横滑りしよった櫓がうまく水を捕えて、嘘みたいに前へ進みかけたんじや」「友達は、喜んで、『お前凄いのぉー、もっと行け、もっと行け』言うておだてられての、どんだん沖に出たんじや、15分くらい漕いだるか？振り返って見たら、港が半島の影になって見えんようになってったんじや」

「これはいかん、これ以上沖に出たら戻れんようになると思い、舟をＵターンさせて、戻りかけたんじや、ところが、舟がよいよ進まんじや」すると友達が「おい、どうしたん、力がなしになったんか？進んみよらんぞ」と怒りかけてのぉ、「一生懸命漕ぎよるけんどんなかおかしいのぉー、と言うて海を覗よったら、どうも潮が帰る方向とは反対に流れよる言うんが分かつての、それからは、もう、死に物狂いだったわ」「そのうちに、友達も泣きだしてのぉー、俺やって、手から血が出かけて泣きたいのに、とにかく、港まではなんとかして着かないか

んと思つて、漕いだ、とにかく漕いだ、それで、手にくきた他のまめも全部裂けてしても、櫓が握れんようになつてもたんじや」その時、今まで泣いotta友達もピタツと泣きやんで、『僕が代つてやるわ』と言ってくれたんじや、このままでは帰れんし、代わつても、ほんまに漕げるかどうか分からんけど、友達に代わつたんじや、すると、俺が漕ぎよった時より遙かに速よ進むんじやが」

「ほんと、俺は『ありがとう』と言う前に、お前、本当は舟漕いだことあるんときがうんか？ときいたんじや」すると友達は「いや、お前がするん覗よったら直ぐ要領が分かつたんじや」と答えて、今までうろたえottaんが嘘みたいに活き活きとして、漕ぎ出し、俺は痛い手を握り締めて、友達をガンバレガンバレ英之ガンバレと応援して、港まで連れて帰つて貰うたんじや、それが、その友達言うのは石山英之くんじやったんじや」

「俺は、その時から、潮の流れを見極め、伝馬舟を出しては櫓を漕いで、どこまで沖に出れるか自分の力を

試してみたんじや、櫓を押したり引いたりしよる間に足腰、腕力、握力が鍛えられたらしいんじや、ほんで、握力は多分 90 kg 以上はあると思うわ」と言うとき秋野くんは「やっぱり、友達言うんは信じないかんのぉー、ほんで、力言うんは色々な付け方があるんじやのぉー」と言うとき、二人ともその後は返事もせず、すーすーと寝息をたてかけた。

中林先生は、選手が寝ている3部屋全部見回った後、これで、やっと寝れると、禁煙パイポを加え、廊下の窓から見える甲子園の大屋根を眺めながら一息ついた。「いよいよ、明日は決勝か、よくここまでできたもんじや」と今の選手達に感謝していた。

## ⑥ 長田校長と雑技エリート野球

その選手達とは、今までのクラブ活動の形体とはまったく違った集団で構成していた。観一もかつては、強い

時があつた、それは、仁尾出身の大矢根投手（中日ドラゴンズ）を有するときであつた。香川県大会で準優勝し、北四国大会で、怪童・中西太を有する高松第一高等学校に決勝で負け、甲子園大会に出場することができなかった。観一野球部は、甲子園大会に出場することが長年の夢である、しかしその夢は、なかなか叶わない。そこで、観一創立110年目からのことであつた、長田校長は、各部活顧問に指示を出し、今の野球部だけという考え方は、いい選手が集まらない、そうでなくても世の中は今や、サッカーに流れていく風潮であり、このままでは、本当に野球が廃ってしまうと思い、陸上部でもバスケット部でも何でもかんまん、運動能力の高い選手に両方をやらせてはどうか？と言う提案をし、説得した。中には「二兎追うもの一匹も得ず」のことわざがあるように、「野球も今所属している部も両方駄目になってしまうのではないか？という意見もあつたが、一流の選手の場合、スポーツは、ほぼなんでもできると（TV番組サスケで

証明できている）言うデータもあることから、また、全国でも例のないことを観一高から始めて見ようではないかということになった。それで、各部活の顧問は自分の担当している部に、長田校長の考え方と熱意を説明し、生徒へ野球部への入部説得にかかった。生徒は、長田校長の考え方が直ぐ理解できた。その方が、クラブ活動は今以上に目標を高く、そして、もつと熱くなることができると言うものがほとんどであった。そして、各部の各学年から二人ずつ募ることとした。入部の条件は1000m走12秒を切ること、野球ボール遠投…90m以上、そして、それまで本業の部活は、個人または団体において県大会入賞などとした。最初の何年間はこの条件に合う選手がなかなか集まらなかったが、この年2011年秋には、素晴らしい選手が集まった。もちろん野球部生え抜きの選手も何人かは残っていた。

## ⑦ 雑技野球軍団の練習

元々の野球部員はゲームをどのように組み立てていくか、少ない時間で効果的な練習はどのようにすればいいか、常に考えていた。それまでは、ただ練習時間が長く、決められたルーティーンを淡々とこなすだけだったが、自分たちが主体になって引つ張らないかと責任感と想像力が増していった。他の部活が本業の選手たちは、週3日を本業に費やし、2日を野球に当てた、当然、基礎体力は本業で養っている、陸上部は徹底的に走り込んでいるが、バレー部やバスケット部、卓球部、水泳部・・等も、陸上部に負けないくらい工夫をして練習をしていた、水泳部は持久力を養うために、マスクを着けて学校の敷地周囲を走った。バレー部、バスケット部や卓球部は敏捷性と跳躍力を鍛えるために琴弾公園の石段を一気に駆け上がったリ、片足で上がったり、スクワット（ウサギ跳び）跳びで四・五段づつとばして上がった。彼等は、本業ばかりでなく、陸上競技に出場しても一流と言

われるくらい、走力、跳躍力が養われた。観一には、最新のトレーニングマシンは取り入れられてなかった、昔ながらの、バーベル、体育館にはロープ、肋木、吊輪、あん馬、跳馬、ロイター板、段違い平行棒、バスケットリンク、と言った競技に必要な最小限の器具だけしか備えていない。

体操部と陸上棒高跳びの選手はそのロープで腕力・握力・腹筋を鍛えた、まず、最初は両手でロープにぶら下がり、一握り一握り掴みながら、10 mの高さまで昇り、握力と上腕部を鍛えた。ある程度登れるようになると、10 mを何回の握りで登れるか、また、何秒で登れるか競った。10秒足らずで登れるようになると、今度は、足先を上げ、体と足が90度になるようにL字形の格好でロープを昇った。腹筋が直ぐに固くなり、体を伸ばして上るときより、遥かに全身の筋力が付いた。そのL字形のままで、最上部まで昇れるようになると、次は、片腕だけで、ロープを一握り一握りしながら上に昇ことができる

か挑戦していった。体操部で吊輪を得意とする赤井はすぐできるようになった。陸上部の宮前も必死だった。これができるようになれば、観一卒業者の横山さんや荻田さんの記録を抜けない、絶対抜かなければならないいつもプレッシャーをかけ、赤井と競い合って、このトレーニングに励んだ。片腕でこの技をできる者は今のところ体操部の赤井と陸上部の宮前、そして、舟の槽漕ぎで鍛えた三海しかない。これは、観一高で行う筋力トレーニングの一端で、他には自転車チューブを使つての腹筋トレや上腕トレ、両足をロープでくくり逆さに吊るし、下になった頭を自分の膝まで上げる腹筋トレやメディスンボールを使つての腹筋、瞬発トレなども行った。観一でのトレーニングはお金をかけずに原始的な方法で行ったが、それには三豊・観音寺地域としての理由もあった。最近、琴弾公園⇄豊浜一宮公園間の学生トライアスロンも根付いてきた。その参加者たちのおかげで、香川県は、気候も穏やかで、海の幸、山の幸、野の

幸にも恵まれ、食べ物が豊富で、何と言っても、もてなしの心が素晴らしいと言うことが宣伝され、個人的に合宿に来る人たちが増えてきた。そこで、市会議員の琢磨先生は、この三観地域にも多種競技のトップアスリートと呼ぼうと言う政策を掲げることにした。そのためには、まず受け入れ施設の充実を図らなければならないということで、母神山運動センターに最新のトレーニングマシンを入れ、また、スポーツトレーナー資格を有する者を10人ほど採用し各競技者のアドバイザーや指導ができるようになどハードとソフトの充実を図った。そのおかげで、全国から沢山のトップアスリートが合宿に来るようになっていた。スポーツ練習に對するそう言う地域としての事情（熱意）もあってから、選手は週に一度、母神山運動公園に行つて、トップアスリートの練習を間近に見て、一挙手一投足を見習い、練習に取り入れた。そうすると、野球選手いやアスリートとしてのモチベーションを高く持つことができ、苦しいはずの練習も、苦しく

はなくなつた。今、自分のどの部位が鍛えられているか考えることによって、練習そのものが楽しくなつてきた。トレーナーによつて、基礎体力が正しく鍛えられ、彼らの体は、個人差は多少あるものの、野球選手、いやアスリートとしての理想的な体に近づいて行つた。野球選手としての走、攻、守、また他の競技にも欠かせない、瞬発力、持久力、柔軟性を精神面においては、トップアスリートとの何気ない会話の中から克己心、忍耐力、協調力、判断力等をつけることができた。この2011年に揃つた野球部員全員を一人一人紹介することはできないが、この様に、言うてみれば雑技団野球部が完成したのである。

### ⑧ 吹田都さんの甲子園

決勝の朝、彼等は気持ちよく目覚めた。起床6時30分、それから、ジャージに着替え、甲子園球場の廻りを軽くランニングをして、身体をもう一度目覚めさせた。『進取

館』に帰って、大広間で朝食をとった。中林先生が入ってきて、全員がそろくと、みんなが一同に揃って合掌し「いただきます」と大きな声で言って、食べ始めた。食事の速度は、人それぞれで、さらさらと掻き込んで、5分くらいで終わるもの、ゆっくりと噛みしめ、20分30分とかかる者がいた。しかし、その誰もが、食事を終えると、自分の食べた物は自分で、調理室まで返しに行き、旅館の人に「ごちそうさまでした」と感謝のことを忘れなかった。

『進取館』のおかみさんが言った。「未だかつて、このような礼儀正しい生徒を見たことがない、不思議なものを見たような気がする」と。はたして、この頃の家庭で、この「いただきます」と「ごちそうさまでした」がちやんと言えているのだろうか？この時、おかみさんは、客商売をしている自分たちさえも忘れかけていた感謝の気持ちはつくづく大切なあとと言うことを改めて知ることができたと喜んだ。

全員が朝食を終えた後、中林先生が、今日の試合にあつたての挨拶をした。「今日は、みんなに、ええ知らせが3つと＋αがあります。ひとつは全国大会で金賞に輝いたプラスバンド部が全員で応援に来てくれます。そして、我が観一高の「吹田都さん」が場内放送を担当してくれます。もう一つは、県政で忙しい合間を縫って、浜田知事が応援に来てくれます。これで、益々、力が湧いてきました、そして最後の＋αは皆の中にあります、ベストを尽くして頑張りましょう」と簡単な挨拶をした。

選手たちは、「プラスバンが来たら、甲子園球場は観一のものじゃ」と勝手にはいやいだ。「場内放送が、うちの生徒がするゆうて、本当かのお？あれば、甲子園球場の職員がするんとちがうんか？」「開会式の入場行進で、地元の高校生がプラカードを持つんは聞いたことがあるけんど、ウグイス女を高校生がするゆんは聞いたことがないわのお」とどよめきがおこった。「ほんで、県知事が、わっしやの学校だけに来て、えんじやろか？」と、ほと

などの選手が疑問をもったが、嬉しさの方が勝り、それ以上深くは詮策しなかった。

試合開始までの時間、彼等はジョギングや柔軟体操、スローイング、素振りをしたりして体をほぐした。熱中症で痙攣をおこさないよう、適当に水分補給をしながら、ウォーミングUPを行った。いよいよ決勝戦、選手は勢いよくダッグアウトから飛び出し、守備練習に着いた。その間、場内放送で両校の選手紹介がされた。観一の選手たちは、地方大会で聞きなれた、吹田都さんの声に、懐かしさとしん縮を感じた。そう、彼女は、地方大会の時から、高校野球は全て、高校生たちのもの、大会関係者（大人）ばかりに頼ってはいけないと思い、積極的に香川県内高校野球部マネージャに、大会運営に出来るだけ高校生も参加しようというインターネットで呼びかけ、場内放送やグラウンド整備など高校生にもできることを実現させてきた功労者であった。実際のところ、彼女自身、野球が好きで好きでたまらず、野球部に入部し、人

一倍努力しているものの、やはり、男のパワーには敵わず、今のメンバーの中ではもう一步のところでレギュラーの座を掴めなかったのである。そして、3年生の春には気持ちを切り替え、それならば、サポート（管理）役に徹しようと決意したのである。

それからは、練習メニューを考えたり、スコアブックをつけたり他高の選手の癖（弱点）を記録し、できる限りのデータ収集と分析をしたのである。そして、家では、新聞、雑誌、文学、古典、英語などの文章を大きな声で朗読をし、活舌の練習をしたのであった。

地方大会でも慣らした勢いで、『高校野球は高校生のもの』と言う内容の手紙をしたため、甲子園球場にウグイス女の申込をしたら、なんと、それが、あっさり認められてしまったのである。これは、当然のことながら、甲子園大会始まって以来、初めてのことであった。「ただいまより両校の選手紹介を行います」と言う、彼女のゆっくりとではあるが、しなやかな声が甲子園球場に響き

渡ると、観一選手は一段と心強さが増してきた。最初に先攻の大宮高校より選手紹介が行われた。

1 番セカンド桑田喜一くん、2 番サード島本武夫君、3 番ショート荒木正芳くん、4 番ライト松阪善幸くん、5 番セクター水野康弘君、6 番ファースト小松登くん、7 番レフト尾崎護熙くん、8 番キャッチャー太田角栄くん、9 番ピッチャー江川俊樹くんです。

この大宮高校のメンバー紹介が終わると満員の観客からウヲオーと歓声が上がった。「これは観一、とても歯がたたんじゃない、名前を聞いただけで勝てる訳がない、ようこれだけ歴史に残るピッチャーや総理大臣と同じ名前の者を揃えたもんじゃ」と誰かが言う。「この大宮高校の監督尾藤さんもなかなかロマンがあるのぉ」と年配のシルクハットを被った紳士が言い、また60 前後のおっさんが「昔少年ジャンプにあつたアストロ球団みたいなのおー」と感心して言った、すると、隣で携帯のTV を見ながら応援していた高校生は理解できないのかボカン

としていた。

続きまして、後攻、観音寺第一高等学校の選手紹介をいたします。

1 番レフト宮前迅くん、2 番ショート赤井修くん、3 番セカンド三海渡くん、4 番キャッチャー小川博士くん、5 番ライト石山英之くん、6 番セクター秋野廣長くん、7 番サード藤岡啓一くん、8 番ファースト才籾令三くん、9 番ピッチャー山上素数くん」と紹介の声が響き渡ってきた。

試合開始5 分前、選手はホームプレートを挟んで整列をした。

主審のプレーボールの合図と共に試合開始のサイレンが鳴り響いた。先攻、大宮高校選手は一塁側ベンチに入り、後攻、観一選手はグラブを握り守備に着いた。



## ⑨ プレーボール、応援団長は誰？

山上はマウンドに立った。今まで、緊張していなかったのに、そのマウンドに立った瞬間、甲子園5万人の観衆が全て自分に注がれていると思うと、一瞬、頭の中が真っ白になってしまった。山上はグラブの中でボールを一度強く握り直し、大きく深呼吸をした。第一球目をイメージした。対するバッターは桑田、彼は地方大会を一人で投げ切ってきたピッチャーだったが、それ以上のバツティングセンスを見込まれ1番セカンドで出場することになった。彼はマウンドの山上を見据えた。山上はキャッチャー小川のミットの少し上に狙いを定め、思い切りのストレートを投げた、桑田は絶好の球が来たと思った。フルスウィングをした。バットは空気を切り裂いた。球は、キャッチャー小川の遙か上を通り抜けバックネットに当り網目に食い込みそうになりポトリと落ちた。そう、山上の投げた球は、バックスピんがかかりライジングボールとなり、ホームベース付近で急に浮き上がって

しまったのだった。山上はこれで、緊張が一気に解れた。後も同じように、グイグイ、低めのストレートを投げた。ボールは打者の少し前でホップした、桑田の振るバットは2球ともボールの下のを切ってしまった。3球三振だった。2番島本が打席に立った、彼は甘いマスクのスラッガーで、もう既に、全国に知れ渡っていた。山上は少しスナップを控えめに投げた。絶好の球が来た、島本はバットを思い切り振った。

真芯でとらえたと思ったが、ボールの下を掠ってしまった。球はグングン上がって観一ベンチ前に近づいて行った。小川はキャッチャーマスクを素早く外し地面にそつと置いて、振り向きざまにダッシュした。観一の控え選手は、これは無理、捕れないかも知れないと思った。その時、小川は猛烈に飛びこんだ、見事なフライングキャッチだった。これは、冬季トレーニングの時、有明の浜で、ダッシュ&メデイスンボールキャッチ練習をしてきた成果だった。小川には、軽々と捕れる自信があり、

ちよつとかつこよく見せる余裕もあった。これで、ツーアウト、次のバッターは荒木、彼も島本と同じく端正なマスクで、守備も華麗で絶大な人気があった。高校野球ブログ人気No.1の選手だった。彼自身は、他人に『あの華麗な守備は天性のもの』言われるのを一番嫌った。自分自身では、鈍牛のごとく弛まない努力の成果だと自負していた。

山上は荒木と対峙した。山上は渾身の力を注いで投げた、荒木のバットはボールをチップした、小川のミットにズバツと納まった。

山上は少しゆとりが出てきた、第2球目を投げた、荒木は大きい山なりのボールに見えた、軌道がハッキリと見えた、バットを振った、真芯で捕らえた、打球はセカンド頭上ライナーだった、フェンス際で守っていた秋野は前進、前進、猛然とダッシュした。打球はセンター前に落ちそうになった。秋野もまたキャッチャー小川のようにダイビングをした、伸ばした左手のグラブの中にし

っかり掴んでいた。そう、彼は剣道の踏み込み面の如く、相手の体を突き抜けるような気持ちでダイビングキャッチをしたのであった。スリーアウトチェンジのコールがされた。守備と攻撃が一斉に替わった。

いよいよ観一の攻撃開始、三塁スタンド側からトランペットの音が鳴り響いた「光る海 光る大空 光る大地 ゆこう・・・」あのアニメ…エイトマンのテーマ曲だった。TV機敷の還暦近い人たちは釘づけになった。と、そのとき、トランペットの合間を縫って、だみ声の「フレ、フレ、カ・ン・イ・チ」と言う今まで聞いたことのない大きく張りのある応援が聞こえてきた。三塁側ベンチの観二選手団全員が聴ききれない声の方を振り向いた。その声の主は長いガクランに青いタスキに白く長いハチマキをしていた。「あれは誰かな?」「あれはスーパーマン?でない」「ひよつとしたら知事とちがうか」と才藤が言った。中林先生もまさか知事がここまでのパフ

オーマンスをしてけると予想をしていなかった。

観一選手はベンチ前で円陣を組んで「観一〜ファイト」と一発気合いを入れた。浜田知事は昔取った杵柄で、魚が水を得た如く応援団長に成りきっていた。知事の声とブラスバンドの音色が甲子園の観衆を酔わせ、ピタッと声と音が鳴りやみ一拍の静寂の後「ウォー」と地響きのような歓声が起きた。

一番バッター宮前はヘルメットを脱ぎ、頭を下げながら「お願いしまーす」と言って打席にたった。大宮高のキャッチャー太田角栄くんは一瞬、きよんとしてしまった。今までこんな「おねがいします」などと言って打席に入るやつがいたかな？と思ってしまう。

太田君はピッチャーのリードどころではなかった。しばらくその言葉が頭から離れなかった。カウントは瞬く間にスリーボールとなってしまう。太田君はあわてて、ピッチャー江川俊樹くんを落ち着かせようと、両手を広げ下へ下へと大きくジェスチャーをしてしまった。宮前

迅君は冷静にそれを見ていた。江川君は低めにコントロールした直球を投げてきた。宮前君はグリップを少し緩めバットを下にずらし短く握り直した。江川君の投げた球はちょうど腰の当り、ど真ん中だった。宮前君はバットを遅れ気味に振り抜いた。打球はファースト小松登くんの頭上を抜ける鋭いライナーで、ライトを守る松阪善幸くんの前にころがっていた。江川くんは、これで目が覚めた、彼の眼は爛々と輝き、グラブを腰の後ろにやり、少し前かがみになり、キャッチャー太田角栄くんのサインを覗きこんだ、対する、二番バッター赤井修君は、その気迫に押されてしまった。江川君のホップするようなストレートに思わずバットが出てしまい意識のない打球がショート荒木正芳くんの前に転がってしまった。

盗塁を決めてやろうと素早くスタートしていた俊足宮前君でも間に合わなかった球はセカンド松阪善幸くんにとスされ、松阪くんは、セカンドベースを踏むや否やノーステップでファースト小松登くんに投げた。赤井くん

はしまったと思ひながらもヘッドスライディングをしたが間に合わなかった。塁審に「アウト」と大きくコールされた。一瞬にしてダブルプレーだった。三番、三海渡くんが打席に立った。ピッチャー江川君はこれで落ち着きを取り戻し、本来の怪物ぶりが發揮されだした。江川君が投げる球は観一高の山上君の投げる球とほとんど変わらず、全てがバッターの手元でホップするような球だった。三海君は瞬く間にツーストライクと追い込まれた。三球目もストリートに的を絞って待ち構えた。ところが、江川君が投げた球は、手元が狂ったのではないかと思うようなとんでもない球が三海くんに見がけられて来た。頭に当たると思った、ところが、球は三海くんの前で大きく落ちるように曲がった。三海くんは腰が引けてバットが出せなかった。ストライクバッターアウト。結局、観一高も三人で攻撃が終わった。攻守交代は全力疾走で行われた。

両者とも素晴らしいピッチャーの活躍で互角の立ち上

がりとなった。

2 回表大宮高が2点先取すると、その裏、観一高もキヤプテン小川博士のセンターオーバースタイクを皮切りに石山英之くん藤岡啓一くん、才籾令三くんの連続安打で2点を返す展開となった。

3 イニング目は両校とも0点、4 回表大宮高がまたもや2点を入れ突き放し、その裏観一高は、江川君の立ち直りで、またもや三者凡退で0点となり、5 回表はエースピッチャー山上くんの踏ん張りによりランナーを背負いながらも、巧みな牽制球で走者をアウトに取り、点を与えず、0点で抑える。5 回裏観一高の攻撃、8 番才籾くんから始まりライト前ヒット、9 番山上はショートオーバーのポテンヒットになった。この時、大宮高校は「山上くんは地方大会でもホームランを11本打っている」と言う情報を得ていたことから、外野陣は少し後方に守備をとっていったため、ポテンヒットとなったのである。

これでランナーは一塁・二塁、一番宮前くんはレフトに

鋭いライナーを放ったもののレフト尾崎護熙さんの好守備に合いワンアウトになった。二番赤井くんが打席に立つ、赤井はピッチャー江川君の剛速球にどうしても押され気味になるためバットをいつもより短めに持った、そして球はインコース低めに入って来た。赤井君はバットを振らずにサード前へうまく転がした。キャッチャー太田角栄くんも主審も何が起こったか分からなかった。そう、赤井君はバットのグリップエンドで球をはじき返したのであった。これは、観一高のクラス対抗ソフトボール大会で先生方職員団と決勝で対戦した時、清重先生に見事に決められた技だったのである。赤井君はその日から、なんとかその技をマスターしようと卓球部才籐くんに至近距離からピン球を顔や腰をめがけて投げてもらい、グリップエンドで払い落とす練習を積んできたのである。サード島本武夫くんもピッチャー江川君も一步も動けず赤井君はゆうゆうセーフとなった。これでワンアウト満塁、三番三海渡くんは江川くんのスピードに慣れ、球筋

が見えるようになってきたホップするような球も、体の前で叩くように心がけた。アウトコース低めに入ってきたストレートを一步踏み込んで叩いた。「しまった、当りそこないになった」と三海くんは思った球はフラフラとセカンドの真上に高く上がった。桑田くんは悠然とグラブを構え「オーライ、オーライ」と声を掛けながら捕球体制に入った。捕球しようとした瞬間、あろうことか額にボールを当ててしまった。と、その時ＴＶが真つ暗になってしまった。ＴＶ機敷の観客には何が起こったのか分からなかった。しかし、ゲームは何の支障もなく続行した。桑田くんはボールを額に当てた後、グラブからもボールがこぼれ、ポトリと落ちた。落したボールをあわてて拾おうとしたところ、スパイクが内野と外野の芝目境のところに引つ掛かり、ボールを蹴ってしまった。引掛かかって出た足しは思いのほか反動が強くボールは勢いよく蹴られ、誰も守っていない右中間に転がっていった。満塁のランナーは桑田君がボールを蹴ったのを見て

から、全速力で走った。ライト松阪善幸くんからのレーザースピームのような球が返ってきた。俊足赤井くんは滑り込んだ。少しピッチャー側に返球がそれたため、間一髪のスーフとなり3点目が入った。4番小川博士くんが打席に立った、江川くんはアウトサイド高めのストレートを投げた、少し打者側に入ってきた、小川君は逃さなかった、バットを横にして、ボールを押し出すように一塁側に転がした、三塁ランナー赤井君はホームベースに向かって滑り込んだ、一塁小松登くんの華麗なフィールディングでホームタッチアウト、キャッチャー太田角栄くんはタッチするや否や一塁に送球、カバーに入っていたセカンド桑田喜一くんが大きく股を広げてボールをキャッチした。キャッチは小川君の足より一瞬早かった。「アウト」とコールされた。観一にとっては絶好の追加点チャンス、大宮高校の華麗なプレーに一瞬にしてはばまれてしまった。しかし、観一高はこれで5対4と逆転した。大宮高校6回表の攻撃となった。そこで、TV

が再び映りかけた。TV機数の観客はTVに映し出されたスコアボードを観た。観一が3点得点しているのを見て、何かスコアボードまで故障しているのではないかと思った。埼玉県民は憤慨し、香川県民はおかしいと思いつながら喜んだ。TV中継は非常電源復活により再会されたが、停電の原因は放送されなかった。このことについては、後で分かったことであるが「甲子園球場スタンドの壁に一部露出配管されている電線管があり、そのプルボックスの中にヤモリが住みつき、接続部分の銅線がむき出しになっている部分に触れ、感電ショートしたことが原因だった」と夜のニュースで報じられていた。

大宮高校はまた一番桑田喜一くんからの打順だった。桑田くんは先ほどのエラーをどうしても取り返したかった。ピッチャー山上くんは、桑田くんがまだ動揺していると思い、インコース低めのストレートを投げた、「ストライク」と主審は大きくコールした。山上くんはにりともせずキャッチャー小川くんのサインを覗きこみ小さ

く領き、今度はインコース高めボールぎみのところへストレートを投げた、桑田くんは、バットをうまくたたみ込むようにさばきボールの真芯を切り叩いた。打球は三塁藤岡くんの頭上1mくらいのところをライナーで飛び、俊足宮前くんが外野フェンスぎりぎりのところまで走り、捕球しようとジャンプしたが届かず、そのままレフトボールをかすめるようにしてレフトスタンドに入ってしまった。

これで5対5の同点となった。キャッチャー小川くんもピッチャー山上くんも、自信をもってリードし、自信を持って投げたあんなに打ちにくいコースの球を何故打てたのか信じられなかった。桑田くんは野球技術・理論だけでなく、日本の古武道の研究も行い、その居合抜きの中からヒントを得て、誰もがまねのできない不自然な体制からバットを自由に振り抜く技を身に着けていたため、出来たのであった。そして、山上くんが思っていたように、桑田くんは決して動揺などしていなかったの

である。桑田君は試合中における心のコントロールについても研究し、自分自身を常に冷静にできる術も身につけていた。人は必ず失敗をする、しかし、いくら恥をかくてもそれで死ぬわけではない、必ずバンカイできるチャンスがあるといつも信じて何事にも臨んでいた。

甲子園の観客もTV機敷の観客も興奮の坩堝と化した。大宮高校の応援は万歳からうねりとなりライト側スタンド全体が大きなウェーブとなった。2番島本武夫くんがバッターボックスに入った。

山上くんは、冷静にとロジンバックを掴みしばらく握り締めた。そして、小川君のサインを確認して、投げたストレートど真ん中だった。2球目を投げた、またど真ん中のストレート、島本くんは思い切り叩いた。打球はピッチャー山上くんのグラブを少しかすめるようなライナーだった、ショート赤井君がジャンプした、手を伸ばした、グラブをはじき飛ばすようなバシツと大きな音を立ててグラブに収まった。快心のジャンプだった。3番

荒木正芳くんが打席に立った。山上くんは、小川君にサインを送り、このイニングは全部ストレートで押すことにした。ボールの緩急とコースを巧みに使い分け、バッター荒木君と対峙し、センターフライに打ち取った。

4番松阪善幸くんはライト前のヒットとなった。2アウト1塁となり、5番水野康弘くんが打席が巡ってきた、彼はいつもひょうきんで、どんな場面でも力を抜いて笑顔でいることができた。打席に立つとバットを大きくひと振りして構えた。山上君は渾身のストロートを投げた、水野君は真芯でボールを叩いた右中間オーバーのフェンス直撃となった。1塁ランナー松阪くんは3塁を蹴ると一気にホームベースに滑りこんだ、ボールはセンター秋野君からキャッチャー小川君にダイレクトで返球された、一瞬タッチが遅れセーフとなった。これで、大宮高校が再び6対5と逆転し、ランナーは3塁となった。小松くんは打席に立つ前に自ら尾藤監督のところへ行き監督に耳打ちをした。「監督、ここではバントがセオリーだけど、

思い切り打たせてください、ナインを委縮させないためにも打たせてください」と直訴したのだった。尾藤監督は思った、今までは、いつも自分だけが選手に叱咤激励していたのに、この場面では安全策、安全策の思いだけしか頭になく、弱気になっていたが、逆に選手に励まされ、選手が確実に成長していることを喜び、笑顔で、小松君のお尻をポンと叩いて送り出したのだった。

山上くんは投げた、アウトコース高めだった、小松君はボールをバットに載せて運ぶようにレフト方向に引っぱった。

打球は大きな放物線を描きどんどんフェンスに近づいた。レフト宮前くんは走った、そして、壁を蹴って駆け上がり右手でフェンスを掴みグラブを大きく上に差し出すとスポツとグラブの中に納まった。

3アウトチェンジ。一瞬場内がシーンとなった後、ウォーと言う声とともに拍手の嵐となった。しばらく、誰もが宮前くんのプレーに酔いしれていた。



6回の裏観一高の攻撃、3塁側スタンドでは、前にも増して、浜田知事が体を大きく後ろにのけぞらし、両手を広げたり閉じたり応援した。しかしヒットは出るものの連打がでなかった。ピッチャー江川君は、やはり、すばらしい投手と誰もが思った。

両チームとも7回8回とも無得点となり、とうとう9回の表、大宮高校の攻撃となった。そこで、ここまで投げてきた山上くんが代わって、ブルペンで肩を慣らしていた郷田耕史郎くんが出てきた。

彼はマウンドに立ち鳩尾のところに左手を遣り、気持ちを鎮め、投球練習で3球のストレートを投げた。

対する大宮高校のバッターは太田角栄くんからだった。1球目はアウトコース低めのストライクを太田君は見逃した。これくらいのスピードなら合わせると思った太田君は打つ気満々で待った。郷田くんは太田君の顔の表情を見逃さなかった。ゆっくりと振りかぶったかと思うとクイックモーションでズバツとど真ん中ストレートを投

げ込んだ、太田君は思わずバットが出てしまった。球は力なくピッチャー郷田くんの前に転がり敢なく1アウトとなった。大宮高校のナインは、控えピッチャーも山上くんと変わらぬスピードに驚き、ますます用心して掛るようになった。ここで、もう1点でも2点でも追加して置きたかった。バッター9番江川くんが打席に立った。

郷田くんは長距離打者としても定評のある江川くんに臆せず向かって投げた。インコース高めのストレートを投げた。6回に山上君が桑田くんに投げたコースと同じところだった。江川君はそれを悠然と見逃した。自分の一番好きなコースに球が来るのを待つことにしていた。次も同じコースで2ボールとなった。郷田くんはキャチャー小川くんがサインを出した。小川くんから返球されたボールをしゃがんでキャッチした。それがサインだった。次に投げる球を決めていた。モーションはクイックで速度は60kmくらいの球だった。江川君はそれにもタイムミスを合わせることで見逃すと「ストライク」とコ

ールされてしまった。江川君は騙されまいと思いつながら次の投球を待った。またしても緩いストリートだったそれに合わすようにバットの振りも緩くなつてしまい、チップになり小川君のミットに納まった。次は早い球が来ると確信して待った。郷田くんはさつきと同じように大きく振りかぶり、左足は地面にスライドしながら体重移動をして投げた。江川君は絶好のストリートが来たと思つた、バットを振った。ズバツとキャッチャミットに納まった。球は江川君の前でゆらゆらと横揺れしながら僅かに沈みこんだのだつた。「ストライク、バッターアウト」と宣告された。そう、郷田くんはボールを5本の指で包込むように握り親指と小指に力をいれ、残りの3本の指は軽く添えるだけだつた。本当はフオークボールを覚えたかつたけど、掌が小さいため人差し指と中指でボールを挟めなかつた。それで、自分なりに考えだしたのがこの握り方だつた。所謂チェンジアップの握り方だつた。これで、2アウト、1番桑田くん巡つてきた。今

日一番当たっている桑田くんはスタンドの声援に応えるように素早く打席に立ち、郷田くんの投球を待ち構えた。ネクストバッターサークルで観察していた桑田くんはあの球は必ず打てると思つた。郷田くんも桑田くんの気迫と心理をつかんでいた。敢えて桑田くんにも同じ球で勝負することにした。先ほどと同じように大きく振りかぶり、すり足で体重移動をし、球にエネルギーを注ぎ込み投げた。桑田君は初球から振つていった。当たつた！3塁藤岡くん正面のライナーだつた。3アウトチェンジとコールされた。

得点は6対5、大宮高校リードでいよいよ9回裏の観一高の攻撃となつた。

8回まで投げていたピッチャー江川君は9回の攻撃で打席に立つた後、ベンチに退き、控えの投手、樽美酒博文くんに代わつた。樽美酒くんは長身で端正なマスク、長髪の髪を靡かせライオンのような野性味があつた。そして、投球フォームは誰よりも綺麗だつた。

観一高も1番宮前仁くんからの打順だった。宮前くんはバットを少し短めに持ち樽美酒くんの投球を待った。

1球目を見て、江川くんと同じくらいのスピードと感じた。スピードには大分慣れてきていた。真っ直ぐに絞り込んで待った。真っ向から勝負してきた樽美酒くんの2球目は160kmの速度が出ていた。TV放送では表示されていないものの、球場のスタッフがスピードガンで測定していた。その球を宮前君は見事に真芯でとらえセクター前にはじき返した。2番赤井君が打席にたった。赤井くんは投手樽美酒くんに代わったことを喜んだ。このピッチャーなら、どんなに早い球がきてもタイミシングが合うと思った。樽美酒くんは赤井くんを見て、的が小さいと思った。ストライクゾーンが小さい、投げにくい、慎重に投げなければと、球を少し置くような気持ちで投げてしまった。

赤井君は、バット遅らせ気味に右腕肘を腰に当て、肘を支点にしてバットを振り抜くと打球はライト方向に鋭

いライナーとなり、松阪くんの頭上を越えフェンス際まで転がっていた、松阪くんはクッションボールを素手で掴むと、まるで背中に目がついているがごとく振り向きざまセカンド桑田くんに目がけて送球した。赤井君は滑り込んだ、桑田くんのタッチをうまく交わした。スタンドからドット拍手が沸いた。打った赤井君のうまさ、クッションボールを素手で裁いた松阪君、素早いタッチをした桑田くんのしなやかさ、全ての息詰まるプレーに拍手を送ったのである。ノーアウト2塁・3塁、観一絶好の得点チャンスとなり、3塁側スタンドの応援団の勢いも増してきた。トランペット、シンバル、そして大太鼓が鳴り響いた。

「フレー！フレー！カ・ン・イ・チ」浜田知事のダム声は一層ダム声になり、球場に響き渡った。知事は高校時代でもこれほどの声を出したことはなかった、しかし、声は不思議なほど出た。これまでの選挙演説や普段のインタビュー、そして議会答弁などで長時間声を出し続け

て来たことから、本人自身も知らない間に声帯筋が鍛えられていたため、大声を長時間出すことができたのである。しかしガ克蘭の表面は白く塩が噴き、その下は滝のような汗が流れていた。3番三海渡くんも気合いを入れて打席に立った。一球目を狙いすまして叩いた。レフト一直線のライナーだった。観一スタンドからキャーという歓声が上がった。生憎、打球は尾崎護熙くん真正面、拝み捕りキャッチだった。強肩尾崎くんはキャッチャー太田君にダイレクトで送球した。3塁ランナー宮前くんは途中で3塁に帰った。4番小川君はゆっくりと打席に立ち、堂々とバットを体の正面に一度立てて構えた、そして横に寝かしテイクバックした。小川君も樽美酒くんのように強く叩いたセンターオーバーの打球だった、センター水野康弘くんは必死で追ったフェンスぎりぎりのところで背走キャッチした。宮前くんは3塁ベースにタッチアップすると猛然とダッシュを切った。水野君からワンバウンドで太田君のグラブにストライクの球が返っ

てきた。しかし宮前君はゆうゆうセーフだった。これで6対6の同点となった。樽美酒くんはここまで全てストリートで勝負してきた。たまたま正面についてアウトになっっているものの、このままではいけないと思った。

バッター石山くんは昨夜寝る前に秋野くんが絵を見せてくれたとき樽美酒くん性格や決め球も一緒に教えてくれたのを思い出していた。樽美酒くんは、このままでは引き下がらないはず、石山君は樽美酒くんが一番の決め球を待った。ストリート低めの球がワンバウンドになっってしまった。太田君はジャッグルした、2塁ランナー赤井くんは3塁へ滑り込んだ、太田君は送球を諦めてしまった。2アウト3塁となった。一打さよならのチャンス、石山くんは樽美酒くん2球目、落ちる球を見逃さなかった。うまく捌いあげた打球はライトフェンス直撃だった、3塁ランナー赤井くんはホームベース5mくらい手前のところで側転をしてバック転を1回したかと思うと次にもう1回、宙高く舞い上がり後方伸身2回宙返

りをしてホームベースに見事着地した。「セーフ、ゲームセット」が宣告された。

結果6対7x観音寺第一高等学校の勝利となった。

赤井君のパフォーマンスに誰もが驚いた。かつて、日本シリーズで西武の秋山選手がホームランを打った時、バック転をしてホームベースを踏んだことがあった。しかし、後方2回伸身宙返りは初めてのことであった。スタンドの観客もTV機敷の人たちも誰もがそのパフォーマンスに酔いしれていた。TVを途中から観た者は「NHKも粋なデモンストレーションをするでないか？」と感心していたが、それが観一のサヨナラ場面と知って、改めて驚き「信じられない」とおどけた。

それは、観音寺第一高等学校創立115周年目の夢のようなできごとだった。

平成23年12月9日

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
大宮	0	2	0	2	0	2	0	0	0	6
観一	0	2	0	0	3	0	0	0	2x	7

「伝統の    ブラスの響き    こだます    絆は強く    過去・今・未来」

# 能登石動山

観一・22回 宮崎 浩二

(昭和46年卒)

私は地図を見るのが好きです。皆さん、日本地図を見ていると能登半島がぐいと日本海へ突き出ているのが気になりますか。

いかにも大陸の文化が押し寄せてきそうな位置どりで、私は、四七年前、太学二年になろうかという三月末、一人で能登半島を歩きに出かけました。一人でぐるっと歩けば未来が開けそうな気持ちでした。当時、金沢から富来あたりまで私鉄があった記憶です。夜明け前、夜行列車のピーツという切ない音が今でもありありと思われ出されます。(今顧みると当時北朝鮮の船が猿山岬《半島が右へカーブするところの岬》の沖合で拉致を企てていたのですね。)

天候に恵まれ、できる限り海沿いの道を選んで歩きました。浴びる陽光からエネルギーを吸収している感覚でした。松本清張の「ゼロの焦点」の断崖や「草の印刻」の氷見の洞窟も覗きました。

能登半島の付け根―七尾に向かう街道の東にある石動山は予め行きたかった所でした。私の故郷と同じ地名である(能登)二宮という駅で降り、標高五〇〇メートルほどの山です。昔は僧兵参千名、塔頭は数十以上あったとのこと。

三月末、まだ頂上付近は雪でした。私は、寂れた集落の端っこの雪の上で立山連峰を眺めながらパンを食べていました。そこへ鉈を腰に差した樵の老夫婦に声を掛けられ、家へ案内され、四方山話となりました。あつという間に時が過ぎ慌てて氷見の方へ山道を走り降りました。このとき、何を話したかは覚えていませんが、老夫婦の仕事の内容と自分の将来のことを話したことは確かです。私は帰り際、玄関の方へ振り返り向き、表札をしつかりと記

憶に刻みました。後日、礼状と新茶を送りました。

それから五年後、私は司法試験に合格し、大学もやつのことで卒業できたのでその報告とお礼がしたく再度、石動山を一人で訪れました。また、能登二宮駅から歩いて登り、早くあの家が見たく、ドキドキしながら最後のカーブを小走りに廻りこみました。ところがあつたはずの場所に家の跡形もない、一体どうなったのか信じられない光景でした。数年で家が跡形もなく消えるものか私は腑抜けになってその場にへたり込みました。そこへ山里から農夫がきて、事情を聞かれたので訳を言うと、なんとお世話になった小林老人は、私が訪問した翌年、ガシで亡くなり婆さんは文字通り家を引き払い金沢の息子宅へ行かれたとか。つらかったなあ。

その後、私は結婚し、娘が三人できましたが、妻とこの娘たちを連れ、数回能登を訪れています。そして、そのたびにあの家はどこにあったのか手がかりを探しましたが見つかりませんでした。その間、石動山のことをあ

る雑誌に投稿されていた地元の藤田俊太郎医師と文通したりしていました。一昨年石動山資料館の高柳様をお願いして私が世話になった家がかつてあった場所とあの老人のことを調べていただきました。古い文献まで調べていただき、あの場所とあの人の正確な名前がわかり（さらに屋号も）、ました。そして、あの老夫婦の息子さん（長男、次男）を金沢から山の上まで呼んでくれ、旧交（？）を暖めさせてくれました。

まことに私の一生を貫く出来事であり、とりわけ妻や娘三人と私の勝手な思い出を共有できていることに感謝しています。

石動山周辺は歴史の宝庫ですが、「二宮」の地名、さらには近くに「高瀬」という地名もあり不思議な縁を感じます。もしかしたら私は領主の許可をもらってあちこちの領民から無理矢理米を供出させ、代わりによく効くという薬草を配って歩いた悪僧の生まれ代わりかも知れません。

# シラン（紫蘭）の育種

観一・22回 清水 康司

（昭和46年卒）

シランというラン科植物をご存知でしょうか。私は最初は趣味、時に仕事も関係して、シランの育種（品種改良）を1980年ころから、細々と（目立たぬよう）行っていました。

50年ほど前から、いくつかの種苗会社のカタログに中国産シランが載るようになり、これを材料にして地味な日本産シランを派手にしたいと考えたからです。日本のシランの花は赤紫か白ですが、中国のシランは花が白、淡桃、濃赤紫、黄色、赤褐色などのほか、リップに黄色、赤褐色の斑紋があるなどの特徴があります。また、日本のシランは丈夫で大きく、中国産はやや小型で耐寒性がやや弱いという特徴があります。

2005年(平成17年)3月29日(火曜日)

日本農業新聞



シランの交配に成功した植物改良・増殖研究会メンバー（香川県高松市で）

## 日中のシラン 交配し改良種 香川県立農業大学校

香川県立農業大学校の植物改良・増殖研究会は、中国産のシランを交配し、日本産にない色彩豊かな花を咲かせた。今後、もう一歩、品種を増やそうと張り切っている。

香川県立農業大学校の植物改良・増殖研究会は、中国産のシランを交配し、日本産にない色彩豊かな花を咲かせた。今後、もう一歩、品種を増やそうと張り切っている。

## 色彩豊かに「開花」

この日の夜は、カンシ（紅蘭）と日本の和と中国の種を交配した学生は「シン・ワラン」と呼んでいる。

花をつけたのは、約10株のうちの3株で、ピンク地、茶色の斑紋がある花や、花の先端が黄色いもの、濃い赤紫の花など、株はたかしく、日本産と同じ大きさく、その葉は年々、緑の深みが増している。

メンバーは、色が濃く中国産の特徴を持った独自系統を作ること、無菌培養への挑戦、旅費に中国産の花を日本産につけ、採取した種をラッパコバの無菌培養にまいた。標榜が、これまで、年々、かかっている。

香川県立農業大学校の植物改良・増殖研究会は、中国産のシランを交配し、日本産にない色彩豊かな花を咲かせた。今後、もう一歩、品種を増やそうと張り切っている。

趣味としてスタートした育種ですが、2005年頃には、当時在職していた香川県立農業大学校の学生たちのクラブ活動で多くの交配種が得られるようになり、新聞で紹介されたことがあります。



## ■ブログで公表

私のシランのネットデビューは、同級生が開設したブログ「なかよし倶楽部」に載せてもらった2011年の年賀状でした。

すぐに、同級生から反響と問い合わせがありました。

大石さんからは、お父さんが大事に育てられていた東洋蘭が20年ぶりに開花したとの写真と報告。香りがとても良いようです。東洋蘭は、姿の良さ、さわやかな香りで、開花時には床の間に飾ったりし、栽培はランクの高い趣味とされています。

香川君からは、すごい風蘭の写真を送っていただきました。黄色、ピンク、斑入り葉など・・・

我が家の風蘭は花卉が白くて小さく、葉の形も普



賀状写真

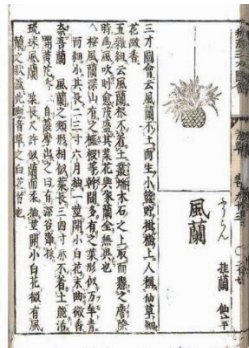
通のものしかありません。

風蘭は、江戸時代にすごいブームがあつて、江戸城には全国諸大名が献上した珍品・稀品の大コレクションがあつたという話を聞いたことがあります。

特に葉に変異がある株は生命力が弱い

だろうから、世話をする人の苦労も大変だったのではと想像します。江戸城の中の園芸部門、ちよつと興味がありますね。

東洋蘭も風蘭も水墨画に描かれる深山幽谷を連想させる植物だったのではないかと思います。



和漢三才図会



香川風蘭

そういえば、18世紀ヨーロッパのアルプス以北の宮殿には、オランジェリーという柑橘栽培専用の付属施設がありました。当時はまだ現在のようなガラス温室はありません。南側の窓を大きく、縦長にして高緯度地方の低い太陽の光を室内に取り込みます。



パリのオランジェリー



ロンドンのオランジェリー

東洋蘭、風蘭と柑橘、いずれも珍しく扱いにくいものを育てるという王侯貴族の趣味ではないでしょうか。

それにくらべ、趣味の園芸の世界では、シランはともランクが低いのです。栽培解説書などは一切なし。園芸雑誌に載る回数、ページ数はゼロではないという程度。知人に、趣味はシランの栽培と育種と言ったところで、「あくそ〜」か「シランは知らん」で終わり。私の想像では、シランの栽培と育種を趣味にしているのは、日本で数人程度かも。

しかし、持つべきものは友です。ブログには友人の一人がすぐにコメントをくれ、直後の1月2日の新年会では、何人からもシランのことを聞かれ、栽培・育種をやりたいとの申し入れがありました。もうすでに、日本最大のシラングループができつつあるのです（と思った）。

ところで、私のシラン育種の発端のひとつは、「黄色が

なぜ柑橘かというと、それが育つ南の暖かい地方へあそこがれ（君よ知るや南の国）が背景にあるのだろうかと思ひます。

ない」です。

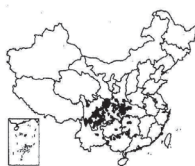
ツバキやハナシヨウブなど、赤色系の色素はあるが黄色系の色素がない花は、結構あります。個人でもできる育種方法は、古典的な「交雑による近縁種からの遺伝子導入」です。ツバキは、

ベトナムの金花茶、ハナシヨウブは国内にあるキハナシヨウブで、シランは中国の黄花小白芫がその近縁種になります。

しかし、椿やハナシヨウブの場合は、交雑が困難（種子ができない）、交雑が何とかできても思うような色・形にならない、子が不稔であることが多

### 3. 黄花白及

*Bletilla ochracea* Schltr. in Fedde, Repert. Sp. Nov. 12: 105. 1913.  
植株高达55厘米。假鳞茎扁斜卵形。茎常具4叶。叶长圆状披针形，长



8-35厘米，宽1.5-2.5厘米。花序具3-8花。花黄色或萼片和花瓣外面黄绿色，内面黄白色，稀近白色；苞片长圆状披针形，长1.8-2厘米，花时凋落；萼片和花瓣近等长，长圆形，长1.8-2.3厘米，外面常具细紫点，唇瓣白或淡黄色，椭圆形，长1.5-2厘米，在中部以上3裂，侧裂片斜长圆形，直立，合抱蕊柱，先端钝，几不伸至中裂

片，中裂片近正方形，边缘微波状，先端微凹，唇盘具5条脊状褶片，褶片在中裂片波状；蕊柱长1.5-1.8厘米。花期6-7月。  
产陕西南部、甘肃东南部、河南、湖北西部、湖南、广东北部、广西



图 818 黄花白及 (唇瓣草)

北部、贵州、四川及云南，生于海拔300-2350米常绿阔叶林、针叶林、灌丛、草丛中或沟边。

## 黄花小白芫 中国の植物図鑑より

いのです。

幸いなことに、シランは近縁種との交雑が容易で、日本のシランと中国のシラン（雲南小白芫、黄花小白芫など）と容易に交雑しますが、ところがどっこいで、色に関係する遺伝子が多く遺伝様式も複雑なようで、思うような色の花はなかなか咲いてくれません。中学校で学んだ遺伝の法則のメンデルは、多分、毎年何千何万株というエンドウを育て細かく形質を調査し統計処理をしたことと、たくさんさんの形質のなかから単純な遺伝様式の（法則化しやすい）形質をうまく見つけたことが成功につながったのだらうと思います。（なんとなく共感を覚えますが、私にはその努力ができなかった、反省しています！）

なお、私がシランの育種を始めた後、日本産シランにもあった変異の、リップが3つあるように見える三舌花（三蝶花）、花色が青紫の株などが入手でき、これらも育種の材料にしました。

今のところ、当初の目的の黄色シランは、「黄色と言え



■ AOSでの紹介  
2011年の正月にブログで公表したところ、思わぬところから書き込みがありました。

「なくもない黄色」程度ですが、副産物として、形と色のバラエティがたくさんできており、花期が通常のシランが大型連休前後であるのに対し4月中旬から6月上旬頃まで長期化した点で、まあいいかという心境です。

半年後の6月になって、「アメリカ在住中のけんたき」さんから「関心あり」とブログのコメント欄に書き込みがあったのです。これがかっけとなつて情報交換等を行い（詳細省略）、2015年

## Bletilla

Recent Introductions and Breeding Trends

HIROKA KOBAYASHI AND TONY AUST

**BLETILLA**, THE HARDY ground orchid from East Asia, may be the most widely grown genus of orchids throughout the temperate region of the Northern Hemisphere. The ease of culture and cold hardiness are the major reasons for the frequent use in temperate gardens. Even a novice gardener can grow *Bletilla* because unlike other temperate orchids such as *Cypripedium*, *Ophrys*, *Oreobala* and *Panola*, which require special care to keep them alive, *Bletilla* can take a substantial amount of abuse. In fact, the most persistent species, *Bletilla striata*, can be left in gardens with minimum care and produce fine flowers and inflorescences year after year in Zone 6 or even in Zone 3 with a layer of mulch in winter. A well-grown clump of *B. striata* can bear many different colors derived with more or less bright fuchsia or white flowers in the spring. A less commonly encountered species, *Bletilla ochroleuca*, has the same habit.

Years ago when flowers and leaves were respectively beginning to lose spring coloration and lose their full plant. These highly amenable and desirable orchids are commonly grown among orchid enthusiasts. However, the prevalence of the species does not necessarily translate into popularity of *Bletilla* orchids and the lack of publicity may be due to the limitations on color and flower form.

In the recent years, a variety of new *Bletilla* cultivars, including white, white-tinged (lip and/or sepal), pale white, blue-lavender, purple and even those with variegated foliage, have been introduced to the United States from Japan and other countries.

In the trade, a new type of *Bletilla* hybrid with a complex background has

been introduced with the generic form of *B. striata*. In the article, the history and introduction of *B. striata* and its hybrid are discussed.

**BLETILLA STRATA** CULTIVARS: *Bletilla striata* has been used to

introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.

*Bletilla striata* has been used to introduce many other cultivars of the genus, including *Bletilla striata* and its hybrid

are discussed.



[3] Mr. Shimizu and his students.

**BLETILLA HYBRIDS** *Bletilla* hybrids of complex background have been introduced by Evenden. Readers are advised to refer to the article that appeared in the 2008 April issue of *Orchids*. In the following section, several introductions of

white petals, *Bletilla* Yokohama "Snow White" bears 8-10 crystalline white flowers, accented with bright yellow marking on lips. Another interesting feature of this cultivar is a fragrance reminiscent of citrus and sweet rose. This



[1] *Bletilla striata* 'Sweet Lips' (top) × *Bletilla striata* 'Sweet Lips' (bottom). The given name is given and registered in 1996. At least two cultivars are available. The one pictured here and a pure white one called 'Sweet Lips' (Photograph by Tony Aust, Plant Design).

[2] Many introductions of *Bletilla striata* also occur in the United States. *Bletilla striata* is no exception and at least three different types of *Bletilla striata* are known. *Bletilla striata* 'Sweet Lips' (top) and *Bletilla striata* 'Sweet Lips' (bottom) are one of the three cultivars that have been introduced. Not all of them have been introduced.

[3] *Bletilla striata* 'Sweet Lips' (top) and *Bletilla striata* 'Sweet Lips' (bottom) are one of the three cultivars that have been introduced. Not all of them have been introduced.

[4] *Bletilla striata* 'Sweet Lips' (top) and *Bletilla striata* 'Sweet Lips' (bottom) are one of the three cultivars that have been introduced. Not all of them have been introduced.

[5] *Bletilla striata* 'Sweet Lips' (top) and *Bletilla striata* 'Sweet Lips' (bottom) are one of the three cultivars that have been introduced. Not all of them have been introduced.

[6] *Bletilla striata* 'Sweet Lips' (top) and *Bletilla striata* 'Sweet Lips' (bottom) are one of the three cultivars that have been introduced. Not all of them have been introduced.

[7] *Bletilla striata* 'Sweet Lips' (top) and *Bletilla striata* 'Sweet Lips' (bottom) are one of the three cultivars that have been introduced. Not all of them have been introduced.

[8] *Bletilla striata* 'Sweet Lips' (top) and *Bletilla striata* 'Sweet Lips' (bottom) are one of the three cultivars that have been introduced. Not all of them have been introduced.

[9] *Bletilla striata* 'Sweet Lips' (top) and *Bletilla striata* 'Sweet Lips' (bottom) are one of the three cultivars that have been introduced. Not all of them have been introduced.

[10] *Bletilla striata* 'Sweet Lips' (top) and *Bletilla striata* 'Sweet Lips' (bottom) are one of the three cultivars that have been introduced. Not all of them have been introduced.

[11] *Bletilla striata* 'Sweet Lips' (top) and *Bletilla striata* 'Sweet Lips' (bottom) are one of the three cultivars that have been introduced. Not all of them have been introduced.

[12] *Bletilla striata* 'Sweet Lips' (top) and *Bletilla striata* 'Sweet Lips' (bottom) are one of the three cultivars that have been introduced. Not all of them have been introduced.

[13] *Bletilla striata* 'Sweet Lips' (top) and *Bletilla striata* 'Sweet Lips' (bottom) are one of the three cultivars that have been introduced. Not all of them have been introduced.

2月号 “ORCHIDS Magazine” (The Bulletin of the American Orchid Society) に Shimizu Biertilla hybrids として紹介されました。もちろん、学生との協力で育成したという一文も入れてもらいました。

なお、「けんたき」さんは、ケンタッキー州立大学の Kobayashi さんという研究者でした。

# ■その後

それはさておき、シランに関わるようになってからは、大変不遜な考えを持つようになりました。それは、シラン界（この言葉は私の思いつき）の世界制覇です。

東京など遠くの町の住宅地を歩いているとき、玄関先などで栽培されているシランを見つけると「フツフツ・・・このシランも、将来ワシがつくったシランに取って代わられるはずだ！」などと思ってしまうのです。これからは、仲間もでき、目的達成が近づいた（はずだ）。

つい調子に乗って、秘密の計画を打ち明けてしまいました。他言は無用です。ではまた。



写真のシランはすべて Shimizu hybrids

## 60年前の我村ときわ

観一・22回 安藤 久志

(昭和46年卒)

常盤村の名に負う天神様の立派な松は雷にやられた。流岡鹿隈の一本松もりりしくそびえていたが、枯れた。志保山の裾に赤松林があり、松茸やハツタケが採れ、冬にはガンジキで何俵ものコキバをかき集めて、風呂の焚き付けとした。入口の家は人に貸していた。進駐軍が去った後、ずっとサツマイモを栽培して、家の床を上げた所に貯蔵していた。地芋の方がよく出来た。山裏の畑は一反程、地芋用。清酒川鶴、独立男山、金竹の大きな看板があった。丸山さんは夜泣き、かんの虫封じの祈禱客が多かった。美濃土岐氏西田嘉男宮司は、おたゆうさんと呼ばれた。大水上神社から、少彦名命が木の榊に乗り流れ付いた所が、お神室かむろと言われ今にその室が残る。大

字流岡に溜池は無く、灌漑には財田川伏流水を井戸を掘り、モーターで汲み上げた。乙井から水門を開け、町中を清らかな水を流して、坂本あたりで一之谷川へ合流。米原宿のように、石段を降り、清流で野菜を洗った。昔、農家の家は田の字が基本で、走り、井戸、おくどさんは、釜屋として主屋の外、息子が結婚したら、ひやを建て増し、子供が出来たり、阿波から、おとしを迎え入れたら彼の部屋も普請した。みほにしきという米、麦を3分ほど入れたので、黒く見えた。味噌は専門家に委託したが、醤油は平土間で絞った。砂糖はさときを作り、業者に煮たいてもらい、「ねばざと」にして、カメに保存した。

各人固有の言いまわし

母…かえさま、あいやけ、カラツ、よったり。

父…けじやらくげな、おいど、おどれくそ。

祖母…春日の火打焼き、まっとり。

祖父は15歳で志願したので、独特の言いまわしがなかった。

古川出身の隣家主婦…「今言いしに」を合いの手に。

共通…ほっこ、いつぱり、何しにじやわい！いかさまじやな！

丸山さんの奥様…お仕舞いなはりませ。（その挨拶をする人は、もう無い。）

## 高校生活とクラブ活動

観一・22回 平山 文夫

(昭和46年卒)

コロナ禍の騒動で五輪をはじめ、いろんなイベントが

中止になる中、運動部に所属する高校生にとって、特に三年生は県大会、地区大会、全国大会とレベルは違っても、それぞれが人生に一度しか経験できない高校最後の晴れ舞台になったであろうIHや高校野球が突然なくなったのである。力を尽くす前に、力を発揮する舞台そのものがなくなったのであり、報道やネット上で伝えられる彼・彼女等は申し合わせたように「仕方ない」と言っているが、本心はどんなであろう。三年生にはどんな慰めの言葉も通用しないように思う。

もし、五十年前に同じようなことが起こっていたら、その時、私はどうであったか、「何を思い」、それからの

人生にどんな影響があったであろうかと考えたが、想像もつかなかった。私は、幸いにも舞台に立つことができた。「楽しかったこと」「苦しかったこと」「口惜しかったこと」があり、けっして満足できるものではなかったが、その舞台を体験できたのは、今年の高三生と比べれば恵まれたことであった。

今、五十年前を振り返ると、観一での陸上競技部のクラブ活動は、三年間を通してみれば楽しいものであった。伝統的に投擲・跳躍のフィールドが強かった当時の観一では、トラック特に中長距離は長距離の一年先輩一人しかおらず、高校から陸上を始めた私と同じく、先輩も高校から始めたので、当初、中距離の練習方法も分からなかったが、反面、強制的な練習もなく、どちらかと言えば、好き勝手に練習をしていた。それでも、八百米という種目が性に合っていたのか、記録は順調に伸び、二年生では四国地区大会に下位ながら入賞でき、群馬県前橋市の全国大会へ連れて行ってもらったが、入賞を目指す



わけでもなく、予選落ちでも、初めての全国大会は、有名な選手を目の当たりにすることもでき、ミーハー的に楽しかった。

高三になると、県の強化合宿とかに選ばれ、県内では勝って当然の負けられない立場になったので、楽しいよりプレッシャーが強くなった。舞台は県大会、四国大会と進み、四百、八百米の二種目で勝ち続けることができた。ここまでは、どちらかといえば楽しかった。しかも、やり投げの山下君（全国では三位入賞）、一一〇米障害の藤村君、棒高跳びの宮崎君が四国大会で優勝し、総合得点でも二位を獲得できたのであった。

八月の全国大会の舞台となったのは、和歌山市の紀三井寺陸上競技場であった。昼は灼熱のグラウンドでグロッキーに、夜は大広間で百人ほどが一緒に寝るので、なかなか眠れなかった。

初日の四百米はスタートをしくじり予選落ち。優勝タイムが五十秒を切れなかったレベルが低い年（猛暑に一

日に三本のレースの影響も）だけに残念であった。三日目の八百米は、絶対調で全体でもトップの自己新記録で予選通過した。ところが、同日の準決勝では、暑さに負けたコンディショニングの失敗と中途半端なレース（全体を引っ張るでもなく、上位に付いていくでもない）をしてしまい組二着にはいれず、決勝に残れなかった。茫然自失の状態であったが、何故か口惜しさより安堵の気持ちの方が強かった。「これで高校でのクラブ活動は終わった。やっと普通の高校生に戻り、受験勉強に打ち込める」との思いがあったからか？

国体への出場も可能であったが、十月まで続けることに対しての受験勉強への不安から最終予選会に出場しなかったのも、高二以来、私が負けたことのなかった選手が、標準記録を突破し、代わりに国体に出場した。

しかしながら、晴れやかな舞台から降り、受験勉強に取り組むはずであった私は、元々集中力に欠けるタイプであり、受験勉強は遅々として進まず、模擬試験の成績

も上がらず、低空飛行を続けていた。

そんな私をさらに揺さぶるように、いくつかの大学から勧誘があった。当時は学生運動全盛期で、入試以外のスポーツ推薦で入学するのは罪悪視されていたので、一部の大学（試験受けても合格できるレベルの大学）を除いては、勧誘とはいえ、受験を勧める程度の内容であった。それでも、当時の日本記録保持者やその年の日本選手権者からの手紙も届いた。それらには、平静を装っていたものの、田舎の受験生を舞い上がらせるには十分なものであり、ますます受験勉強に集中でなくなっていた。

結局、受験は第一、第二志望の国公立の大学は惨敗し、第三志望の私学に滑り込んだ。この私学の陸上部は昔も今も関西の強豪校であるが、当時はスポーツ推薦がなくなり、凋落の一途で、入学しても陸上部への入部の手続きさえ分からず、陸上部へ入部できなかった。もやもやした気持ちしが後押しして第一志望校への夢が膨らみ、そ

の大学へ行きながら翌年再受験して第一志望校へやっと入学できた。プラス一年は余分であったが、私の高校での舞台はここで終わったと思う。そんな五十年前の話である。

なお、この後、陸上競技生活の「おまけ」として、三年後に八百米の香川県記録を塗り替えることができた。

今年の高三生は、私達を含む今までの高三生が誰も経験したことのない舞台（舞台といえるかどうか分からないが）に立っているのでしょうか。それは、長い人生の中で特筆すべき出来事でしょう。陸上競技で、数年後にこの世代から世界の超一流選手が誕生し、笑って「コロナ？そんなことがありましたネ」と言っている。

今、コロナ禍の中、私はコロナと熱中症に負けないようゆっくりのペースながらジョギングを続けています。昔のような晴れやかな舞台ではないのですが、人生が楽しかったと振り返るようがんばっています。

しやぎっさ

## 且坐喫茶

観一・22回 高谷 祥子

(昭和46年卒)

新しい年が明けた二〇二〇年の一月十一日、集合場所の大阪NHK放送局に私は向った。電車はひどく混んでいた。二年八か月ぶりに集まる高校一年のクラス会の日だった。大阪城の天守閣から晴れた空の下に広がる大阪の街を見渡しながら、新春の清々しい気分に含まれた。そこに居合わせた誰が、後に人類を脅かす感染症のパンデミックを想像できただろうか。

一月二十三日、旧正月のさなか湖北省武漢市は七十六日間の都市封鎖をした。やがて新型コロナウイルスは日本に忍び寄り、花見の頃に桜を愛でることさえかなわなかった。今もなお、人々は凍てついた異様な日常を送っている。私もまた、つれづれに籠もり居ながら立ち止っ

て考えることが多くなった。

百年前の一九一八年から一九二二年にスペイン風邪が流行した。歴史は繰り返すというのは真実かもしれない。当時の日本の感染者は二千三百万人、死者三十七万人、震えあがる数だ。与謝野晶子は『感冒の床から』の中で、なんと現在と同様に手洗い、うがい、人と接触しないことが予防の手段だと説く。

私が長年馴れ親しんできた茶の湯の世界も様変わりした。茶事は言うまでもなく茶会もでなくなった。茶の湯には利休時代から濃茶という点前てまえがある。それは一碗の濃茶を連客が喫み回して味わう作法だ。大方の流派で濃茶点前が受け継がれている。

スペイン風邪の流行より前の明治四十四年（一九一一年）頃、裏千家十三代円能斎は各服点かくふくだてという濃茶点前を考案した。時代を経るとともに、現代では絶えて久しくその濃茶点前を用いることがなくなっていた。ところが、コロナ禍で、時代が要求した形で各服点が蘇った。「浦の

「茶屋」や「風興集」が編纂されており、当時の各服点の点前手順を知ることができる。主客には一人分の濃茶を練り、続けて連客には、銘銘の茶碗を盆にのせてその上で濃茶が練られ客はおのおの頂くことになる。それゆえに各服点という名称の点前が生れたのだろう。ここにもニューノーマルのスタイルがあるわけだ。ふと禅語の且座喫茶（しばらく<sup>しやざ</sup>あ<sup>あ</sup>き<sup>き</sup>つ<sup>つ</sup>な<sup>な</sup>）という言葉が浮かんだ。さりげなくどなたにもかける言葉であるけれども、今は、一人座して茶筌をふり一人抹茶を点てている日々だ。

## ポストコロナ禍の日本の未来にむけて

観一・25回 長野 寛之

(昭和49年卒)

私は大学を1978年に卒業し、松下電器産業(後のパナソニック)に就職、2001年からは2011年までプラズマテレビ事業に従事した。2009年からの3年間は同事業の責任者として東アジア各国のメーカーと熾烈な競争を繰り広げた。残念ながらその戦いに敗れ、2011年末にパナソニックを退職せざるを得なくなつた。その苦い経験から4年前、巨鼈に「日本のものづくりを考える」というタイトルのエッセイを投稿した。その内容は日本の家電が負けた理由を説明するもので、テレビ等の黒物家電がソフトウェア主体の製品になったことで技術が簡単に世界に伝搬し、ものづくりが標準化したことで誰でもが作れるようになったため、というもの

だった。また、このような状況が進む中で、日本の家電業界を奈落の底への最後の一押をしたのは、2008年に起こったリーマンショックであったことにも言及している。

リーマンショックから10年余り、大不況は10年毎に起こるという過去の法則が現実のものとなろうとしている。コロナ禍である。特効薬もワクチンもない新型コロナウイルスに対して、有効な対策は人の接触機会の削減しかない。私が現在勤める兵庫県立大学でも、仕事は在宅勤務、会議はテレビ会議、学会や交流会は軒並み中止、3・4月の歓送迎会も中止、講義も5月からWEB授業にすることでようやく再開となった。人の移動制限で最も被害が大きいのは、観光、交通、飲食、芸術で、日本全国で深刻な被害が出ている。現在緊急事態宣言中であるが、巨鼈が発行される頃にはぜひ収束して欲しいものだと思うばかりである。

ところで、日本は失われた20年と言われている。失わ

れた〇〇年と言われ始めたのは1991年のバブル崩壊以降で、2020年の今では、失われた30年と言わなければならない。バブル崩壊以前の1980年代は「ジャパン アズ ナンバーワン」の時代で、家電や自動車で代表される日本の高効率・高品質ものづくりが世界を席巻した。日本の台頭で国内のものづくりが衰退し始めた米国は、欧州諸国と組んで日本に円の切り上げを認めさせた。1985年に日本の竹下蔵相（当時）が出席したその会議は、ニューヨークのプラザホテルで行われたので、後にこの会議はプラザ合意と呼ばれるようになった。プラザ合意の前後で円はドルに対しておおよそ2倍になり、日本の輸出産業は大打撃を受けた。これを何とか回復させようと政府と日銀は円を大量に増刷、これが土地の高騰をもたらしてバブル景気が起こり、その後バブルは崩壊し、ここから日本の失われた〇〇年が始まったのである。

一方で米国は、自国完結のものづくりシステムから脱

却し、ものづくりシステムを世界規模でコントロールするグローバルサプライチェーンを構築し、自らはIT技術でその頂点に立った。その流れの中、情報で産業をサポートするマイクロソフトやシスコシステムズが巨大化した。巨人IBMも元ナビスコのガースナーを社長に登用することで、大型コンピュータメーカーからシステムコンサルタント＋システム創造企業に変身した。加えてその後、情報そのもので価値を創出する企業が出てきた。CERNの台頭である。アマゾンの創業は1994年、グーグルの創業は1998年、アップルがステイブ・ジョブスのもとiPodを開発して再び息を吹き返したのが2001年、facebookの創業は2004年である。このように米国は1990年代以降、低迷する日本に代わって世界をリードする国に再び咲いたのである。

東アジアの国々では、韓国が財閥を中心となって日本をお手本にエレクトロニクス産業や自動車産業を伸張させ、特に1997年の通貨危機で金大中政権が行った財

関間の事業再編でサムスン、SK、LG、現代等の財閥企業が伸び、エレクトロニクス産業では、コストリーダーシップを武器に日本企業を完全に駆逐し、サムスンに至っては世界の売り上げが韓国のGDPの12%に相当する巨大企業となった。

台湾は韓国とは違う道を選んだ。それは労働集約型の巨大下請け事業や部品産業である。中国山西省にルーツを持つ郭台銘は、米国のグローバルサプライチェーンの一翼を自ら進んで担うことで、中国深圳を拠点に一代で鴻海精密工業という巨大製造請負企業を作り上げた。半導体の設計・製造が標準化するという流れを先読みした中国浙江省出身の張忠謀は米国の半導体のファブレス企業（工場を持たない企業）の製造請負を始め、サムスン、インテルに続く半導体売り上げ世界第3位の巨大半導体製造請負企業TSMCを作り上げた。

2010年に日本を抜き去り、世界2位の経済大国になった中国は、実に上手い経済政策をとった。まず19

90年代に自国の巨大市場と進出企業に対する多額のインセンティブを武器に、欧米日の先進企業の進出を促した。中国の消費税である増値税は今でこそ13%であるが、以前は17%の高率で、それをため込んだ中央政府や地方政府は、海外企業へのインセンティブや海外企業と合併を組む国営企業の支援が可能であった。国営企業は国の支援のもと、合併相手の海外先進企業の技術を吸収し、それを自らの発展の礎とした。昨今話題のファウエイは民間企業であるが、軍やインフラ事業を通じた中国政府の支援があることは誰もが知っている。こうして中国は2000年代以降、世界の工場になった。

欧州で、ものづくりが強いドイツでは自動車産業が健在で、フォルクスワーゲンは生産台数で常にトヨタと世界一を争っている。ダイムラーやBMWは高級車を中心に、台数こそ少ないが1台当たりの利益はトヨタの数倍で、高い利益を保っている。2014年にはインダストリー4.0（第4次産業革命の意味）というIoTやA

I（人工知能）を駆使したスマートな（賢い）ものづくりを目指していて、この分野では一歩先を行っている。

一方日本はどうだろうか。日本の産業構造は、周りの国々と違って1990年代以降、産業構造はほとんど変わっていない。この20年間で2倍に成長した自動車産業も、実は国内生産は横ばいで主に海外での成長である。新しいIT企業の楽天やソフトバンクもあるが、米国のChinaに比べると小振りである。また、売り上げを落としたエレクトロニクス産業もあり、全体としてGDPはこの25年間500兆円前後で横ばいである。このまま、日本は沈没するのであるのか？

かつて疫病は社会を大きく変革させた。14世紀のペストの流行は、欧州の封建制度の崩壊、ルネサンス、絶対君主の登場をもたらした。16世紀のスペインによって持ち込まれたサルモネラ菌（天然痘の説もある）はアステカ帝国を滅亡に追い込んだ。中世の出来事をそのまま現代に当てはめるのはいさか無理があるが、今回のコロ

ナ禍で世界はいくつかの問題点と利便性を確認することになった。

問題点はグローバルサプライチェーンによって可能になったグローバルエコシステム（ものづくりの世界的な生態系）の脆弱性である。中国の自動車部品工場の停止によって世界の自動車産業が操業停止に追い込まれた。また、日本のマスクのほとんどが中国から輸入されていたため、極端なマスク不足に陥った。新型コロナウイルスワクチンの開発は米国と中国が先行しているが、ワクチンも自国優先で使われ、日本が自前で開発できない場合は、ワクチン不足による感染収束の遅れが生じるかも知れない。グローバルエコシステムは、ものづくりが最も効率的に生産できる国・地域に収斂される傾向がある。しかしものづくりの過度な一極集中は、コロナ禍のような危機では大変脆弱であることが分かった。ポストコロナ禍では、グローバルエコシステムの見直し、すなわちリスクの高いものづくりの一部国内回帰や更なるグ



ローバル化の進展、すなわち複数国での生産が行われるマルチなグローバル化が起ると予想される。

利便性はテレビ会議システムの評価が上がったことである。テレビ番組でも、リモート出演が何の問題も無くできることに多くの国民が気づいた。企業人は、わざわざビジネスクラスの飛行機に乗ってアメリカに行かなくとも、十分に商談ができることが分かった。個人のコミュニケーションもskypeやLineで問題無くできるし、大学でも遠隔授業がZOOMを使えば問題無くできることが分かった。今後、特に企業人がわざわざ時間を使って飛行機や新幹線に乗って移動するのか疑問である。

日本は失われた20年でグローバル化に取り残され、ただにもづくりの複雑性が残っている。しかし、より安全なグローバルエコシステム構築には、このものづくりの複雑性はプラスに働くのではないだろうか。何をどこで作るのかを選択する際に、材料からシステムまで、ほとんどを自前で作ることができる日本の能力は、より多

くの選択肢を持つことが可能で、グローバル化によってものづくりを単純化した国々よりも、より最適なグローバルエコシステムを作ることができるのではないだろうか。また日本は、チーム力、ボトムアップが得意な国である。グローバルエコシステムが進化する際に、日本はチームや現場で突然変異（イノベーション）を他国よりも多く生み出す能力がある。これを上手く活用することで、ポストコロナ禍で再び日本が世界をリードする時代が来るのではないだろうか。ただし、日本人が苦手な未来を俯瞰する能力を磨くことを忘れてはならない、と思う今日この頃である。

## 観音寺の今昔

観一・25回 真鍋 泰明

(昭和49年卒)

観一 49年卒（25回生）の真鍋泰明と申します。この度は、京阪神支部さんの会報に寄稿させていただけましたこと、大変嬉しく思っております。大学時代は4年間神戸で、卒業してからは大阪で3年ほど会社勤めをいたしました。その後観音寺へ戻り家業を継ぎ現在に至っております。最近は無沙汰ばかりですが、関西は思い出多い地です。さて、今回は、私の生まれ育った観音寺（柳町界限）のことについて少し振り返ってみたいと思います。

観音寺では、昭和4年から商店街の夜市が始まったそうです。昭和9年発行の住宅地図を見ますと、当時は商店街の中に飲食店が何軒かあったようです。横の通りには、喜楽館（映画館）三架橋の元には朝日座（芝居小屋）があり、映画や芝居が終わってから立ち寄る人も多く、飲食店がにぎわったようです。川原町から掛之町（大和町）界限には、検番が2か所あり芸者衆もたくさんいて、夜の街も大変にぎわっていました。

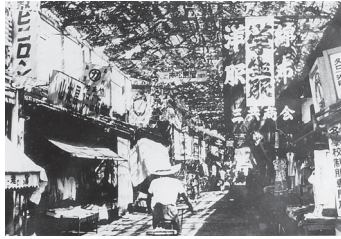


昭和4年 夜市

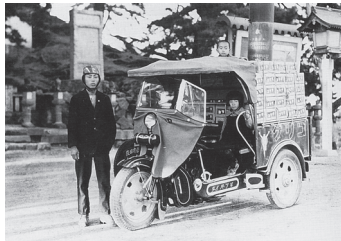


朝日座（昭和11年焼失）

昭和20年代でしょうか、柳町商店街の2丁目あたりから、上市商店街へ向いて撮った写真です。テント生地の開閉式アーケードです。この頃は、川原町や中新辺りにダンスホールもできにぎわっていました。



昭和20年代の柳町商店街



オート三輪（当時は、購入すると運転許可証というものをくれたらしいです）この写真は昭和10頃のものだそうです。

昭和37年に柳町シルバーアーケードが完成しました。固定式で透光性も格段によく明るくなりました。ただ、昭和40年代に想定外の積雪があり総出で雪下ろしをしたりもしました。



昭和30年代の柳町商店街



アーケード落成の宣伝も商店主が車を出し合い共同でやっていました。

この頃は、まだ車の通行が可能だったようです。トラックが出てきているのが柳町商店街です。省営バスも柳町の中を通っていました。写真左は中国銀行です。自転車で悠々と通行中の観一生、多分ご存じの方もいらっしゃると思います。



昭和30年代の角街

アーケードカラー舗装は、昭和48年完成。平成元年ニチイの観音寺旧店に合わせて、全面改装いたしました。平成20年にはサテイ（旧ニチイ）が撤退。先に道路拡幅を済ませた上市商店街と歩調を合わせ柳町も道路拡幅することとなりました。



アーケード撤去 道路拡幅



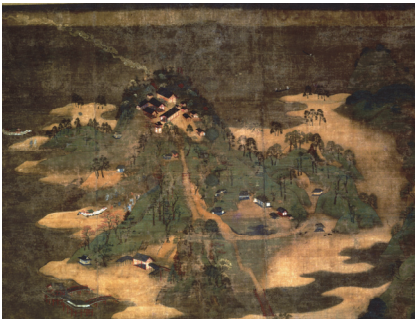
現在の柳町



平成10年頃の柳町商店街

南小学校はクラブウ跡地へ移転、小学校を統合して観音寺小学校となりました。南小学校跡にはハイスタツフホール（観音寺市民会館）が建設されました。大変環境の良いところです。

琴弾八幡宮縁起絵（重要文化財）。今回は詳しい話は致しませんが、神恵院に伝わる弘化録によりますと、1493年当時幕府の御用絵師であった土佐光信が観音寺に滞在して描いたとされています。私の住んでいる辺りは大字白浜といいますが、この絵をご覧ください。だいてもおわかりのように今の観音寺旧市街はこの当時（室町時代）まだ海でした。琴弾山は島のような状態ですね。縄文



海進の頃は、現在の11号線近くまで海だったようで、弥生時代後期には、現在の常磐地区辺りが観音寺の中心地だったようです（四国の中心との説もあります）。

蛇足ながら、この絵に

描かれている石塔（重文級？残念ながら未調査）

が、神恵院に現存しています。観音寺にお帰りの際にはぜひご覧ください。

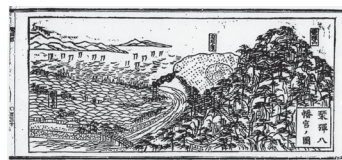
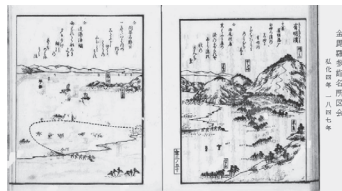
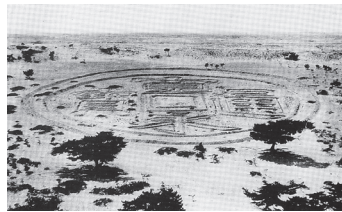


神恵院の石塔

最後に、観音寺といえはやはりこれは外せませんね。

大正末期の銭形砂絵の写真です。現在の物とはかなり違った印象ですね。できてそれほど時間がたつてないような感もあります。私の手元の資料の中では、残念ながら江戸時代の金刀比羅宮参詣名所図会（1847年）の有明浜の図には銭形は描かれておらず、明治時代（1897年）に発行された大日本繁盛懷中便覧の中に銭形の輪

郭が描かれているのが一番古いものです。江戸から明治中期くらいの古文書、地図、写真等資料が乏しいので造られた時期については何とも言えません。



参考文献…観音寺まちあるき よるしるべ ガイドブック

写真集 ふるさと観音寺

観音寺 明治 大正 昭和 写真集

琴弾八幡宮縁起絵、金刀比羅宮参詣名所図会、

大日本繁盛懷中便覧

## 出前授業11年

観一・34回 筒井 和光

(昭和58年卒)

2010年、私の勤務する(株)七宝に三豊市教育委員会から依頼がありました。三豊市の推進する食育と地産地消学習に協力していただけませんか。具体的には地元小学校へ「出前授業」の講師を派遣していただきたい、というものです。何故か私に白羽の矢が立ち、母校の桑山小学校だからまあいいか、タダで給食も食べさせてくれるそうだし、と安易な気持ちで引き受けたのですが対象学年を聞いて唖然としました。何と小学2年生！一度たりとも授業経験のないこの私に、小学2年生相手に授業とは！一体、何をどうすれば45分も間を持たせることが出来るのかと後悔したことを今でも覚えています。

しかし、引き受けたからには無責任なことではできません

ん。たとえ相手が小学生であっても一切手抜きはしない、と決意しました。私の愛読する故米原真理氏のエッセーの一文、「私が幼いころ在学したチェコスロバキアのソビエト大使館付属学校の国語（ロシア語）授業では、小学生であろうとも簡約化することのない格調高いロシア語で文豪の小説を読んだものである」に感銘を受けたからです。とはいえ、それは容易でないこともすぐ分かりました。当時小学2年生のわが娘相手に授業の練習をしたのですが、娘いわく「何いよるんか、いっちょもわからん！」

申し遅れましたが、私の勤務する(株)七宝、前身はタマネギ採種組合として1952年豊中町にて創立。1972年株式会社設立。香川県と北海道を拠点にタマネギのF1品種開発とそれにまつわる研究、種子生産、卸販売を専門に行う会社になりました。当時私は育種部門に所属していましたので、授業はタマネギの品種改良や種子生産についてとなるのですが、農学部専門課程の学生

相手ならいざ知らず、小学生に手抜きすることなく授業を行い、しかも理解してもらうにはいったいどうすればよいのでしょうか？

今更後には引けません。まずは自分自身の小学校低学年時代の記憶を辿りましたが、これが意外と少ない。授業風景、授業で習ったことの記憶は断片的で、具体的に何をどのように勉強をしたのかよく思い出せません。一方、大嫌いな予防注射の日は学校に行きたくなかったこと。完食の義務付けられた給食は、大嫌いな牛乳、サラダ、レバーを吐き気に耐えながら食べたこと。予防注射当日の給食がよりによって牛乳、オーロラサラダ(野菜、ハム、チーズ、マヨネーズ、ケチャップのごった混ぜ、最強最悪のサラダ)、レバー竜田揚げだと知った時の絶望感。食べ物に関すること、痛い目にあったことは不思議と鮮明に覚えているものです。これを上手く応用できないか？

インターネット世代の今どきの子供たちは逆に現物を

見る機会が少ないのではないか？それなら、口頭やスライドで説明するのではなく、現物を見て、触って、味わって、驚いてもらおうではないか(パワーポイントの準備も面倒くさいし)。授業は5月下旬から6月上旬にかけてなので、この時期ならタマネギにまつわる現物各種、準備することが出来るぞ。ということの下、私が授業に持参した現物です。

1. タマネギ品種各種(写真1)
2. タマネギ種子
3. タマネギ種子の缶詰



写真1. 左より「巨大」、「超極長」、「インド」、「双子」、「三つ子」、全部タマネギ (*Allium cepa* L)



4. 花満開のタマネギのオス株、メス株（写真2）
5. セイヨウミツバチ（もちろん生きています！）
6. 蜜蜂の巣箱
7. 巣碑（ミツバチが巣の中に蜜をどつさりため込んだもの）
8. タマネギ蜜（希少な蜜です）
9. タマネギの祖先
10. 試食用オニオンスライス

これらを駆使して授業が始まります。1. タマネギ品種紹介では普段目にするタマネギだけでなく、授業のために1年以上前に種蒔きして準備した珍しいタマネギにも触れます。2. タマネギは種子から育てること、3. 種子は缶詰で販売されること（近年はペレット加工した種子が増えましたが）、4. メス株の花にできた種子を収穫します。どちらがオス株でどちらがメス株？観察して当てましょう（注…オス、メスはあくまでも通称です）。

タマネギは1つの花に雄しべと雌しべがあります。雌しべは機能するが雄しべが遺伝的に機能しないものを通称メス、専門用語で細胞質雄性不稔系。雄しべ、雌しべともに機能するものを通称オスといえます）5. 花が咲くだけでは種は採れません。オス株とメス株の仲を取り持つ大切な昆虫は？ということで6. の巣箱から5. 虫かごに入れた生きたセイヨウミツバチを取り出し児童の目前での観察です。時として虫かごが破壊されミツバチが教室に飛び出して大騒ぎになりますが大丈夫。かごの中にいるのはドローン、すなわち雄バチ。刺すことはおろか、針すらない、大人しい



写真2. オス株の花に訪れるセイヨウミツバチ



ミツバチです。触ってみよう。ここで雄バチと女王バチとの関係、そしてその運命を説明します。7. 働きバチの説明をしながら、働きバチの集めた蜜がぎっしり詰まった巣<sup>す</sup>碑<sup>ひ</sup>から児童一人ひとり（先生方も）直接ハチミツを取り出して味わいます。8. 別途準備したタマネギ蜜と味比べもします。9. タマネギの遠い祖先を見せながらタマネギの進化を語った後に、10. 品種ごとの味の違いをオニオンスライスの試食で確認しながら（勇気のある子は世界で一番不味いタマネギも試食！）、日本人とタマネギの関係、料理のこつを学びます。最後に、日本で一番狭い香川県が実は日本一のタマネギ種子の産地であることを話して授業を締めくくります。

ざっとこのような内容です。今では豊中町内5校、桑山、比地大、上高野、笠田、本山から早い者勝ちで3校、2〜4年生を対象に授業を行い（写真3）、授業の後は子供たちと楽しく給食を食べます。給食にはもちろん地元産タマネギを使用しますし、使用量は野菜の中でダント

ツ1位です。残念ながら今年は新型コロナ対策のため試食と児童との給食交流は中止になってしまいました。

授業をして一番驚いたのが子供たちの積極性です。最初は誰も私の話など聞いてくれないのではないかと心配でしたが杞憂に過ぎませんでした。彼らの目を見開いて感動する姿を毎年見るにつけ、講師になって本当によかったと思います。純粋な驚きと好奇心を大きくなくてもぜひ持ち続けてもらいたいものですし、私のことも記憶の片隅に留めてもらえたら嬉しいです。



写真 3. 授業風景。「知っていますか、タマネギのひみつ？」

東久邇宮記念賞受賞！世界初・東カリブ海  
クルーズ船でエレクトーン演奏実現！  
そして新たな挑戦!!

観一・49回 高橋 亜紀  
(平成10年卒)

これまでの活動を評価いただき、本年度、東久邇宮記念賞を受賞させていただきました。日頃から支えてくださる先輩、同級生、後輩のみなさまに心から感謝申し上げます。

2020年2月には、マイ  
アミ発の3000人規模のク  
ルーズ船で、日本発祥の電子  
オルガン【エレクトーン演奏】  
を盛況の後終えることが出来  
ました。おかげ様で、新型コ  
ロナが影響する前に元気に帰



国し、現在は関西で活動しています。  
みなさまに応援いただき本当にありがたく、この場を  
借りて厚く御礼申し上げます。

～これまでの道のり～

世界中を音楽で笑顔に！国境を越え、言語、文化の垣  
根を越えて、音楽をわかちあい、友好関係を結び、世界  
中に日本発祥のエレクトーンの魅力を伝えるため、20  
18年からアメリカ、ニューヨークでの演奏活動を広げ  
てきました。

1979年生まれの私は、5歳から観音寺市のヤマハ  
音楽教室で音楽教育を受け、エレクトーンに親しみまし  
た。観音寺東小学校、柞田小学校、中部中学校、観音寺  
第一高校、ヤマハ音楽院大阪、と進学しました。10歳の  
時に決めたエレクトーン講師になるという夢を21歳で  
叶え、大阪でヤマハ音楽教室の講師になりました。これ

まで19年間、2歳から82歳までの幅広い年齢層の生徒さんを担当し、毎日20人から30人の生徒さんを指導、1週間で合計100名以上を指導させていただく充実した講師生活を過ごしてきました。多くの生徒さんを指導する中で、人の成長に携われる喜び、感動がある一方で、昨今のエレクトーンの愛好者の減少、認知の低下に危機感を覚えました。演奏家として、エレクトーンの魅力を多くの方に伝え、子どもたちに豊かな音楽環境を残したい、と、指導活動と演奏活動の両輪を回し始めました。

活動を広げる中で、ニューヨークカーネギーホールでエレクトーンを演奏したい、という夢ができ、2018年に音楽教室の夏休み期間に一週間単身渡米し、人脈、活動の場を創り、2018年秋にニューヨークでの初ライヴを開催。2019年春の渡米でチャンスを掴み、2019年9月21日にニューヨーク、カーネギーホールで世界初のエレクトーン演奏を実現しました。さらに日

本で、ニューヨークで、人の輪が広がりました。そして掴んだクルーズ船のチャンス。

く待ち受けていた困難な状況、

今、エレクトーンは欧米で販売されていません。2018年に自前のエレクトーンを日本から持ち込みました。ニューヨーク市内に預けている楽器をマイアミまで持参すること、安全にクルーズ船に搬入すること、単身渡米する私にとって、楽器とともに旅をすることは、困難なハードルがたくさんあり、その都度、多くの方に助けていただきました。

2020年1月の渡米前に、観音寺第一高校の先輩方が、大阪で懇親会を開いてくださり、激励いただき、また楽器運搬の相談にも親身につってくださいました。アメリカでの留学経験のある先輩や、お仕事で毎年渡米されている先輩のアドバイスは大変ありがたかったです。みなさまから、『頑張っておいで、元気に帰っておいで、

楽しんでいっておいで』と温かな言葉をいただきました。観音寺第一高校を卒業して20年を経て、こうして素晴らしい先輩方とご縁いただけること、故郷の温かさにふれられること、本当にありがたい、と大変感激しました。その時いただいた先輩方のエールが、ニューヨーク、マイアミでの困難な状況を打開する力になり、一歩前に踏み出す勇気を与えてくださいました。心から感謝申し上げます。

ニューヨーク市内で、エレクトーンをタクシーに積み込み移動。タクシーを降り、えいっ！と通りすがりの現地の方に声をかけて、駅の地下ホームまで手伝っていたきました。無事にアムトラックに乗り込み、30時間の鉄道の旅も、隣の席のマダムと時々談笑しながら、お尻が痛くなりながらも無事にマイアミに到着。マイアミでは、一緒に乗船する日本人のジャズシンガーさんと合流。楽器搬入を今回の演奏機会を与えてくれた日本人エグゼ

クティブディレクターに助けていただきました。

マイアミ出発のセレブリティークルーズに、アメリカ、カナダ、ドイツからビジネスリーダーが集まり、1週間、東カリブ海を旅しながら船上で国際交流、ビジネスミーティング、勉強会が行われました。私もミーティング、勉強会に参加し交流し3日目夕食後に1時間のエレクトーンソロコンサート、5日目夕食後に1時間のジャズシンガーさんとのデュオコンサート、合計2回ステージに立ちました。

今回ご参加のみなさんは、日本発祥のエレクトーンを初めて観られる方々ばかりで、大変興奮して演奏を楽しんでくださいました。演奏後は、拍手とスタンディングオーベーションで迎え



てくださり、感動、感激のお言葉をたくさんいただきました！

『両手両足を使って全身で演奏する姿に感動した！』  
『どうなっているの!? 素晴らしい才能』『初めての体験！自国に帰って、家族・仲間に伝える』『今後の活動を応援する』『素晴らしい思い出が出来たありがとう』『あなたを連れて帰りたい』

みなさんにお力添えいただき、達成できたコンサート。今後の活動の広がり、可能性を見出すことができました。

く新たなチャレンジャー

2020年4月に東久邇宮記念賞を受賞させていただき、一度きりの人生、環境を変えて国内外で挑戦すると決め、5月に19年お世話になったヤマハ音楽教室を退任し、独立しました。ニューヨークでの活動を広げるため、渡米予定でしたが、今回の新型コロナウイルスの感染拡大の影響

で、ニューヨークへの渡米を延期。  
ニューヨークでゴスペルプロデューサーのもと、様々な鍛錬を積む予定でしたので、悔しい想いもありましたが、気持ちを切り替え、前向きに今、ここ日本で、関西で、できることがある、とオンラインで新たな取り組みを始めました。有難いことに、作曲のご依頼や、レッスンのご依頼をいただき、また、オンライン会議のツールZOOMを活用し、オンラインレストラン&コンサートを開催。その取り組みを、テレビの情報番組で取材いただき、全国ネットで放送、多くの反響をいただきました。番組の様子を現在YouTubeにてご覧いただけます。

<https://m.youtube.com/channel/UCVCh6s3OwsFHy-hOhcbA3A>



YouTube「Aki Takahashi」や「高橋亜紀 エレクト

ーン」でご検索ください。『チャンネル登録』のボタンを押すと今後の演奏をいち早くご覧いただけますので、この機会に登録をお願いいたします。

そして、CDに代わる音楽の新形態で、野口五郎さん開発アプリ『テイクアウトライブ』での演奏動画の配信、販売も始まりました。実際に開発者ご本人にお会いし、音楽への想い、開発研究についてのお話を伺えたこと、初のエレクトーン演奏での制作、販売の機会をいただけたことは、ご縁を繋いでくださる、支えてくださるみなさまのおかげです。いただいたチャンスに感謝して、楽曲制作、動画撮影、動画編集に全力投球しています。そしていかに、5曲演奏動画入りで1650円の作品を皆さんの手にしていただくか、広報活動、販売促進、新たなチャレンジが続々と到来中です。大変ですが、自己成長のチャンス、と楽しんでいきます。ご興味ございましたら、『高橋亜紀 テイクアウトライブ』でご検索ください。

新しい音楽のカタチにぜひ一緒にトライ、楽しんでいただけたら幸いです。

『我らに高き誇りあり』この言葉を胸に、感謝、感動、愛を持って、これからも挑戦、前進し続けます。

安藤久志様、植木陽史様、この度は随筆寄稿の機会をいただき、ありがとうございました。

感謝



## 「わかりあえない」の裏側に

観一・61回 小西 慶信

(平成22年卒)

生きていると「この人の考え方には賛同できないな」  
と思うことがある。そういう場面は苦しくもあるが、そ  
れでも「まあ、そういう人もいるよな」などと思うこと  
で折り合いをつけてやっていくことはできる。



でも、もしその人が自分の考え方を押し付けてきたり、  
自分の考え方がまるで世間の常識であるかのように振舞  
いはじめる、「わかりあえない」  
という関係性が一気に熱を帯び  
る。

「あなたは〇〇なんだから△  
△しなよ！」とか「普通はこう  
でしょ！」といった言葉を浴び

ながら、私たちは考える。「いつかはわかりあえると信じ  
て話し合うべきだろうか?」「そうは言っても、相手はこ  
ちらの話を全然聞く気ないじゃん!」このような理想と  
現実の摩擦で、いつの間にかどんどん疲弊してしまう。  
では、私たちはこのような「わかりあえない」という  
現実を、どうやって直視すればいいのだろうか。逃げず  
に粘り強く対話を重ねるのか。それとも諦めてしまいう  
か。

そもそも、建設的な話し合いができない時というのは、  
どのようなときだろうか。換言すれば、私たちが「話せ  
ばわかる」というとき、それはどんな根拠に基づいてい  
るのだろうか。

臨床倫理学や哲学を専門とされている清水哲郎氏によ  
れば、人間関係には「同の倫理」と「異の倫理」という二つ  
の倫理が作用しているという。

「同の倫理」とは、家族や旧友のように「互いに協力し

あい助け合おう」という姿勢が伴い「みんな一緒」という姿勢である。この姿勢は、仲間であるという意識が生じる一方で、「相手は私と同じように考えるはず（べき）だ」と「同じ」であることを希求し、「わかりあう」ことが当然だとみなす。

その一方、へ異の倫理には、私と他者は違う存在であるともみなし、「人それぞれ」という姿勢である。この姿勢は、互いに干渉せずに別々に生きようという態度を伴い、必ずしもわかりあうことを希求しない。

つまり、冒頭で述べた「わかりあえない」という関係性が一気に熱を帯びるときというのは、一方は「私とあなたは同じであるはず（べき）だ」という立場にあり、もう一方は「私とあなたは違う」という認識に立っていることになる。この見地の違いが、「なぜこいつはわからないのか」という敵愾心を生むのだろう。

自分の考えを人に押し付けるのは良くないことである、

ということは多くの人が知っている。だが実際はどうだろうか。私たちは、家庭や学校、会社など身近な他者との対人関係の中に、「○○なんだから△△したほうがいい」とか「普通、○○するでしょ」という期待や押し付けを持ち込んではいないだろうか。

今、私たちの社会は新型コロナウイルスの猛威による不安と混乱の渦中にあり、暮らしや仕事に大きな制限が要求されている。そのような中、「自粛要請なのに県外へ移動するなんてありえない」とか「マスクをせずに出歩くななんて非常識だ」といった、正しさに確信を伴った強いメッセージをしばしば耳にする。私たちはみな、ものの良し悪しを判断するための何らかの基準を持っているし、自分の正しさの基準を信じて生きている。だが、こうした正しさはどこまで正しいのだろうか。

今、私が勤めている寺院では、『i』という季刊誌を刊行している。私はどう生きるのか、社会とは何か、そ



して私は社会とどのように関わりあうのかという3つの領域から生じる疑問や生きづらさを題材に細々と特集している。だが、本来こうした問いは寺の中に籠もって書き連ねるものではない。

今回、若輩である私が、なぜこのような文章執筆の機会をいただけたのかと、その意図を計りかねていたのだが、そのような問いは市井の中でいろんな人たちと語り合いながら問うていきなさいという諸先輩方からの力強いメッセージではないだろうかと思い、僭越ながらこの機会を頂戴した。最後に、貴重な機会をくださった方々に感謝を述べたい。





ちよつと一服

## 第69回 観一祭 デカンシヨ節

(デカンシヨ委員会)

- 1 デカンシヨ デカンシヨで半年暮らす  
後の半年 寝て暮らす
- 2 デカンシヨ デカンシヨの下駄は高い  
いつものカッコよさ 5割増し
- 3 加藤杯 シュートをバンバン決めたよ  
これで明日から モテ期来い
- 4 フォークダンスで 薔薇を渡す  
散ってしまった 薔薇と恋
- 5 質実剛健 歴史を謳う  
高き矜持 ここにあり
- 6 観一 あるある 宿題多い  
いくらやっても終わらない
- 7 世間を 騒がせたドナルド旋風  
我ら合格旋風 巻き起こす
- 8 藤井聡太が 29連勝  
僕ら受験で まず1勝
- 9 観一教員 出産ラッシユ  
新たな命に 幸よあれ
- 10 イチロー 世界一安打記録  
俺らは一浪を 避けてやる
- 11 大林監督に 感動したよ  
夢をつかむよ I LOVE YOU
- 12 本田が 新たに移籍スタート  
俺らも受験モードに 移籍する
- 13 青春をかき鳴らせ デンデケデケデケ  
響け 観一の心意気
- 14 ゆったり 午後過ぎすプレミアムフライデー  
俺ら受験生 ノーホリデー

15 早稲田大学 やっぱり強い

赤本三田俺は KOだ

16 EU離脱で 浮かれるイギリス

俺も抜けるぞ 受験組

17 日本の各地で ゲリラ豪雨

取水制限 香川では

18 暑さに負けず 模試にも負けず

夏を乗り越え 花咲かせ

19 夏の夜には 花火が揚がる

俺も上げるぞ 偏差値を

20 志望大学 意図して挑む

手繰り寄せるぜ 着実に

21 部活青春で 幾月過ごす

後は受験に 身を注ぐ

22 まだかと 期待の新体育館

卒業第一号 もらったぞー

23 どーせやるなら でつかいことやろうぜ

観一全員 合格だ

24 観一名物 数々あれど

男デカンシヨ 日本一

〈説明〉

このデカンシヨ節の歌詞は、平成29年度の観一祭で披露されたのですが、当世観一高生の心意気、学校内外の環境、世情等がうまく表現されており、思わず、小生の学生時代を懐かしく思い出しました。そして、是非とも、会員の皆様に紹介したいと考えました。

なお、本誌に掲載することについては、同窓会本部事務局長徳善久人様を介し、本校デカンシヨ委員会の了解を得ております。



(16回卒 藤田修一)



ふるさとからの便り

# 観音寺市の地方創生について

観音寺市政策部ふるさと活力創生課

観一・40回 近藤 知章

(平成元年卒)

観一 高同窓会京阪神支部の皆様におかれましては、ますますご健勝にて、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

## 【観音寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略】

観音寺市では、人口減少の克服と地域活力の向上に向け平成27年に「観音寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し地方創生施策を進めてまいりました。令和2年度からは「第2期観音寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略」により、さらなる地方創生の深化を進めて参ります。

それでは簡単ではございますが地方創生の取り組みについてご紹介したいと思います。本総合戦略は、平成30年

3月に策定された「第2次観音寺市総合振興計画前期計画」で重点的に取り組むとしている「まちづくりプロジェクト」を地方創生の取り組みに合せてより具現化させていくものです。雇用を確保し、人口の自然減・社会減を抑制するための「人口減少抑制戦略」、人口減少に対応し、持続可能なまちを目指す「人口減少社会適応戦略」の2つの戦略と基本計画を設定しました。第1期総合戦略の7つ基本目標をより確実に実行していくために、新たに4つの基本目標に絞りました。以下が基本目標となります。

●基本目標1 活力と魅力あるしごとづくり

●基本目標2 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり

●基本目標3 新たな交流を生むまちづくり

●基本目標4 持続可能なまちづくり

人口動態分析の結果、本市においては自然増減よりも社会増減のほうに与える影響度は高くなり、若年



層の人口流出抑制（特に15歳～49歳の女性）、転入増加施策に取り組むことが特に重要であると考えられます。

加えて、人口構造のさらなる高齢化を抑制するためにも、出生率の上昇の施策など自然増へ向けた施策に取り組むことも大切です。

人口流出が多い15～19歳の年齢層について、流出を抑制するために転出を最低限に抑えることはもちろん、離職を転機にUターンする人やUJターンの意向がある大学生等に対するきめ細やかな情報提供や移住相談を行うとともに、地域の雇用創出や生活環境の整備など住みやすく魅力ある地域づくりを推進する必要があります。第2期観音寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略ではこれらを踏まえ施策を実行してまいります。

基本目標の中に具体的な施策が示されており、これらに基づき各部所横断的に施策を進め、急速に進む人口減少に歯止めをかけるとともに人口減少社会に適応したまちづくりを目指します。



旅作家とまこ with ドローン  
URL <http://www.tomako.tv>

#### 【地域おこし協力隊】

令和2年4月から初めての地域おこし協力隊員が観音寺市に着任いたしました。埼玉県出身の渡邊智子隊員は『旅作家とまこ』の名前で書籍の執筆やドローンで撮影した画像・動画をSNS等に掲載しております。縁あって本市の地域おこし協力隊として活動していただけたことになりました。現在、商店街の活性化及びインスタグラムやYouTube等で本市の美しい風景を写真・動画

で発信しております。ぜひ、一度ご覧になっていただきたいと思っております。

### 【食料品製造業活性化事業】

観音寺市の産業構造は製造業・卸売業・小売業の占めるウェイトが高く、中でも製造業は従業員数、売上高、付加価値額でシェアがトップです。食料品製造業は従業員数、事業所数が一番多く本市の基幹産業であると言えます。しかしながら、労働

生産性、付加価値額ともに近隣市と比べて、伸び悩んでおります。そこで国の地方創生推進交付金を活用し、出荷額の伸び悩みと人手不足の解消をすべく事業実施しております。市内食品関係事業者で組織する「観音寺市食品産業ネットワーク



観音寺市食品産業ネットワーク協議会設立総会  
の様子

協議会」と地域商社「せとうちイート株式会社」が今年の6月に設立されました。これらが実行主体となり、課題解決に取り組みます。

本年度は人手不足の解消として、外国人材育成セミナーの開催や外国人雇用マニュアルの作成及び地域に愛される商品づくりと地域に根付く地域商社づくりを行い、特産品の高付加価値化に取り組みます。同時に販売促進支援等も行い、売る機能づくりを推進します。

こうした取り組みにより食料品製造業が活性化され、その波及効果によって地域経済が活性化されることを目指します。

### 【地方創生施策の目指すところ】

このような取り組みによって雇用を創出し若い世代の就労の希望の実現や安心して子育てができる環境づくりなどの施策効果により、令和42年には4万2千人の人口確保を目指します。

最後になりましたが、観音寺第一高校同窓会京阪神支

部並びに同窓会会員皆様の益々のご発展とご多幸をお祈り申し上げます。



地域商社のロゴマーク



ふるさとで頑張っています

# 建築と生物多様性

観一・30回 菅 徹夫

(昭和54年卒)

ビオトープというものに惹かれ始めて、もうかれこれ20年近くになるでしょうか。我が家の庭に小さなビオトープ池を自分で作ったのが始まりだったように思います。ビオトープとはご存じのように「野生生物が生息できる場所」のことを言います。池のような水辺だけではなく森林や草地、棚田の石積み、干潟など様々なタイプがあります。

以来、建築を生業にしている私としては、庭などの外構計画の中にビオトープ的空間を提案することも増えてきました。草屋根（屋上緑化）もその一つで、単に芝やセダム等の単一植生で覆うのではなく在来種の多様な植物による草地としての草屋根を提案したり・・・。

その頃から、私はビオトープ（あるいは生態系、生物多様性と言い換えても良い）があらゆるものの最上位概念であると思う様になりました。なぜなら私たち人間も生態系の一部を形成する生き物なのであって、健全な生態系があつて初めて、健全な社会や経済が成り立ち、私たちは生存していけるのですから。

そうこうしているうちに5年ほど前、ある人の講演を聴く機会がありました。その話の中で「プラネタリー・バウンダリー（地球の境界）」という環境指標を知りました。その指標では「生物多様性の損失」が様々な環境問題の中でも最も危機的な状況にあることを教えてくれたのです。相当危機的な状況と思われる気候変動（温暖化ガス）の問題よりもはるかに危機的であるということです。それ以来、私の中で生物多様性への思いが再燃してきました。

建築に関わる企業として、生物多様性に対して何ができるのか？。これまでもいろいろ考えて試してきたつも

りでしたが、今まで以上に強く意識するきっかけとなりました。生物多様性と建築の接点がどこにあるのか、ピンとこない人は多いと思います。私も以前は建築の仕事は仕事として、生態系の保護は環境団体に協力するなど、日常の仕事とは別のところで社会貢献事業として行えば良いくらいに考えていました。しかしながら、それでは本業と生物多様性はどこまでも平行線で繋がりません。

この頃から、生物多様性（生態系の保護）を私たちの業務（建築の仕事）の真ん中において日常業務を進めることができないかと考えるようになりました。我々が仕事をすればするほど生物多様性が、生態系が豊かになれば良いなど。それができればこんなに素敵な仕事はないなど。建築と言えどどちらかというと自然を壊して建物建てるイメージが強いのもかもしれませんが、これからの建築はそうではなく自然を壊さないだけではなく、生態系を豊かにしていく、そんな建築を作っていきたいと強く思うようになったのです。

まだまだ動き出したばかりですが、我々にやれることはたくさんあると感じています。生物多様性を豊かにする建築を作るには大きく二つあると思っています。一つは建築そのものの作り方において、もう一つは建築を取り巻く植栽を含めた外構工事においてです。

建築そのものの作り方において重要なのは、その材料に関してです。私たちは、まずはその材料の中でも特に木材に注目したいと考えています。建築の材料として、木材は木造建築に限らず様々な建築において相当な量使用されています。日本で使われている木材の約7割近くは輸入材（外国産材）です。輸入材の中にはアマゾンなどの熱帯雨林、シベリアや中国の原生林など伐採していない（伐るべきではない）森林から大量に伐採されているものが未だに数多くあります。違法伐採も後を絶ちません。そのような輸入木材を知らずに使うことは、通常の木材流通の中ではよくあることなのです。しかしその行為は違法伐採に加担することに繋がり、森林破壊（生

物多様性の喪失）を加速させることに繋がっています。

今、地球上の森林破壊の実態はすさまじいものがあります。今でも5年間で日本の国土の総面積分の森林が失われていると言われています。しかも熱帯林などの原生自然は取り返しがつきません。再生不可能なのです。

原生林は生物多様性を育む豊かな森です。これらの森林が失われることは貴重な樹木が失われるだけではなく、そこに生息している数え切れない種類の生物（動植物）が失われることになります。絶滅に追い込まれる種も少なくはありません。

一方で国内の森林は4割が人工林（切るべき森林）で全国的に伐期を迎えているにも関わらず、間伐が進まず荒廃しているという現実があります。我々はこうした現状を踏まえ、できるだけ国産材を使用することと、輸入材とくに伐るべきではない森林から伐られた木材を使用しないことを徹底したいと考えています。

建築材料としての木材は様々なものに使用されています。

す。家具や建具の芯材、合板と呼ばれるパネル、コンクリート型枠に使用するコンパネと呼ばれる合板などなど。見えない部分に使われている木材も結構あります。そうした木材の樹種や産地を把握し、環境リスクの低いことを確認した上で使用することが森林保護に繋がります。木材デューデリジェンスと呼ばれるこうした調査を、今後日常業務の中で徹底していきたいと考えています。

もう一つの、建築を取り巻く外構工事においてやっていきたいことは、生態系としての庭づくりです。植栽工事では外来種植物を使用せず、全て在来種（できれば地域の遺伝子を持ったもの）で構成し、単一植物を多用する（モノカルチャー）のではなく、できるだけ多様な植物を配する。里山の風景を参考にした自然な植栽を行うこと。などを心がけたいと思っています。植栽だけでなく水辺を作ったり、コンクリート擁壁を使用せず石積みを用いたり、コンクリート舗装もできるだけ使わずに浸透性の舗装やレンガ舗装などを多用するなど。雨水排



水をできるだけ敷地内で行うことも大切な事です。このように生態系に配慮したビオトープ的な外構計画を行うことで、各所に、点在する小さな生態系が生まれ、鳥や昆虫などの多くの生き物がやってきます。そしてそれらの小さな生態系がエコロジカルネットワークとして里山や鎮守の森と繋がっていく、そんな建築群を作っていきたいと考えています。

今年の3月に三豊市仁尾町の父母ヶ浜に住宅のモデルハウスを兼ねた民泊「讃岐緑想」をオープンしました。

この外構工事には在来種の植物による生態系を意識したビオトープ的植栽を施しました。50種以上の植物を植えましたが、そのうち半分近くの植物が三豊・観音寺の地域遺伝子を持った植物で構成されています。5年ほど前から種苗業者さんに協力してもらって、近くの山の植物の種子を集めてポット苗を作ってもらいました。それらの苗木を中心に植えています。また、社員有志で昨年採種した父母ヶ浜の海浜植物の種もこの春に蒔きました。

まだほとんどが苗木ですが、住宅の庭が小さな一つの生態系を形成するのだというモデルにしたいと思っています。

このように建築と生物多様性は実は切っても切れない関係にあります。新しい建築を作っていく際に生物多様性ということを意識することがとても重要だと最近特に思うようになりました。まだまだこれからですが、建築を作っていくなかで生かしていきたいと思っています。

# 令和元年度卒業式祝辞

観一・39回 河田 圭一郎

(昭和63年卒)

急に初夏を感じるような気候が続いてきました。本来であれば、志も新たに希望に胸膨らませた人達の門出である入学式や入社式があるはずでしたが、残念ながら、新型コロナウイルスの猛威が止まらず、また本年度最大のイベントである東京オリンピック・パラリンピックも、来年に延期されました。社会生活は勿論の事、経済活動にも大きな影響を与えています。先の見えない不安が、あらゆる心理を揺さぶっています。6月に入り緊急事態宣言の解除がなされましたが、しばらくは世の中自粛の方向です。『ウィズコロナ』ということでコロナとの共存を目指していく、新しい生活様式を推進していかなくてはなりません。

「一燈を提げて暗夜を行く 暗夜を憂うるなかれ ただ一燈を頼め」

江戸時代後期を生きた儒学者佐藤一斎が言志四録の中で説いた一文です。「一張の提灯を下げていれば暗い夜道も暗い闇も怖がることはない。ただ自分の足元を照らすその一つの灯りを頼りにして歩き進めばよい。」ということをおっしゃっており、どんなに先が見えないような窮地に陥ったような場合でも惑うことなく自分自身の生き方、志を信じて進めばよいのだという意味が込められています。ただし現状を見ると、とても先が把握できない状況ですから、窮地に追い込まれ、不安を感じ心が乱れがちになります。心が乱れ冷静な判断ができなくなると、慌てふためきとんでもない選択をすることもあります。ならば、このようなピンチにどう対応するか、窮地にある現在の境遇を嘆き悲しむべきではないと考えます。救済幻想に頼るよりも現実的な命綱である提灯の明かりを頼りにし、可能性は少ないが一心不乱に心を注ぐ事が大切

になります。心を弱くして万に一つも無い妄想に騙され  
右往左往するのではなく、きっぱりと迷いを捨て、必ず  
やり抜くという心で前に進めということです。現状を打  
破する為に、必要な言葉ではないかと思います。今だか  
らこそ、日本人が受け継いできた底力を発揮するときだ  
と考えます。

私は昨年度まで母校である観音寺第一高等学校でPT  
A会長をしていました。例年であればPTA会長として  
卒業式であいさつをさせていただく機会がありました。が、  
本年度はコロナウィルスの関係で時間短縮となり機会が  
なくなりました。私自身は子どもが最終学年ということ  
でそれなりに気合も入っておりましたが少々残念な気持  
ちでいました。今回は偶然にもこのような機会を頂きました  
のでその時に考えていましたあいさつ文をここに掲  
載したいと思います。

本日の卒業証書授与式にあたり、PTAを代表致しま

して一言お祝いの言葉を申し上げます。

ひとつの寒さを越えるごとに春の色が濃さを増し、桜  
の芽吹きが待ち遠しい季節となりました。観音寺第一高  
等学校の卒業生の皆さん、三年間若しくは四年間よく頑  
張り抜きました。「卒業おめでとう」と言うだけでは、物  
足ない気がしています。「ありがとう、よくぞここまで」  
と一人一人に声をかけたいたい思いが溢れそうになります。  
皆さんが受けとった卒業証書、それは、夢を描き、鍛え  
た日々の集大成そのものなのです。

新たな門出で希望に満ち、周りから多くの祝福を受け  
る、そんな人生の節目は多々ありますが、卒業式には独  
特の雰囲気があります。厳かな雰囲気の中、門出に際し  
祝福を受け、嬉しく誇らしい心持ちには変わりはありません。  
その一方で、人生の節目を迎えた実感、短くも凝  
縮された数々の想い出、さらには恩師や親友との別離が  
混在し、複雑な感情に襲われるからではないでしょうか。  
特に、高校での卒業は進学、就職などで新生活がすぐ間

近に迫っていることもあり、その思いが一層こみ上げてくるのかと思います。

先程、卒業証書が授与されましたが高校生として名前を呼ばれるのは、これが最後になると思います。皆さんは、どんな想いで自分の名前を聴き、返事をしましたか。

この瞬間の想いこそが大切であり、皆さんは小さくとも大きな歩みを、大人としての第一歩を、その想いととも踏み出したことになります。これからあなた方を待ち受けているのは、これまでのセオリーが当てはまらない、予測不可能な未知の世界です。これまであなた方は正解のある知恵を求めてきました。これからあなた方を待っているのは、正解のない問いに満ちた世界です。未知なる世界にも積極的に飛び出してください。異文化を怖がる必要はありません。あなた方には、どんな環境でも、どんな世界でも、生きていける知恵を身につけてもらいたい。これから学ぶ価値とは、すでにある知恵を身につけることではなく、これまで誰も見たことのない知恵を

生み出すための知恵を身に付けることだと、わたしは確信しています。

今日までにいろいろなことがあったと思います。特に高校では、人知れず壁にぶつかり、目標を失いかけ、時には悩み苦しんだかもしれません。ここであるプロ野球選手の言葉を紹介します。人より頑張ることなんてとてもできない。あくまでも秤は自分の中にある。自分の限界を見ながら、ちよつと超えていくことを繰り返していく。するといつの日か「こんな自分になっている」という状態になってくる。一気に高みに行こうとするのではなく少しずつの積み重ねを信じてやっていくしか自分を超えてはいけない。多くの人は積み重ね続けることができずに挫折をしてしまう。なぜなら他人を基準にした目標にしているからです。自分以外に優れた人は五万といてその他人を目標にしていれば心が折れてしまうのは時間の問題だと思うというものです。彼は自分をみて自分を超えることを目標に積み重ねていきました。自分を尊

重して、自分を中心に見ていたからこそ周りに惑わされず自分自身に圧倒的な誇りがあったからこそだと思えます。

保護者の皆さん、本日ここに我々の息子、娘を無事に送り出すことができました。ともに喜びたいと思います。すばらしい思い出を残し、逞しく成長した子供達とともに誇らしく思えます。彼らは、いわば今まさに羽ばたこうとする若鷹のようなものです。頭上に広がる大空を、自由に自力で飛び回れるよう、良き理解者として、また人生の先輩として、温かくも厳しくもすぐ隣で見守り続けたものだと感じております。

ご臨席のご来賓の方々には、どんな時でも、本校の子供達に優しい眼差しを送っていただき、この場をお借りして感謝を申し上げます。また、ご列席の先生方のご指導なくしては、この良き日を迎える事は出来ませんでした。これまでと同様に、彼らの活躍を楽しみにしながら温かく見守ってくださいますようお願い申し上げます。

いよいよ旅立ちの時です。明日からは、それぞれの新しい日常が待っています。母校を巣立つ皆さん、その目前に広がる洋々たる大海原を英知と勇氣と情熱をもって切り拓き、世界を舞台に大きく飛躍されんことを期待してPTAを代表した餞の言葉と致します。本日は、誠にありがとうございます。

令和2年3月5日

香川県立観音寺第一高等学校

PTA会長 河田 圭一郎

誰もが立ちすくんでしまうような暗闇の中で、不安に包まれて歩む時に足元を照らしてくれる灯りがあることはどんな力強い支えになるか分からない。その灯りとなる意志や目標をしっかりと持ち、その光が照らす道を力強く歩み進んでいきたいものである。今少し時間がかか

るかとは思いますが、また笑顔で皆様と再会できますように、また穏やかに過ごせますように。



正 門



体 育 館

文芸コーナー（漢詩・俳句・短歌・川柳・狂歌）

観音寺市 三豊市 溜池 漢詩

七言絶句

四首（平成二十年から二十二年に創作）

観一・9回 高嶋 睦風（睦徳）

（昭和33年卒）

二十八米、貯水量百五十九万トン、洪水吐をサイホン形式として学術的に評価の高い構造。農地五百三十ヘクタールを灌漑。

驚風・・激しい風。 飛瀑・・滝。

臥竜・・眠っている竜。

蜿蜒・・竜がくねくねと動くさま。

騁・・まっしぐらに駆け抜けるさま。

豊稔池放流

豊稔池の放流

古城風格卷驚風

古城の風格 驚風を巻き

萬丈水煙青翠中

萬丈の水煙 青翠の中

飛瀑千年臥龍覺

飛瀑千年 臥竜覺め

蜿蜒乘氣騁天空

蜿蜒氣に乗じて 天空に騁す

【平起式 上平声一東韻・平成二十年三月・第137作】

【語解】

豊稔池・：香川県観音寺市 灌漑用溜池。大正十五年、当時の画期的なダム形式を大胆に取り入れた、全国唯一のマルチプルアーチダム。堤高三十米、堤長百

【通解】

ヨーロッパの古城の風格を漂わせる、斬新な構造物である豊稔池の放流では、激しい風が巻き上がり、青々とした山に水煙が高く舞い上がっています。

眠っていた竜が目覚め、ダムの放流は、あたかも水を得た竜がくねくねと天空に向かって、まっしぐらに昇っているようです。

【解説】

我が国のダム築造技術が草創期にあった時代に、常識を打ち破つての快挙。農林省、県、及び地元農家を主体とした施工班は技術陣とのチームワークによって完成。我が郷土の誇りであり、歴史的遺産である。（香川県三豊土地改良事務所 冊子より）



## 寶山湖竣工

ほうざんこしゅんこう  
宝山湖竣工

讃州田苑渴驕陽

さんしゅう だえん かつよう  
讃州の田苑 驕陽に渴れ

早禍多年不可忘

さくわ となん おす べ ぞ  
早禍多年 忘る可からず

池底神龍得新窟

ちてい しんりゅう しんくつ  
池底の神龍 新窟を得

水光激盪送千郷

すいこう げんえん せんごう  
水光激盪として 千郷に送る

【平起式 下平声七陽韻・平成二十一年 六月・第197作】

### 【語解】

宝山湖・・香川用水 調整池。三豊市財田町・山本町。渴水

時水道専用貯水池。事業費255億円。渴水時香川

県の水道を二十日間供給できる貯水量300万トン。

十年かけて平成二十一年竣工。命名は公募により、

「宝山湖」と決定。

驕陽・・真夏の激しい太陽。

早禍・・旱魃。

神竜・・この土地、山本町神田には、古くから神田（こうだ）

大池が在った。

水光激盪・・太陽の明るい光で水面がキラキラ光る様子。

### 【通解】

平成六年の大渴水時、高松砂漠と言われる苦い経験を踏まえ、香川県民の宿願であつた水道用専用貯水池が完成し、「宝山湖」と命名。未永く忘れる事は出来ない。

神田大池が埋没した湖底には、池の龍神が目覚まし、新しい棲まいとして蘇り、広々とした水面は、さざ波が太陽の光でキラキラと輝き、県下全地域に送水可能となりました。

### 【解説】

湖底の岩石、地層、化石などの発掘調査から200万年前の吉野川は、真つ直ぐに香川県に流れていた形跡有り。後の阿讃山脈の大隆起で塞き止められ今の吉野川となった。

一之谷池有感

いちのたに いけ かんあ  
一之谷池に感有り

村巷溪聲滿碧旻

そんこう けいせい へきびん み  
村巷の溪聲 碧旻に滿ち

積年凶旱想酸辛

せきねん きうかん さんしん おも  
積年の凶旱 酸辛を想う

以人于禱池塘叫

ひと も いこい ちとう さけ  
人を以てて手に捧る 池塘の叫び

一骨靈魂救萬民

いっこつ れいこん ばんみん すく  
一骨の靈魂 万民を救う

【仄起式 下平声十一真韻・平成二十二年 六月・第245作】

【語解】

一ノ谷池・・ 觀音寺市 中田井町 天神岡。貯水量66万ト

ンの貯水用溜池。

村巷・・ 村里。

溪聲・・ せせらぎの音。

凶旱・・ 激しい旱魃。

酸辛・・ 辛酸、辛くて苦しい。

池塘・・ 池の堤。

【通解】

村里の小川のせせらぎの水音は、よく晴れた青空に満ちてはいるが、長い年月、里人は旱魃や大雨に、どれほどの苦しみを経験した事であろうか。

築堤の人柱として、犠牲となって供えられた靈魂の悲痛な

叫び声が、人々の祈りの中に今も聞こえてきています。

【解説】

四筋の谷川が合流する一の谷のこの土地に、400年前の江戸時代生駒藩の西嶋八兵衛により起工。319町歩を灌漑。堤防は軟弱な基礎地盤に築堤。大雨の度に決壊を繰り返し、水田は枯渇。凶作が続く生活は困窮。痛恨の人柱を供えて祈りをささげ、ようやく堤を完成。普請作業奉行と共に池の守り神として合祀。

(一の谷池 堤防石碑より)

岩鍋池

いわなべいけ  
岩鍋池

が感じられます。

【解説】

約200年前、江戸時代後期 池の底の岩磐をくり抜き底樋を貫通させた事により貯水量が大幅に増大し、旱魃の被害が大きく解消された。当時工事をめぐり、庄屋と奉行が対立、栗井村の庄屋が斬殺され、奉行は切腹した事件となった。その後生駒藩の命で完成。後に、数回にわたり余水吐や堤防などの改修工事を施工。

【昭和25年 栗井村誌 高嶋利市（作者の実父）著より】  
平成に入り作者は、栗井土地改良区理事として堤体改修工事に参与。

【語解】

岩鍋池：観音寺市栗井町、農業用溜池。貯水量36万トン、

灌漑面積247ha。

底樋：池の底の放水用トンネル。

磐：穿つ、孔をあける。

満地：一面に。

ざんどうがかりゅう  
吟道臥風流 師範

【通解】

岩盤をくりぬいた底樋のトンネルは、ひっそりと静かに存在し、鏡のような池の水面は、ゆったりとして、素晴らしい眺めとなっています。

あたり一面に照らす月の光には、暖かい心があり、広々とした水田には豊富に水が行き渡り、豊作を思わせる穏やかさ

## 一八（いちはつ）

観一・4回 富士田 浩子

（昭和28年卒）

即位礼正殿の儀秋雨上がり開く高御座

鶯と懇（ねんご）ろになる朝に夕

明易や自肅の心ほぐれけり

満開の一八棚田二枚分

膝手術曲折四年春を待つ

## 春暁

観一・6回 佐藤 益子

（昭和30年卒）

大阪駅破魔矢を高く持ち歩く

春暁やお百度を踏む人の列

約束の時間ぎりぎり街薄暑

陽のあたる方を選んで落葉道

物捨てることに始まる年用意

## 五月の自然

観一・11回 大西 拡子

(昭和35年卒)

マスクせぬ友と会いたる朝歩き

しゃべりたけれど会釈で別れ

百円の野菜スタンド品えらび

袋のきゅうりに頭の下がる

蜘蛛の巣の新居完成あるじ居て

五月を遊ぶ大仕事のあと

十薬(ドクダミ)の新芽次々引き抜くも

地下茎がんこ言うこと聞かず

紫陽花の色の変遷楽しめば

赤に首傾ぐ他の花のよう

## あるいてゆく

観一・19回 鈴木 マチコ

(昭和43年卒)

キラキラと生きてゆきたし現実ほ

どじするばかり あるいてゆく

落葉さかん新旧交代クスノキの

お色直しと予報士の言う

照り映える樟の若葉のその上に

笑っているよな下弦の月が

（川柳） 無題

観一・13回 高井 洋蔵

（昭和37年卒）

対向車 ゆずれど女が 知らぬ顔

万歩計 ギックリ腰で 役たたず

生き運の あるのが寄った 同窓会

冬はいや 夏はなおいや 老いのぐち

スピードを 出したとたんに ねずみ取り

（川柳） 無題

観一・13回 高畑 紘志

（昭和37年卒）

頬撫でし風が桜を散らしゆく

側溝に細く流れる花筏

穀雨かなコロナ疲れはいつ癒える

春雷に夜明けの眠り破られて

小満や陽光こぼれる木々の径

## （川柳）故郷のなまり懐かし方言

観一・15回 野口 泰孝

（昭和39年卒）

観音寺の方言を川柳風にしました。

どくれんと えかげんに メシ食わんか

言うこと聞かんきん むつちやはがいんよ  
けたくそわるいんよ

かまんかまん なんちやかまんで かんまんで

医者に いっきょんじゃ ひしてがいに

はよせんきん お客さんいんによるがな ほっこたれが





# 同窓会報告

## 同窓会とは何ぞや 関西観八会の記録

観一・8回 矢野 一之

(昭和32年卒)

今年5月下旬有馬温泉で行う予定でした関西観八会の行事は世界中を震撼させている新型コロナウイルスのため残念ながら中止致しました。

この20年間、関西観八会の運営に世話役としてお手伝いさせて頂きましたが米寿を迎えこれまでと同じように続けていくのが少し厳しくなっております。合せて出口の見えないコロナの後追いを避け自制自粛の生活が求められる現在同窓会活動は慎むべきかと思っております。

巨鼈の「同窓会報告」には同じ世話役の畠中康行氏がその年に参加した会員に執筆を依頼し掲載しております。今年は中止になりましたので投稿せずに済むと思っていたところ『代わりに新春年賀会のことを書け』と前述

畠中氏から電話があり引き受けました。

5年前から行っている新春年賀会のことを書けば良いのですが、それより毎年続けてきた関西観八会の集まりのことをこの機会に総括し単に「記憶」だけに留めず「記録」に残しておいた方が良いかと思い筆を執りました。

### 【関西観八会の同窓会記録】

◎昭和五二年夏 参加者約10名

第1回 関西観八会発会 六甲山ホテル

◎昭和五四年五月一二日 参加者37名

第2回 宗右衛門町 料亭いろは

◎昭和五八年六月一八日 参加者約20名

第3回 難波

〔この間 詳細わからず〕

①平成一四年四月三日・四日 参加者 20 数名

生駒 信貴山玉泉院

②平成一五年四月三日・四日 参加者 27 名

京都 聖護院御殿荘

都をどり 哲学の道 南禅寺

③平成一六年四月四日第 8 回観八会総会 参加者 96 名

高松 全日空ホテルクレメント

④平成一七年四月七日・八日 参加者 25 名

京都 嵐山・花のいえ

トロツコ列車と保津川下り

⑤平成一八年四月五日 参加者 35 名

大阪 万博公園日本迎賓館

⑥平成一九年四月一二日・一三日 参加者 32 名

近江八幡 ウエルサンピア滋賀

水郷めぐり 町並み散策

⑦平成二〇年四月一日 参加者 36 名

大阪 太閤園 天満天神 繁昌亭

⑧平成二一年四月一五日・一六日 参加者 36 名

奈良吉野山 芳雲館

奥千本 西行庵まで桜見物

⑨平成二二年四月七日 参加者 34 名

奈良 奈良ホテル

ならまち 春日大社 東大寺見物

⑩平成二三年四月八日・九日 参加者 32 名

和歌山 龍神温泉・季楽里

紀三井寺 高野山

⑪平成二四年五月一五日 参加者 30 名

京都 祇園東山安井 き之ゑ

葵祭見物(雨のため順延) 高台寺

⑫平成二五年四月一〇日・一一日 参加者 22 名

姫路 塩野温泉 夢乃井

姫路城 生野銀山 竹田城跡

⑬平成二六年四月一〇日 参加者 29 名

京都 京料理 六盛

京都御所 平安神宮神苑

⑭平成二七年四月九日 参加者 25名

大阪 マリオット都ホテル

あべのハルカス(展望台)

⑮平成二八年四月七日・八日 参加者 33名

京都 聖護院御殿荘

平等院 宇治川遊覧

⑯平成二九年四月五日 参加者 31名

大阪 ホテルモントレ・ラスール大阪

水上バス大川遊覧 大阪城見物

⑰平成三〇年五月一日・一五日 参加者 42名

京都 くに荘 観八会総会

二条城 葵祭見物 鴨川 めん坊

⑱令和元年五月二二日 参加者 23名

神戸 神戸迎賓館

須磨離宮公園 須磨寺参詣

記録にありますように、第1回関西観八会は昭和52年の夏、六甲山ホテルで発会しました。

昭和58年難波で行った総会までは出席しましたが仕事やボランティア活動が忙しくなりその後平成14年信貴山での同総会まで関西観八会とは没交渉になっておりました。この年仕事も定年を迎え第2就職で京都の会社に勤めていた秋、観一京阪神支部の8回卒の年次幹事だった岡田尉氏(故人)から支部総会への誘いがあり会場の徐園へ出向きました。

総会が終わり帰路の途中、当時京阪神支部の副会長をしていた三宅順二郎氏、のちに支部副会長、幹事長を歴任し活躍した脇剛司氏と先述の岡田氏と4名で近くのホテルでお茶をしました。

席上、誰からともなく同窓会の話になり「お前京都のこと詳しくそうだから次の観八会を京都でやれ」といきなり担当を命ぜられました。「お前ヤレ!!」と急に言われても同期生が何人関西にいるのか名前も顔もわからず果

たして幹事が務まるのか不安そのものでした。エライことになったと思いましたが今更引くに引けず、何とかなるだろうと覚悟を決め引き受けた。

平成 15 年 4 月京都の聖護院御殿荘での同窓会が私の初仕事でした。この初仕事が切掛けとなり今日まで約 20 年間、関西観八会の世話役を続ける事になりました。

幹事をするが大変なことは経験された方はご存知と思いますがこの初めての作業のことを少し触れてみたいと思います。

準備に入るに当って最初に行ったのが当時会長の永田寛氏に担当することを伝えることでした。

のちに永田氏は三宅氏の後任として京阪神支部副会長に就任し多忙を極めておりましたが何かと気遣ってくださる大変頼もしい存在の方です。

その永田氏に了解を得てから作業にかかりました。

関西観八会のこと何もわからず思いつくまま進めても能率が上がらないので、広告会社時代よく使っていたビ

ジネスフレームワークの 5W1H(何時・何処で・誰が・何を・なぜ・どの様に)を応用して進めることにしました。一番大変なのは会員の所在地リストの作成です。有難い事に観八会の会員名簿を脇氏が持っており大助かり。関西在住者は約 100 名近くいることが分りました。

次は懇親会の開催日と会場探しです。4 月上旬桜咲く頃と決め、早速ホテル旅館のめばしいところを小当たりしました。簡単に探せると多寡を括っていたのが間違いました。京都のめばしいところはすでに一年前から予約で一杯。そのうえ観光シーズンは割高料金とても宿泊・宴会費込み 2 万円以内で行える場所がないことが分かり、改めて会場を探すことになり 15 か所ほどリストアップして一軒一軒訪ねました。

どうにか探し当てたのが平安神宮北側にある「聖護院御殿荘」です。会場が決まり案内状を出せば同窓会成立ですが、折角の京都なので観光をせよとの希望もあり、決めたのが「都をどり観覧(希望者)御殿荘にて懇親会・

宿泊 翌日：哲学の道桜見物 南禅寺で湯豆腐 解散」の日程です。出席者は26名。無名の幹事からの案内状なので果たして何人参加してくれるか心配でしたが思った以上に集まって頂きました。

受付部屋割り懇親会の議事進行など協力を得ながら進め、何十年ぶりの再会に会場は沸き興奮のルツボ。旧交の場は佳境に達し二次会のカラオケまで時間の経つのを忘れ大いに歌い飲みました。翌日は哲学の道の桜見物 南禅寺聴松院の湯豆腐で締め帰途につきました。

今回の集まりが楽しかったのか誰からともなく『次も京都でお前ヤレ!!』と有難くないご指名がかりました。

平成16年は全体観八会が高松市の全日空ホテルで開催され我々も参加し関西での集まりは次年度としました。翌年の平成17年は京都嵐山「花のいえ」で盛大に懇親の宴を催し「トロッコ列車」「保津川下り」を大いに楽しみました。食事処での昼食時、「来年は日帰り」の計画を考えろとまたまた命令が下りました。

平成18年は万博記念公園「迎賓館」で優雅に会食。日本造園技術の粋を集めて作られた「日本庭園」を同期生と見て回ったあのひと時を今も思い出します。

3回幹事をさせて頂いて(やらされると)関西観八会の総会担当をこのまま続けるのも良いかと得心、会員の皆さんもそれが至極当然と思っているのか、誰も代わろうとは言いません。

この様な経過を得て以後約20年近く会合の段取りをさせて頂きました。何もかも自分一人で行うのは早晩行き詰まりますのでこれまでの幹事会を世話役会に改め定期的に会合をもち、メールで情報交換をしながらその年の計画を具体化していきました。

そのメンバーがなにかと相談に乗って頂いた前述の永田、三宅、脇の3氏に大岡暉子さん泉妙子さんの女性2名と岡田氏の後任畠中康行氏です。現在も療養中の脇氏を除き三宅会長を筆頭に6名で会の運営を行っております。

会費は日帰り一万円、泊り掛け2万5千円以内と決  
行先を何案か用意。それを検討のうえ実施案を作つてお  
ります。人気や話題の多い観光地での会合は好評で桜の  
名所吉野山、霊廟高野山奥の院、雲海の竹田城跡などは  
思い出多い行先になり今もよく話題に上ります。

年を重ねるにつれ出席者の顔ぶれも替わり故郷観音寺  
をはじめ東京横浜福岡など各地に住む同期生も参加する  
ようになりました。

平成29年八〇歳の米寿を迎えました。この年、テレビ  
ドラマ真田丸の舞台 大阪城近くのホテルで観音寺や東  
京からの参加者も加わり行いました。

席上「観音寺での全体総会は平成26年で終えた。それ  
以降開催の見通しが立たず観八会全体総会を関西が中心  
になって行つて欲しい」と観音寺代表として来ていた西  
川友之氏から依頼があり、我々世話役会が当番幹事とな  
り平成30年5月京都御所近くの「KKR京都くに荘」で  
全体観八会を開催しました。

出席者は東京11名観音寺9名関西22名の42名です。

久しぶりの再会を喜び、老いを忘れ夢中で語り合う和気  
藹々の場となりました。翌日写真館主荒木忠良氏のカメ  
ラに納まり、京都三大祭り「葵祭」見物を土産に名残惜  
しく散会しました。

令和元年5月は須磨離宮公園散策。神戸迎賓館で懇親  
会一度訪れて見たかった須磨寺参詣後帰路につきました。

関西観八会は会員の力で今日まで続けてまいりました  
が寄る年波に勝てず参加者も少しずつ減っています。

本文の冒頭でも書きましたがこの先どうすればよいの  
か「続けるべきか止めるべきか」自問自答の昨今です。

同窓会とは何ぞやその本質を知りたいと思ひ世話役を  
長く担当させて頂きましたが未だによくわかりません。

「同窓会とはみんなが元気でいることを知る証(あか  
し)のためか、遠き日の高校時代に戻りたいためか。

「古き時代を共に生き新しき時代も共に生きる仲間た

ちとの交流の場」本質にはほど遠いですが、続けること  
 によって得たものがこんなところかと自分流に解釈し、  
 納得しています。

観一8回卒業生の集まり  
 は昭和52年の第1回から  
 数えて令和2年で丸40年  
 飽きもせず続けて参りまし  
 た。

関西観八会の交流や活動  
 のことを「記憶より記録」  
 として同窓会報告に掲載さ  
 せて頂きましたが、併せて  
 観一同窓会の中に我々のよ  
 うな学年も在ることを知っ  
 て頂ければ幸いです。





京阪神支部総会・懇親会に参加して

# 京阪神支部同窓会に参加して

## &近況報告

観一・54回 安藤 秀昌

(平成15年理数科卒)

諸先輩方、同窓会員の皆様には、常日頃大変お世話になっておりますこと、この場をお借りして感謝申し上げます。

昨年11月9日に開催されました京阪神支部同窓会に、3歳の長女と一緒に参加させていただきました。

その直前の10月31日に2人目（長男）が誕生したばかりでしたので、産後間もない妻に長女を託して参加するわけにもいかず、当初は欠席やむなしと思っていました。

しかし、年に一度のせっかくの機会ですし、長女もパパ（私）とのお出かけを楽しみにしていましたので、思

い切って連れて行ってみたいいい思い出になるのではとも思い始めました。

とはいえ、過去に何度か京阪神支部同窓会に参加させていただいた限りでは、3歳くらいの子連れで参加されている方をお見かけしたこともありませんでしたので、途中でギャン泣き（大泣き）でもしたらどうしようかと、不安もありました。

私が長女に、「パパは同窓会っていうところに行くけど、一緒に行きたい？」と聞いてみました。長女は、『どうそうかい』ってなあに？』と言いました。3歳ですから、当然、「同窓会」が何なのかわかりません。「公園行こうか？」だと、「公園」がどんなところでいかに楽しいかよくわかっていますので、「うん！』と言って元気いっぱいにはしゃぎますが。

「同窓会」の意味をわかりやすく説明しようと試みましたが、至難の業です。

同窓会は、今自分なりに定義しようとすると、「学生時

代は、毎日学校で顔を合わせるので互いの存在が当たり前であつたものが、卒業し、故郷を離れ、時間が経つことで、どこか懐かしく思い、たわいもない昔話やふるさとの話で盛り上がる会」だと思ひます。これを3歳の子供に理解しろというほうが無理な話です。

とはいえ、長女は「パパと一緒に出かけする！」と言ひました。何日かにわたり、角度を変えて何度も聞きました、やはり「パパと一緒に出かけする！」と言ひました。最終的に、「走り回ったり、大きな声を出したり、えんえん泣いたりできないところだよ」と、念押しした上で連れていくことにしました。

そして迎えた当日、出かける前に妻からも長女によく言ひ聞かせてもらひ、私と長女にとっては長い長い大冒険に出発しました。

会場に到着し、エレベーターを降り、受付に向かひました。ベビーカーということもあり、別の会場と間違えているのではないかとの視線を勝手に感じつつ、受付を

させていただくと、本当に暖かく迎え入れてくださいました。

用意していただいた席に着くと、長女はどことなく緊張した様子でしたが、ごちそうをいただきながら、上機嫌になつていきました。

周りの皆様にも温かく接していただき、特に泣いたりぐずったりすることなく最後まで楽しく過ごすことができました。終わつてみると本当にあつという間でした。

私自身相当な親バカですので、自慢の長女をたくさんの方からかわいひと言つていただけると、とてもうれしく、本当に楽しい時間でした。

過去に参加させていただいた際には何度か私が最年少でしたが、この度、3歳の長女が参加させていただいたことで、大幅に最年少記録を更新したとのことでした。

長女は、家に帰つてからも何度も楽しかったと言つていました。

数か月たった今でも覚えていて楽しかったと言つてい

ます。ただ、アトラクションの太鼓でクライマックスで太鼓に乗る方のことについては、「おにさんはこわかった」と今でも言っています（笑）。

長女にとっては大好きなママから長時間離れて、電車に乗って、いつもと違う雰囲気のところに行くということで、とても貴重な経験になったと思います。私にとっても、長女との大冒険を無事に終えることができ、自信にもなりましたし、長女との絆もより深まったと思います。

以下、若干の近況報告をさせていただきます。

私事ですが、今年の3月に、私と妻がそれぞれ勤務していた法律事務所から独立し、西宮市（阪急夙川駅近く）に「安藤・梅田法律事務所」を開設しました（梅田は妻の旧姓です）。

ところが、その直後に、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言等があり、長女の保育園も休園になりました。その間、3歳の長女とまだ数か月の長男と、私と妻の4

人で、毎日事務所に通っていました。自宅から事務所までは徒歩15分くらいなのですが、ちょうど長女が三輪車にはまっていた時期でしたので、それに付き合ひ、小さな三輪車でトコトコと、しょっちゅう道草を食いながら、片道一時間近くかけて皆で通勤していました。

また、事務所には、小さな子供連れの方用に、キッズスペースを設置しているのですが、自粛期間中は、はからずも長女の天下になっていました。長女は絵本やパズル、ブロックなどを自宅から持ち込み、キッズスペースいっぱいに広げて楽しんでいました。

私と妻だけで経営している事務所だからできたことかもしれませんが、将来振り返ってみると、結果的には小さな子供たちと24時間一緒に過ごすことのできた貴重な時間だったと、懐かしく思うのではないかと思います。

保育園の送り迎えをはじめ、育児に家事にあわただしい生活が続き、日々試行錯誤を繰り返していますが、夫婦でうまく分担して、我が家なりの働き方改革を成功さ

せられたらなと思っています。

先の見通せない未曾有の事態が続いていますが、一日も早く事態が収束し、皆様と再会できる日を楽しみにしています。

皆様方のご多幸・ご健勝を心よりお祈り申し上げます。



## 令和元年度総会・懇親会の報告

### 令和元年度当番幹事

元号が令和になって初めての観一高同窓会京阪神支部総会・懇親会が、十一月九日（土）都ホテル尼崎において、百八十余名の会員・関係者の皆様にご参加頂いて盛大に開催されました。

総会当日は、穏やかな天候に恵まれて、同日阪神尼崎駅前公園で開催された観音寺市の物産展「観音寺フェア in 関西」の準備の様子を眺めながら、総会会場のホテルに向かいました。総会開始二時間前の九時に、会場となるホテル三階の大ホール前に、幹事長始め役員の方々、本年度当番幹事の二十三回の同級生、次年度当番幹事となる二十四回の担当者の方々が集合して、受付の設営や配布資料の準備、くじ引きの景品準備や当日の役割分担の確認等を大急ぎで進めました。そうこうする内に、三々

五々来賓の方々や会員の方が到着され、受付を済ませて会場に入られます。

十一時ちょうど、当番幹事の高橋俊二さんの司会、石部勝副会長の開会の辞で総会が始まりました。片桐陽会長の挨拶に始まって、同窓会本部会長の大久保健二氏、本校の多田幸平校長先生など来賓の方々のご挨拶やご協力者の紹介があり、続いて藤田修一幹事、岩本憲二監事による前年度決算報告・監査報告と、令和元年度の予算報告が行われて総会が終了しました。

引き続き、写真撮影がテーブルごとに行われたのですが、総会終了とともに、懐かしい顔ぶれに話が盛り上がって、担当者が「写真撮影ですよ！」と声を張り上げて案内する場面が、幾テーブルもありました。

十二時からは、観一十八回の香川幹夫さんの司会で懇親会の開始です。矢野一之顧問の開宴の辞、高橋憲一幹事長の挨拶に続いて、毎然大盛況になる出し物の演奏が始まりました。今年は、『大野原龍王太鼓』の皆様で、舞

台上に所狭しと並べられた大小の和太鼓が、強弱織り交ぜて激しく打ち鳴らされます。躍動感あふれる演奏に、会場は大盛り上がりで釘付けになっていきます。最高潮に達したところで、中央に置かれた大太鼓の上に龍王が現れ、大太鼓の胴に跨ってここぞとばかりに打ち鳴らし、最後に雨に見立てた白い糸が打ち投げられて舞台中に広がったところで終了しました。龍王太鼓の後には、観音寺市のイメージキャラクター銭形君も登場して、故郷の雰囲気会場に届けてくれました。

その雰囲気の中で、地元の市や企業の皆様に協賛いただいた品々を景品にして、大くじ引き大会が行われました。参加の皆様全員に、何れかの景品が当たるように準備されています。そのおかげでくじ引き大会も、懇親会の一大イベントとなっており、皆様が童心に返ったように、「これが当って嬉しいー」とか、「あれが良かったなあゝ。」などと、話に花が咲きます。大多数で行うくじ引きですから進行も大変です。よりスムーズに進められる

ようにと、役員の方々は、毎年工夫を凝らしてくださっているようです。

続いて、幻の観一校歌といわれている『学園の歌』の斉唱、当番幹事・次年度当番幹事の挨拶と進み、最後は、三豊中学校校歌・三豊高等女学校校歌・観音寺第一高等学校校歌の斉唱です。皆様、それぞれ卒業後、数十年過ぎる方々ばかりなのに、前奏が鳴り出すと歌詞が口を吐いてでてくるようで、若い学生時代の記憶は大したものだと感心しました。校歌という一つの記憶で各年代がつながっており、これも同窓会を開催する意義の一つかと思いました。

本年は、新型コロナウイルス予防の見地から、総会の開催がどうなるか懸念されますが、状況が落ち着いたら暁には、是非また次に記憶を繋いでいけることを期待したいと思います。

観一・23回 山下恵利子

(昭和47年卒)

## あとがき

同窓会誌「巨鼈 24号」をお届けします。今年も、同窓会会長や知事、市長ほか故郷や関西の会員の皆様から、多くの投稿をいただきました。昨年に引き続き、今号の表紙絵も矢野浩氏（観一 12回）が描かれた郷里・有明浜の松の絵を使わせて頂きました。ご投稿頂いた皆様、ありがとうございます。

令和元年度の支部総会は、昨年度と同じく「都ホテル尼崎」で開催され、170名の参加をいただきました。今年は「新型コロナウイルス」の影響を考え、「同窓会総会は中止」とさせて頂きました。年1回の再会のチャンスが無くなり、残念ではありますがご了承のほどお願いいたします。

これからも「同窓生の絆」を深めることに資する同窓会誌を目指してまいります。今後ともより一層のご指導・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

巨鼈編集グループ

## 巨鼈 第24号（通巻第36号） 令和2年10月

発行：観一高同窓会京阪神支部

支部所在地：〒530-0041

大阪市北区天神橋2丁目北1-21

八千代ビル東館 6階J号室

藤田修一税理士事務所内

電話：080-1425-5405

090-8988-6769

FAX：06-6353-3576

ホームページ：<http://www.kanl-keihansin.com>

メール：[info@kanl-keihansin.com](mailto:info@kanl-keihansin.com)





第十二条 【議決】総会及び役員会の議決は、それぞれ出席者の半数以上の同意により決する。

第十三条 【名誉会長等】本会は、名誉会長、名誉顧問、顧問及び相談役（以下「名誉会長等」という。）を置くことができる。名誉会長等は、随時、本会運営について助言を行う。

第十四条 【総会・役員会】本会は、毎年一回総会及び役員会を開催する。ただし必要に応じて臨時総会又は臨時役員会を開くことができる。

第十五条 【監事】監事は、会計を監査する。

第十六条 【会の招集】総会及び役員会は、会長が招集し、幹事会は、幹事長が招集する。

第十七条 【事業年度】本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第十八条 【会計】本会の事業経費は会費及び寄付金等を充て、その会計は総会に報告するものとする。

第十九条 【会則改正】本会の会則改正は、役員会の決議によるものとする。

本会則は、昭和52年11月5日より施行する。

- ・昭和62年4月1日 一部改正
- ・平成17年4月16日 一部改正(第十九条 三中全会・三女会・一高会の件 削除)
- ・平成22年6月26日 一部改正(第二条 事務所、六条・十条の副幹事長)
- ・平成24年4月22日 一部改正(第六条 評議員を年次幹事、第十三条 相談役)
- ・平成25年4月13日 一部改正(第六条及び第十三条)
- ・平成26年4月20日 一部改正(第十三条)

付 則

1. 会員の慶弔に対しては、会長名により慶弔の意を表わす。  
会員死去の際には、各回年次幹事より早急に支部へ連絡するものとする。  
また、本会は、年次会報により死亡会員名を会員に報告する。なお、支部運営に尽力された役員については、香典等により弔意を表わす。
2. 本会を代表して出席する本部等主催の行事参加費用は、本会がその実費を支弁する。
3. 本会運営活動に要する費用は、同窓会誌出版費・総会費・役員会費・慶弔費・通信事務費・その他行事費用並びに前項の行事参加費用をいい、その財源は、年会費、寄付金、同窓会誌広告代、役員会の会費収入・同窓会誌頒布代金等により賄う。

本付則は昭和61年4月14日より実施。

# 《京阪神支部会則》

- 第 一 条 【名称】本会は、「観音寺第一高等学校同窓会京阪神支部」と称する。
- 第 二 条 【所在地】本会の事務所は、大阪府内に置く。
- 第 三 条 【会員】本会は、観音寺第一高等学校及びその前身である旧三豊中学校・旧三豊高等女学校の卒業生並びにこれに準ずる者で、主として京阪神地区に在住勤務する者(以下「会員」という。)をもって組織する。
- 第 四 条 【目的】本会は、会員相互の親睦を図るとともに、本部並びに母校及び他の支部との連絡、協調を保つことをもって目的とする。
- 第 五 条 【事業】本会は、第四条の目的を達成するため次の事業を行う。
- (1) 会員相互の親睦を図るための会合
  - (2) 会報及び名簿の発行
  - (3) その他必要な事項
- 第 六 条 【役員】
- (1) 本会に下記の役員を置く。

会 長	1 名
副 会 長	若干名
理 事	各回年次毎に若干名
幹 事 長	1 名
副幹事長	若干名
幹 事	若干名
年次幹事	各回年次毎に若干名
監 事	2 名
  - (2) 各役員は役員会においてこれを推薦、承認する。各役員の任期は2年とし、再任、重任を妨げない。
- 第 七 条 【会長の職務】会長は、本会を代表し、会務を統括する。
- 第 八 条 【副会長の職務】副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはこれを代理する。
- 第 九 条 【役員会の業務】役員会は、第六条の役員をもって構成し、本会の重要事項について審議する。
- 第 十 条 【幹事会の業務】幹事会は、幹事長、副幹事長、幹事及び幹事会が推薦した当番年次幹事をもって構成し、本会の事業を実行する。
- 第十一条 【年次幹事の業務】年次幹事は、各回年次の会員を代表し、その年次の会員への連絡及びまとめ役に当たる。

## 令和2年度 観一高 同窓会京阪神支部 年次幹事氏名

三中 45 回	高橋 寛			観一 21 回	田井 浩一	
三女 44 回	岸部 正枝			〃	中井 春子	若山 千鶴
観一 1 回	井上 理文			観一 22 回	平山 文夫	芳地 英代
観一 2 回	藤田 光恵			観一 23 回	高橋 俊二	山下 恵利子
観一 3 回	濱田 忠昌	大西 玲子		観一 24 回	秋山 寿之	石川 恒
観一 4 回	細川 利久	井崎 昌代		〃	石川真理子	浜辺 昌子
観一 5 回	大平 俊平	牧野 孝明		観一 25 回	長野 寛之	原 昌三
〃	森口 郁子			観一 26 回	行天 久朗	中西 満子
観一 6 回	加嶋 廣繁	佐藤 益子		観一 27 回	川下 正輝	
観一 7 回	清村 善三	真鍋 良子		観一 28 回	佐伯 隆	
観一 8 回	畠中 康行	泉 妙子		観一 29 回	長野 哲夫	
観一 9 回	合田 房雄	西庄 俊三		観一 30 回	島田 淳志	
観一 10 回	三宅 潔	大西 富子		観一 31 回	大麻 良太	徳永 真美衣
観一 11 回	渡辺 紘一	村上 美恵子		観一 32 回	森 広志	
観一 12 回	三好 正則	安達 典子		観一 33 回	前谷 雅之	
観一 13 回	加島 聡	高井 洋蔵		観一 34 回	上田 憲	
観一 14 回	久保 諭	高橋 憲一		観一 35 回	庄司 正人	
〃	川内 清子	山口 千代		観一 36 回	矢野 善之	
観一 15 回	西村 淳一	野口 泰孝		観一 37 回	久保 秀夫	
観一 16 回	大麻 博範	中西 豊		観一 38 回	原 慎一郎	
〃	大西 和明	宮本 寿美		観一 39 回	片山 元彦	
観一 17 回	小出 道秋	森 正樹		観一 40 回	佐藤 美奈子	
〃	小森 美智子	藤本 陽子		観一 41 回	卜部 仁一	
観一 18 回	香川 幹夫	今川 美佐子		観一 47 回	木下 幹支	
観一 19 回	田中 道雄	瀧本 通代		観一 54 回	安藤 秀昌	
観一 20 回	三木 明徳					
〃	妹尾 満里子	高橋 恵美子				

## 令和2年度 観一高 同窓会京阪神支部 役員氏名

会 長	観一10回	片桐 陽	理 事	観一11回	高橋 芳子
名誉会長	観一 9回	守谷 公男	〃	観一12回	中島 征夫
副会長	観一14回	高橋 憲一	〃	〃	三好 正則
〃	観一15回	大西 寛文	〃	観一13回	岩倉 煌一
〃	観一20回	鎌倉 史郎	〃	〃	齊藤 良夫
〃	観一20回	大塚 達夫	〃	〃	曾根 英樹
相談役	観一 8回	脇 剛司	〃	観一14回	久保 諭
顧 問	三中40回	三好 通雄	〃	観一15回	中野 祥蔵
〃	三女44回	岸部 正枝	〃	観一16回	大西 和明
〃	観一 1回	山田 朝雄	〃	観一17回	白石 憲二
〃	観一 4回	細川 利久	〃	観一20回	多田 健治
〃	観一 8回	畠中 康行	〃	観一21回	荻田 清
〃	〃	矢野 一之	〃	観一22回	秋山 茂之
〃	観一 9回	石部 勝	〃	観一25回	長野 寛之
〃	〃	西庄 俊三	〃	〃	真野 毅
〃	観一11回	小野 喬啓	〃	観一26回	行天 久朗
〃	〃	合田 洋一	〃	観一34回	上田 憲
〃	観一13回	岩津 真人	幹事長	観一16回	藤田 修一
監 事	観一19回	中西 良一	副幹事長	観一12回	森川 和則
〃	観一24回	石川 恒	〃	観一19回	田中 道雄
理 事	三中41回	東 忠	幹 事	観一18回	香川 幹夫
〃	〃	眞鍋 禮三	〃	〃	今川 美佐子
〃	観一 1回	井上 理文	〃	観一19回	瀧本 通代
〃	〃	岩田 光晴	〃	観一21回	田井 浩一
〃	観一 3回	田岡 稔	〃	観一22回	西脇 順子
〃	〃	濱田 忠昌	〃	〃	小山 正辰
〃	観一 4回	白川 宇吉	〃	〃	安藤 久志
〃	観一 5回	大平 俊平	〃	〃	芳地 英代
〃	〃	牧野 孝明	〃	観一23回	高橋 俊二
〃	観一 6回	多田 康二	〃	観一25回	岩本 憲二
〃	観一 7回	長谷川 光雄	〃	観一32回	森 広志
〃	〃	堀野 廣	〃	観一47回	木下 幹支
〃	観一 8回	永田 寛	当番幹事	観一24回	秋山 寿之
〃	〃	三宅 順二郎	〃	〃	石川 恒
〃	〃	大岡 暉子	〃	〃	石川眞理子
〃	観一 9回	合田 房雄	〃	〃	浜辺 昌子
〃	観一10回	高津 光雄	次期当番幹事	観一25回	長野 寛之
〃	〃	三宅 潔	〃	〃	真野 毅
〃	観一11回	合田 厚生			

<< 令和元年度収支決算 >>

令和元年度収支決算と財産目録

	令和元年度 (H31.4～R2.3)	30年度(参考) (H30.4～31.3)	
〈収入の部〉	円	円	
総 会 会 費	1,296,000	1,280,000	
役 員 会 会 費	180,000	171,000	
年 会 費	1,227,500	1,322,500	
広 告 ・ 協 賛 金	914,100	1,079,000	
寄 付 金	134,000	152,000	
そ の 他	345	310	
収 入 合 計	3,751,945	4,004,810	
〈支出の部〉			<財 産 目 録> 円
総 会 会 議 費	1,419,596	1,493,132	現 金 306,546
役 員 会 会 議 費	243,300	232,660	郵貯銀行振込口座 481,829
巨 龍 刊 行 費	1,084,299	1,396,007	普 通 預 金 487,231
印刷・通信・事務費	727,916	716,640	定 期 預 金 4,000,000
慶 弔 費	76,336	71,836	備 品 1
交 通 費 、 雑 費	322,634	255,879	前 受 金 -25,000
支 出 合 計	3,874,081	4,166,154	計 5,250,607
差 引 資 金 収 支	-122,136	-161,344	
前 期 繰 越 金	5,372,743	5,534,087	
次 期 繰 越 金	5,250,607	5,372,743	

令和元年度年度は、年会費収入の減少などにより、赤字となりました。

## 《物故者》

令和元年8月1日以降、令和2年7月31日までに判明しました物故者は次の通りです。

会員のみなさまと共に心から哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り致します。

年 次	卒 年	お名前( )内は旧姓		逝 去 日
三中41回	昭和20年	田淵	武	令和2年4月16日
三中41回	昭和20年	岡野 ( 前川 )	正敏	平成29年4月20日
三中44回	昭和22年	合田	源治	令和2年4月8日
三女40回	昭和22年	田岡 ( 石川 )	重子	令和2年4月4日
三女41回	昭和23年	駒井 ( 秋山 )	友子	令和2年1月28日
三女42回	昭和24年	都田 ( 村山 )	静栄	令和2年2月16日
観一 1回	昭和25年	合田	信夫	令和1年9月13日
観一 1回	昭和25年	藤原	孝義	令和2年4月13日
観一 2回	昭和26年	金丸 ( 藤川 )	幸子	令和1年5月7日
観一 3回	昭和27年	森	堯爾	令和1年7月7日
観一 4回	昭和28年	横山	計次	平成29年
観一 7回	昭和31年	小西 ( 木村 )	久栄	平成29年6月5日
観一 8回	昭和32年	横山 ( 横山 )	恵子	平成30年
観一 9回	昭和33年	森 ( 石川 )	朱美	令和2年5月16日
観一10回	昭和34年	西山	道保	平成31年2月25日
観一12回	昭和36年	石井	義孝	平成31年2月19日
観一12回	昭和36年	高橋	省三	令和2年6月7日
観一12回	昭和36年	岩村 ( 久保 )	恵美	平成31年1月6日
観一18回	昭和42年	永田	寿恵美	令和2年3月12日
観一20回	昭和44年	山地	善信	令和1年8月13日
観一22回	昭和46年	伊達	道明	令和2年4月30日
観一22回	昭和46年	安藤 ( 鳥取 )	桂子	令和1年8月28日

《令和元年度 出席者》 174名 来賓11名含む  
( )内数字は年次

<三中> (40) 三好通雄

<三女> (36) 鈴木知津子、(37) 森 晃恵、(44) 岸部(石井)正枝

<観一> (1) 井上理文、岩田光春、(2) 佐長豊子、藤井幸子、藤田光恵、(3) 大西玲子、久次米(原田)保子、横田静子、(4) 井下勝男、北村(三好)信子、(5) 藤村喜系、大西佐恵子、森口郁子、富田千代子、(6) 加嶋廣繁、佐藤(岡)益子、(7) 大西茂光、清村善三、長谷川光雄、堀野 廣、真鍋(大西)良子、藤村美屋子、(8) 木下雅道、永田寛、小山修三、川邊敬祐、畠中康行、三宅順二郎、矢野一之、秋山(内田)恵美子、泉(浜田)妙子、川原(久保)重子、菊川(森岡)睦栄、北村(島村)春代、西谷(牧)美津留、森(大西)敏美、(9) 石部 勝、合田房雄、西庄俊三、(10) 片桐陽、細川恒男、藤田卓也、井上(久保)美沙子、大西富子(11) 大西将晴、小野喬啓、合田厚生、合田洋一、三好孝夫、渡辺(松岡)紘一、赤川恵子、松岡多恵子、村上(大西)美恵子、三好寿満子、(12) 田井次郎、三好正則、藤村義夫、森川和則、安達(石川)典子、奥藤(浮田)和、西田秀子、宮野サヨ子、(13) 岩倉煌一、岩津真人、加島 總、齊藤良夫、高井洋蔵、高畑紘志、(14) 請川満之、久保 諭、合田和義、高橋憲一、大西秀子、西野紘子、藤田和子、山口千代、(15) 石井泰永、曾根 徹、谷川 剛、中野祥蔵、西村(大川)淳一、野口泰孝、福田有治、横田(喜司)悠子、(16) 藤田修一、真鍋忠利、(17) 白石憲二、白石幸代、請川裕之、岡田利武、森 正樹、三野彰、石村(藤本)元子、小西裕美子、松田時恵、(18) 香川幹夫、石川道雄、宮崎博武、今川(安藤)美佐子、川畑晴代、高井 幸、(19) 田中道雄、細川昭夫、三好正和、瀧本(大西)通代(20) 大塚達夫、鎌倉史郎、村上啓司、三宅千恵子、高橋(山田)恵美子、(21) 田井浩一、浪越博道、(22) 秋山茂之、安藤久志、小山正辰、岩田豊志、平山文夫、西脇(平井)順子、芳地英代、(23) 荒井健樹、岡崎恵三、熊谷恵子、正原好子、山下(真田)恵利子、三谷多喜子、莊 茂樹、高橋俊二、常峰正美、高橋良郎、亀山哲夫、山西俊一郎、大久保久美、竹川益美、高橋和子、高橋準子、小林恵子(24) 秋山寿之、石川 恒、高谷和幸、浜辺昌子、石川眞理子、伊丹準二、大西時喜子、津田義則、浪越文正、西山裕之、松田憲和、吉田幸央、則包光徳、(25) 岩本憲二、真野 毅、嶋田恵子、(26) 行天久朗、(28) 岩田準子、(32) 森 広志、(36) 藤田健人、(45) 川村早余子、(49) 高橋亜紀、(54) 安藤秀昌



<ご来賓>

同窓会本部会	長	大久保健二	(観一 17回)
同上副会	長	片山葉子	(観一 24回)
同上副会	長	菅徹夫	(観一 30回)
同上事務局	長	徳善久人	(観一 23回)
同上事務局次	長	田中英昭	(観一 21回)
東京支部副会	長	茨木教晶	(観一 18回)
岡山支部事務局	長	滝本清文	(観一 16回)
高松支部会	長	合田耕三	(観一 22回)
観音寺第一高校校	長	多田幸平	
香川県議会	県議会議員	高城宗幸	(観一 22回)
観音寺市副市	長	挽田公孝	(観一 27回)

<景品ご提供・ご協力>

香川県知事	浜田恵造	(観一 22回)
香川県県議会議員	高城宗幸	(観一 22回)
観音寺市市長	白川晴司	(観一 15回)
三豊市市長	山下昭史	
(株)味のちぬや代表取締役会長	今津秀	(観一 18回)
(有)本場かなくま餅福田代表取締役	福田伸夫	(観一 18回)
(有)花梅代表取締役	浜田友造	(観一 18回)
島産業(株)代表取締役	島憲吾	(観一 22回)
(株)合田工務店代表取締役専務	合田耕三	(観一 22回)
伊吹島観光ガイド	三好兼光	(観一 22回)
藤田(株)代表取締役社長	藤田圭造	(観一 26回)
(株)キョーワ代表取締役	加地正人	(観一 33回)
(有)満久屋豊浦商店六代目取締役職人	豊浦孝幸	(観一 37回)
川鶴酒造(株)六代目蔵元代表取締役	川人裕一郎	(観一 38回)
(株)紀州屋専務取締役	中上茜	(観一 52回)
(合)入江こうじ製造所業務執行役員 社長	入江克典	
福弥蒲鉾(株)代表取締役	福島加寿子	
(株)志満秀代表取締役社長	島光男	
田野屋中橋造酢(株)代表取締役	中橋康一	
福井生麺所代	福井清	
(株)金子食品代表取締役	金子幸史	

(順不同 敬称略)

## 令和元年度支部総会・懇親会プログラム、来賓・出席者

### < プ ロ グ ラ ム >

第一部 【総会】	11:00～11:40	司会	高 橋 俊 二	(観一 23回)
1 開 会 の 辞	(副会長)	石 部 勝		(観一 9回)
2 物 故 者 慰 霊 黙 祷	(司 会)			
3 会 長 挨 拶		片 桐 陽		(観一 10回)
4 来 賓 挨 拶				
① 同 窓 会 本 部 会 長		大 久 保 健 二		(観一 17回)
② 本 校 校 長		多 田 幸 平		
③ 香 川 県 議 会 議 員		高 城 宗 幸		(観一 22回)
④ 観 音 寺 市 副 市 長		挽 田 公 孝		(観一 27回)
⑤ ご来賓及びご協力者の紹介	*次頁のリストをご覧ください			
5 平成30年度決算報告・監査報告 (幹 事)		藤 田 修 一		(観一 16回)
(監 事)		岩 本 憲 二		(観一 25回)
6 令和元年度予算報告 (幹 事)		藤 田 修 一		(観一 16回)

### 【写真撮影】(テーブルごと) 11:40～12:00

第二部 【懇親会】	12:00～14:30	司会	香 川 幹 夫	(観一 18回)
1 開 宴 の 辞	(顧 問)	矢 野 一 之		(観一 8回)
2 幹 事 長 挨 拶	(幹事長)	高 橋 憲 一		(観一 14回)
3 演 奏		大 野 原 龍 王 太 鼓		
4 乾 杯		秋 山 茂 之		(観一 22回)
5 く じ 引 き 大 会				
・香川県知事賞 ・高城県会議員賞 ・観音寺市長賞 ・三豊市長賞				
・味のちぬや賞 ・かなくま餅福田賞 ・花梅賞 ・島産業賞 ・合田工務店賞				
・藤田賞 ・キョーワ賞 ・豊浦商店賞 ・川鶴酒造賞 ・紀州屋賞 ・入り江こうじ賞				
・福弥蒲鉾賞 ・志満秀賞 ・中橋造酢賞 ・福井生麵所賞 ・金子食品賞 ・三好兼光賞				
6 アトラクション	学園の歌斉唱			
7 本 年 度 当 番 幹 事 挨 拶	高橋俊二、山下恵利子			(観一 23回)
8 次 年 度 当 番 幹 事 挨 拶	秋山寿之・石川 恒・石川眞理子・浜辺昌子			(観一 24回)
9 来 賓 記 念 写 真 撮 影				
10 校 歌 斉 唱				
11 閉 会 の 辞	(副会長)	鎌 倉 史 郎		(観一 20回)
(万歳三唱)				

<高松支部総会>

10・5（土） 藤田副幹事長を代表派遣 （JRホテルクレメント高松）

<京阪神支部総会・懇親会>

11・9（土） 11：00～14：30 都ホテル尼崎 当番幹事は観一23・24回。

出席者：会員 162名 来賓 11名 計 173名

演 奏：大野原龍王太鼓

抽選会：全員に賞品。詳細は総会の頁参照

- ・ 総会・懇親会プログラム立案編集会議
- ・ ホテルとの打合せ
- ・ ショーの依頼先選定と依頼
- ・ 賞品など提供者との打合せ、確認
- ・ 当日の役割分担
- ・ プログラムの作成、出席者名簿や名札などの準備
- ・ 総会配布資料の確認、印刷

<東京支部総会>

11・16（土） 片桐会長を代表派遣

<幹事会>

4・8（月） 役員会準備

4・20（土） 春の案内発送幹事会（石川特殊特急製本㈱）

6・4（火） 巨鼈進捗状況、会費等入金状況

7・16（火） 巨鼈進捗状況、総会準備状況、会費等入金状況

8・20（月） 巨鼈、総会、会費など、秋の案内資料検討

9・25（土） 巨鼈と総会案内（含む招待状）の発送作業  
（石川特殊特急製本㈱）

10・24（月） 総会準備

11・5（火） 総会直前の準備・確認

11・25（月） 来賓・協賛企業に礼状と写真送付 総会反省会

1・21（火） 年度まとめ、翌年度体制と活動計画

2・18（火） 新役員検討、スケジュール検討、役員会資料・春の案内検討

3・11（水） 役員会資料（案）について片桐会長に説明

（高橋幹事長・藤田副幹事長）

以下、要約してこの一年間の歩みを報告いたします。

<役員会>

- 4・13（土） 役員会開催 ：肥後橋徐園、11:00～14:00、出席者45名
- ・平成30年度 活動報告及び決算報告
  - ・平成31年度 活動計画及び予算案の審議、承認
  - ・支部役員の選任

<春の案内発送>

- 4・20（土） 役員会で審議頂いた内容に基づき「春の案内」を作成、支部会員に発送2,000通
- （内容）会費納入、広告・寄付協賛の依頼、巨鼈投稿依頼ほか（石川特殊特急製本㈱元別館4階会議室 幹事7名従事）

<本部総会>

- 5・26（日） 片桐会長、高橋幹事長を代表派遣
- （翌日、高橋幹事長、畠中顧問が、支部活動への協力要請のため地元各企業を訪問）

<本校教養講座>

- 5・27（月） 白石憲二理事を講師として派遣

<岡山支部総会>

- 6・23（日） 田中幹事を代表派遣 （岡山市内のホテル）

<巨鼈発送>

- 9・25（水） 「巨鼈23号」と「支部総会案内」を発送 900部、800通
- 支部会員（年会費入金者）及び投稿者、本部と各支部、総会来賓へ送付
- （石川特殊特急製本㈱元別館4階会議室 幹事10名従事）
- ・原稿の依頼先選定、依頼状発送、電話・メールやり取り等
  - ・編集会議 数回
  - ・随時、原稿の受取・編集・校正など実施
  - ・幹事会で適宜、方針・進捗状況など打合せ

<香川県高等学校同窓会連絡協議会>

- 9・18（水） 香川県大阪事務所主催の「香川県高等学校同窓会連絡協議会」に、高橋幹事長、西脇幹事を派遣 （梅田阪急ビルオフィスタワービル26階会議室）

---

## 令和元年度 観一高同窓会京阪神支部会報

---

幹事長（観一・16回） 藤田 修一

平成31年4月13日、肥後橋「徐園」において平成31（令和元）年度の支部役員会が開催されました。支部役員会には45名の役員が参加され、前年度の活動報告と今年度の活動方針などをご討議頂きました。

令和元年11月9日に開催された観一高同窓会京阪神支部総会・懇親会には、ご来賓と会員合わせて173名の皆さんに参加頂きました。総会は、23回と24回の年次当番の皆さんを中心に組みんでまいりました。特に鳴り物では、地元四国で評判の「大野原龍王太鼓」の迫力ある素晴らしい演奏が披露され、会場全体が大いに盛り上がりました。また、イベントでは恒例の「くじ引き大会」が行われ、故郷の企業様等から沢山の景品を協賛して頂き、参加者全員に景品が当たるなどして喜んでいただき、会場には故郷の匂いが漂いました。今年の支部総会も、昨年に引き続き“手作りの同窓会”を行うことができたと自負しております。

次に、同窓会誌「巨鼈23号」は、故郷と会員の情報を集めて、“故郷と母校の動向や思い出と、同窓生の様々な活動から、お互いの絆を深める”をコンセプトとして、京阪神の会員はもとより故郷の会員からもたくさんのご寄稿を頂きました。

私たち役員一同、これからも京阪神支部会員の皆さんと手を携え、お互いの絆を深め保つべく活動に取り組んでまいります。

令和2年4月、新型コロナウイルスの感染拡大に伴って全国に緊急事態宣言が発出され、日常生活、経済活動が大きく制限されることとなりました。その影響で令和2年度春の役員会は書面決議により対処せざるを得なくなり、また、宣言解除後においても感染の収束が見込まれず、秋に予定していた総会・懇親会もやむを得ず中止することといたしました。

会員の皆様方におかれましては、このような情勢下、何卒ご自愛いただきますとともに、今後とも京阪神支部の活動に変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

香川県立観音寺第一高等学校  
同窓会京阪神支部  
令和元年度支部会報

観一高同窓会京阪神支部

支 部 所 在 地 : 〒530-0041

大阪市北区天神橋2丁目北 1-21

八千代ビル東館 6階J号室

藤田修一税理士事務所内

電 話 : 080-1425-5405    090-8988-6769

F A X : 06-6353-3576

支部ホームページ : <http://www.kan1-keihansin.com>

問 合 せ メール : [info@kan1-keihansin.com](mailto:info@kan1-keihansin.com)

支 部 郵 便 為 替 : 口座番号 00990-3-98955

加入者名 観一高同窓会京阪神支部

# 地域の皆さまとともに歩む信用金庫

創業 91 周年



## 大阪商工信用金庫

会長 片桐 陽（観一 10 回）

預金残高：6,380 億円      貸出金残高：4,158 億円      出資金：48 億 16 百万円  
役職員数：445 名      創業：1929 年 5 月 2 日

※2020 年 3 月末時点

〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町 2 丁目 2 番 8 号

（大阪メトロ堺筋線・中央線「堺筋本町駅」15 番出口すぐ）

電話 06-6267-1636（代表）      FAX 06-6267-2879

本部 E-mail      [soumubu@osaka-shoko.co.jp](mailto:soumubu@osaka-shoko.co.jp)

Homepage      <http://www.osaka-shoko.co.jp>



©Able Art Company

地域と共生する信用金庫として、地域に役立ち地域発展に寄与することこそが使命であると心得、CSR活動に積極的に取り組んでおります。当金庫とお客様が一体となり、地域や社会に良き循環を生み出すことを目的にエコ定期『まねき eco』を取り扱っています。お客様の受取利息の一部をご寄付いただき、生駒山への植樹活動を通して、次世代に自然豊かな大阪の街を継承します。



本店ビル

本店ビル



味のちぬや

株式会社 味のちぬや

代表取締役会長 今津 秀 観一（昭和42年）

〒769-1505 香川県三豊市豊中町本山乙708番地

tel 0875(62)5221 <http://www.chinuya.com>